



14.5

14. 5-517
1200501217526

7

始





実演そのまゝの迫力!
追従を許さぬ合理的三極構造!

世界最高基準品

ワット
ピックアップ

超高級品より普及品まで12種
何れも弊所多年の経験を傾注して
製作せる逸品、市販の同価格品の
絶対的リーダーであります

TTTTTTTTTT T
1612109987643 1
アアアアアアアアアアア
1111111111111111
△△△△△△△△△△△△△△△
付付付付付付付付付付付付付
一五一一一 一四一 二三
〇五二七三九五五五五八〇〇
〇〇〇〇五〇〇〇〇五五〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

製造元

エステー無線研究所

東京市品川区南品川五丁目二六五 電話高輪(44) 5552・振替東京13839

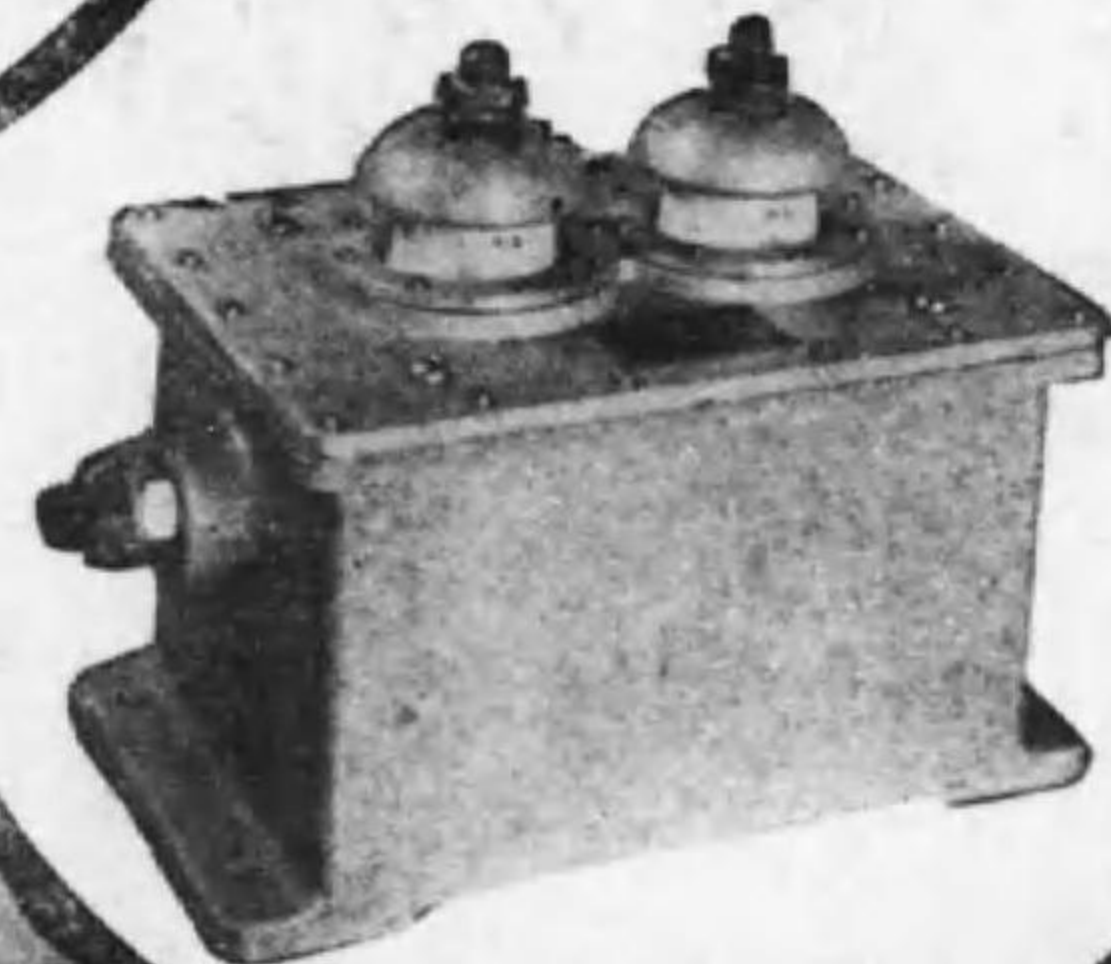
PHÖNIX CONDENSER

Paper-Dielectrics



3 Latest
Di-Electrics
Pape-Oil
Micas
Paper-Wax

Mica-Dielectrics



Paper-Dielectrics
Tubular



日本コンデンサー製作所

本 社・大阪東淀川区三津屋南通二丁目 電北 5325
東京出張所・東京市日本橋区通一丁目西河岸ビル電日林橋 { 0694
4313

ラチオン ダイナミック

好評噴々 斯界随一と賞讃を博す



定評ある優秀品

D—10

(10吋型)

再生範圍擴大
強能率

K—8

(8吋型)



大阪 ラチオン電機研究所 東京

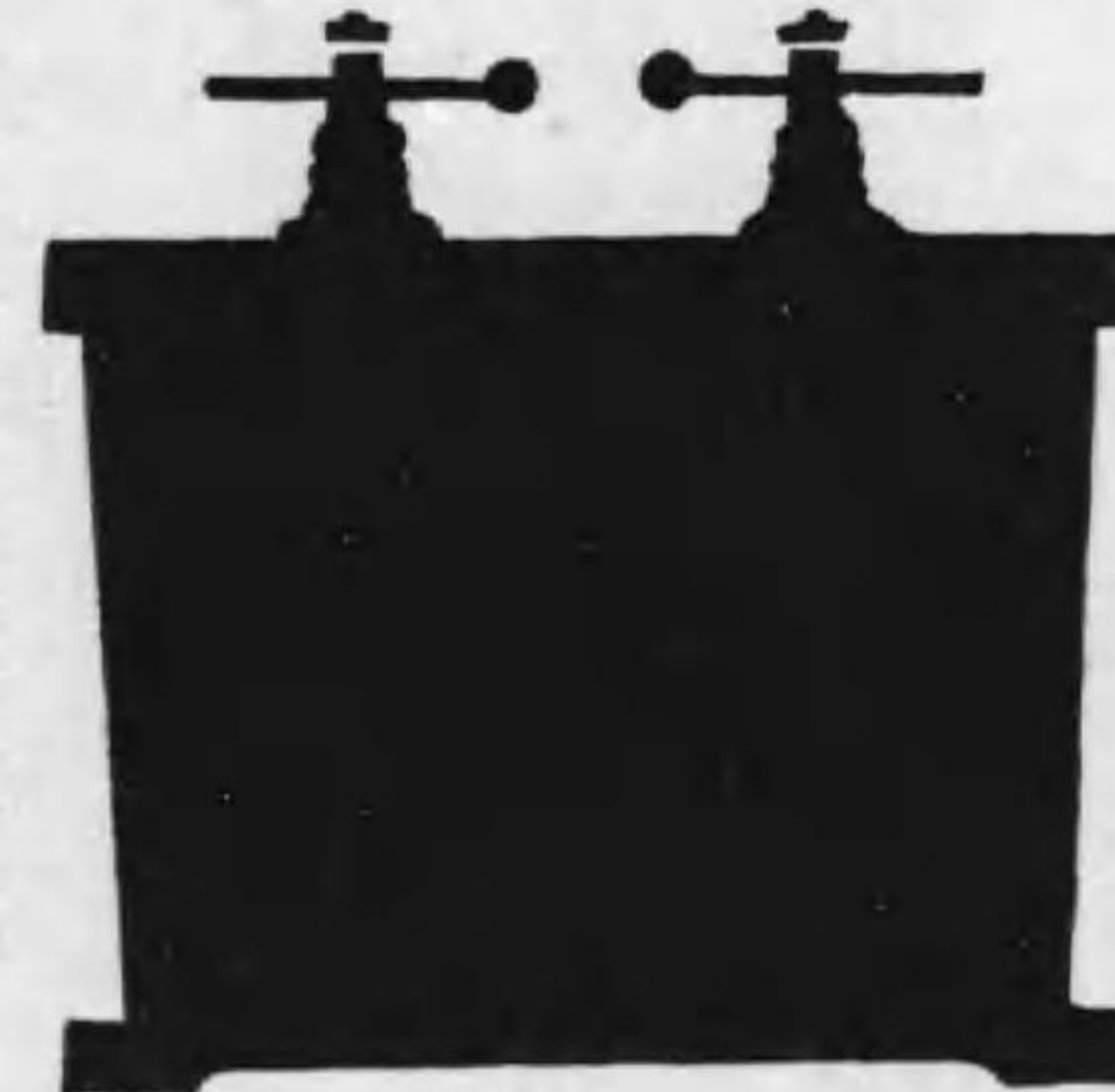


CONDENSER

陸軍省・海軍省・逓信省
鐵道省・放送局・滿洲國 **御指定**

蓄電器に関する特許並實用新案

No. 101606
No. 199881
No. 204944
No. 204718
No. 264838
No. 205223
No. 204715
No. 205702
No. 103039
No. 106496
No. 184759
No. 184760
No. 189960



No. 189966
No. 191898
No. 191936
No. 192403
No. 194058
No. 195055
No. 195056
No. 196357
No. 198337
No. 198338
No. 206862
No. 206949
No. 206950

營業種目

無線電信電話用各種蓄電器
C・F・蓄電器(力率改善用)
電解蓄電器・標準蓄電器
無線送受信機・特殊通信機
整流裝置・測定器
彫刻機・其他無線器機

株式會社 三陽社製作所

東京市大森區新井宿七丁目二〇番地

電話 高輪 6958・6:23・大森 5500・6336

世界に魁けて
完成せる

500Vに使える
電解蓄電器



フタ、ガスケット、ミコン

東京 古河電氣工業株式會社 日本橋

拓文農鐵陸海遞

務部林道軍軍信

省省省省省省省

場工定指



日本無線
電話株式會社

營業科目

船舶用無線電信電話機
陸上用無線電信電話機
航空機用無線電信電話機
各種真空管、蓄電器、高抵抗器
獨逸テレフォンケン會社製品

出張所	本社及工場
東京市品川區大崎驛前 電話高輪代表 四九〇(三)〇四二 長四九〇〇	洗足工場
東京市目黒區洗足一三二七 電話高輪 六二七五、荏原 三三八〇	神戶市榮町通三丁目一 電話三ノ宮 三七七
大連市彌生五七	電話連本局 五七



電氣器具御撰定の
最高標準名稱

ナショナル

ナショナル受信機

◇ 松下無線株式會社

資本金 五百萬圓

ナショナルランプ・乾電池

◇ 松下乾電池株式會社

資本金 五百萬圓

松下ノ配線器具

◇ 松下電器株式會社

資本金 貳百萬圓

ナショナル電熱器具

◇ 松下電熱株式會社

資本金 貳百萬圓

其他主要製品 ナショナル電球・松下モデル
其他 七分社 四分社

◇ 松下電器産業株式會社

資本金 壹千萬圓

ドン真空管

國産第一



完備せる工場
優秀無比の製品

株式會社 **ドン真空管製作所** 東京・大井

素晴らしい性能



8"ダイナミックスピーカー
 定価 ¥ 13.50



ピックアップアツプ
 ロー ¥ 35.00
 ハイ ¥ 25.00



RD-4A型 四球
 ダイナミックラヂオ ¥ 75.00

シャープ
 製品

大阪放出 タイカ-電機株式会社

Sharp

カーブ受信機



140型
 日本放送協会認定品
 中距離用四球
 UY27A UX23B
 UX12A KX12B
 マツダ真空管付
 ¥29.00



T-40型
 日本放送協会認定品
 中距離用四球
 UY24B UX23B
 UX12A KX12B
 マツダ真空管付
 ¥31.00



48型
 日本放送協会認定品
 四球ベントード
 UY24B UY24B
 UY47B KX12B
 マツダ真空管付
 ¥48.00



46型
 日本放送協会認定品
 四球ベントード
 UY24B UY24B
 UY47B KX12B
 ¥47.00

早川金属工業株式会社

ELMAN

エルマン強力擴聲裝置各種

P.R.M. 560 型

58-57-56-45-^{2A3}/_{2A3}-83·83-12B



巾19吋 奥行9吋 高さ12吋

本機の特長

- オールメタルキャビネット入り
- ビックアップ・マイノロホン・ビックアップ三段切替付
- マイクロホン無電池式(高圧マイクロホン使用の事)
- D.C.ダイナミック4本使用す(エキサイター装置付)
- 強力なる電力管(B級増幅装置)を用ひ固定バイアスのため無歪出力最大にして其音質、音圧は他の追随を許さず
- ラヂオ高周一段付
- レコードとマイクロホンは同時演奏装置付

出力 15 W

P.R.M540型(据置型學校放送用)

▲主要設備部分

- マイク用カーレントメーター
- 電源用ボルトメーター
- ラヂオ調節ダイヤル
- モニタースピーカ
- マイクロホン及ビックアップ用差込ジャック
- 音質音量調節器
- P.R.M.三段切替スイッチ
- 電源スイッチ
- ダイナミック及マグネチック切替スイッチ
- モーター
- ビックアップ
- マグネチック回路四回線分起装置付
- ラヂオ高周波二段
- 使用真空管 58-58-57-56-56-46⁴⁶/₄₆-83
- 出力20W 消費電力100W ダイナミック6本
マグネチック10本

本機は堅牢なる自立式鐵架に組立られ從來別に取扱つたビツクアップ装置は折疊式に取付愈々便利に設計した優秀受信機です



エルマン受信機
エルマン電氣音機
輸出向ラヂオ
擴聲電話機各種
製造元

大洋無線電機株式會社
東京市王子區上十條町二一八
電話王子3212・振替東京83704

斯界の權威 AUTOMAN オートマン 研究室から市場へ

東京都市遞信局納入品

長時間錄音機(二連附)ピアノ型 ¥1800.00

普及型 ポータブル型

¥ 385.00

グランド型

¥ 530.00

(連続型 ¥130.00増)

錄音切込機一式付

¥ 86.00

錄音板10吋 ¥1.30

同 12吋 ¥2.50

ダイヤ針 ¥6.50



連続自動演奏機

C 150 號 増幅器附 ¥ 220.00

(故障絶無) RC 100 號 増幅器附 ¥ 430.00

RC 200 號 増幅器附 ¥ 530.00

AUTOMAN 強カダイナミック

PAT. NO 7975

特殊コーンノ發見に依り世界的有名製品を遂に凌駕する完璧品



8吋各種 ¥ 12.00
10吋各種 ¥ 15.00

(各種高級ダイナミックを乞ふ)
全修理致します、御問合



昭和無線電機製作所

營業所 芝區新豊田町二番地 電話銀座(57) 1111番

新製品續々發表

HARASAKI RADIO **Royal** HARASAKI RADIO

歴史と技術を誇るローヤル製品ノ

B-75型

A-5E型

七球ミゼットスーパー受信機

大衆號五球スーパー受信機



寸法
巾 35.0
高さ 47.5
奥行 27.0

使用球 58-56-58-58-2B7-2A5-80



寸法

巾 34 高さ 23 奥行 21

使用球 2A7-53-24B-2A5-80

大正拾四年以來の歴史、最新技術のスーパー受信機並にダイナミックスピーカーの製作

E50型

五吋より十吋まで各種
その他永久磁石スピーカー



ローヤル ダイナミックの特長

- 1、廣汎な再生音域を有しております。それは實測された周波數特性曲線が物語っております。
- 2、再生音に奥行きがあります。これは實際聴いた場合に實演の感じを起す事によつて知られます。
- 3、濕氣の影響を絶対に受けません。それはコーン紙を水中に浸しても紙質に変化を起さない事によつても明らかであります。

原崎ラヂオ製作所

東京市品川區五反田五ノ一〇八 電話高輪(41) 七一九一

静岡支店 静岡市馬場町二〇 電話二五二二番

スーパーヘテロダイイン専門製作販賣

陸海軍諸官省御用

高級受信機製造

三田無線電話研究所

本社

販賣部

東京市麻布區仙臺坂
電話高輪八二二九番
振替東京六九四二五番
東京市芝區田村町二ノ八
(舊名「櫻田本郷町」)
電話銀座九三九番

蓋し實用新案が技術上の當面の問題を解決するものならば特許發明は昔人の空想を實現したものと謂はるべく明日の文化に對する劃然たる指針となるものと信じて疑はない。本年鑑を刊行して第二年目に際し各方面の讚辭を得たるは吾人の出版企劃の誤まざらんことを裏書きするものと信ずると共に本事業をして有終の美に近からしめんと努力する所以である。聊か記して第二年目の序文とする。

昭和十二年五月兩のころ

編 者 識

序 (第一年目發刊)

輒近、無線科學の進歩發達は寔に著るしきものあり、無線電信無線電話の一元的世界から所謂テレビの二元的世界へと華々しく發展いたしつゝあるは驚異とすべく、是れを事業的に洞察するも、通信に放送に無線機器の製造方面等に、年々歳々、投資額の累増と實質の膨脹とを齎らし事業の伸展は全く峻々乎として止まるところを知らざる狀況である。之れ等は孰れも技術の發達、學術の研究と相俟つて一々特許事項に反映し其出願に至つてはこれ又歳と共に其多きを加へ來りつゝある盛況である。かくして一國文化の消長は特許出願事項によりて窺ひ知れるところともなり各國競ふて發明を獎勵し考案を指導して自國の隆昌に資せんとする實相にあるは、敢て贅するまでもないことである。然るにまだ一ヶ年を通じて之等の特許乃至實用新案關係を細大洩らさず一冊に纏めたる編著市井に無之、是れが爲に吾人は、無線界に存在する操觚者の一人として斯界の發明關係を『無線特許年鑑』と題して爰に編纂した次第である。

惟ふに本書の如きは、決して、一年限りの出版では無い。年々歳々、我社は一回づ、刊行し、以て、無線技術者、研究學徒、關係工業者並に向學の士等の參考の資に供せんとするものであると共に將來十年廿年と引續き刊行することに依りて無線界に於ける確乎たる發明史の編纂とも相成るべく、他面、著述の尠き發明界への刺戟を與へ、延いては、現代文化の顯著なる發達を高揚せんとする所謂である。尙、本書は匆忙中の編纂なれば不備の點など幾重にも御教示に預りたい。

昭和十一年彌生末つかた

無線タイムス社

社長 宮原仙岳 識

昭和十二年版

無線特許並實用新案一覽

無線タイムス社調査

昭和十二年 無線特許年鑑細目表

(備考) 参考頁の欄
係上等特許年鑑の前後せる
ものあり。

特許之部

(昭和十一年)

一四〇頁

特許番號

特許名稱

(特許權者)

頁

一月 中

第一一三八三三號	自動音量制御装置を有する受信方式	(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)	一
第一一三八四九號	唸周波數發振器	(日本放送協會)	一
第一一三八八七號	無線電信電話同時送受方式	(津守英五郎)	一
第一一三八五九號	著 電 器	(獨、シーメンス・ゲーゼルシャフト)	二
第一一三九〇一號	マグネトロン振動變調方式	(林 龜 雄)	二
第一一三九一一號	可視式方向探知機	(安立電氣株式會社)	二
第一一三九二四號	増濾波器の改良	(披 山 平 一)	二
第一一四〇七五號	無線電信に依る印刷通信方式	(逓 信 大 臣)	三
第一一四〇八七號	單一周波による同時送受話方式	(日電々波工業合資會社)	三
第一一四一二〇號	目盛盤装置	(カール・ツエヘンダー)	三
第一一四一三一號	蓄電器型マイクロフォン	(淺田常三郎)	三
第一一四一三九號	變調せる高周波電流に依る送信方式	(獨、ソシエテ・フランセーズ)	四

第一四二一號	潜水艇用棒型空中線	(獨、テレフォン・ゲゼルシャフト)	四
第一四三二號	電視用微光電球	(獨、パウル・キルヒホフ)	四
第一四四〇號	秘密通信装置	(安立電氣株式會社)	五
第一四二五九號	同時管線通信方式	(大高庄右衛門)	五
第一四二七一號	受信機の自動停止装置	(牧野 正民)	五
第一四二八四號	中介フィルム式テレビジョン受像焼付方法	(高柳健次郎)	六

二 月 中

第一四三五八號	空電及混信を感受せざる無線電信電話受信装置	(佐々木 仁)	六
第一四三九九號	高周波變調方式	(阪本 捷房)	六
第一四四八六號	電極を線輪型とせるマグネトロン	(逓信大臣)	六
第一四四八七號	電氣計器	(宮崎 治助)	七
第一四四九八號	二種高周波同時發電装置	(日電々波工業合資會社)	七

三 月 中

第一四六九七號	蓄電器	(芝浦製作所)	七
第一四七二二號	水晶制御送信機の電鍵方式	(逓信大臣)	七
第一四七九三號	外冷陽極型真空管の作動方式	(高岸榮次郎)	八
第一四八一〇號	同一波長同時送受信方式の改良	(伊藤 善夫)	八

第一四九一四號	他勵ヘトログイン檢波方式	(日本無線電信株式會社)	八
---------	--------------	-------	--------------	---

四 月 中

第一四九七三號	波形重疊觀測装置	(横河電機製作所)	九
第一五〇三六號	電視法	(米、ラデオ・コーポレーション)	九
第一五〇四五號	單一波長無線同時送受信方式	(日電々波工業合資會社)	九
第一五〇六〇號	音響記録並に再生用電磁具	(細井 勇)	一〇
第一五〇九五號	超再生檢波雜音除去方法	(海軍大臣)	一〇
第一五〇〇〇號	混信防止方式	(逓信大臣)	一〇
第一五三六二號	寫真電送同期装置	(逓信大臣)	一一
第一五三八二號	極短波用真空管	(岡部金治郎)	一一
第一五三八四號	真空管支持装置	(山中電機株式會社)	一一
第一五四〇一號	實體映像式天然色映畫テレビジョンの受像装置	(濱松高等工業學校長)	一一
第一五四三六號	水晶片保持装置	(山中電機株式會社)	一二
第一五四四六號	同時送受信方式	(澤崎 憲一)	一二
第一五四六六號	陰極線集束方式の改良	(逓信大臣)	一二

五 月 中

第一五六一三號	同心球電極熱電子管による發振器	(林 龍雄)	一三
---------	-----------------	-------	--------	----

第一一五六二九號	放電管	(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)	一三
第一一五七六六號	珐瑯蓄電器	(遞信大臣)	一三
第一一五七七〇號	增幅器結合方式の改良	(遞信大臣)	一三
第一一五八九二號	映寫受像方式	(遞信大臣)	一四
第一一五八九三號	秘密通信方式の改良	(遞信大臣)	一四
第一一五八九五號	航空機等に適する寫真電送受像方式	(遞信大臣)	一四
第一一五八九七號	電磁的印畫現像を利用するテレビジョン又は類似装置	(遞信大臣)	一四
第一一五九五三號	高周波受信装置	(東京電氣株式會社)	一五
第一一五九五六號	音聲制御型發振装置	(東京電氣株式會社)	一五

六 月 中

第一一六〇〇〇號	電波中繼方式の改良	(遞信大臣)	一五
第一一六〇一八號	電子管支持装置	(米、ラヂオ・コロポレーション)	一六
第一一六〇二二號	電子管に於て電子衝擊を受くる螢光膜上に變化強度の光効果を生ぜしむる方法の改良	(ラヂオ・コロポレーション・オブ・アメリカ)	一六
第一一六一一七號	增幅器の結合方式	(遞信大臣)	一六
第一一六〇二六號	電氣機器の鐵心	(上田輝雄)	一六
第一一六一六二號	增幅裝置	(上野亨)	一七
第一一六一六三號	信號整流方式	(日本無線電信株式會社)	一七
第一一六一六六號	マグネトロン裝置	(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)	一七

第一一六一六八號	天然色テレビジョン方式	(谷 さ き)	一七
第一一六一七二號	テレビジョン受信に關するブラウン管	(獨、テレフンケンゲゼルシャフト)	一八
第一一六一九〇號	真空管	(品川電機株式會社)	一八
第一一六一八六號	通信方式	(品川電機株式會社)	一八
第一一六二二九號	雜音防止送話器	(東京無線電機株式會社)	一九
第一一六四〇〇號	受信方式	(品川電機株式會社)	一九
第一一六四〇四號	秘密通信方式	(日本電機株式會社)	一九
第一一六四〇六號	增幅方式	(日本電機株式會社)	一九
第一一六四〇七號	真空管可變蓄電器	(日本電機株式會社)	一九

七 月 中

第一一六四一四號	電磁的微粒子制御方式	(遞信大臣)	二〇
第一一六四六六號	船舶自動警報方式	(福田勝治、福田利明)	二〇
第一一六五七二號	ケルセルの改良	(山本忠興外三氏)	二〇
第一一六五九九號	陰極放射管	(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)	二〇
第一一六五〇六號	酸化物被覆型電子放射體の製造方法	(東京電氣株式會社)	二一
第一一六六一七號	變調電波受信方式	(遞信大臣)	二一
第一一六六五七號	電子流反動作用を利用する放電裝置	(遞信大臣)	二一
第一一六七八三號	週期的衝擊電流發生方式	(遞信大臣)	二一

第一二六七八四號 無線寫真電送又は書畫電送方式……………(逓信大臣)……………三
 第一二六八〇九號 短波長多重整合装置……………(日本無線電信株式會社)……………三

八 月 中

第一二六八八六號 超短波無線装置……………(ラヂオ・コオボレーション・オブ・アメリカ)三
 第一二六八八八號 周波變調装置……………(ラヂオ・コオボレーション・オブ・アメリカ)三
 第一二六九〇三號 陰極線管及類似物に關する改良……………(英、エレクト・エンド・ミュージカル)三
 第一二六九九〇號 中介フィルム式テレビジョン受像焼付方法の改良(高柳健次郎)……………三
 第一二七〇二一號 電子振動發生器の周波數安定装置……………(米、スタンダード・エレクトリック)三
 第一二七〇二六號 無線受信装置の改良……………(日本無線電信株式會社)三
 第一二七〇四二號 無雜音超再生式受信機……………(林 龍 夫)三
 第一二七〇六三號 無線及類似受信機及之と共に使用すべき同調制御装置……………(英、エレクトリック・インダストリス)三
 第一二七〇六七號 秘密電話方式……………(南滿洲鐵道株式會社)三

九 月 中

第一二七一七號 振動式二次電子流増大方式の改良……………(逓信大臣)……………三
 第一二七一四號 電子振動矮小波の強力發振接續……………(米澤高等工業學校長)……………三
 第一二七一三五號 ラヂオ通信用配電盤……………(吉田 清 春)……………三
 第一二七一九號 位相變換装置の改良……………(逓信大臣)……………三

第一二七一九五號 無線路用装置……………(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)……………三
 第一二七一九八號 電波變調装置……………(竹内壽太郎)……………三
 第一二七二〇八號 電波々長計測装置……………(竹内壽太郎)……………三
 第一二七二二五號 二次電子振動發生方式……………(逓信大臣)……………三
 第一二七二五四號 振幅制御搬送波方式……………(東京電氣株式會社)……………三
 第一二七二五五號 陰極線装置……………(東京電氣株式會社)……………三
 第一二七二五六號 テレビジョン同期方式……………(東京電氣株式會社)……………三
 第一二七二七五號 同時周波數變換装置……………(安立電氣株式會社)……………三
 第一二七三二八號 音響再生方式に於ける改良……………(米、エレクトリアル・レサーチ)……………三
 第一二七四二四號 テレビジョン飛越走査用電壓發生装置……………(高柳健次郎)……………三
 第一二七三一五號 變調方式……………(品川電機株式會社)……………三
 第一二七四四五號 マイクロフォン……………(獨、シーメンス・アパラチ)……………三
 第一二七四二五號 周期的衝擊電壓發生器……………(高柳健次郎)……………三
 第一二七四七九號 高漏洩變成器……………(芝浦製作所)……………三
 第一二七四八五號 光 電 管……………(日本電氣株式會社)……………三
 第一二七五二八號 電動機同期方式……………(逓信大臣)……………三
 第一二七五二九號 鋸齒狀波形電壓發生方式の改良……………(逓信大臣)……………三
 第一二七五三二號 多相電氣振動發生方式……………(逓信大臣)……………三
 第一二七五六四號 特に電視用に適するブラウン管……………(獨、ラヂオアタツエンゲゼルシャフト)……………三

第一一七五七七號	オールエープ受信機切換装置	(日本無線電信電話株式会社)	三
第一一七五八一號	高周波電流発生方式	(竹内壽太郎)	三
第一一七五八二號	誘導同期電動機の同期化方式	(三菱電機株式会社)	三
第一一七六〇四號	自動車又は類似車輛用可撓空中線装置	(東京電氣株式会社)	三
第一一七六一〇號	多段振幅装置	(日本電氣株式会社)	三
第一一七六一二號	吸引發振器	(日本電氣株式会社)	三
第一一七六一三號	電流又は電壓振幅伸装置	(日本電氣株式会社)	三
第一一七六一六號	寫真電送方式	(日本電氣株式会社)	三
第一一七六二六號	電波中繼方式	(逓信大臣)	三
第一一七七一四號	雑音計	(日電々波工業合資會社)	三
第一一七八四四號	高速度秘密通信方式	(林龍雄)	三
第一一七九二八號	超短波送信装置	(大高庄右衛門)	三
第一一七九四六號	マグネトロン發振管變調方式	(日本無線電信電話株式会社)	三
第一一七九五二號	高周波發振プッシュアップ變調装置	(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)	三
第一一七九六一號	陰極線装置	(東京電氣株式会社)	三
第一一八〇五五號	選擇性フェーディング防止方式	(逓信大臣)	三
第一一八〇七二號	電解性電器	(芝浦製作所)	三

第一一八二〇一號	多量送受信方式	(日本無線電信株式会社)	三
第一一八二〇二號	無線受信方式	(日本無線電信株式会社)	三
第一一八二三三號	無雑音超再生高周波受信方式	(日電々波工業合資會社)	三
第一一八三二三號	一の所要飛行區間に於て航空機を嚮導する送信装置	(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)	三
第一一八三四九號	可變蓄電器	(東京電氣株式会社)	三
第一一八三五三號	ブラウン管及其類似装置	(東京電氣株式会社)	三
第一一八三五四號	ブラウン管及其類似装置	(東京電氣株式会社)	三

第一一八三九九號	ラヂオ用ダイヤル	(日本蓄音器商會)	三
第一一八四〇二號	重合結晶發電素子型ピツクアップ	(安藤博)	三
第一一八五二三號	テレビジョン畫像分解装置	(無線機産業株式会社)	三
第一一八五八八號	受信装置に對する入力接続方式	(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)	三
第一一八六〇六號	超短波用線輪	(大高庄右衛門)	三
第一一八六四一號	高周波流通導體の遮蔽装置	(瑞西・エミール・フォーベル)	三

實用新案之部

(昭和十一年)

四一九六頁

新案番號

新案名稱

(出願人)

頁

一月 中

第三六號	真空管用ベースの脚金具	(川口 透 登)	四
第四七號	真空管及其類似装置	(東京電氣株式會社)	四
第一二八號	擴聲器連接用可變抵抗器	(増田 敏 雄)	四
第二七六號	短電波發振に於ける波長可變装置	(笹田助三郎)	四
第三四七號	ビツクアツプアーム支持装置	(松下幸之助)	四
第四〇七號	蓄電器	(松尾 正 夫)	四
第四九六號	高抵抗の導線固着部	(松下幸之助)	四
第四九七號	平衡型增幅装置	(安 藤 博)	四
第六二七號	接地導體棒	(網澤蘇平、竹内俊平)	四
第六六八號	指向性空中線装置	(日本電氣株式會社)	四
第六六九號	擴聲器	(安 藤 博)	四
第六七七號	ビツクアツプ	(森田 愷 夫)	四
第六八三號	電氣抵抗器の端子	(理化學研究所)	四

第七〇二號	多極同時切換閉閉器	(早川金屬工業株式會社)	四
第七〇八號	電氣時計附受信機	(二本 柳 純)	四
第七四九號	可變抵抗器	(松下幸之助)	四
第八三九號	押釦閉閉器	(松下幸之助)	四
第一〇〇九號	電子流に依る投像装置	(富士電機製造株式會社)	四
第一〇七八號	走査装置	(日本電氣株式會社)	四
第一〇八四號	感光電極板	(日本電氣株式會社)	四
第一一〇六號	受聽器のコード	(星 野 行 恒)	四

二月 中

第二一三號	挿込栓承	(松下幸之助)	四
第二二五號	柱掛ラヂオ受信機	(三星徳三郎、三星喜一)	四
第二二九號	高聲電話装置	(古宇田新平)	四
第一四五四號	空中線支持柱	(岩淵電氣工業株式會社)	四
第一四五六號	可變蓄電器	(瀧口松五郎)	四
第一六三七號	ラヂオ受信機	(日本トレンジング商會)	四
第一八一〇號	自動利得調制装置	(日本放送協會)	四
第一八二六號	コーン型ダイナミック・スピーカー用振動板	(原 崎 癸 作)	四
第一九〇八號	無線用小型變壓器及小型塞流播線口出線の導出装置	(東京無線電機株式會社)	四

第一九八號	小型變壓器	(河津祐一)	四
第二〇〇二號	可聽變調高周波送信裝置	(沖電氣株式會社)	四
第二〇二二號	陰極線管偏向裝置	(山本彰、高柳健次郎)	四
第二〇五二號	真空管の構造	(品川電機株式會社)	四
第二一〇〇號	ビツクアツプ	(安藤博)	四
第二一九〇號	抵抗減衰器	(安藤電氣株式會社)	四
第二三〇一號	ラヂオ用開閉器	(七尾菊良)	四
第二三八九號	變壓器接續表示裝置	(大阪變壓器株式會社)	四
第二五三三號	ビツクアツプヘッド	(辻慶次郎)	五

三 月 中

第二六九二號	ラヂオ用真空管ソケット	(山田三良)	五
第二七〇四號	光電管を用ひたるビツクアツプ	(北上無線電機商會)	五
第二七九三號	ブリツチメガー兼導體抵抗測定裝置	(前田但)	五
第二八三一號	限時開閉器	(原口太助)	五
第二八四五號	磁氣記錄應用秘密通話裝置	(高岸榮次郎)	五
第二九三一號	ラヂオセツト	(松下幸之助)	五
第三〇九二號	電氣蓄音機	(坂本製作所)	五
第三二一三號	乾電池の端子接續金具	(久保田雄三)	五

第三三五八號	携帶用高周波受信機	(大阪電機工業所)	五
第三四七九號	蓄電器	(松尾正夫)	五
第三四八〇號	ラヂオ用變壓器又は塞流線輪等の電氣線輪	(松下幸之助)	五
第三四八八號	ダイヤル微動廻轉裝置	(井上時藏)	五
第三四九四號	擴聲機	(村上得三)	五
第三五七五號	吹着マイクロフォン	(田邊令吉)	五
第三六一六號	自動開閉器	(山下禮司)	五
第三六四〇號	ラヂオ擴聲器	(島保)	五
第三六三〇號	永久磁石可動線輪高聲機	(安藤博)	五
第三六七三號	交直兩用受信裝置	(宮田繁太郎)	五
第三六九六號	ビツクアツプ其他類似用途用磁極片	(安藤博)	五
第三七四八號	無指向性マイクロフォン	(安藤博)	五
第三七五二號	振動板保護裝置を具へたる受話器	(津守英五郎)	五
第三八二八號	可動鐵片型擴聲機に於ける磁極片	(松下幸之助)	五
第三八六一號	可動線輪型高聲器	(吉田亮三)	五
第三九六八號	空中線負荷線輪保持裝置	(品川電機株式會社)	五
第四〇八六號	ラヂオ受信機用電壓源變壓器の一次線切換裝置	(萩工業貿易株式會社)	五
第四二〇七號	ラヂオ時計	(中尾寛次郎)	五
第四二一八號	ラヂオ用微動ダイヤル	(渡邊金次郎)	五

第四二二一號	發振裝置	(東京電氣株式會社)	五
第四二二二號	ビエゾ電氣抵抗裝置	(米、スタンダード・エレクトリック)	五
第四二二五號	アース用クランプ	(山田三良)	五

四 月 中

第四三〇三號	橋絡型全波整流裝置	(東京電氣株式會社)	五
第四四九五號	外冷式真空管	(東京電氣株式會社)	五
第四五八九號	ラチオ受信機	(柳原勝治)	五
第四六五九號	端子接續箱	(日立製作所)	五
第四七六一號	携帯用ラチオ受信機	(三和電機株式會社)	五
第四七六六號	ビツクアツプ用磁極シュー	(日本無線電信電話株式會社)	五
第五一一四號	電氣抵抗器	(栗原保三)	六
第五一一五號	微動ダイヤル付可變蓄電器	(瀧口喜助)	六
第五一二三號	搬送波制御回路を有する平衡變調裝置	(明昭電機株式會社)	六
第五二二五號	受信機同調音調整表示裝置	(山口兵左衛門)	六
第五二〇九號	真空管支持裝置	(山中電機株式會社)	六
第五四七五號	ブラウン管支持裝置	(安藤博)	六
第五四七六號	ブラウン管支持裝置	(安藤博)	六
第五四七八號	エリミネーター用幅裝置	(加藤貞藏)	六

第五五七八號	ラチオ受信機	(岡本勝治)	六
第五七四六號	絶縁輪	(飯田定雄)	六
第五七五四號	ラチオ用目盛支持裝置	(渡邊金次郎)	六
第五七五五號	高周波用變成器	(徳永勳)	六
第五七五六號	高周波變成器	(徳永勳)	六

五 月 中

第五八四三號	妨害波電波除去裝置	(津守英五郎)	六
第五八四四號	真空管の電極位置保持絶縁板の支持裝置	(安田一郎)	六
第五八八二號	ラチオ受信機再生過度防止裝置	(井原廣治)	六
第五九三〇號	携帯用ラチオ受信機併用電氣蓄音機	(岡田清一)	六
第六一九五號	小型電氣器容器	(坂本製作所)	六
第六一九六號	硝子材を用ふる高抵抗器	(後藤鐵太郎)	六
第六三〇〇號	ビエゾ電氣振動裝置	(沼倉秀穂、三浦喜三郎)	六
第六三八七號	光電流増幅裝置	(日立製作所)	六
第六五六八號	バーニア、ダイヤル	(山口兵左衛門)	六
第六七三六號	音量調節裝置	(松下幸之助)	六
第六八二四號	珉瑯抵抗器	(狐崎武夫)	六
第六八二九號	ラチオ時計	(富田次郎)	六

第六八三〇號	高周波受信機	(原口兼貞)	六
第六八三九號	ビツクアツプ	(早川徳次)	六
第七一九二號	携帯用受信機の電源部	(三和電機株式会社)	六
第七三六九號	タップ切換装置	(明電社)	六
第七四七〇號	ビツクアツプ	(松下幸之助)	六
第七四六一號	ラヂオ用ダイアル	(早川金屬工業研究所)	六
第七四六二號	ラヂオ部分品取付装置	(宮田喜之助)	六

六 月 中

第七五四〇號	ラヂオ用筒状蓄電器	(松下幸之助)	六
第七五五七號	ラヂオ用自動開閉器	(三和電機株式会社)	六
第七七三九號	高忠實度低周波擴大装置	(安藤博)	六
第七八二三號	高周波装置	(東京電氣株式会社)	六
第七九〇六號	可變蓄電器	(河津無線研究所)	六
第七九一一號	ポータブルセット	(木村一二郎)	六
第七九一二號	無妨害受信装置	(大西立二)	六
第八〇〇六號	再生式受信装置の空中線線輪	(松下幸之助)	六
第八〇〇七號	ラヂオ受信機	(高田電池株式会社)	六
第八〇〇八號	真空管電極支持器	(品川電機株式会社)	六

號八〇九五號	ラヂオ部分品容器	(宮田喜之助)	六
第八〇九六號	ラヂオ用配線盤	(山下義雄)	六
第八四五八號	擴聲機の振動板調節装置	(高橋彌太郎外二氏)	六
第八六一九號	ネオン燈による絶縁抵抗試験器	(鶴崎茂)	六
第八六二三號	真空管	(東京電氣株式会社)	六
第八六二四號	電子放射用電極	(宮田繁太郎)	六
第八六二五號	多極真空管	(米、インターナショナル・スタンダード)	六
第八六二六號	電波波長指示筒	(植村泰三)	六
第八七〇二號	ラヂオ自動聴取装置	(早戸圓次郎)	七
第八七三〇號	音針支持装置	(中原竹夫)	七
第八九〇〇號	複合真空管	(神奈川電氣株式会社)	七
第九二七〇號	光電管	(日本電氣株式会社)	七

七 月 中

第九三五二號	携帯用ラヂオ受信機の乾電池容器	(久保田雄三)	七
第九五二五號	漏洩變壓器	(東京電氣株式会社)	七
第九五三五號	ポータブルラヂオ、セット	(河合寅次郎、鈴木與平)	七
第九五三六號	ラヂオ用微動ダイアル	(大阪變壓器株式会社)	七
第九七九九號	遠方操作式断路器鎖錠装置	(日立製作所)	七

第九八〇六號	多孔リボン狀織條	(望月兼太郎)	七三
第九九八一號	可變調高周波送信裝置	(沖電氣株式會社)	七三
第九九八二號	真空管用ソケット	(日本無線電信電話株式會社)	七三
第一〇〇七九號	微動ダイヤル	(戸塚勝三)	七三
第一〇一六七號	交直兩用受信裝置	(品川電機株式會社)	七三
第一〇四四〇號	ビツクアツプ	(安藤博)	七三
第一〇三四四號	ラチオ用豫選調整裝置	(横田元)	七三
第一〇六一四號	脱出を防止せる真空管の脚	(三輪宏)	七三
第一〇六一五號	放電裝置用グリッド	(川西機械製作所)	七三
第一〇七九四號	マジックスピーカー	(津賀根國治郎外二氏)	七三
第一〇七九五號	電氣蓄音機に於る配線裝置枠	(日本蓄音器商會)	七三
第一〇七九六號	ベークライト製ラチオ受信機筐	(宮田喜之助)	七三
第一〇七九七號	ラチオ自動閉閉裝置	(三和電氣株式會社)	七三
第一〇七九八號	ラチオ部分品の配線裝置	(宮田喜之助)	七三
第一〇九六四號	再生式受信裝置	(松下幸之助)	七三
第一〇九六五號	真空管	(昭田秀吉)	七三
第一〇九八〇號	ビエゾ・ビツクアツプ作動裝置	(安藤博)	七三
第一〇九五五號	自動閉閉器	(西澤弘治)	七三
第一〇六四號	時限閉閉器表示部兼用ラチオ・ダイヤル	(梅田薩郎)	七三

八 月 中

第一一三三二號	真空管の陰極	(宮田繁太郎)	七六
第一一四二九號	ビエゾ電氣素子	(安藤博)	七六
第一一四三〇號	壓電氣ビツクアツプ	(安藤博)	七六
第一一五一三號	ラチオ受信機と音聲擴大との切換裝置	(七歐無線電氣商會)	七六
第一一五二〇號	ビツクアツプ用接極子	(齋藤常次)	七六
第一一六〇三號	真空管	(川口通登)	七六
第一一六九二號	磁氣應用遅延裝置	(高岸榮次郎)	七六
第一一六九三號	熱電子管加熱指示裝置	(高岸榮次郎)	七六
第一一七八五號	擴聲器	(河津無線研究所)	七六
第一一七八八號	スーパーヘテロダイン受信裝置	(東洋無線電信電話株式會社)	七六
第一一八六五號	發振制御裝置	(品川電機株式會社)	七六
第一一八六六號	無線用卷芯	(久保田雄三)	七六
第一二〇五〇號	微動可變裝置	(宮下音彦)	七六
第一二二三三號	可變蓄電器	(大西立二)	七六
第一二二二八號	高聲器	(原崎癸作)	七六
第一二二三〇號	負性饋還型增幅裝置	(米、スタンダード・エレクトロニクス)	七六
第一二二三三號	携帯用ラチオ兼電氣蓄音機	(原崎癸作)	七六

第一三三二四號	ラヂオ受信機	(宮田喜之助)	六
第一三三二五號	ラヂオ受信機	(宮田喜之助)	六
第一三三二六號	増幅装置	(上野 亨)	五
第一三三三〇號	音響再生装置	(中西保次郎)	六
第一二五〇〇號	真空管端子用クリップ	(三陽社製作所)	六

九 月 中

第一二五九六號	ポータブル、ラヂオ、セツト	(河合寅次郎、鈴木與平)	六
第一二七七六號	ラヂオ受信機	(小野 寶市)	六
第一二七七七號	ラヂオ受信機	(日本トレイディング商會)	六
第一二八六六號	擴 聲 器	(早川金屬工業株式會社)	六
第一二九九三號	立型押釦杆スイッチ	(早川 造 雄)	六
第一三〇三八號	可動鐵片型擴聲機	(松下幸之助)	六
第一三〇四六號	真空管の電極指示構體	(日本石英工業株式會社)	六
第一三一三八號	可動線輪型受信機	(島津製作所)	六
第一三四〇七號	携帯用エリミネーター受信機	(鳥 羽 清)	六
第一三四〇八號	發振器接續變更裝置	(安立電氣株式會社)	六
第一三四九六號	電氣閉閉器	(徳 永 勳)	六
第一三四九八號	真 空 管	(宮田繁太郎)	六

第一三四九九號	真空管陰極	(品川電機株式會社)	六
第一三六三六號	周邊付振動機	(安 藤 博)	六

十 月 中

第一三七五九號	ブラウン管裝備匣の構造	(品川電機株式會社)	六
第一三七六〇號	無漏洩磁束インダクタンス線輪	(逓 信 大 臣)	六
第一三九五〇號	空氣乾電池	(古河電氣工業株式會社)	六
第一四〇三九號	インダクタンス線輪のインダクタンスの變化補償裝置	(東京電氣株式會社)	六
第一四一一一號	ラヂオ用抵抗體	(水 野 武)	六
第一四三〇五號	半固定式加減蓄電器	(七 尾 菊 良)	六
第一四三〇七號	受 話 器	(齋 藤 常 次)	六
第一四三〇八號	ラヂオ受信機を利用せる高聲電話裝置	(古 宇 田 新 平)	六
第一四四八六號	ラヂオ受信機	(大阪變壓器株式會社)	六
第一四五六七號	可變蓄電器	(大西立二、瀧口松五郎)	六
第一四五六九號	陰極線管波形觀察裝置	(濱松高等工業學校長)	六
第一四五七一號	音叉發振器	(日本電氣株式會社)	六
第一四七五四號	携帯用ラヂオ兼電氣蓄音機	(原 崎 發 作)	六
第一四七五五號	ラヂオ受信機	(宮田喜之助)	六
第一四七五六號	ラヂオ受信機	(宮田喜之助)	六

第一四七五七號 ラチオ用配線盤……………(山下義雄)……………六

十一月 中

第一五二〇六號 可動線輪型擴聲機……………(沖電氣株式會社)……………六
 第一五三七六號 電氣開閉器……………(日本電子工業株式會社)……………六
 第一五五六四號 油膜式可變蓄電器……………(長野元博)……………六
 第一五五六六號 自動發振器の結合卷線裝置……………(三陽社製作所)……………六
 第一五六四三號 接地用地中導電裝置……………(太田和夫)……………六
 第一五六五三號 カーボン・マイクロフォン……………(松下幸之助)……………六
 第一五六五四號 磁歪現象を利用するマイクロフォン……………(安宅商會)……………六
 第一五六五五號 端子函の絕緣座……………(岡運平)……………六
 第一五九八八號 擴聲機……………(早川金屬工業株式會社)……………六
 第一六〇〇一號 携帶用送信機……………(久保田雄三)……………六
 第一六〇〇三號 壓電氣發振器……………(昭和電機株式會社)……………六
 第一六〇〇二號 ラチオ受信機……………(日本トレイデング商會)……………六
 第一六〇〇四號 マグネトロン……………(獨、テレフンケン・ゲゼルシャフト)……………六
 第一六〇〇五號 エリミネーター用増幅裝置……………(加藤貞藏)……………六
 第一六一七九號 酸化銅整流器……………(日本トレイデング商會)……………六
 第一六一八七號 ラチオ受信機……………(長谷川繁春)……………六

第一六一八八號 高周波受信機匣……………(山田三良)……………六
 第一六二八四號 テレビジョン方式に於て附加的の文字又は畫面を現出せしむる裝置……………(高柳健次郎)……………六

十二月 中

第一六五五五號 テレビジョン送信裝置……………(安藤博)……………六
 第一六六二七號 可變蓄電器……………(早川金屬工業株式會社)……………六
 第一六八二三號 騒音分離マイクロフォン……………(加藤享)……………六
 第一六八二四號 コーン型擴聲機……………(柴山守一)……………六
 第一七〇八一號 時計利用ラチオスイッチ……………(森谷猶一郎)……………六
 第一七〇八四號 電信用音響器……………(金屬材料研究所長)……………六
 第一七一七三號 時限式自動電氣開閉器……………(青木茂)……………六
 第一七一七六號 ラチオ・セツト用の容器……………(中村茂治)……………六
 第一七一七七號 無妨害檢波管附屬匣……………(品川電機株式會社)……………六
 第一七一七八號 ラチオ受信機に於けるチャック取付裝置……………(早川金屬工業株式會社)……………六
 第一七一八〇號 ラチオ受信器に於けるダイヤル照明裝置……………(早川金屬工業株式會社)……………六
 第一七一八二號 ラチオ受信機に於ける直流摺動式ダイヤル……………(早川金屬工業株式會社)……………六
 第一七三六〇號 豆開閉器……………(川口通登)……………六
 第一七四五一號 電氣開閉器……………(神保達)……………六

參考篇 出願心得……………九七一二〇

昭和十二年版

無線特許年鑑

無線タイムス社編

特許之部

(自昭和十一年十二月)

一月

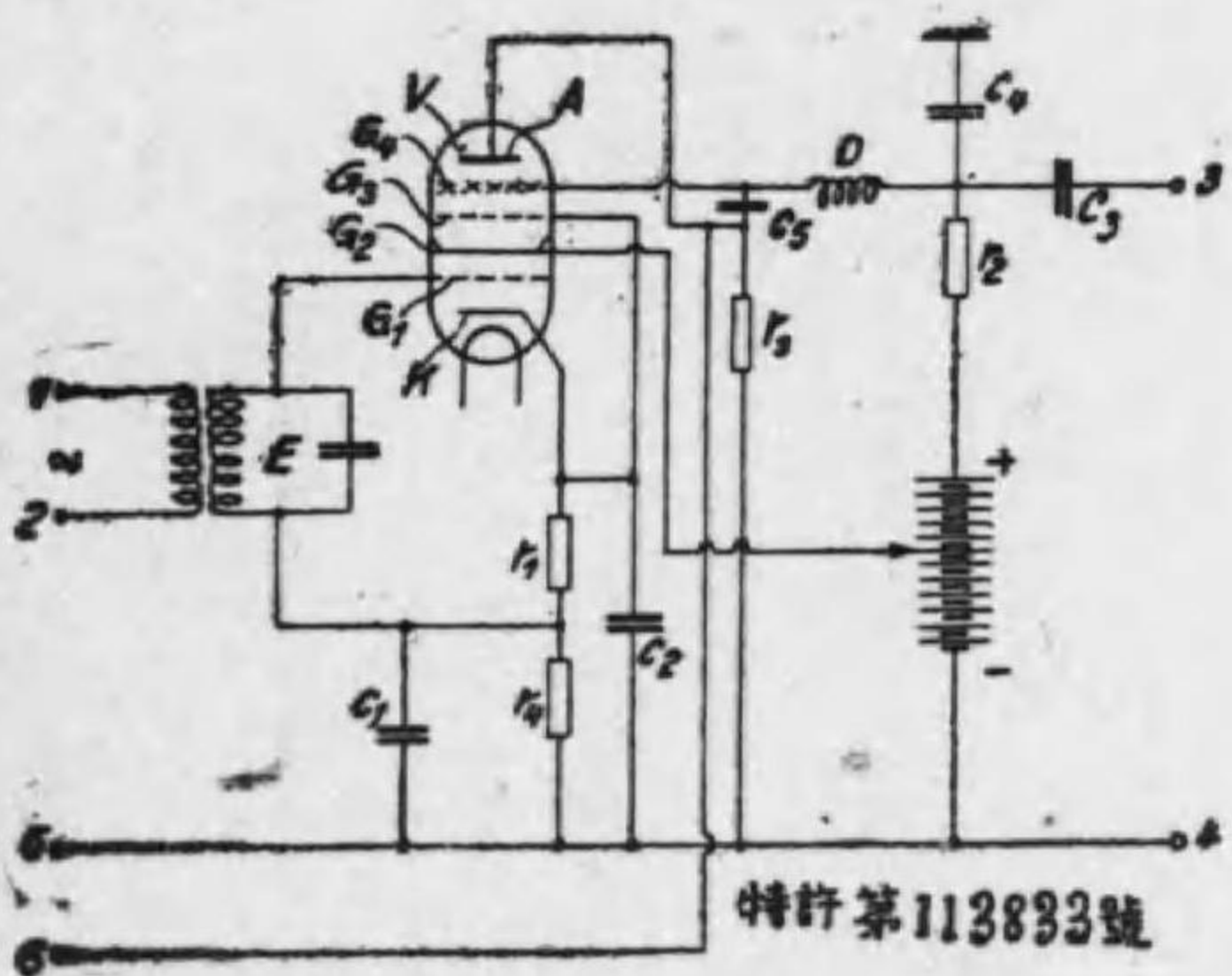
自動音量制御装置を有する受信方式

特許第 一三三八三三號
 昭和十一年一月六日
 發明者 獨逸柏林ユース・グザルキト・廿一ハ
 レッセス・ワトフ・エルネー・十三
 カール・スタイメル
 同 右 エルンスト・クロツワ

特許權者 同 右
 テレフンケン・ゲゼルシャフト・フ
 ニール・ドラトロローゼレグラフイ
 一・ミット・ベシユレンクテル・ハ
 フツング

一つの真空管に於て低周波發生の目的たる複調及高周波の増幅が同時に行は

れ、該増幅せられたる高周波が自動音量制御用電流區品に導入せらる可くなしたるを特徴とす。



唸周波數發振器

特許第 一三三八四九號

昭和十一年一月六日

發明者 東京市世田谷區世田谷一ノ一九一四

高村 悟

特許權者 豐町區日比谷公園二

社団法人日本放送協會

同心的に配置せられたる三個又は三個以上の補助電極を具備する單個の多極真空管を使用しダイナトロン發振と反結合發振上を同時に成立せしむる様接続し前記多極真空管の陽極回路より唸周波出力を導出すべくせるものなり。

無線電信電話同

時送受方式

特許第 一三三八七號

許 可 昭和十一年一月八日
發明者 東京市渋谷區千駄谷三ノ五四九
千葉 動

特許權者 東京市芝區西廳寺町五三
津守英五郎

常時發振し居る二種の發振器よりの發振出力を合成し、其の各出力の周波數の和又は差の周波數を通信周波として發生する通信周波電流發生裝置並に送信又は送話電流により作動せらるゝ扁位電壓發生器を使用し該扁位電壓發生器の作動及非作動に應じて前記通信周波數發生裝置並に受信或は受話裝置をして夫々其動作並に非動作の位置に交互に變位せしむべくなしたる事の特徴とするものなり。

蓄電器

特 許 第一三九五九號
許 可 昭和十一年一月六日
發明者 獨逸柏林市
ワルテル・ドイスマン
特許權者 同國同市
シーメンス・ゲーゼルシャフト
金屬層が誘電板の兩面に互に錯位して

設けられ該錯位部分に於て蓄電器を千鳥型に貫通する接續電極に導電的に結合せられたる事の特徴とするものなり

マグネトロン振動

變調方式

特 許 第一三〇二號

許 可 昭和十一年一月十日
發明者 大阪市北區三島四ノ八
特許權者 大阪府大生郡 部物理教室内
林 龜雄

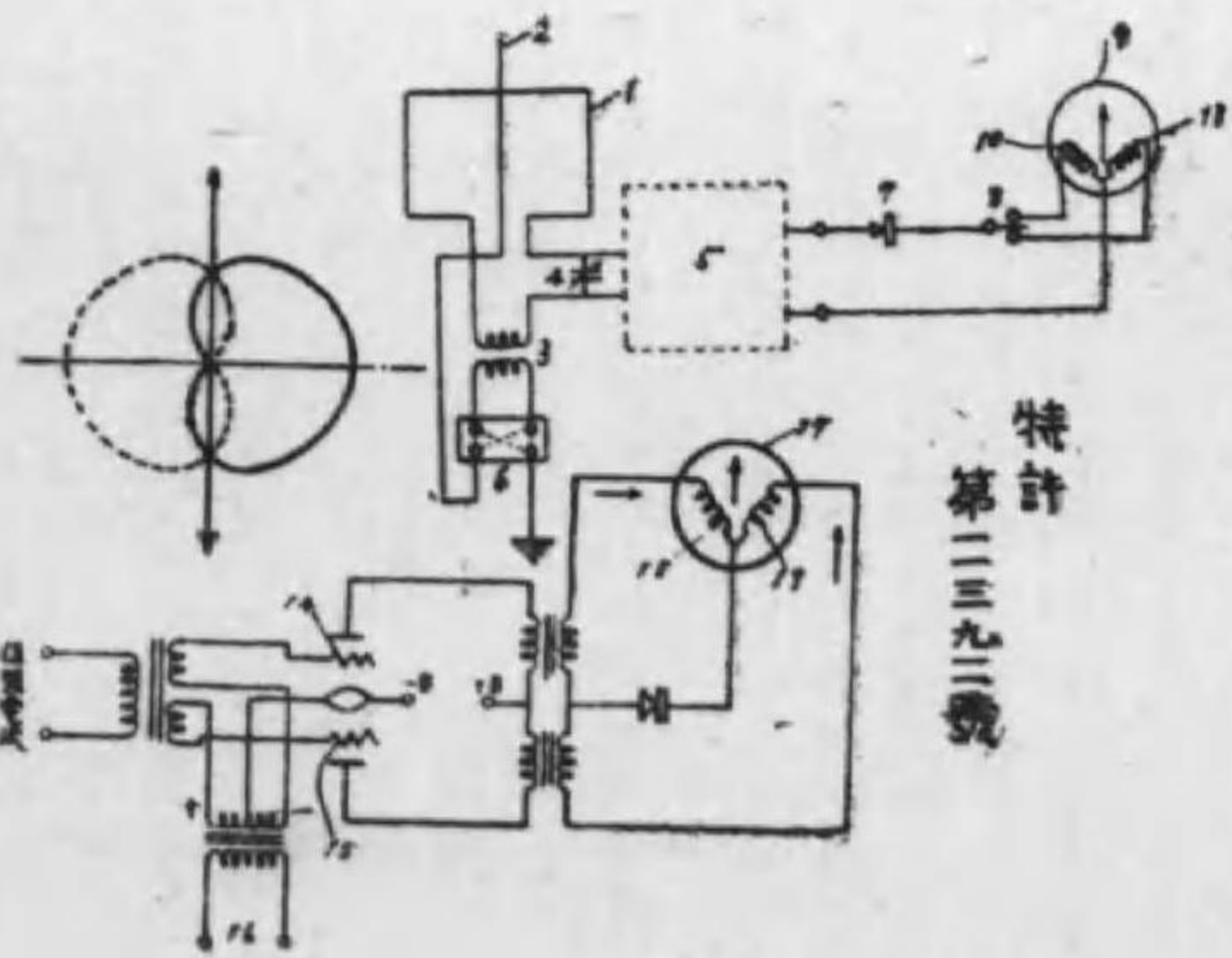
振動陽極に多數の穴を開けその外部に變調電極を置き該電極と織條との間に變調電壓を供給するを特徴とす。

可視式方向探知機

特 許 第一三九二號

許 可 昭和十一年一月十日
發明者 東京市麻布區三河壘町一三
高岸榮次郎
發明者 同 區本村町一二二
磯 英治
特許權者 同 區富十町三九
安立電氣株式會社

一個の粹型中線と一個の垂直空中中線とを用ひ該垂直空中中線の極を交互に轉換せしめて得る二種の受信起電力の相等しき點を差示檢流計により求め以て電波到來方向を決定すべくなしたる可視式方向探知機なり。



増濾波器の改良

特 許 第一三九二四號
許 可 昭和十一年一月十日
特許權者 發明者 仙臺市禰寺通十六
披山平一

真空管の出力回路に適當の濾波器を接続し該濾波器送電網の一部より抑制電壓を導出すると共に濾波器出力の一部を整流して整流電壓を導出すべくし前記抑制電壓と整流電壓とを重疊して前記真空管の入力回路に饋還せしむべく接続したるものなり。

無線電信に依る

印刷通信方式

特 許 第一四〇七五號
許 可 昭和十一年一月二十一日
發明者 千葉縣千葉郡櫻見川中道二一六
菊谷秀雄

同 杉山友勝
同 通信大臣
特許權者
送信分配器を用ひ送信すべき組合文字符號を記録條件に應じて周波數の異なる六個の低周波電流の組合せとなし此等の電流と更に受信局印字裝置を起動せ

しむべき一個の他の周波數を有する低周波電流とを以て搬送波を變調したる電波を發射し該電波を受信するに檢波後に於て帶域濾波器を用ひて周波數の異なる電流を夫々分離し且此等の電流を相對應する印刷電信裝置の六個の選出電磁石と一個の起動電磁石とに分配して所要文字符號の組合せを再現せしめんとするものなり。

單一周波による同

時送受話方式

特 許 第一四〇八七號
許 可 昭和十一年一月二十一日
發明者 仙臺市小田原清水通り五
日電々波工業會社
菱沼益男

同 市同町
同 日電々波工業會社
特許權者
送話増幅裝置と送受信波檢波裝置との間に單一空中線を有する單一高周波振動回路と變調増幅並に超再生用局部振動發生の兩作用を兼ねたる自動送受制御裝置とよりなる中間送受裝置を介

在せしめ平常全裝置をして超再生受信状態に保ち置き自己の送信時に於て自動的に上記受信状態を破壊し新に送信状態を構成し得べくなしたるものなり

目盛盤裝置

特 許 第一四二〇〇號
許 可 昭和十一年一月二十三日
發明者 獨逸ベルリン市
ハンス・ムンシユ

特許權者 東京市赤坂區溜池町一五
イリス商會内カール・ツエヘンダー
磁性金屬球より成り特許の管内を又は共通壁に在る溝内を誘導し得べくなれる一個又は多數の指示すべき素子の位置の變化を一個又は多數の磁石系の磁氣的影響の變化に依り強制的に行はんとするものなり。

蓄電器型マイクロ

フォン

特 許 第一四三三三號
許 可 昭和十一年一月二十三日

特許権者、發明者 兵庫縣武庫郡瀬道村打出久保一香地

淺田常三郎
彈性率大にして極めて薄き層となし得る絶縁體例へば雲母板の如きものを振動板として使用し其内側には銀鍍金又はスパッタリング、或は金屬昇華により薄き金屬性被膜の電導體を施してなる蓄電器型マイクrohonに係るものなり。

變調せる高周波電流に依る送信方式

特許 第一四二九九號
特可 昭和十一年一月二十三日
發明者 佛國パリ市ブルバードハウスマン 七九

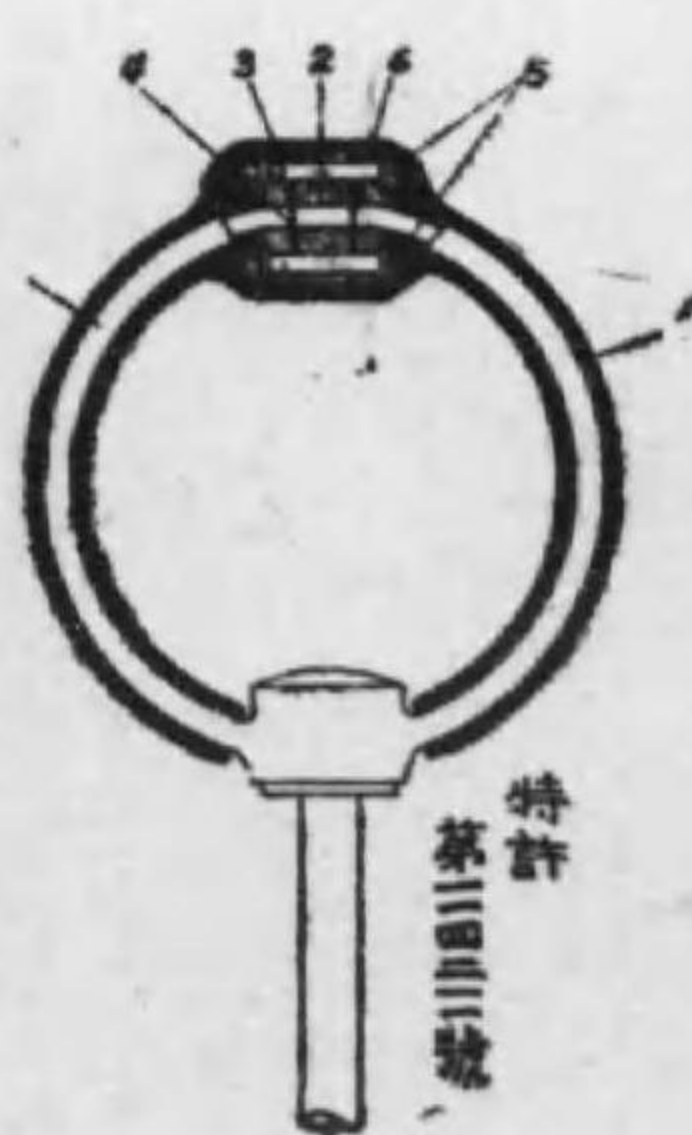
アンリ・シレイ
特許権者 右 同
ソシエテ・フランセーズ・ラヂオ・エレクトリック
略々一定の振幅を有し變調が反對方向になされたる位相變調せられたる電流を通過せしむる二つの異なる回路より

なり此等電流の各々の増幅装置は各回路を共通負荷回路と夫々結合せしむる二つの振動出力回路よりなり此等振動回路の一方は搬送周波數以上に他方は搬送周波數以下に同調せしめて搬送周波に對し非同調ならしめ而も最終増幅階梯の入力回路に於て夫々の出力振動回路に對しては逆の關係にて搬送周波に對し非同調ならしめ且該入力回路を共通負荷路の負荷と逆比して負荷せしむるを特徴とするものなり

潜水艇用粹型空中線

特許 第一四二二二號
特可 昭和十一年一月二十八日
發明者 獨國ベルリン市

アウグスト・ライプ
特許権者 右 同
テレフンケン・ゲゼルシャフト
一箇所又は多數箇所に於て絶縁的により電氣的に分離せられたる空中線保護用粹型金屬管に於て該分離箇所に並に



特許 第一四二二三號
電視用微光電球

該分離箇所に連接する金屬保護管の外部を共に或る絶縁層により被覆せしめたるを特徴とするものなり。

特許 第一四二二三號
特可 昭和十一年一月二十八日



特許 第一四二二三號

特許権者、發明者 獨國フランクフルト・アム・マインパウル・キルヒホフ
分光ドラムを硝子球内に廻轉し得る如く装置したることを特徴とする微光電球なり。

秘密通信裝置

特許 第一四二四〇號
特可 昭和十一年一月二十八日
發明者 東京市麻布區三河邊町一三
高岸榮次郎
特許権者 麻布區富士見町三九
安立電氣株式會社

信號波を周期的に區分して交互に強弱の變化を與へ弱部に可聴周波電流を重畳せしめて該部の合成強度を殘部と略等しからめたるものなり。

同時管線通信方式

特許 第一四二五九號
特可 昭和十一年一月三十一日
特許権者、發明者 米澤市七軒町三七二
大高 庄右衛門
同一真空管をして超高周波及超可聴周波の二重發振を營ましめ超可聴周波に

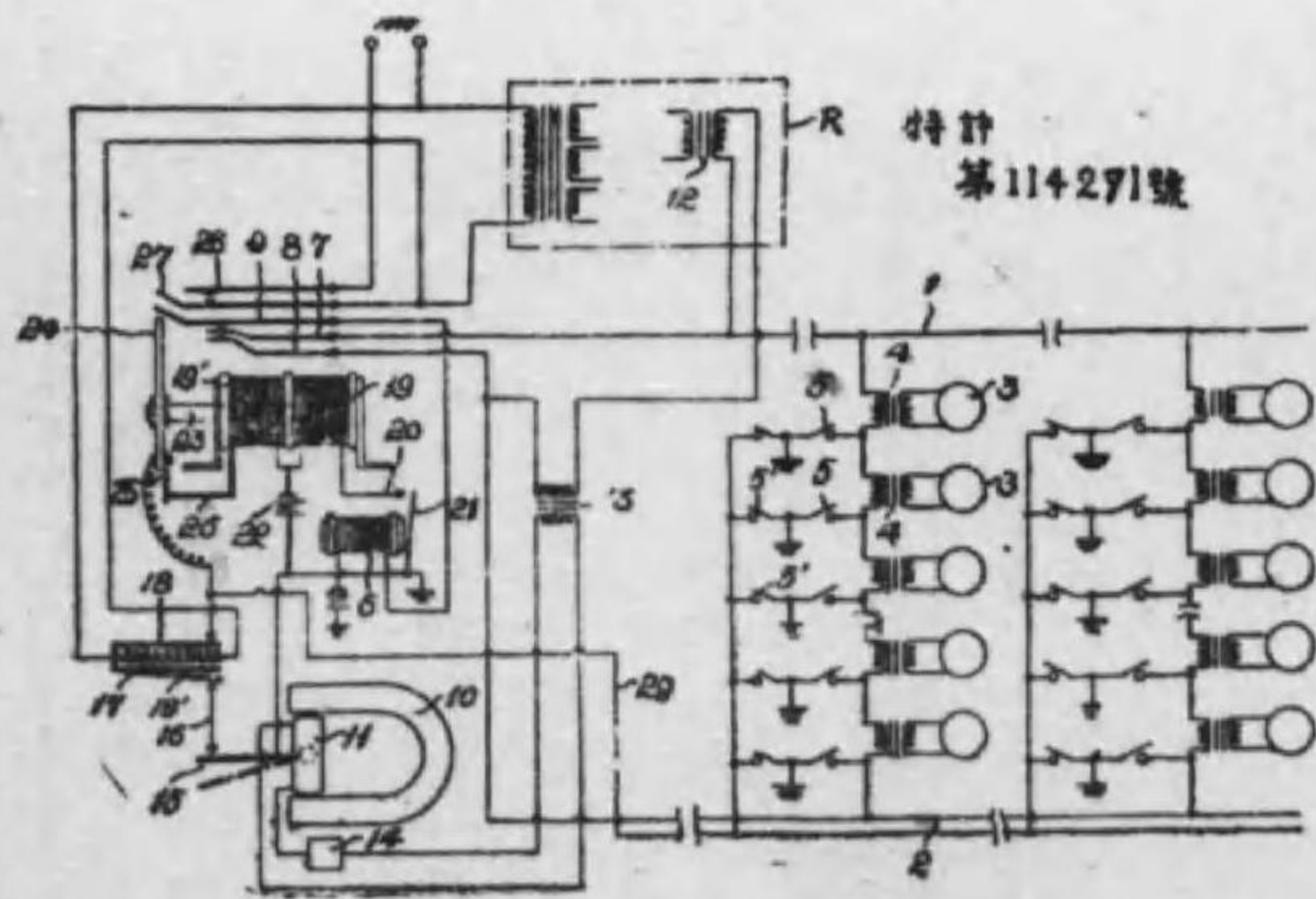
依り超高周波發振を斷続せしむべくし超可聴周波回路にはインピーダンス要素を挿入して該周波數を調整することにより、通信すべき兩裝置を同期化せしめんとするものなり。

受信機の自動停止裝置

特許 第一四二七二號
特可 昭和十一年一月三十一日
特許権者、發明者 東京市小石川區新小川町二ノ一〇同潤會アパート五號
岩下 章一
特許権者 東京市芝區伊皿子町二三
牧野 正民

出力電流の作用を受け偏倚する接觸片を有するムービング、コイルと線輪の加熱により該線輪に覆蓋したる閉閉板を偏歪して電路を閉閉する裝置と擴聲器に附屬せる押卸閉閉器の壓下により受信器に具へたる繼電器を作動して受信器の電源を閉閉し且前記ムービング・コイルの接觸片と上記閉閉板とが接合したる際電源を開放する電磁裝置と

より成り電源を閉合して受信機を作動したる際上記ムービング・コイルの接觸片の受信機出力の有無に應ずる作動と閉閉板の加熱による作動上の協働により前記電磁裝置の電源開放作用を制御すべくしたるものなり。



中介フィルム式テ

レビジョン受像焼

付方法

特許 第一二四二八四號
 特許 可 昭和十一年一月三十一日
 特許権者、發明者 濱松市廣澤町三六三 高柳健次郎

陰極線管の螢光板上の像を管外のフィルムに焼付くる様装置し前記螢光板上に高速度走査に應じて順次畫像を映出せしめつゝ任意所定の時間中前記畫像をフィルムに對し次に一定速度期間に相當する時間中フィルムを露出する操作を反覆し前記フィルム上に連續的に露出感光せしめるものなり。

二月

空電及混信を感受せざる無線電信電

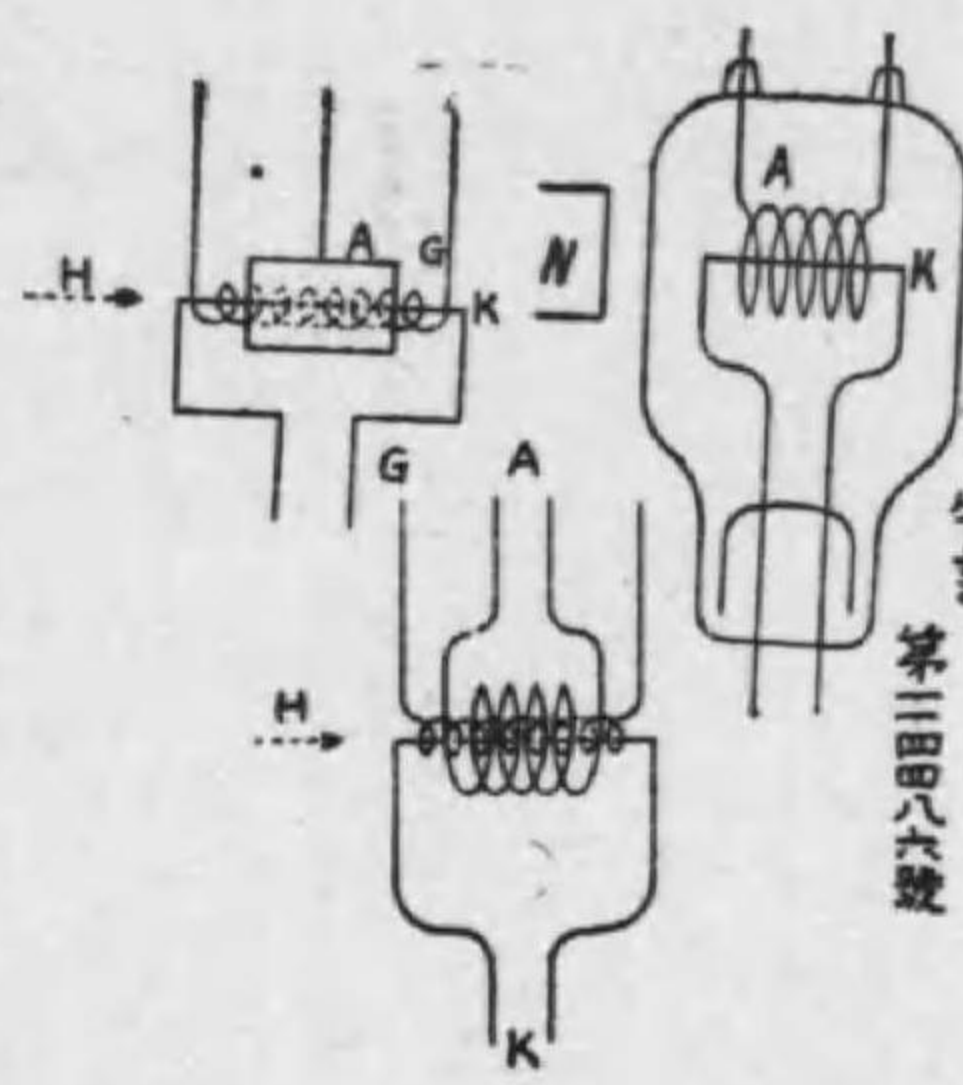
特許 第一二四三五八號
 特許 可 昭和十一年二月十日
 特許権者、發明者 朝鮮京城府光化門通八〇朝 鮮興實府通信局内 佐々木 仁

指向式又は無指向式無線電信電話器受信系と、廻轉式棒形空中線を有し空電其の他の雜音電流を導入する爲の指向式受信系とを各其の音聲周波變壓器の二次線が直列となるやう結合し尙之等兩受信系の内其の何れか一方の可聴周波回路に於て極性轉換器及總ての音聲周波に對して等しき遅流時間と與ふるが如き可變式遅流回路を挿入し以つて他の一方の受信系より流出する總ての可聴周波電流に對し皆一様に相差百八十度を保たしむる如く電流の遅延時間を簡單容易に調整し得べからしめ且つ兩受信系に於ける妨害電流の振幅を相等しからむるやう調節することに依り兩受信器の結合回路中に於ける電流のオツシログラム中より妨害電流を相殺

話受信装置

特許 第一二四四九八號
 特許 可 昭和十一年二月十七日

輪形に作り其の電極内を流れる電流を以て直に管内を流れる電子流を制御せんとする電極を線輪型とせるマグネロンに關す。



電氣計器

特許 第一二四四八七號
 特許 可 昭和十一年二月十七日
 特許権者、發明者 東京市淀橋區柏木一ノ一六 宮崎治助

一 二個の電磁誘導線輪と任意インピーダンスとを以てブリツヂの四腕を形成し誘導線輪の相互接続點を含むブリツヂ

の角點間に可動線輪を挿入し該可動線輪を聯動的に指針に關係せしめ可動線輪を交流磁場内に置きて可動線輪を通ずる電流と磁場との相互作用により前記可動的に廻轉せしむるものなり。

二種高周波同時發電裝置

特許 第一二四四九八號
 特許 可 昭和十一年二月十七日

發振裝置に於ける陽極及格子極の同調回路と真空管との間に接続する各接続導線を電磁的に結合して上記同調回路により定まる推助電の他に超短波の寄生的振動を發生するに適應せしめ同調回路に含む同調線輪を該超短波振動を側路し得る程度のものたらしめたるものなり。

三月

せしむる如くなしたることを特徴とす

高周波變調方式

特許 第一二四三五九號
 特許 可 昭和十一年二月十日
 特許権者、發明者 東京市小石川區宮下町四 坂本捷房

發振用真空管と並別に變調用真空管を接続し共通の電源より電流を供給する定電流高周波變調方式に於て電源と直前に飽和せる真空管を接続しその飽和現象を利用するを特徴とするものなり

電極を線輪型とせるマグネトロン

特許 第一二四四八六號
 特許 可 昭和十一年一月十七日

二ツ以上の同心電極を有するマグネトロンに於て陰極ならざる他の電極を線

蓄電器

特許 第一二四六九七號
 特許 可 昭和十一年三月九日
 發明者 米國マサチューセツツ州 フランク・エム・クラーク

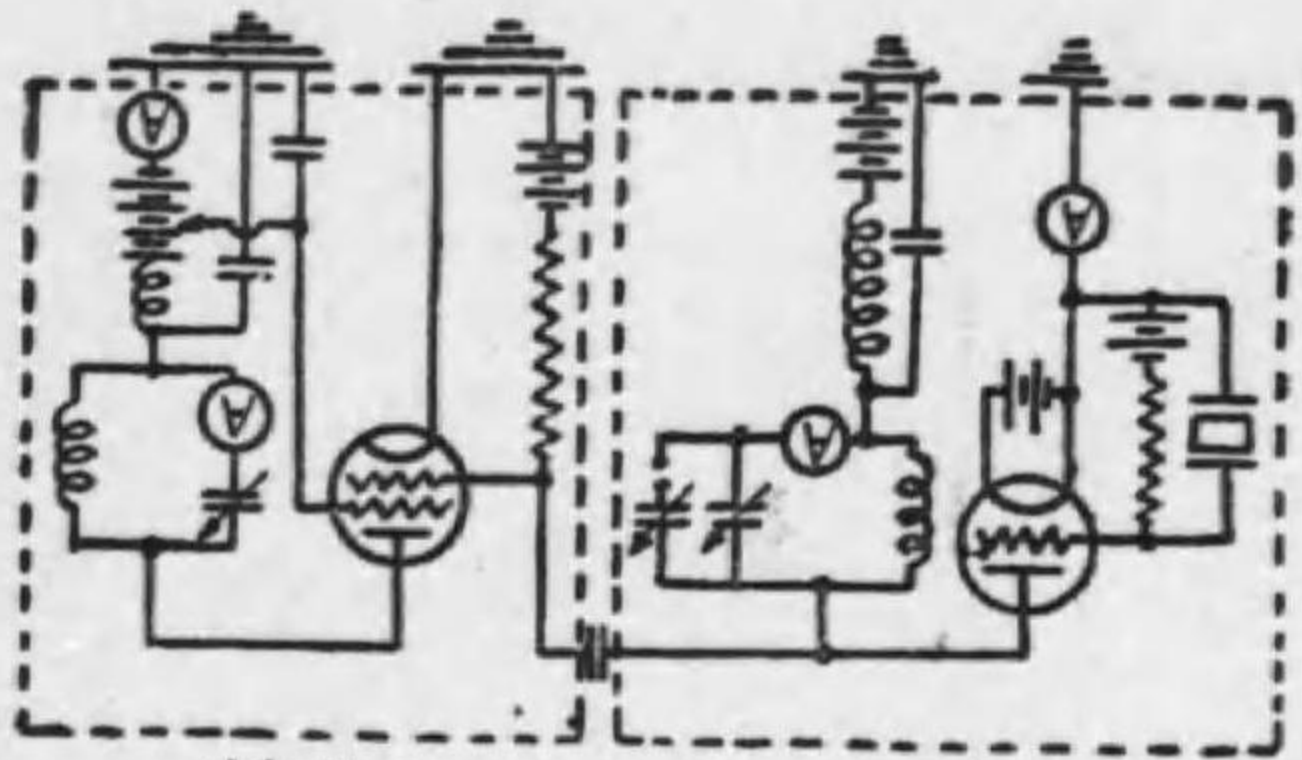
並置せる蓄電器電極と該電極と接觸する多價アルコール及イオン化物質よりなる略ホ無水液體と前記電極間に介在する略ホ無氣孔絶緣物の隔膜より成る蓄電器なり。

水晶制御送信機の電鍵方式

特許 第一二四七三三號
 特許 可 昭和十一年三月十三日

發明者 東京市大森區馬込西四ノ三六九 晶山孝吉
 同 東京市目黒區洗足町二二九三 一
 同 東京市中原區戸越八二〇 松本方 小柳又雄

特許権者 遠信大臣
電鍵操作に當り水晶發振回路のブレイト蓄電器又はインダクタンスの一部分を該回路に對して斷續せしむることを特徴とするものなり。

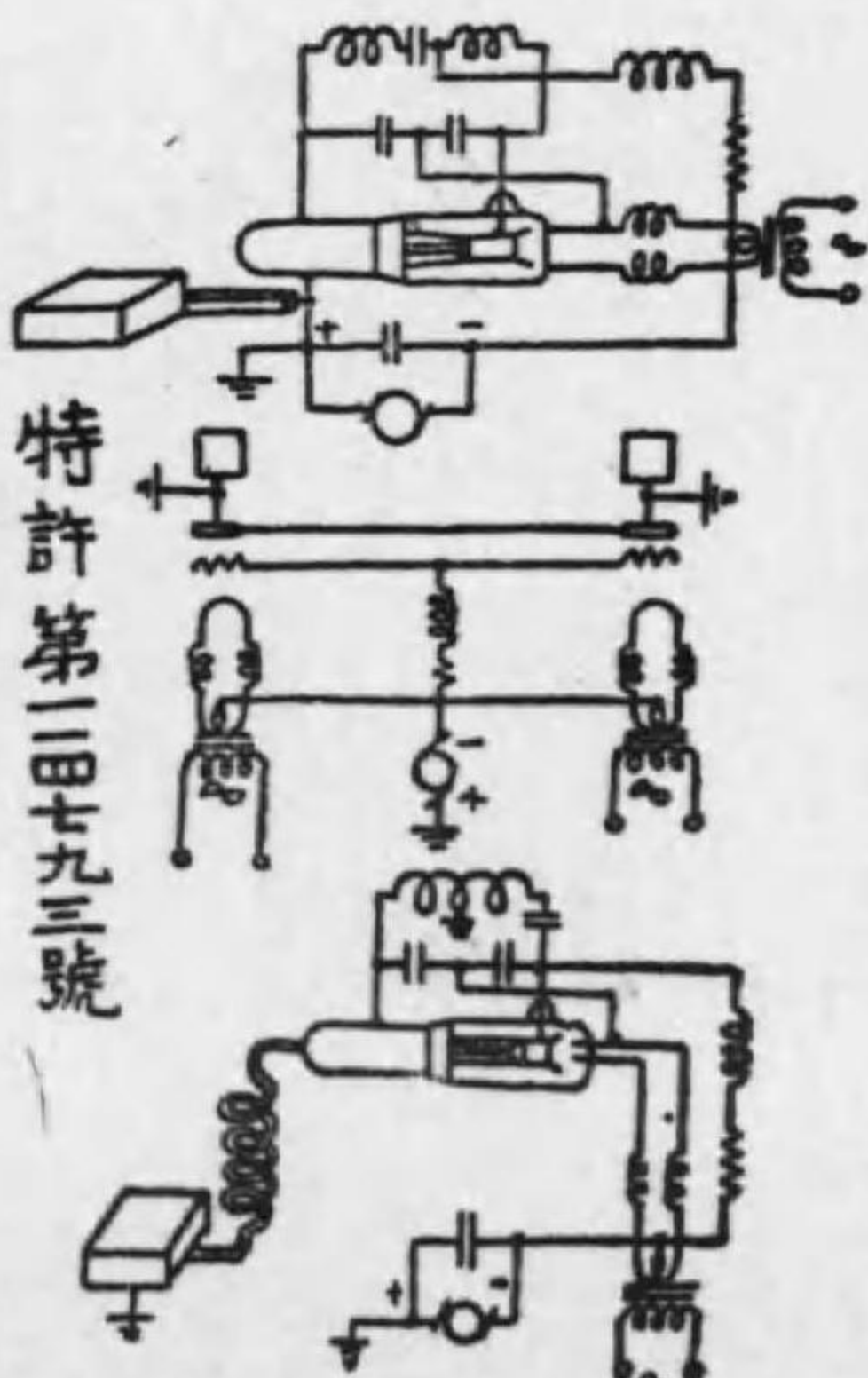


特許第114722號

外冷陽極型真空管の作動方式

特許第114722號

許 可 昭和十一年三月十九日
特許権者、發明者 東京市麻布區靈南町七 高岸榮次郎
外冷陽極型真空管の陽極を大地電位にある冷温物體に熱傳導的並に電導的に接觸せしめたる事を特徴とするもの。



特許第24793號

同一波長同時送受信方式の改良

特許第24810號
許 可 昭和十一年三月十九日
發明者 東京市蒲田區運河町一五三 笠原芳郎

特許権者 東京市四谷區西信濃町一〇 伊藤善夫
受信入力回路に結合せられたる受信用第一真空管の制御格子回路に上記入力回路と直列に蓄電器と高抵抗とを並列に接続したるものを挿入し非送話時には受信用檢波或は増幅器として作用せしむるも送話時に於ては送信用高周波電力の整流により上記高抵抗の兩端に生ずる電壓降下を利用して該高周波電力の受信施設への吸収を防止すると共に受信回路の他の真空管の偏倚電壓を制御して受信作用をも停止すべく接續を施したるものなり。

他勵ヘトロダイン

檢波方式

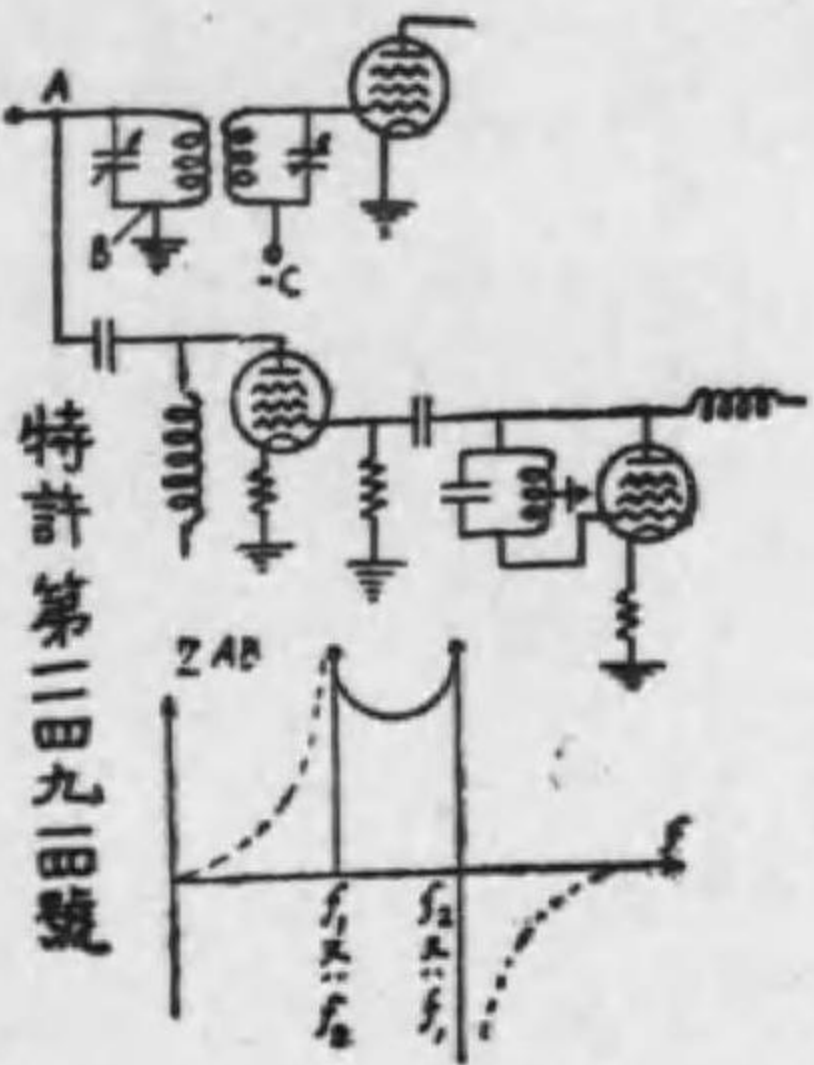
特許第114914號
許 可 昭和十一年三月三十一日
發明者 東京市板橋區練馬町二ノ三七七一

四月

波形重疊觀測裝置

特許第114973號
許 可 昭和十一年四月二日
特許権者、發明者 東京市淀橋區戸塚町一ノ五〇八 黒川兼三郎
同 同 中野區沼袋北一ノ四六九 田中末雄

發明者 東京市澁谷區水住町三二 森田實
特許権者 東京市豊町區大手町二ノ二 深田雅夫
日本無線通信株式會社
スーパーヘトロダイン受信機に於て檢波管入力回路と發振管回路との間に緩衝用真空管回路を介在せしむると共に檢波管入力回路をして信號周波數とヘトロダイン周波數との兩者に對し高インピーダンスを呈せしめたることを特徴とす。



特許第24944號

特許権者 東京府北多摩郡武蔵野町吉祥寺三〇 株式会社横河電機製作所
〇〇
周期波形觀測に於いてブラウン管輝點の時間變位に四極以上の多極真空管により充電を行ふ蓄電器兩端子より時間に對し、正しく直線的に増加する鋸齒狀電壓を供給し、該電壓上昇部を以て觀測波形を乗せたる往線を描寫し、又該電壓下降部を以て變位輝點を原點に復歸せしむる際ブラウン管の陽極電源回路の電壓を急速に下降せしめ、輝度を失して原點に復歸せしめ再び之を繰返すに當り真空管を使用したる同期裝置により該波形を正しく原寫位置上

に所要時間反覆重疊せしめたるものなり。

電視法

特許第115036號
許 可 昭和十一年四月二日
發明者 米國ニュージージー州 ラルフ・エス・ホルムス
特許権者 同國ニューヨーク市 ラデオ・コーポレーション

被電視物の像を受像所にて生成せしむる爲めに畫素信號と同期化信號とが利用せらるゝ電視法に於て上記同期化信號の有効度を受像所に於て被電視物の平均光度の變化に應じて變化せしめ此同期化信號を制御信號として利用して上記像の平均光度を被電視物の平均光度に應じて變化せしむる方法なり。

單一波長無線同時

送受方式

特許第115045號
許 可 昭和十一年四月二日

發明者 仙臺市小田原清水沼通り五
日電々波工業合資會社內

特許權者 同市同町 日電々波工業合資會社
主發振器に送話電流により變調し得る
中間搬送波發生器を附屬せしめ、常時
は上記中間搬送波により主發振器を催
超再生せしめて受信に備へ、而して送
話時に於ては送話電流を以て中間搬送
波電流を變調せしめて、二次的に主發
振電流を變調せしめて受信状態より
送信状態に變換せしむることを特徴と
するものなり。

**音響記録並に再生
用電磁具**

特許 第一一五〇六〇號
許 可 昭和十一年四月六日
特許權者、發明者 大阪市住吉町帝塚山中四ノ
二八 細井 勇
磁石の兩極に字形の極片一對を相對向
せしめ、其中間に中央より容易に屈伸
し得べき振動片を挾持せしめ極片の間
には旋迴方向を互に異にする様接続し

たる一對の捲線を振動片を繞りて配置
してなることを特徴とするなり。

**超再生檢波雜音除
去方式**

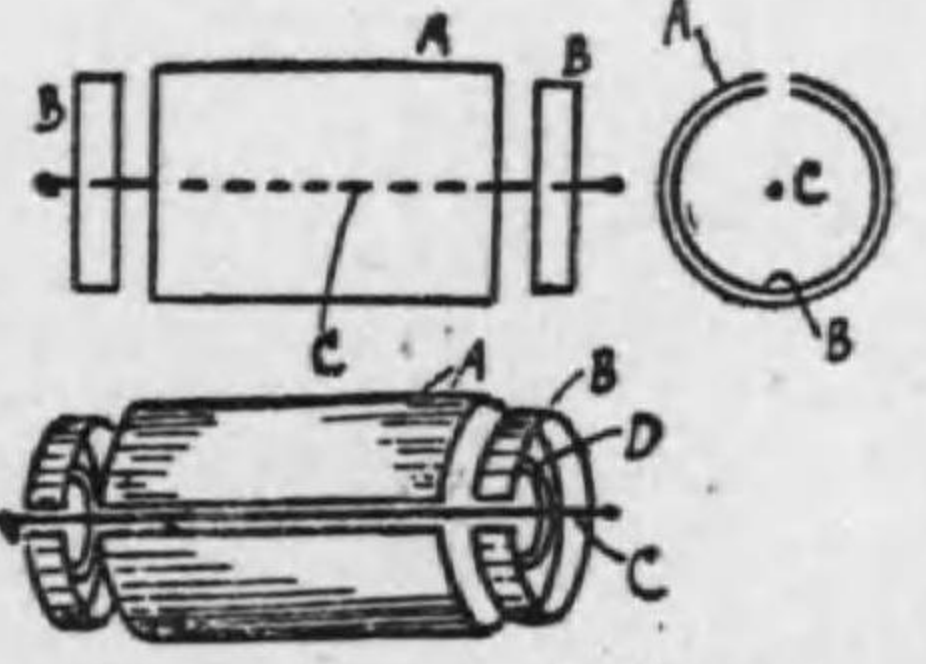
特許 第一一五〇九五號
許 可 昭和十一年四月八日
發明者 東京市目黒區中目黒一ノ一
伊藤 庸三
同 東京市深川區猿江町一ノ一九
森 勇次
海軍大臣
特許權者
任意の振動可能系を適當なる極部發振
器を以つて間歇的に勵振することによ
つて電波を受信檢波する超再生檢波方
式に於て生ずる本檢波特有の雜音を局
部發振器より與へる間歇勵振電壓を受
信電波周波數に略等しき部分周波數を
特に保有せしめることによりて除去或
は減せんとするものなり。

混信防止方式

特許 第一一五二〇〇號
許 可 昭和十一年四月八日

極超短波用真空管

特許 第一一五三三二號
許 可 昭和十一年四月十七日
特許權者、發明者 兵庫縣武庫郡神道 廣屋御
所ノ内八五一
岡部金治郎
變調の目
的を以て
分割陽極
マグネト
ロン、又
は之に準
じたるマ
グネトロ
ンの陽極
の軸方向



特許第115382號

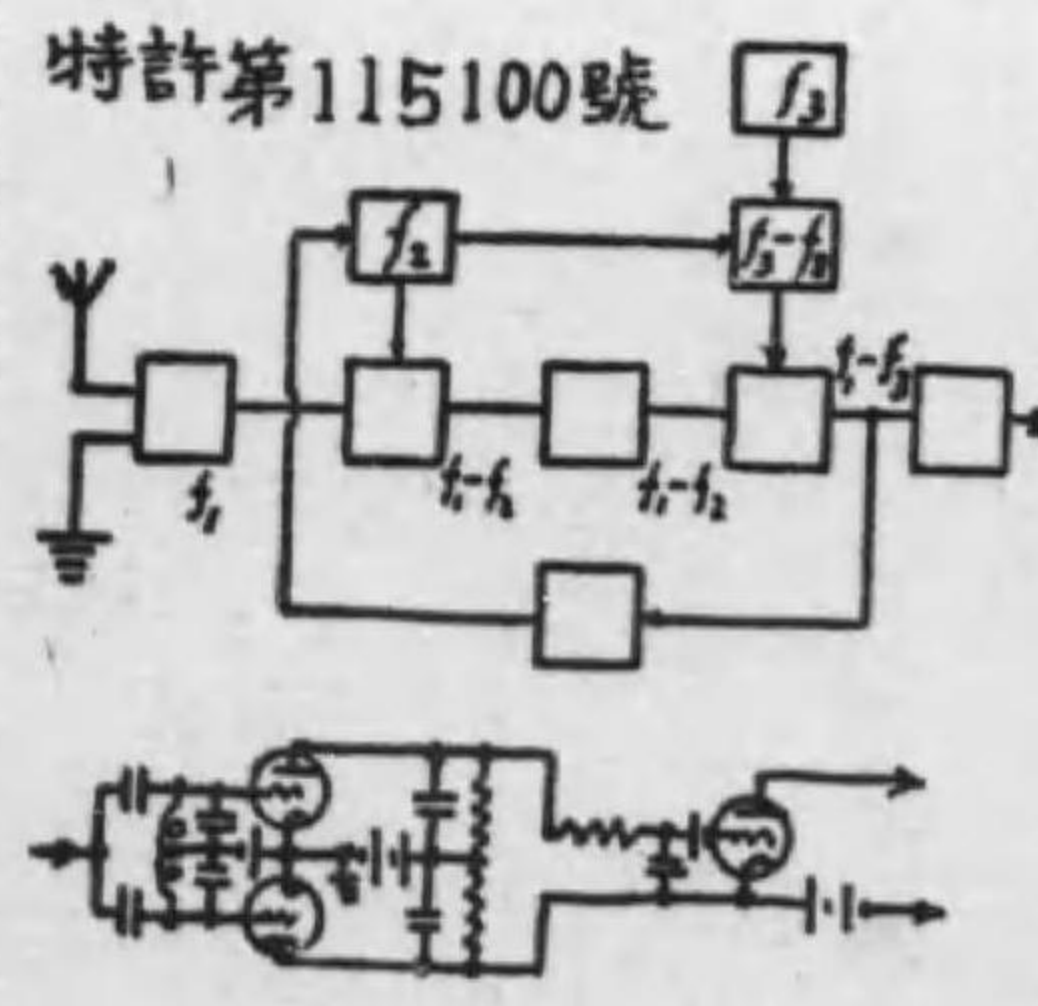
の各端に一個又は二個の環狀又は是に
準じたる電極を附加したるものなり。

真空管支持裝置

特許 第一一五三八四號
許 可 昭和十一年四月十七日
發明者 東京市大森區大森一ノ四三

發明者 東京市杉並區馬橋四ノ四八五中谷次
三郎方 永田 庄吾
選信大臣

特許權者
ヘテロダイソ檢波によりて適當なる周
期數まで其の周波數帯域の遞降された
る受信電流の一部を其の信號搬送周波
の兩側の周波數帯域の各に對する濾波
回路又は搬送周波の上下に等しく離れ
たる周波數に對する同調回路を有する



二つの整流裝續に加へて夫々の通過帯
域に含まるゝ周波數の電流に對し、整
流作用を行ひ、若し右の二つの整流電
流の大きいさに差を生じたる時は其の結

山中電機株式會社內 永田 庄吾
特許權者 同市同町 山中電機株式會社
真空管挿嵌用圓筒外側に突起したる軸
杆に二個の被筒を互に挿壓聯繫廻轉變
位自在に嵌裝し、之に夫々支持せられ
たる自動把手と保持筒との各先端部と
によりて真空管の掛止用突起を前記圓
筒に穿設せられたる圓弧型溝内に於
て保持又は開放せしむべくしたるも
のなり。

**實體映像式天然色
映畫テレビジョン
の受像裝置**

特許 第一一五四〇一號
許 可 昭和十一年四月二十一日
發明者 東京市目黒區中目黒一ノ四〇一玉屋
方 荒川 忠一
特許權者 濱松高等工業學校校長
二基點に於て、或る物像又は情景を夫
々赤色及綠色障を通過して所謂ステレ
オスコピックに走査分像して送出せる

果生じる電位差を利用して局部發振器
の發振周波數を右記の二つの整流電流
の値の等しくなる如き方向へ自動的に
移動せしむる如き手段を備へたること
を特徴とし、必要に應じ二重ヘテロダ
イン檢波を行ひて、第一局部發振器の
發振周波數と第二局部發振器の發振周
波數との間に一定の關係を保持するが
如き手段を備へたる方式にかゝる

寫真電送同期裝置

特許 第一一五三六二號
許 可 昭和十一年四月十四日
發明者 東京市小石川區久堅町七四ノ四〇
鈴木 重夫
選信大臣
特許權者
寫真電流の間に特殊の濃淡調部を挿入
し受信裝置に該濃淡調部の感光位置に
相當する場所に光電管を置き受信同調
裝置の位相が狂ふ時は、前記濃淡部の
濃淡の受信光の光電管に入る割合が變
化し、従つて該光電管の光電流が位相
變化に從ひて變化することを利用し該
光電流を同期保持に用ふるなり。

明暗電流を夫々左右に一組宛の陰極線發生装置及其の偏倚装置を収めたるブラウン管に導き且つ該管の中央に在る雲母板類の表裏兩面に赤色及緑色の螢光を生ずべき螢光物質を沈澱せしめたる螢光板によりて前記の物像若くは情景を組織して映像し以て之を赤色及緑色の色障を有したるメーシスコープにて視認し得べからしめたるものなり。

水晶片保持装置

特許 第一一五四三六號
許 可 昭和十一年四月二十一日
發明者 東京市大森區二ノ一九八
山中電機株式會社内

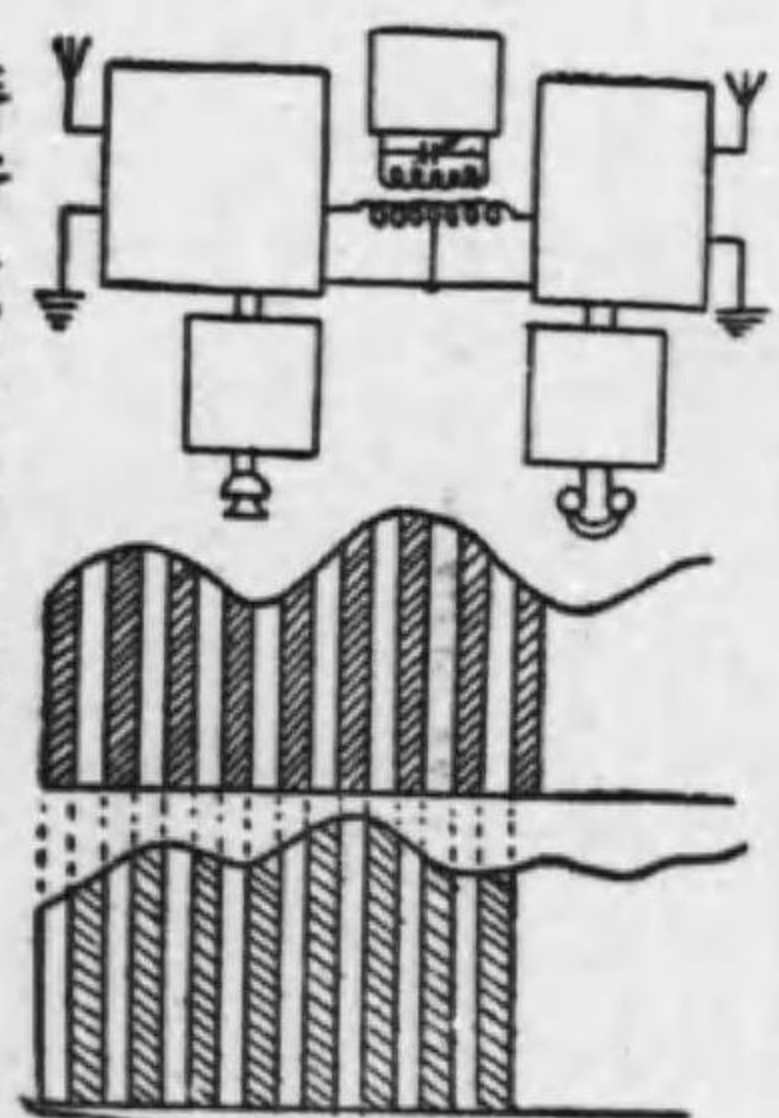
同 藤井文雄
同 眞野國太郎
同 山田伊太郎
特許權者 同所 山中電機株式會社
水晶片を保持せしむるに彈壓機構を介在せしめ、該彈壓機構を彈壓することにより前記水晶片を彈壓より取除して拘束せざる状態に置かしめ、前記彈壓機構に對する抑壓を取除することによ

り前記水晶片を彈壓して水晶片を確保せしむる如くなしたるものなり。

同時送受信方式

特許 第一一五四四六號
許 可 昭和十一年四月二十一日
特許權者、發明者 東京市豊島區高田本町二ノ一
澤崎憲一

不可聽周波交番電壓を以つて送信機の動作を斷續制御し、之を反轉したる交番電壓、又は之と位置を異にする同周



特許 第一一五四四六號

波の交番電壓を以て受信機の動作を斷續制御し送信機及び受信機を交互に動作せしめ、その切換へを不可聽ならし

めたる同時無線通信方式にして自局の送信をして自局の受信装置に不感ならしむるものなり。

陰極線集束方式の改良

特許 第一一五四六號
許 可 昭和十一年四月二十七日
發明者 東京市王子區下十條町一五〇〇
關 壯夫

特許權者 逓信大臣
圓筒又は中心に孔を有する板又は其等の組合せよりなる三個の電極を陰極線管の軸に沿ひて接近して並べ、其の中央の電極の電壓を變化して陰極線に對する集束作用を調節し得、靜電的電子レンズを用ひ陰極線の偏向方向の變化の原因たる變化を前記の靜電的電子レンズに影響せしめて、其の集束作用を變化せしめ陰極線の偏向方向に伴ふ陰極線スポットの大きさの變化を補償せしむる陰極線集束方法なり。

五月

同心球狀電極熱電子管による發振器

特許 第一一五六二九號
許 可 昭和十一年五月五日

特許權者、發明者 大阪府北區中之島四ノ八
大阪帝大物理學教室内
林 龍雄

電極を同心球狀にしたる特殊真空管を發振管として用ひ、球狀電極の外部には電子的原因によりて發生せる振動を利用すべく接続を施したるものなり。

放電管

特許 第一一五六二九號
許 可 昭和十一年五月五日
發明者 獨逸ベルリン市
アルベルト・クナイプネ
特許權者 同市
テレフンケン・ゲーゼルンヤフト

電極の一部分が眞直なる複數個の杆より成り其等が各個に又は小なる群とし

て真空管容器より引出されたることを特徴とするものなり。

珪瑯蓄電器

特許 第一一五七六六號
許 可 昭和十一年五月十八日

發明者 東京市豊島區代官山町一〇
アバートメント二九號ノ二四七
小川 建男

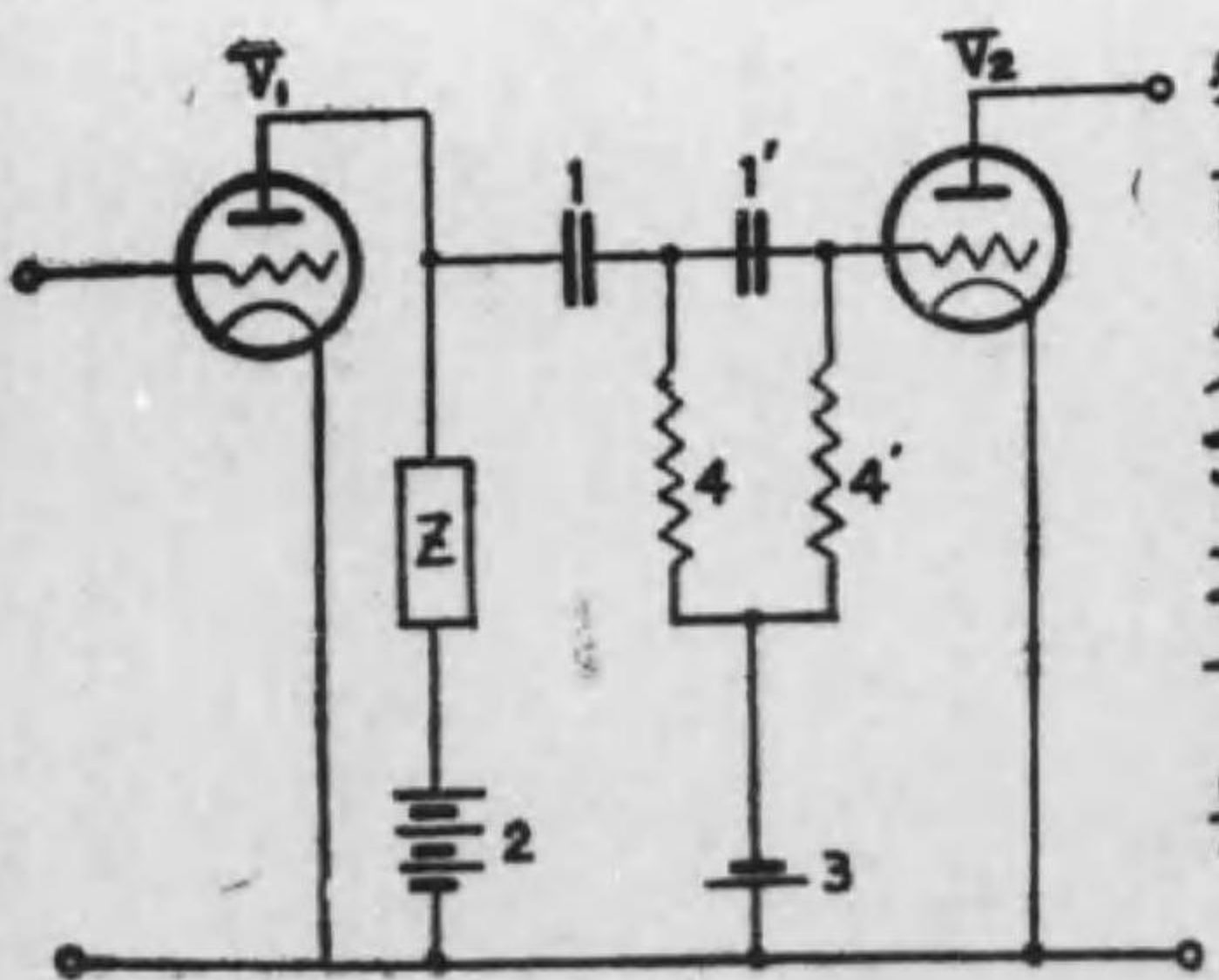
發明者 目黒區上目黒七ノ一三三九
宮城 精吉
逓信大臣

特許權者 逓信大臣
耐熱性金屬の薄板上に珪瑯釉を附着し其の二枚又は多數枚を重ねて加熱し珪瑯釉の熔融に依り薄板を密着一體となして後薄板に蓄電器結線を施すことにより成るものなり。

増幅器結合方式の改良

改良

特許 第一一五七七〇號
許 可 昭和十一年五月十六日
發明者 東京市豊島區池袋三ノ一五六一
會根 有



特許 第一一五七七〇號

特許權者 逓信大臣
多段増幅器の結合方式に係り結合蓄電器を二個以上直列に接続使用し各蓄電器より分岐せる高抵抗を夫々適當なる電位點に接続することを特徴とするものなり。

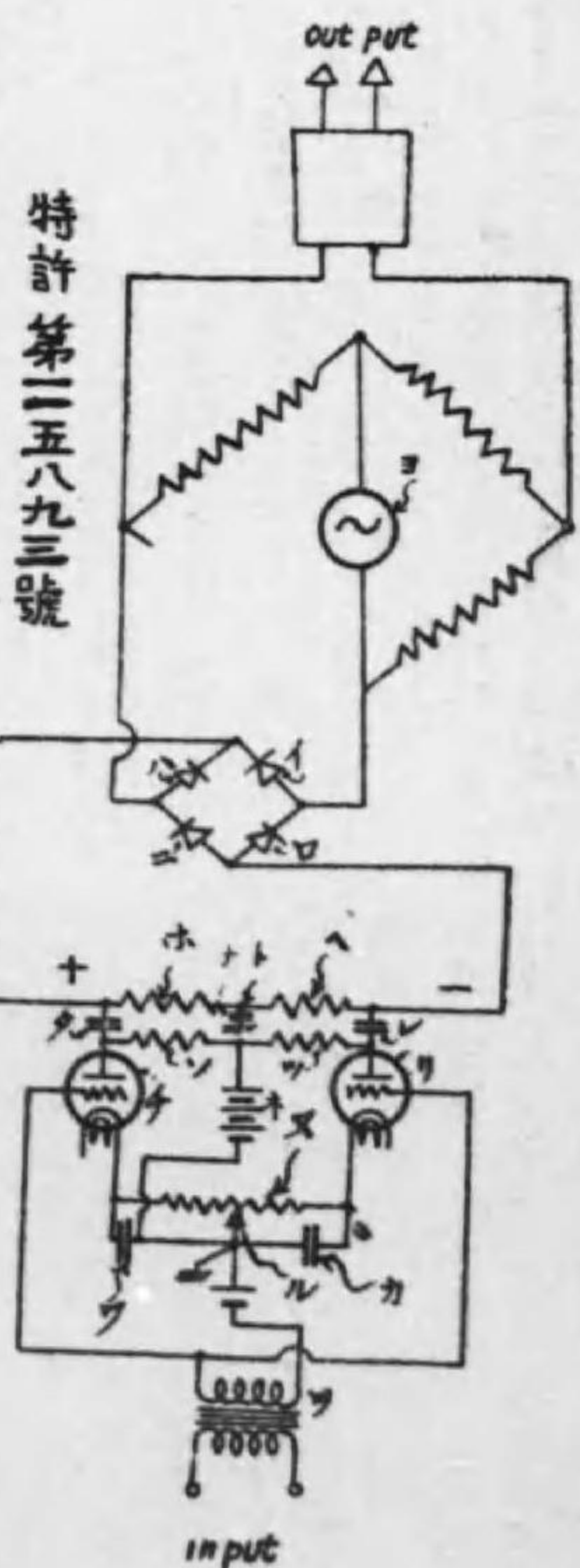
映寫受像方式

特許 第一一五八九二號
 許 可 昭和十一年五月二十五日
 發明者 東京市千代田区北千代田一五〇〇
 特許權者 關 壯夫
 逓信大臣

電子の侵入によりて透明度を變じ且透明度を變じたる部分が電界の作用によりて移動する性質を有する膜面を電子線にて走査することを特徴とするテレビジョン等の受像方式に係り其の目的とする所は大きく明るく精細なる受像を得んとするにあり。

秘密通信方式の改良

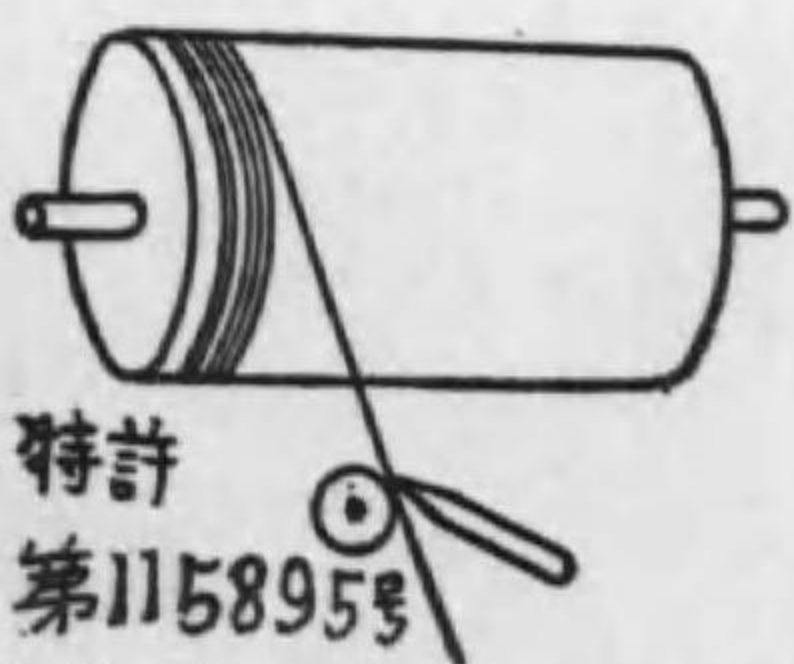
特許 第一一五八九三號
 許 可 昭和十一年五月二十五日
 發明者 東京市世田谷區北澤町三ノ二一六
 特許權者 石 崎 守
 五 逓信大臣
 撤送波に對し平衡すべき電橋の一腕を全波整流器を以て構成せしめ該整流器



の出力回路に抵抗を接続し二個の真空管よりなり同一音聲入力に對し其の出力を平衡相殺すべく接続配置せる音聲制御可變抵抗装置を上記出力回路の抵抗に對し直流的には分離せらるゝも交流的には並前關係を有せしめて接続したるものなり。

航空機等に適する寫眞電送受像方式

特許 第一一五八九五號
 許 可 昭和十一年五月二十五日
 發明者 東京市豊島區池袋三ノ一五六一
 特許權者 曾 根 有



電磁的印畫現像を利用するテレビジョン又は類似装置

逓信大臣
 可燃性圓筒面上に糸を巻き取りて受像を行ふことを特徴とする航空機等に適する寫眞電送受像方式に係り簡單確實なる受像方式を提供す。

特許 第一一五八九七號
 許 可 昭和十一年五月二十五日
 發明者 東京市豊島區池袋三ノ一五六一
 特許權者 曾 根 有
 逓信大臣
 適當なる磁性體の表面上に強弱ある殘留磁氣を生ぜしめ之を以つて繪畫又は模様の種類を潜像として印せしむる装置と該潜像に磁性體の粉末を適用して現像せしむる装置を有することを特徴とする電磁氣的に印畫現像を行ふものなり。

高周波受信装置

特許 第一一五九五三號
 許 可 昭和十一年五月二十九日
 發明者 北米合衆國コネクチカッツ州フェアフィールド郡ストラットフォード市ワイドツール・アベニュー五四五
 マッケンジー・カッテル
 特許權者 川崎市堀川町七二 東京電氣株式會社
 高周波入力回路と檢波装置と該檢波装置の出力回路に接続せる音聲再生器と該高周波入力回路と該檢波装置間の複

所個の信號電流擴大段階と該擴大段階の一部又は全部の動作を停止せしめ前記高周波入力回路を直接に該檢波装置に接続する開閉装置とよりなる装置なり。

音聲制御型發振装置

特許 第一一五九五六號
 許 可 昭和十一年五月二十九日
 發明者 東京市世田谷區北澤二ノ一一八
 特許權者 川崎市堀川町七二 東京電氣株式會社 森川 辰雄

發振装置と之れと直前に直流電線回路内に接続せられたる制御電極付瓦斯又は蒸氣放電装置と音聲電流により生じたる單方向電壓を該制御電極に加へて該放電装置を始動せしめ以て發電装置の饋電を開始せしむる装置と該放電装置に並前に接続せられ音聲電流の消滅による制御電極電位の低下に應じて放電装置の放電を停止せしめ以て發電装

置の饋電を停止せしむる蓄電器とを具備するものなり。

六月

電波中繼方式の改良

特許 第一一六〇〇〇號
 許 可 昭和十一年六月一日
 發明者 東京市淀橋區戸塚町四ノ七八七
 同 東京市麻布區永坂町一 難波 捷 吾
 特許權者 木村 六 郎
 逓信大臣

端局に於て二種の電波を發生し其の一つを搬送電波として變調して送信し他の一つを唸周波發生用電波として變調することなく送出し一方中繼局に於ては之等を個々に受信して重疊することにより唸周波を發生せしめ増幅の容易なる低き周波數の電波に變換して増幅し然る後再び變調せられた唸周波とに分離し夫々所要の高周波にまで周波數

遅倍を行ひて他の端局又は中繼局に送信すべくしたるものなり。

電子管支持装置

特許 第一六〇一八號
許 可 昭和十一年六月一日
發明者 英國ニュージャージー州

特許權者 パーナード・サルズバーク
ラデオ・コオホレーション

金屬製豪銀該銀上に裝架せられ且つ該銀の一方の面に並行なる複數の金屬銀にして相互に絶縁せられ且つ電子管の横向に延在せる端子に夫々係合し且つ之等を保持すべく接觸挾持片を有するもの及上記複數の金屬銀の各々と豪銀との間に挿入せられたる絶縁材料薄板を備へ以て上記金屬銀の各々と豪銀とは上記電子管の端子に直接接続せられたる蓄電器を構成せるものなり。

電子管に於て電子衝擊を受くる螢光膜上に變化強度の

光効果を生ぜしむる方法の改良

特許 第一六〇三三號
許 可 昭和十一年六月一日
發明者 北米合衆國ニュージャージー州オレンヂ・リチャード・テイラー・オース

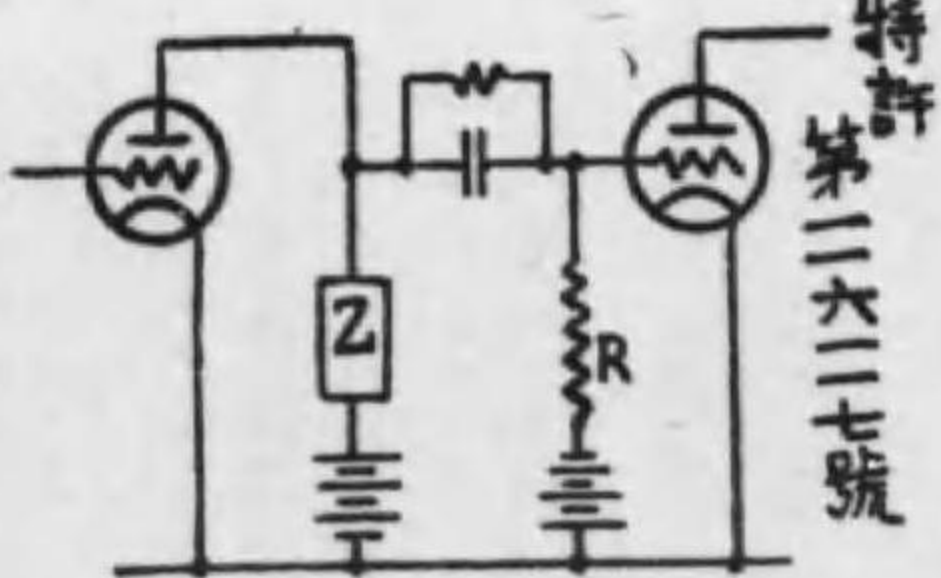
特許權者 北米合衆國紐育州紐育市ロックフェラー・プレザンツ
ラデオ・コオホレーション・オブ・アメリカ

電子管に於て電子衝擊を受くる螢光膜上に變化強度の光効果を生ぜしむべく電子流をば該電子流を圍繞する主制御電極及該電子流内に配置せられて該電子流に中空部を形成せしむべく作用する補助制御電極の制御下に於て螢光膜上に投射せしめ以つて該電子流の外廓を一定に維持し此の一定外廓面積内の電子密度を上記兩制御電極に印加せらるゝ電壓の制御の下に變化せしむる方法。

増幅器の結合方式

特許 第一六一一七號
許 可 昭和十一年六月十一日
發明者 東京市豊島區池袋三ノ二五六一

特許權者 會根 有
選信 大臣
グリツド・リ



多段増幅器の結合方式に係り結合蓄電器に高抵抗を並列に使用することを特徴とするものなり。

電氣機器の鐵心

特許 第一六〇二六號
許 可 昭和十一年六月一日
特許權者、發明者 東京市小石川區上野坂町四

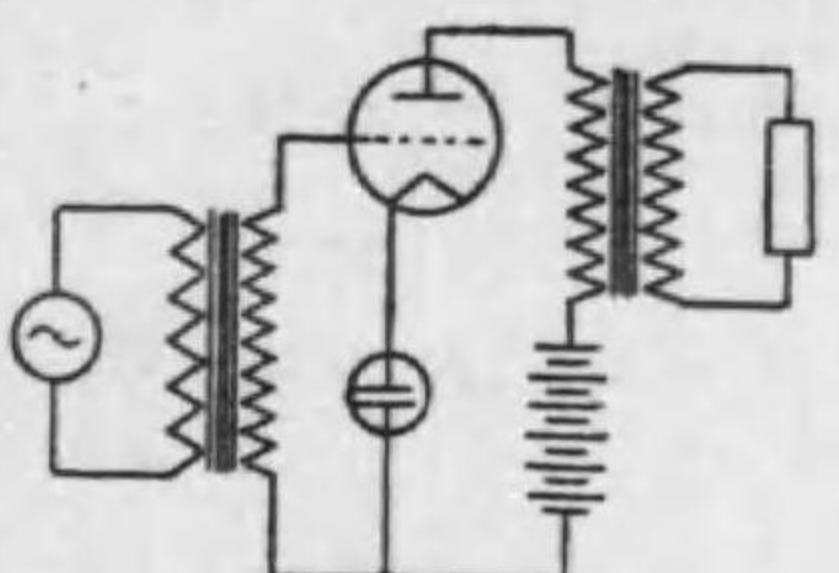
成層鐵心の層間絶縁をして成層鐵心を

構成せる鐵板間に蓄電器作用を發生せしむべくなし該成層鐵心を蓄電器として使用すべくせるを特徴とするものなり。

増幅装置

特許 第一六一六二號
許 可 昭和十一年六月十一日
特許權者、發明者 高岡市一町一

上野 享



特許 第一六一六二號

真空管の陽極電流回路に挿入せる電圧電流特性曲線中の電流軸に平行なる直線部にて作動する低壓瓦斯入放電管の内部抵抗による電壓降下を該真空管の制御格子偏倚電位とせることを特徴とするものなり。

信號整流方式

特許 第一六一六三號
許 可 昭和十一年六月十一日
發明者 東京市板橋區練馬町二ノ三七七一

同 森田 實
東京市蕨谷區永住町三三

受信機に關聯せる整流管として四極管を使用し二次電子放射範圍と然らざる範圍とに跨がりて整流作用を営ましめくせることを特徴とす。

マグネトロン装置

特許 第一六一六六號
許 可 昭和十一年六月十一日
發明者 獨國ベルリン市

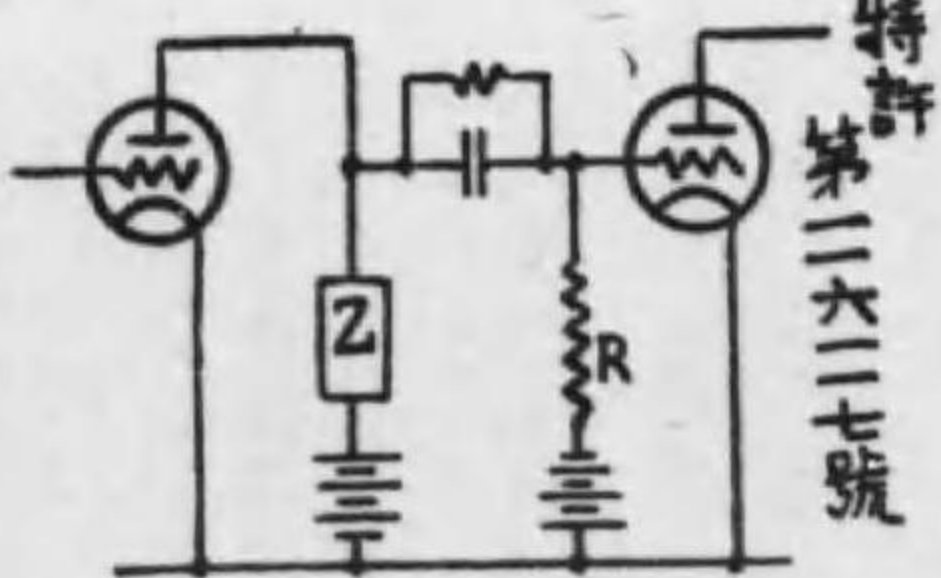
同 キニョレ
ドイツツヒ・ブリント
フエリツクス・ヘルリーゲル

同 右國
テレフンケン・ゲーゼルシャフト
マグネトロン管が配置せられある空氣

天然色テレビジョン方式

特許 第一六一六八號
許 可 昭和十一年六月十一日
發明者 東京市神田區駿河臺二ノ一ノ五

特許權者 同 谷 編藏
谷 さき



物像より發する光を穿孔障によりて畫素に分解し各畫素を多色盤によりて更に分解し各單位色畫素の光にて順次一個の光電管を照し之に繼續せる電線に各種の電流を起さしめて之を有線又は無線により受信装置に送り受像装置に於ては種々變化して感電せる電流に依り一個の發光管を制御し之より發する光を多色盤を通じて彩色し更に穿孔障を通じて各單位畫素を集成してスクリーン上に映畫せしむるものなり。

間隙の周圍に於ける磁界が附加的強磁性體によりて均一にせらるゝか或は放電區間に集中せらるゝことを特徴とするものなり。

天然色テレビジョン方式

特許 第一六一六八號
許 可 昭和十一年六月十一日
發明者 東京市神田區駿河臺二ノ一ノ五

物像より發する光を穿孔障によりて畫素に分解し各畫素を多色盤によりて更に分解し各單位色畫素の光にて順次一個の光電管を照し之に繼續せる電線に各種の電流を起さしめて之を有線又は無線により受信装置に送り受像装置に於ては種々變化して感電せる電流に依り一個の發光管を制御し之より發する光を多色盤を通じて彩色し更に穿孔障を通じて各單位畫素を集成してスクリーン上に映畫せしむるものなり。

電磁的微粒子制御方式

特許 第一二六四一四號
許 可 昭和十一年七月二日
發明者 東京市豊島區池袋三ノ一五六一

特許權者 曾根 有
遮 信 大臣
陰極と陽極とを有し其の一方に適當なる微粒子を接觸して之を帯電せしめ他極に向つて進行する帯電微粒子流を作り之を制御電極或は偏向電極等の補助電極によりて制御することを特徴とするものなり。

船舶自動警報方式

特許 第一二六四六六號
特許權者、發明者 兵庫縣印南郡下莊村國包

同 同 福田 勝治
同 同 福田 利明
局部振動を發する受信回路に於て小容

量の補助蓄電器の容量を自動的に變化せしめて其の發振周波數も自動的に一定範圍内に變化せしめ以て之を自他相互に感受し得べからしめ到來電波により生じたるビート振動により擴聲器を働かし或はビート振動による陽極電流の變化を以て繼電器を介して信號器を作用せしむるなり。

ケルセルの改良

特許 第一二六五七二號
許 可 昭和十一年七月十一日
特許權者、發明者 東京市豊島區高田本町一ノ

同 同 一四二一 山本 忠興
同 同 東京市小石川區高田豊川町三七 川原田 政太郎
同 同 東京市小石川區高田豊川町四七 早川 幸吉
同 同 東京市本郷區東片町九三 依田 龍夫

二組のケルセル素子を光路上に光學的に直列に且各素子の生成する靜電場が夫々光路に對し直角に然も相互に直角をなす如く配置し之等素子に對し互に百八十度の相差を有する交流電壓と値

陰極放射管

特許 第一二六五九九號
許 可 昭和十一年七月十三日
發明者 獨逸ベルリン・エス・ダブルユー・

同 同 十一、ハレツセスウーフエル十二、十三 マックス・クノル
同 同 (ヘニング・クノール) プラウハ
同 同 テレフンケン・ゲゼルシャフトフエ
ール・ド・ラートローゼ・テレグラフ
キー・ミット・ベシユレンクテル・
ハフツング

眞空管器が二個以上の部分より合成せられ、其等部分が相互に熔融點高き且氣密を保ち得る「セメント」材料にて接合せられたることを特徴とする、特にオツシログラフ・テレビジョン管陰

極線切替装置周波數變換器用陰極放射管に係り、其の目的とする所は一體に構成せられたる眞空容器の小なる開口より内壁に被覆及輝膜を沈着せしめる從來の製作方法の缺點とする沈着物の一様なる性質を得難く又陰極線の發生及調整のための電極調印困難なる等の不便を除去し放射管の作用を極めて容易ならしむるにあり。

酸化物被覆型電子放射體の製造方法

特許 第一二六五〇六號
許 可 昭和十一年七月八日
發明者 東京市大森區久ヶ原五九三

特許權者 野村 嘉義
東京電氣株式會社
土金屬の硝酸鹽より成る層を支持體の表面に被著せしめ更に該層の表面に主としてアルカリ土金屬の炭酸鹽よりなる層を被著せしめたる後該複合層を排氣容氣内に於て各層を酸化物に變化せ

しむる如く熱處理することを特徴とするものなり。

變調電波受信方式

特許 第一二六六一七號
許 可 昭和十一年七月十五日
發明者 東京市杉並區馬橋町四ノ四八五

特許權者 永田 良孝
中谷義三郎方 遮 信 大臣
無線電話其他の變調電波を受信するに當り受信機に適當なる濾波裝置を設けて到來電波を上側帯域波と搬送波の一部及下側帯域波と搬送波の一部とに分離し之を夫々別個の檢波器に加へて二つの檢波電流を作り且つ其の強大電波側を選択利用することを特徴とす。

電子流反作用を利用する放電裝置

特許 第一二六六五七號
許 可 昭和十一年七月十七日
發明者 東京市目黒區中目黒一ノ一

特許權者 伊藤 庸二
遮 信 大臣

圓筒型或は其他の任意の型の電極に一ツ以上の裂目を置き且其の電極より外部への引出導線を其の裂目の一方の端に近く置き以て其の電極間及電極上を流るゝ電子流の作る磁界を電極間の電子走行空間に有効に生ぜしめんとするなり。

週期的衝擊電流發生方式

特許 第一二六七八三號
許 可 昭和十一年七月二十四日
發明者 東京市王子區下十條町一五〇〇

特許權者 關 壯夫
遮 信 大臣
多極眞空管の第一グリッドと第二グリッドを蓄電器にて連結し夫々高抵抗を接ぎ其の他のグリッド又はアノードに第二グリッドよりも高き電壓を加へカソードに高抵抗と蓄電器を接ぎ其の他のものを接続せず第二グリッドの二次電子放射を利用しカソードに接続せる蓄電器の充放電に依りて振動現象を進

行せしむる週期的衝撃電子流發生方式に係る。

無線寫眞電送又は書畫電送方式

特許 第一二六七八四號

許 可 昭和十一年七月二十四日

發明者 東京市大森區新井宿五ノ五五九

石田 正

發明者 東京市渋谷區若木町三一

内海 數雄

特許權者

逓信大臣

無線裝置を通して寫眞電送を行ふにあたり寫眞又は書畫の明暗を長短種々の電流附就に變換せしむる時、變調方式に於て受信部に於ける長短種々の電流附就を適當なる平滑回路を通して整流し寫眞又は書畫の明暗に比例する電流を出現せしむることを特徴とする。

短波長多重整合裝置

特許 第一二六八〇九號

許 可 昭和十一年七月三十日

發明者 栃木縣下都賀郡小山町、日本無線電

信株式會社宅 水橋 東作
特許權者 東京市麹町區大手町二ノ二
日本無線電株式會社

饋電線上に適當間隔を保持して複數箇の樹枝狀分路を附設し複數個の周波數に對して饋電線と負荷とを整合せしむべくせることを特徴とするものなり。

八月

超短波無線裝置

特許 第一二六八八六號

許 可 昭和十一年八月七日

發明者 北米合衆國紐西蘭グアイランド

ラルフ・ダブルユー・ジョージ

同

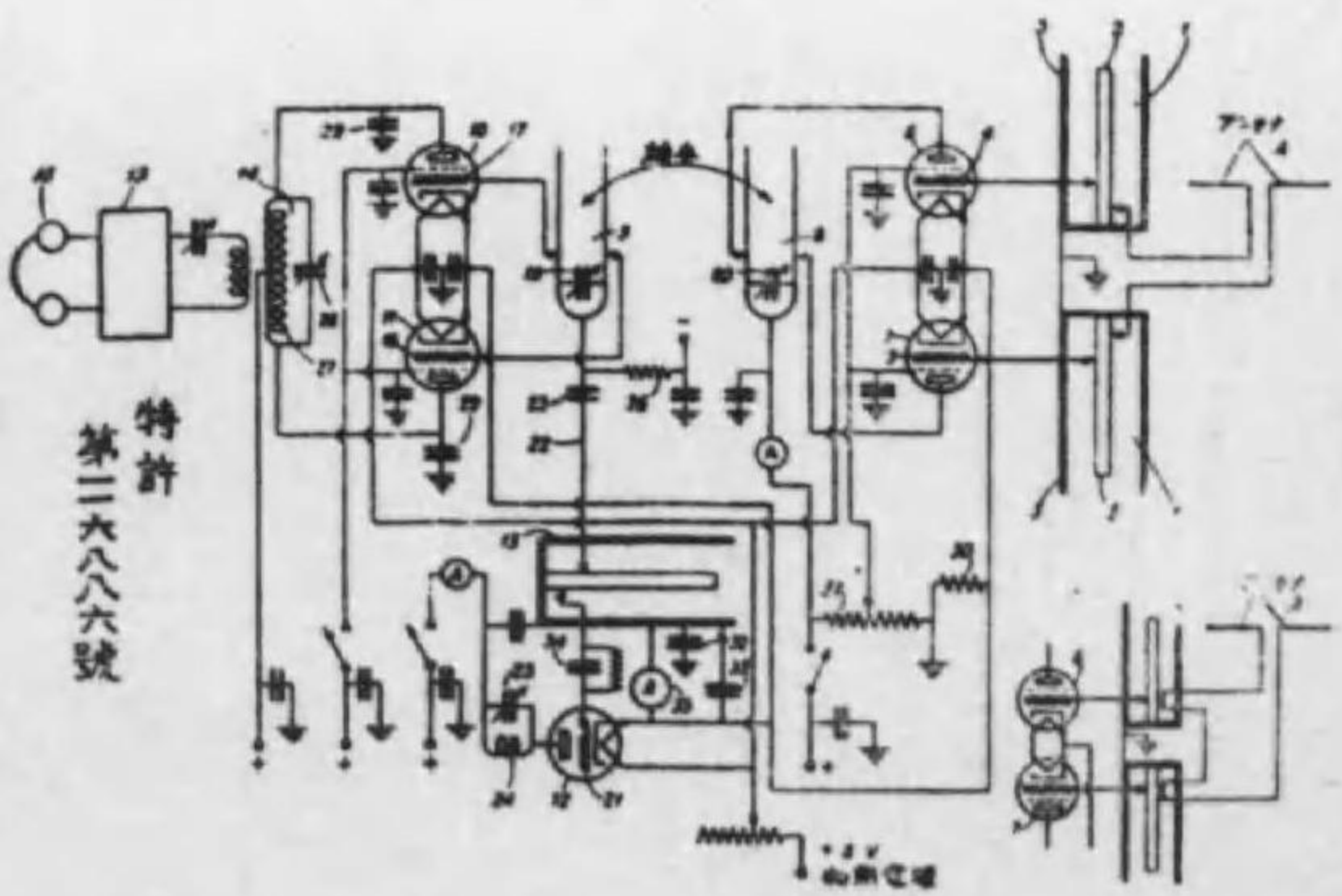
同

特許權者 北米合衆國紐西蘭グアイランド

ラルフ・ダブルユー・ジョージ

オプ・アメリカ

内外の同心的導體の一端を結合せしめ他端を開放せしめたる同心的送電線高周波入力回路と出力回路及上記内側の導體より之等回路への個々の接続裝置



を備ふる超短波無線裝置に係る。

周波變調裝置

特許 第一二六八八八號

許 可 昭和十一年八月七日

發明者 米國ニューヨーク州

特許權者 同 國同 州
ニルス・イー・リンデンブラッド
ラヂオ・コーポレーション・
オプ・アメリカ

出力回路と周波制御回路とを有する發振器該出力回路より周波數制御回路へ勢力を饋還すべくせる裝置及信號波に應じて饋還せらるゝ勢力の位相及振幅を變ぜしめ以て發振器により生成せらるゝ振動の周波數を變ぜしむべくせる裝置を備ふるものなり。

陰極線管及類似物に關する改良

特許 第一二六九〇三號

許 可 昭和十一年八月七日

發明者 英國ミドルセックス・ヒリングトン

パークウエー・ストラスマーア

レオナード・フランシス・ブ

ードウエー

特許權者 英國ミドルセックス・ヘーイス・ブ

ライスロード

エレクトリック・エンドミュー

ジタル・インダストリース

・リミテッド

二個の協動する電極を包含し一方の電極はレンズ方式に依りて作用さるべき電子ビームを通過せしめ得る開孔を有し、他方の電極は電子通過孔か或は電子放射又は收受表面力を有し猶二電極間に電位差從も某點電界を設立する裝置を包含する方式に於て、電極は前記開孔中の少くとも一開孔或は電子放射又は收受表面の境界内に在りて且つ其の境界に達する區域内の任意點に於て前記開孔の中心或は一方の電極の開孔及び他方電極の電子放射又は收受表面の中心を通過する軸線に垂平なる方向に於ける電界強度の分力が該軸線より前記の點に到る迄の距離に大略比例する如き形狀を成したることを特徴とする

中介フィルム式テレビジョン受像燒付方法の改良

特許 第一二六九〇九號

許 可 昭和十一年八月十九日

特許權者 (發明者) 濱松市濱澤町三六三

高柳健次郎
特許第一一四二八四號の擴張發明にして、テレビジョン受像用陰極線管の螢光板上の像を管外のフィルムに燒付くるに當り前記螢光板上に高速度走査に應じて順次畫像を映出せしめつゝ任意所定の時間中前記畫像をフィルムに對して遮斷し次に二低速度走査時間及それ以上の任意に回の速度走査時間中連續的にフィルムを露出せしむる作を反覆しフィルム全體に畫像を連續的に露出感光せしむるを特徴とす。

電子振動發生器の周波數安定裝置

特許 第一二七〇二二號

許 可 昭和十一年八月十九日

發明者 佛國パリ市

アンドレ・ガブリエル

クラビア

特許權者 米國ニューヨーク州

スタンダード・エレクトリック

真空管の電極に加ふべき電位を適當に變化すべくしたる電位差計裝置を使

用し供給電源に變化あるにも拘らず其の發生する極高周波數を一定に維持せんとするものなり。

無線受信装置の改良

特許 第一七〇二六號

許 可 昭和十一年八月十九日

發明者 埼玉縣人間郡福岡村一七五一

日本無線電信株式會社出張所

關 英 男

特許權者 東京市麹町區大手町二ノ二

日本無線電信株式會社

所要の受信周波數以外の空電雜音及混信等の電壓を以つて受信系統の通過周波數帯域又は利得の何れか一方又は兩者を自動的に調整すべくせることを特徴とす。

無雜音超再生式受信機

特許 第一七〇四二號

許 可 昭和十一年八月二十四日

發明者 關東州大連市山吹町二二

尾見平左右

秘密電話方式

特許 第一七〇六七號

許 可 昭和十一年八月二十四日

發明者 關東州大連市山吹町二二

尾見平左右

特許權者 關東州大連市東公園町三〇

南滿洲鐵道株式會社

送話に當り音聲電流を光學的に分解して時間的に搬送周波電流又は音聲電波の轉換又は變化を生ぜしめ之を同期的に復調合併して發信音を再生受信すべからしむることを特徴とす。

九 月

振動式二次電子流増大方式の改良

特許 第一七二一七號

許 可 昭和十一年九月一日

發明者 東京市王子區下十條町一五〇〇

關 壯 夫

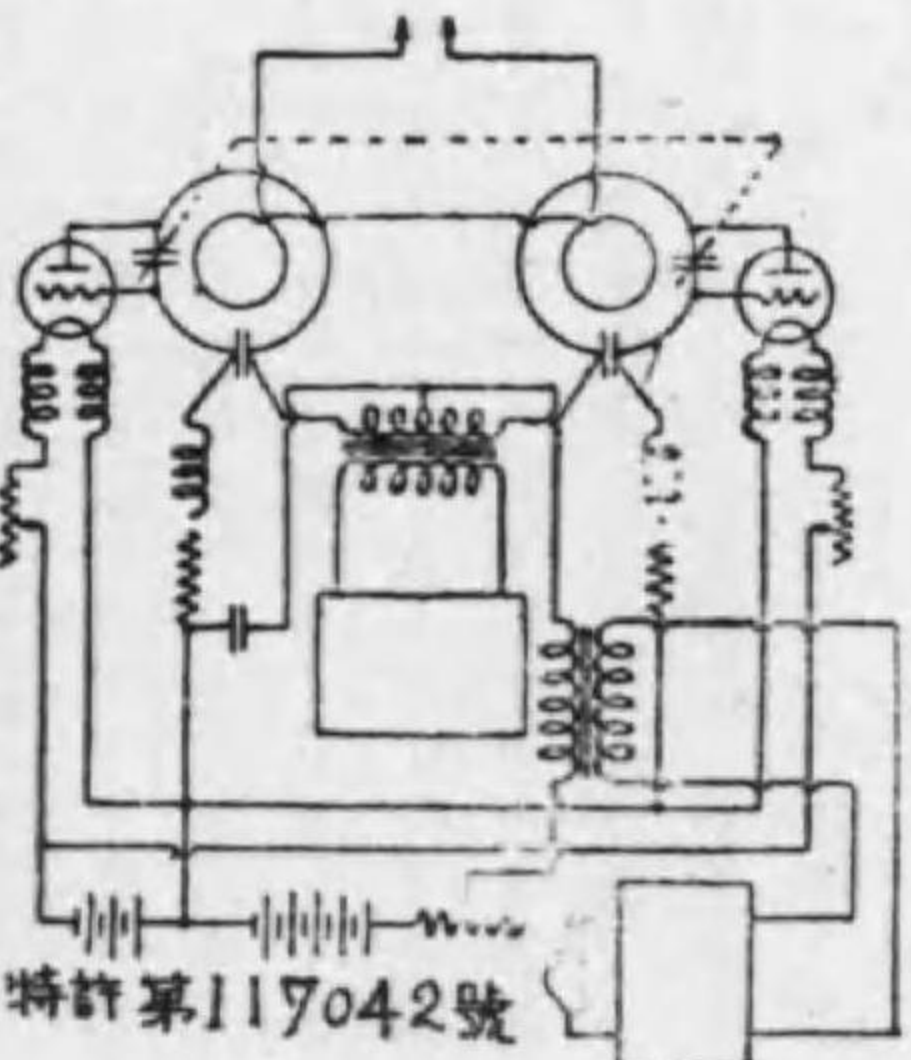
特許權者

二次電子放射の周期の略整數分の一の

特許權者(發明者) 大阪市北區中ノ島四ノ八
大阪帝國大學理學部物理學教室内

林 龍 夫

互に連關せる複數個の真空管の一極又は數極に他勵又は自動の同相ならざる抑振電壓を加へたる超再生式受信機なり。



無線及類似受信機及之と共に使用するべき同調制御装置の改良

特許 第一七〇六三號

許 可 昭和十一年八月二十四日

發明者 關東州大連市山吹町二二

尾見平左右

周期を有する振動電壓を電極間に加ふることによりにて空間を走行する電子にエネルギーを供給し二次電子放射を繰返さしむることを特徴とするものなり

電子振動矮小波の強力發振接續方式

特許 第一七二二四號

許 可 昭和十一年九月一日

發明者 米澤市柳町二二四八

中村新太郎

特許權者 米澤高等工業學校校長
複數個の電子振動矮小波發生用真空管の超周波回路線をコンデンサーを介して接續し前記各真空管を上記超周波回路線上の定在波を中介として超周波的に協同せしむると共に直流的には各別に最適動作状態に保たしむることを特徴とするものなり。

ラヂオ通信用配電盤

特許 第一七二三五號

許 可 昭和十一年八月二十四日

發明者 關東州大連市山吹町二二

尾見平左右

位相差九〇度なる二つの入力電壓を、夫々可變増幅遮蔽グリッド真空管のグリッド及陽極に加へ其の増幅作用を加減することにより其の入力電壓の振幅

位相變換装置の改良

特許 第一七一一九號

許 可 昭和十一年九月一日

發明者 茨城縣磯崎町字配町八〇一四

塚田太郎

特許權者

選 信 大 臣

位相差九〇度なる二つの入力電壓を、夫々可變増幅遮蔽グリッド真空管のグリッド及陽極に加へ其の増幅作用を加減することにより其の入力電壓の振幅

許 可 昭和十一年八月二十四日
發明者 英國バツキンガムシャイアイ
アーサー・ヘンリー・クーパー

特許權者 英國ミドルセックス

エレクトリック・インダストリス

リミテッド

不調節同調部材を有する受信機と所望搬送波の受信をなす爲該部材の調節を遂行すべくなせる同調制御装置を包含し該同調制御装置は同調部材と間接に即ち機械的結合以外の手段にて聯係せられ従つて制御装置の操作により正確なる同調を容易に得られざる式の装置に於て同調部材が間接同調制御装置の影響等により運動しつゝある間に自動的に働かせしめられ以て同調部材が前記所望搬送波の受信の爲其の正確なる或は殆ど正確なる調節に達する時該同調部材の運動を制動する如く配置せられたる磁氣的に作動し得るブレイキを受信機に備ふることを特徴とする變調せられたる搬送波振動の受信用無線或は類似装置に係るものなり。

許 可 昭和十一年九月一日
特許權者、發明者 大阪市西淀川區佃町一九九

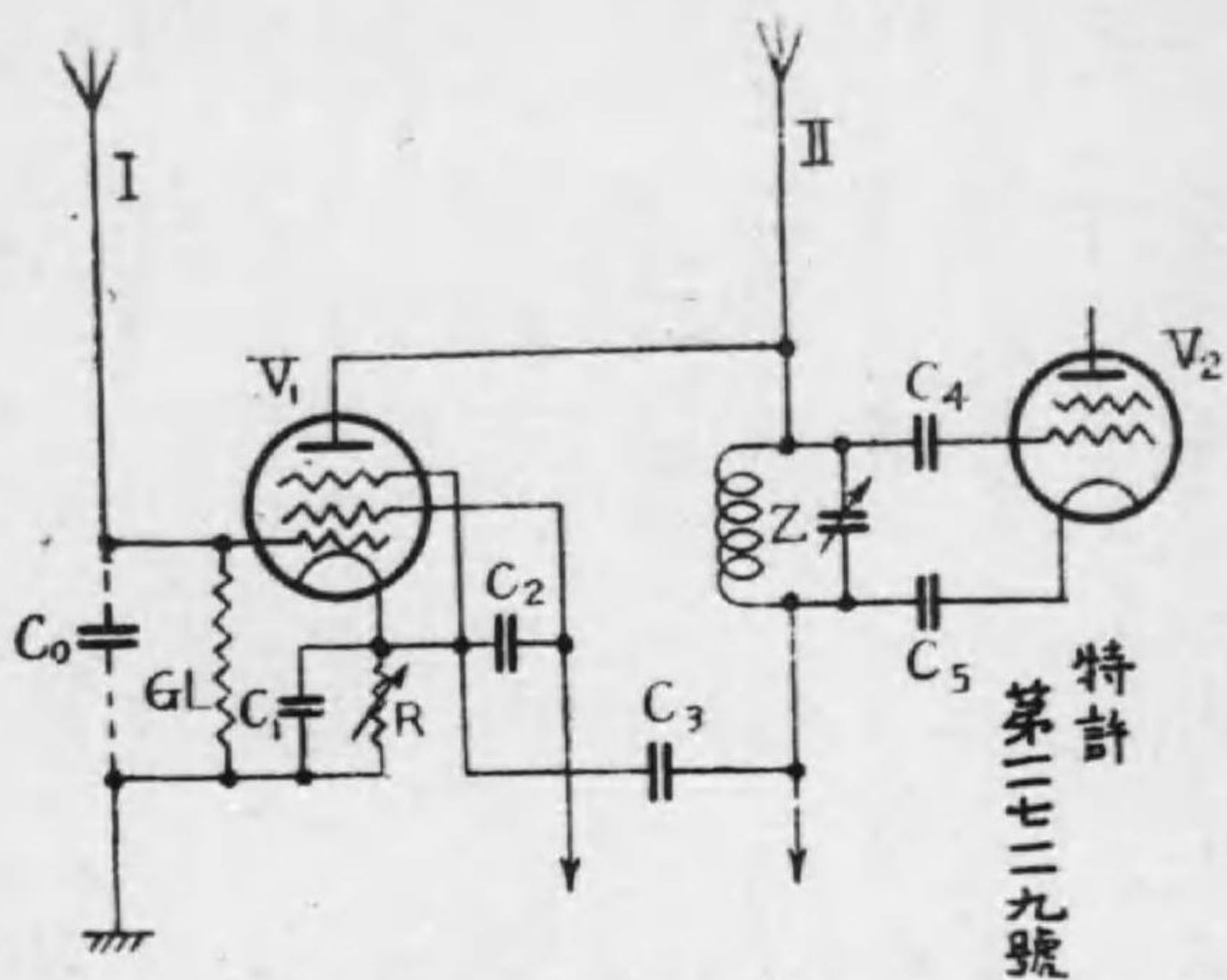
吉田清春

配線を挾持すべくなしたる電氣絶縁物質より成る二枚の層板より成る層間に金屬板を介在せしめて相重置し該層板及金屬板にラヂオ通信用各部品分に設けたる差込栓を挿入し若くは貫通し得る四孔又は透孔を設け該差込栓を二枚の層板間に於て前記の配線を以て相連結すべくなしたるものなり。

を調整し該真空管の出力側に於て互に相殺又は合成する如くしたるものなり

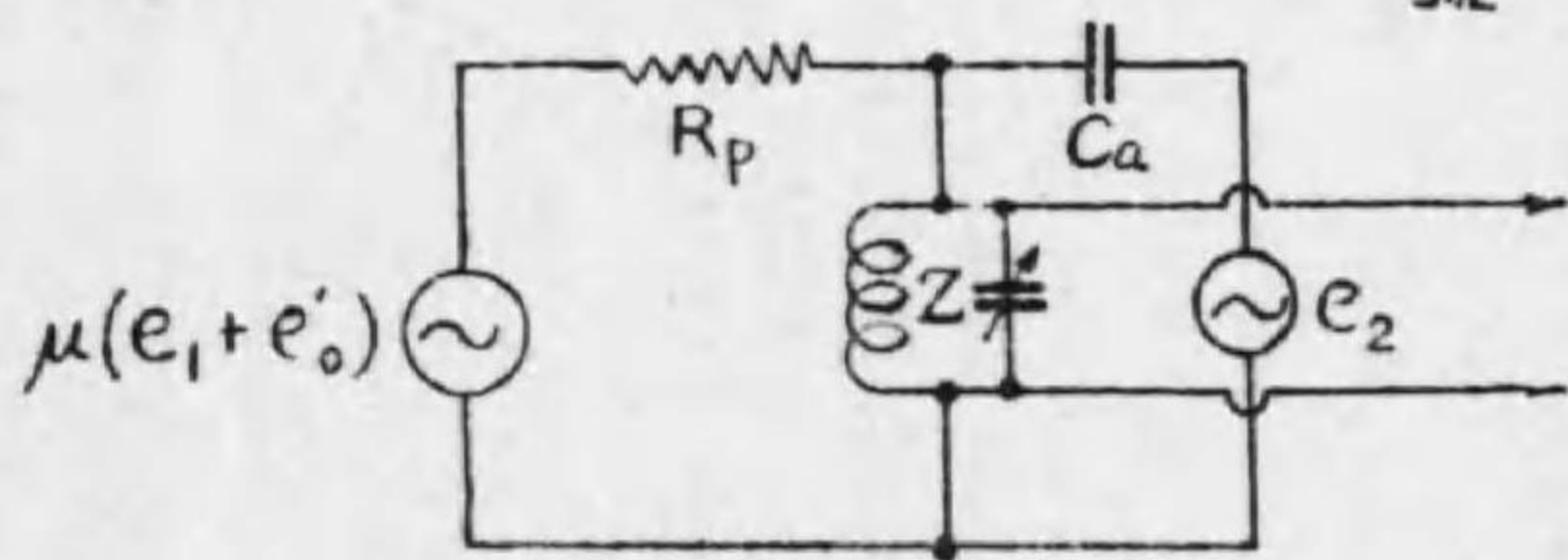
無線路用装置

特許 第二七二九五號



許 可 昭和十一年九月三日
發明者 獨國ベルリン市

特許權者 同テレフンケン・ゲーゼルシャフト
空中線が指向的效果を得るために交互



に働かし或は動作を中止せしめらるゝ如き装置に於て動作を中止せしめらるべき空中線が其のサージイムピーダンスに等しき一つの抵抗に接続せらるゝことを特徴とするものなり。

電波變調装置

特許 第二七九八號

許 可 昭和十一年九月三日

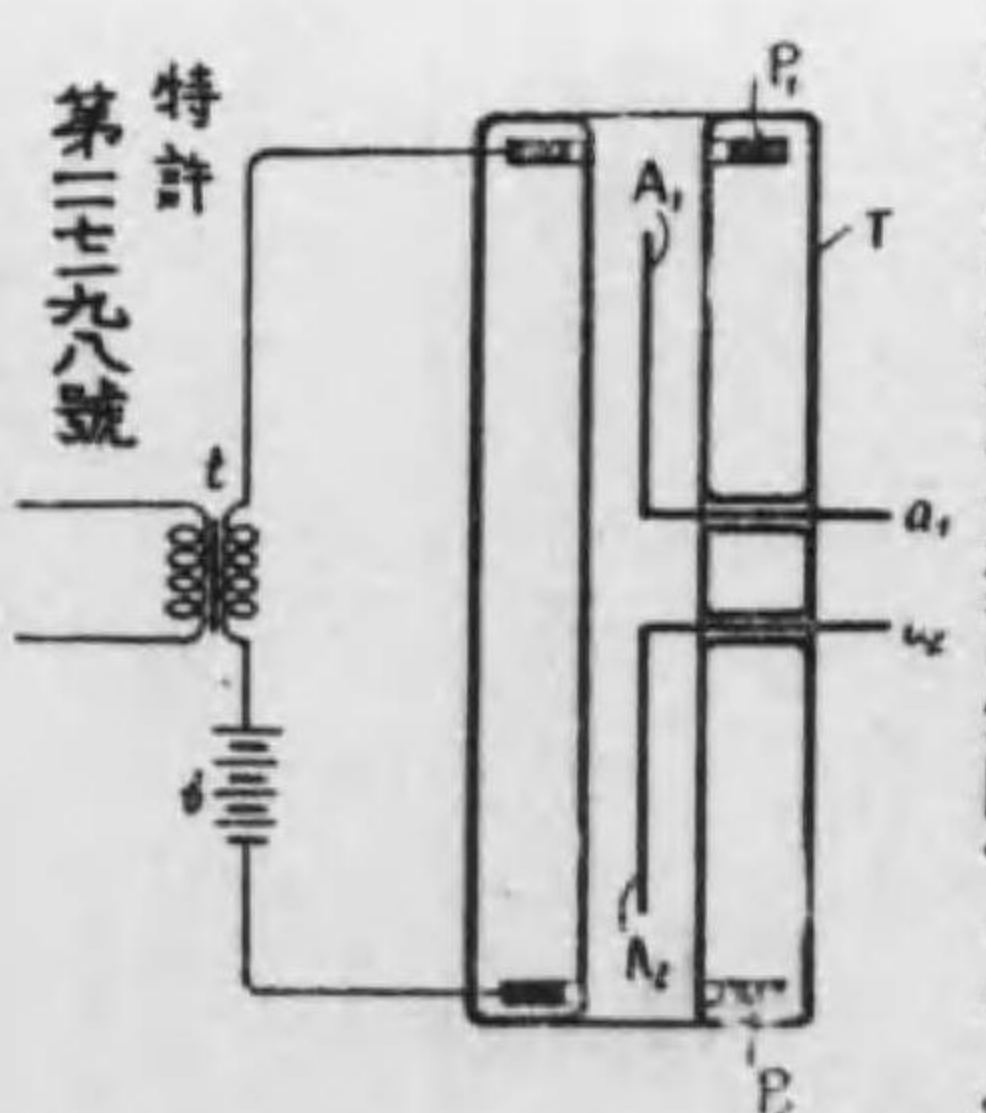
特許權者、發明者 東京市大森區田圃調布二ノ

八三一 森田 清

特許權者 東京市品川區東大崎町四ノ二四五

竹内壽太郎

周壁に不活發性瓦斯の密閉せらるゝ筒



内に電波輻射装置を具備し其の筒壁瓦斯のイオン化度合によりて其の筒内装置よりの電波の強度を變ずべくしたるものなり。

電波々長計測装置

特許 第二七二〇八號

許 可 昭和十一年九月三日

特許權者、發明者 東京市大森區 團調布二ノ

八三一 森田 清

同 品川區東大崎町四ノ二四五

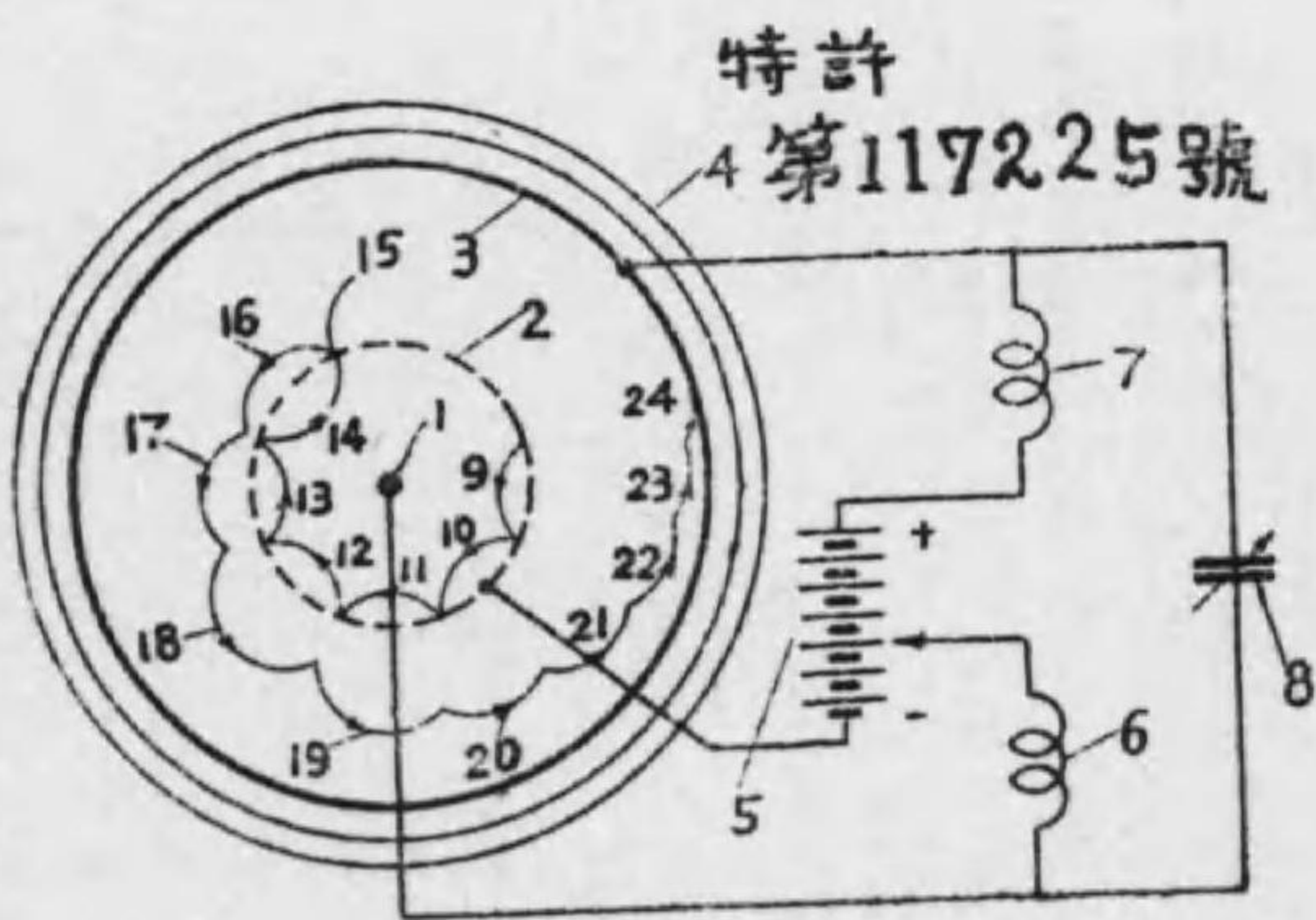
竹内壽太郎

管狀のレツヘル並行線と該線の一端口側に連結せられ該線に誘導せらるゝ高周波電流に因る直流を發生する装置と該線の當該側に接続せられ該線の管内を経て電氣計器に至らしめらるゝ導線とを具備するものなり。

二次電子振動發生方式

方式

特許 第二七二二五號
許 可 昭和十一年九月七日
發明者 東京市千代田區下十條一五〇〇



同 杉並區荻窪三ノ一五〇 關 壯夫
特許權者 安部昌二 渡信大 臣
電子の射突により電極より二次的に放射せられたる二次電子の振動的又は循環的運動と前記の二次電子に作用する

電界の振動又は廻轉との位相關係を急變せしめて前記の二次電子のエネルギーを外部回路に電氣振動のエネルギーとして供給する電子振動發生方式に係るものなり。

振幅制御搬送波

方式

特許 第二七二五四號

許 可 昭和十一年九月七日

發明者 米國ニューヨーク州

ジョージ・ダブリュー・ファイラー

特許權者 東京電氣株式會社

被變調增幅管及び之を通じて搬送波を傳送する装置と信號電流源に接続せられたる變調管と該變調管の出力回路に接続せられたる結合装置の二次側に生ずる電壓により搬送波を信號電流の周波數に従ひ變調する装置と前記結合装置の二次側要素を被變調增幅管又は之に接続せらるゝインピーダンス電流源及び變調管出力回路と直列に接続し搬

送波の振幅を信號電流の強度に應じて制御せしむる装置とを具備するものなり。

陰極線装置

特許 第一七二五五號
 許 可 昭和十一年九月七日
 發明者 横濱市鶴見區東寺町一〇七三 長島 躬行
 特許權者 川崎市堀川町七二 東京電氣株式會社

電子發生源の前面より電子收受面に可及的に接近せる點まで電子通路に沿ひて分布配列せらるゝ多數の有孔電極を設け之等を一ツ置きに略同電位ならしめ依つて生ずる二群の電極に相異なる電位を與へて多數並列せる靜電的收斂レンズを形成せしむべくなしたる陰極線装置に係る。

テレビジョン同期方式

特許 第一七二五八號
 許 可 昭和十一年九月七日

發明者 横濱市鶴見區東寺町一〇七三 長島 躬行
 特許權者 川崎市堀川町七二 東京電氣株式會社

電子流發生源と、收受電極と該收受電極と對向して配置せられ、電子流が一定位置まで偏向せられたる時のみ電子流を通過せしめ收受電極に達せしむる遮斷板とを具備する陰極線管に送像用陰極線管に於けると同期の高周波走査用偏向電壓を附與して其の收受電極よりの取出さるゝインパルス電流を同期電流と共に送出するテレビジョン同期方式に係る。

同時周波數變換裝置

特許 第一七二七五號
 許 可 昭和十一年九月七日
 發明者 東京市世田谷區北澤町三ノ八九三 堀江 貞治郎
 發明者 同 日置區上野黒四ノ二二二 小山 左近

特許權者 同 藤布區富十町三九 安立電氣株式會社
 略々又は全く相等しき二個の真空管に對して直列及並列なる如く二組の入力を加へたる時之に對應する出力が其の直列入力に對應するものは並列出力側にて並列入力に對應するものは直列側にて夫々極少なる如く互に相似的に接続し二組の搬送波及變調波を此等直列及並列入力側に同時に加ふる時各變調波に對應する二組の側帶波は其の直列及並列出力側に別個に傳達せらるゝ如くせるものなり。

音響再生方式に於ける改良

特許 第一七三三八號
 許 可 昭和十一年九月九日
 發明者 米國合衆國ニュージャージー州エセツクス郡モントクレリア・マリオンロード十五
 レヂナルド・シオドアフリブス
 特許權者 米國合衆國紐育市ブロードウエー九五

エレクトロリカル・レサーチ・プロダクツ・インコオペレーテッド
 間を隔て、置かるゝ複數のビツクアップ装置と此等に對應して間を隔て、置かるゝ電信裝置を包含し、而して諸偏導回路に依り各受信裝置を一年以上のビツクアップ裝置に接続し且つ此等上記の回路は上記のビツクアップ裝置より上記の受信裝置に給與するエネルギーを零値より最大値まで變更せしめ得る制御手段を具ふることを特徴とす。

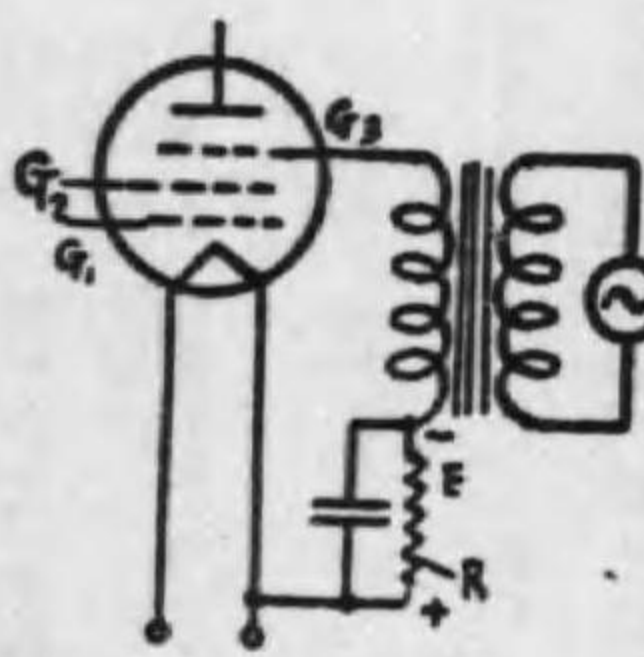
テレビジョン飛越走査用電壓發生裝置

特許 第一七四二四號
 許 可 昭和十一年九月十七日
 特許權者、發明者 濱松市廣澤町三六三 高柳 健次郎
 高速度走査周波數を有する衝擊電壓發生器及低速度走査周波數を有する衝擊電壓を有する衝擊電壓發生器を設け低速度走査周波數を有する他の制御用衝擊電壓發生器と前記高速度走査周波數

を有する衝擊電壓發生器との合成出力に依り前記低速度走査周波數を有する衝擊電壓發生器を制御すべくし該衝擊電壓發生器の出力電壓の幅を調節する衝擊電壓調整器を設け其の出力に依り前記高速度走査周波數を有する衝擊電壓發生器を制御すべくせることを特徴とす。

變調方式

特許 第一七三二五號
 許 可 昭和十一年九月九日
 發明者 東京市品川區五反田一ノ四二九 品川電機株式會社内 前日 久雄
 同 望月 當 晴
 同 品川電氣株式會社
 特許權者 同 品川電氣株式會社



抑制格子變調を行ふべくなせる真空管に於て該抑制回路に抵抗を挿入し該抑制格子に加は

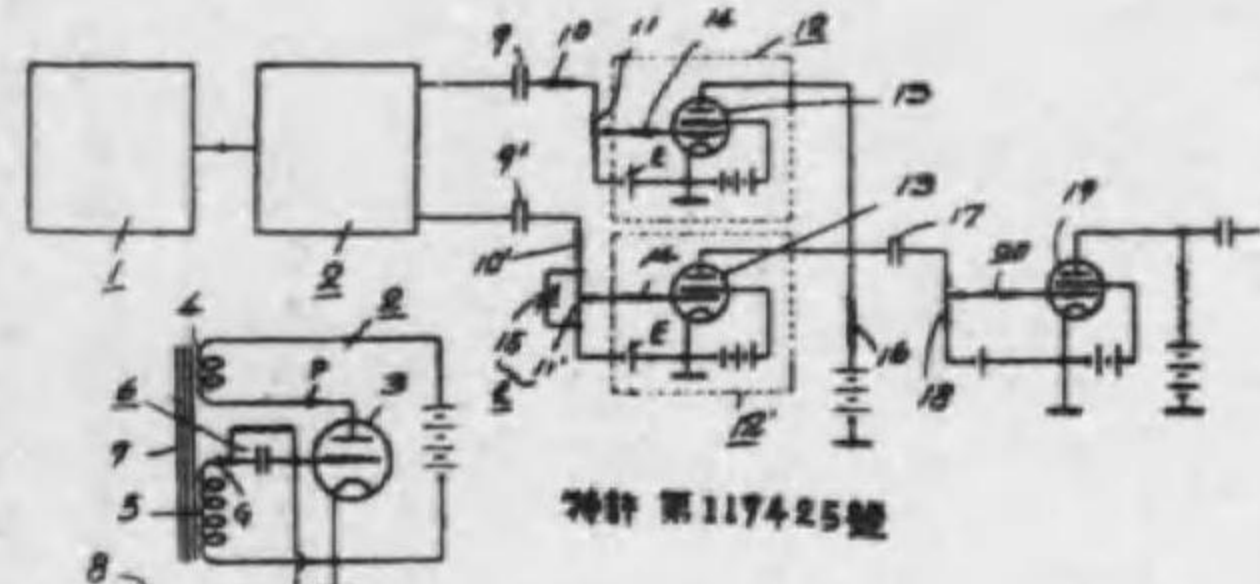
る變調波勢力の一部を該抑制格子により整流せしめ變調の始動と同時に該整流電流により生ずる抵抗中の電壓降下を利用し自動的に抑制格子偏倚電壓を發生せしむるべくせるものなり。

マイクروفオン

特許 第一七四四五號
 許 可 昭和十一年九月十七日
 發明者 獨逸國柏林ランクワイツツ・ブルーフワイツツ・シュトラッセ二八
 デラルド・クライン
 特許權者 獨逸國柏林「S.W.」・アスカーニツシセル・ブラツツ四
 シーメンズ・アパラーテ・ウント・マシネン・ゲゼルシャフト・ミツド・ベシユレンクテル・ハフツン
 受容體に彈性的に支承せられたるマイクروفオン管に補助の動作面を設けたることを特徴とす。其の目的とする所は傳送すべき音響に對する感度を増大するにあり。

周期的衝撃電壓發生器

特許 第一七四二五號
許 可 昭和十一年九月十七日
特許權者、發明者 濱松市廣澤町三六三 高柳健次郎



高漏洩變成器

波形尖銳器を定周波發振器により制御すべくし該波尖銳器の適當部分より導出せる電壓部分の位相を相對的に變更し之を夫々短形電壓發生器を通じて重疊することを特徴とする。

特許 第一七四七九號
許 可 昭和十一年九月十八日
發明者 東京市麻布區我善坊町三九 大橋房徳

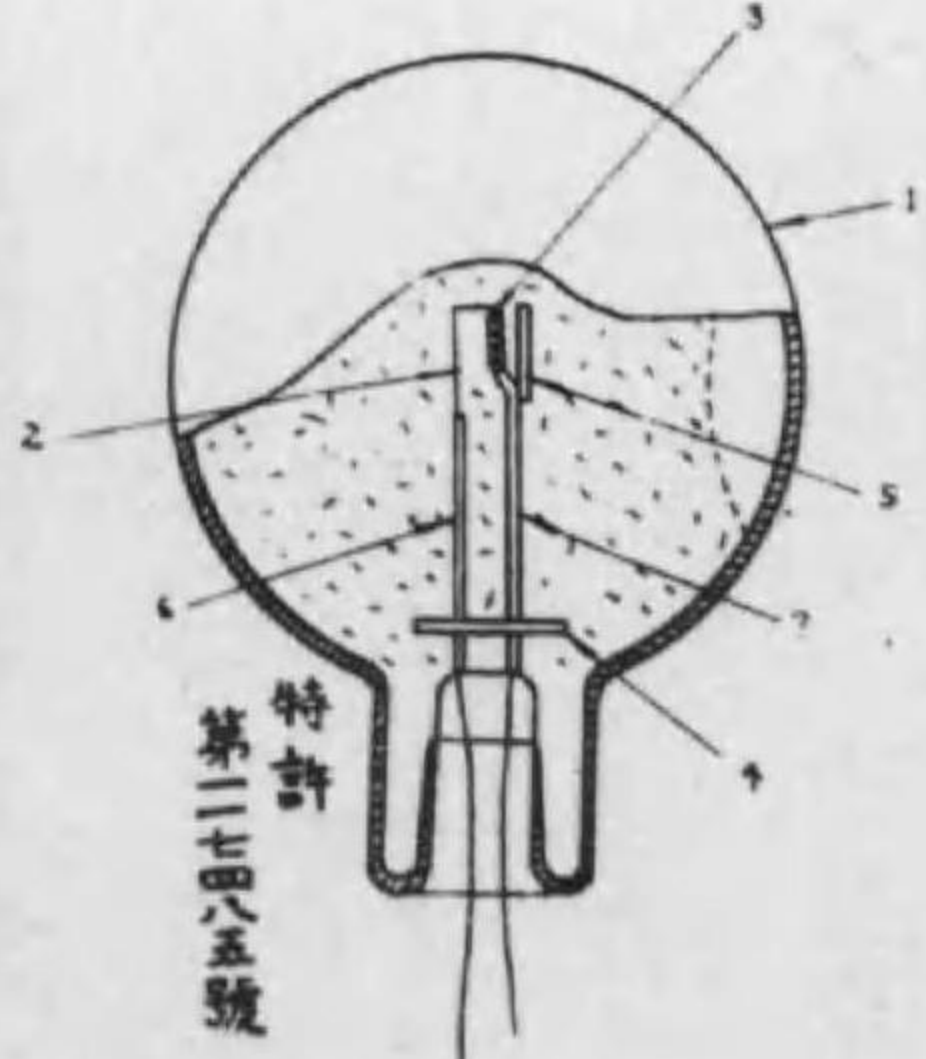
特許權者 龜町區有樂町一ノ一〇 株式會社芝浦製作所
漏洩磁路を有する鐵心の主磁路を構成する兩鐵心脚に略々同一の巻數に區分せる電源側接續區分を反對極性を以て夫々巻裝し之を直列に接續して該巻線區分による磁束を主磁路に於ては相加せしめ漏洩磁路に於ては相殺すべくし其の一方上のみ負荷側接續巻線を巻裝せるものなり。

光電管

特許 第一七四八五號
許 可 昭和十一年九月十八日
發明者 東京市芝區三田四國町二、日本電氣株式會社内 宮崎清俊

特許權者 同 日本電氣株式會社
密閉容器内に光電子發生用カソードと之に協作するアノードとを具備し其の基礎表面として銀或は類似の金屬とアルカリ土金屬とアルカリ土金屬の酸化

物との分子的混合體を用ひ之にアルカリ金屬を收着せしめたるカソードを有する光電管なり。



電動機の同期方式

特許 第一七五二八號
許 可 昭和十一年九月二十八日
發明者 東京市豊島區池袋三ノ一五六一 曾根有

特許權者 同 逓信大臣
真空管を用ひて交流電動機を同期運轉せしむる方式に係り交流直捲電動機の電動子に直接或は適當なる變壓器を介して真空管回路を接續し電動子速度の

遅速に應じて該真空管回路にて電動子の短絡を行ひ或は之を解除することを特徴とするものなり。

鋸齒狀波形電壓發生方式の改良

特許 第一七五二九號
許 可 昭和十一年九月二十八日
發明者 東京市千代田區下十條一五〇〇 關壯夫

同 東京市巖谷區大田町二五 天羽方 榎木進 逓信大臣
特許權者 同
真空管のアノード又はグリッドに周期部衝擊電子流を流入せしめ、該電極より射出せらるる二次電子を他の電極に奪取せしめて、前記電極に發生せしむる周期的衝擊負電流によりて蓄電器を周期的衝擊的に充電し二極真空管又はスクリーングリッド真空管の如き飽和的特性を有する真空管を流るゝ殆んど一定なる電流にて連續的に放電せしめて、該蓄電器の端子間に鋸齒狀波電壓

を發生せしむる方式に係る。

多相電氣振動發生方式

特許 第一七五三三號
許 可 昭和十一年九月二十九日
發明者 東京市目黒區中目黒一ノ一 伊藤康二

同 神田區淡路町三ノ一 伊藤恒雄 逓信大臣
特許權者 同
三つ以上に陽極が分割せられたる多分割陽極マグネトロンに於て各陽極に互に結合され或は獨立せる回路を接續することにより三相以上の多相電氣振動を發生せんとするものなり。

特に電視用に適するブラウン管

特許 第一七五三四號
許 可 昭和十一年九月二十八日
發明者 獨逸國ベルリン・フリードリヒスハ ーゲン・フリードリヒストラーセ三九

特許權者 獨逸國ベルリン・シュレージンゲル ーイゼンウエグー
ラヂオアクツエンゲゼルシャフト
・デー・エス・ロエウエ
顯像裝置として特に電子光學裝置を採用し其の焦點距離を陰極線束の線、中心線に對して同一ならしめ此光學裝置は例へば之を高壓の正電位を受くる有孔隔板と此有孔隔板に對して負の偏倚電壓を受くべき且つ内部に有孔隔板を挿入したる筒管との組合せとなし、而も該有孔隔板と筒管の縁との距離を隔板の穴の直径に等しく選定し更に該光學裝置は正電位有孔隔板の後方に少しの屈折界をも生ぜざる構成となし又該有孔隔板の前方には靜電的豫備集中裝置を設け之を其の内部に於ける電子の速度の變化によりて調整し得べからしめたるを特徴とす。以つて正電位隔板の穴の像をスクリーン上に明確に顯出せしむる特に電視用に適するブラウン管に係る。

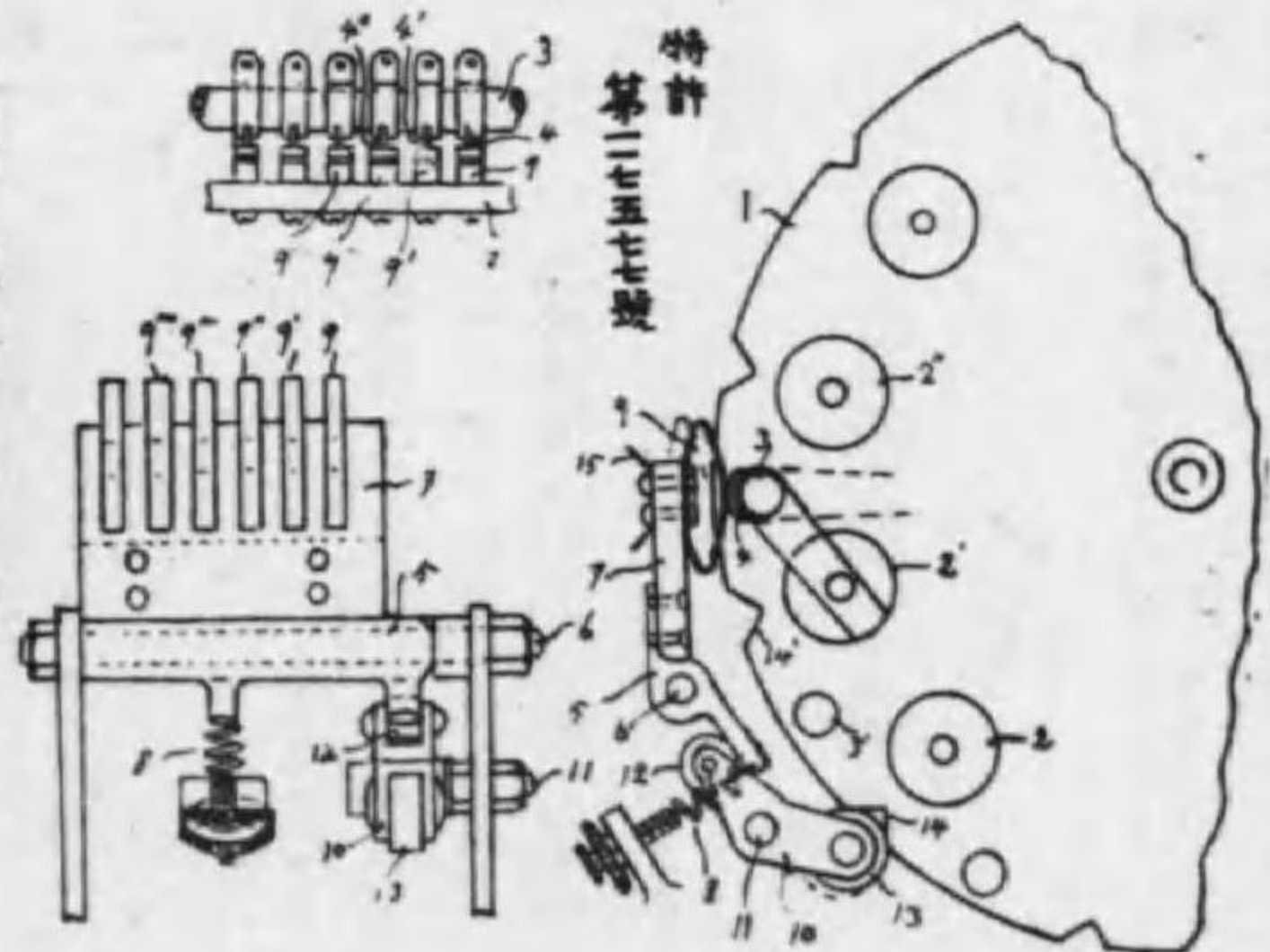
オールエープ受信機切換装置

特許 許 第一七五七七號
許 可 昭和十一年十月二日
發明者 東京市品川區大崎二ノ二九一
日本無線電信電話株式會社內

津田 清一

特許權者 同 日本無線電信電話株式會社
一端に絶縁板を介して楕圓型彈性接觸片群を固着せしめたる楕圓の他端に發條を張設し該端脊部を他の楕圓の一端と轉子に於て係合せしめ更に該楕圓の他端に於ける轉子をして常に線輪の定着せる廻轉圓盤周側に沿ふて滑動すべく爲し該轉子で圓盤に設けたる凹部と係合せる時のみ圓盤を一時停止せしむると共に楕圓端の接觸片群をして圓盤に装着せる接點群と接觸せしめ、他の圓盤凸部との接點に於ては接觸片群を發條に抗して接點群より引離し接觸

を斷つべくなしたるものなり。



高周波電流發生方式

特許 許 第一七五八一號
許 可 昭和十一年十月二日
發明者 東京市大森區田調調布一ノ八二五 森田 清
特許權者 品川區東大崎四ノ二四五

竹内壽太郎
高周波電流を發生する回路が電波の放射能率良き回轉楕圓體乃至は球面體焦點に存在することを特徴とするものなり。

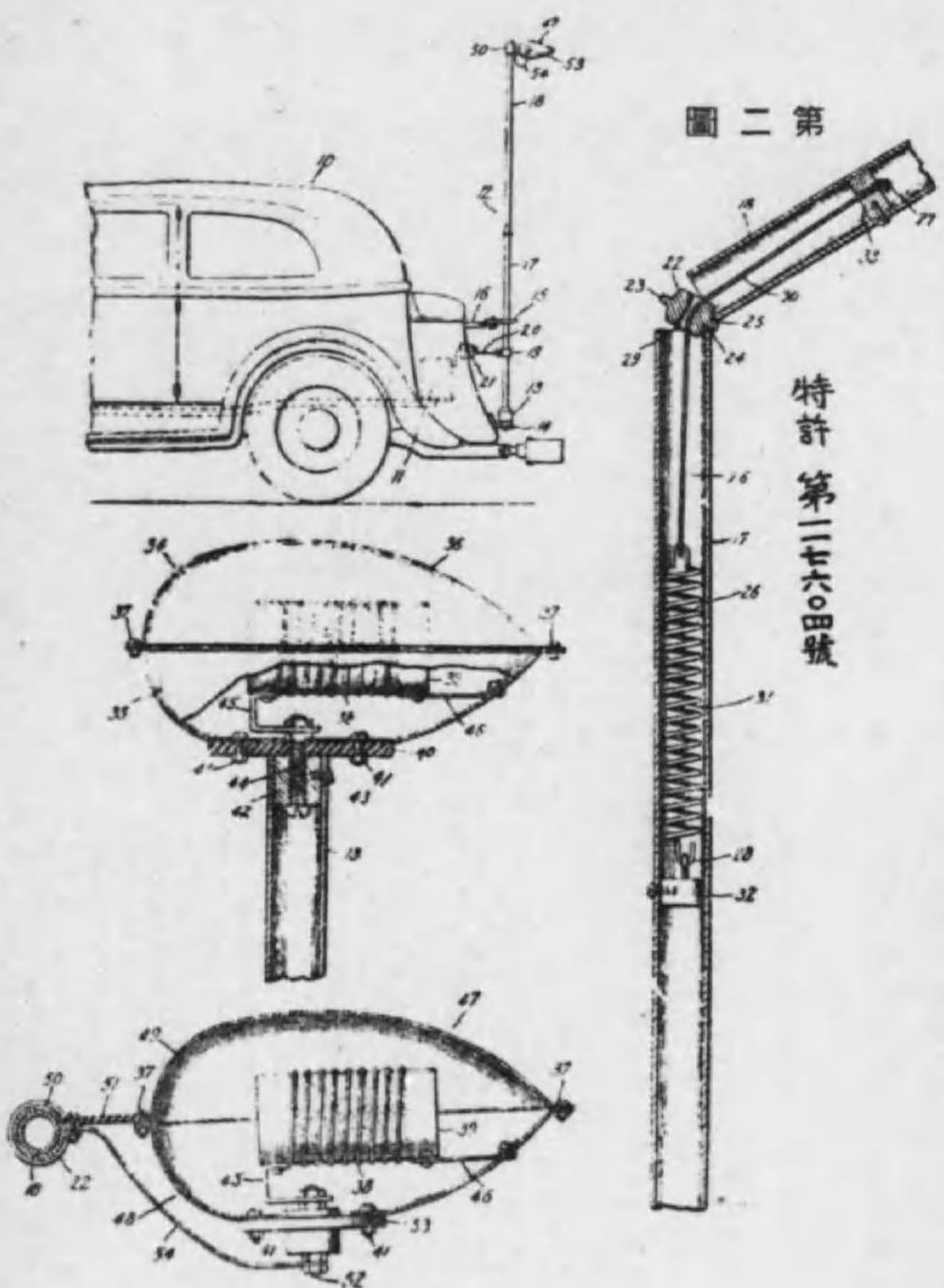
誘導同期電動機の同期化方式

特許 許 第一七五八二號
特許 許 昭和十一年十月二日
發明者 長崎市平戸小原町一三三
三菱電機株式會社長崎製作所
臨山 俊一

三菱電機株式會社
疎聯結子によりて負荷に直結したる誘導同期電動機を誘導電動機として起動せしめたる後交流より直流勵磁に切替へる直前に於て一度疎聯結子の聯結を釋放或は弛緩せしめて負荷を切るか或は軽くして同期速度に達したる後再聯結せしむることを特徴とするものなり。

自動車又は類似車輛用可撓空中線裝置

特許 許 第一七六〇四號
許 可 昭和十一年十月二日



發明者 米國ニューヨーク州
ボール・ジエー・シニワツツハウプト
東京電氣株式會社
特許權者 川崎市堀川町七二
ラヂオ裝置を具備する自動車又は類似車輛に取付けられ常時作動中は該車輛

多段振幅裝置

特許 許 第一七六一〇號
許 可 昭和十一年十月二日
發明者 東京市芝區三田四國町一
日本電氣株式會社內

小林宏治
日本電氣株式會社
特許權者 同所
中間段に於てホキートストン電橋よりなる、回路により接続せられ以て複數個の獨立せる饋還回路を構成することを得せしめたることを特徴とする多段増幅裝置なり。

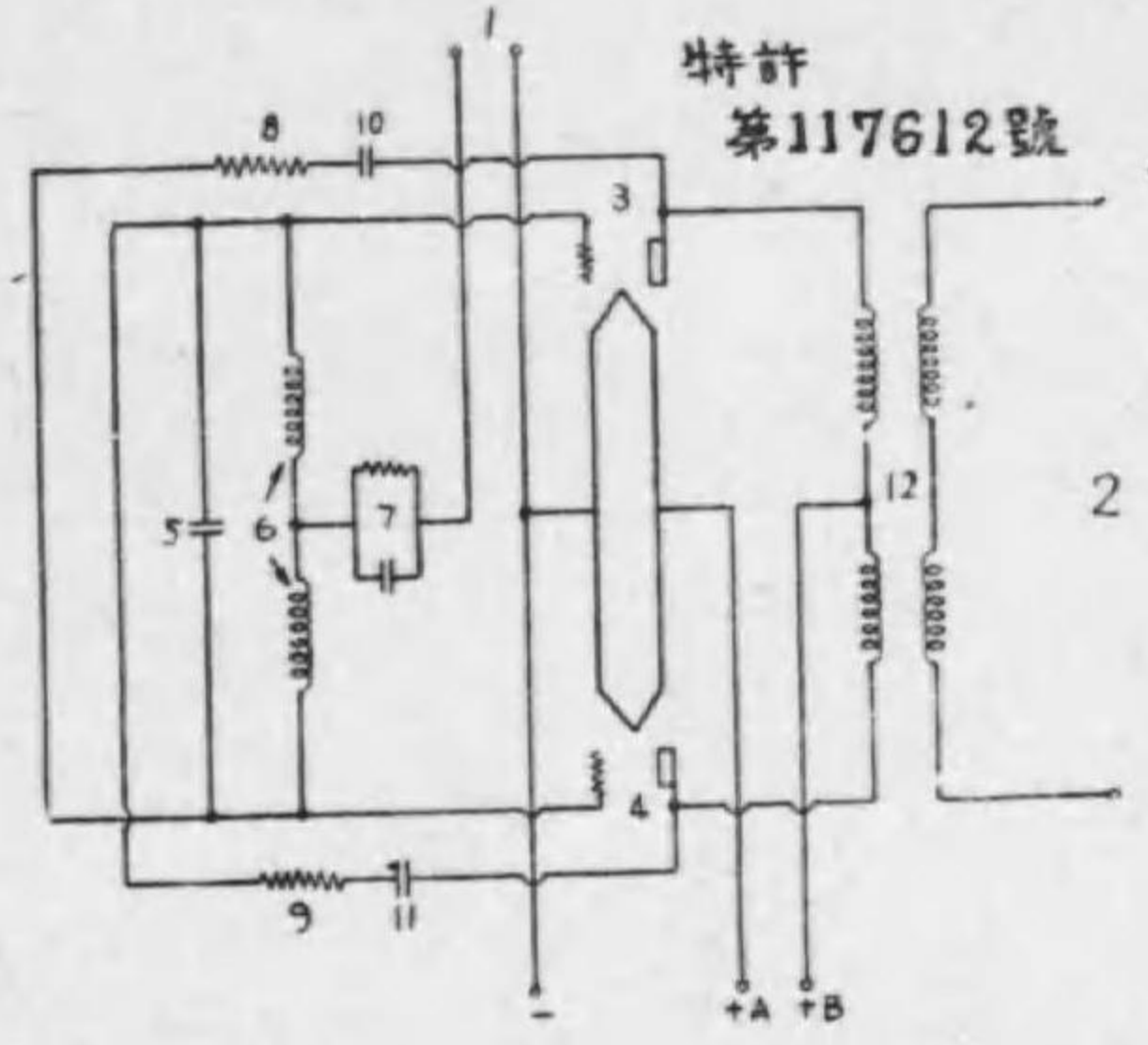
吸引發振器

特許 許 第一七六一二號
許 可 昭和十一年十月二日

發明者 東京市芝區三田四國町一
日本電氣株式會社內

特許權者 同所 小林 正次
日本電氣株式會社

同所 同所 日本電氣株式會社
プッシュプル接続の發振回路に對し其の共通制御回路に周波數調整用入力周波を加ふる如くしたるものなり。



**電流又は電壓振幅
壓伸裝置**

寫眞電送方式

特許 許 第一七六二二號
特許 許 昭和十一年十月二日
發明者 東京市芝區三田四國町一
日本電氣株式會社內
特許權者 同所 小林 宏治
日本電氣株式會社
同所 同所 日本電氣株式會社
負性饋還回路の饋還定數を信號に對應する電流又は電壓に應じて、自動的に調整し之によりて增幅回路の總合行爲を該電流又は電壓の振幅に應じて可變的ならしめ以て入力電流又は電壓の變化を出力側に於て壓縮又は伸長することを得る如くせるものなり。

特許 許 第一七六二六號
特許 許 昭和十一年十月二日
發明者 東京市芝區三田四國町二、日本電氣株式會社內
同所 同所 小林 正治
久保寺 平一郎
同所 同所 日本電氣株式會社
同所 同所
幅狭き縱溝を有する第一スクリーンを通過したる光線を轉換裝置の振動子に依り反射せしめ此の反射光線を適當なる幅の溝を有する第二スクリーンを経

電波中繼方式

て光電管に入らしめ、此の生成電流を無線により傳送する如くなし該振動子には通常の寫眞電送機に於ける出力電流と任意形状の脈流電流とを重ねて加へ、以つて時間的に變調したる寫眞電流を生ずることを特徴とす。

特許 許 第一七六二六號
特許 許 昭和十一年十月六日
發明者 東京市澁谷區代々木山谷二二五
同所 同所 岡田 實
東京市麻布區永坂町一
同所 同所 木村 六郎
同所 同所 渡信 大臣

雑音計

特許 許 一一七七一號
同所 同所
電流捕捉裝置と該捕捉裝置の出力とを重疊して到來電流の搬送周波數を低下する裝置と該低下搬送周波數に於て增幅する裝置と斯くして增幅せられたる勢力を傳播に適する如く選倍する裝置と幅射裝置とを有するものなり。

許 可 昭和十一年十月八日
發明者 仙臺市南町通十番地
合資會社日電商賣內

特許權者 仙臺市小田原清水河通五
日電々波工業合資會社
關 知 四郎

短き波長にて振動せる熱電子管を用ひたる超短波發振裝置に他の僅か低き周波にて振動する低周波發振裝置を電磁結合せしめ超短波を強く抑制し過超再生状態に保持せしむべくしたる標準雜音發生裝置を用ひ雜音量比較測定を行ふことを特徴とす。

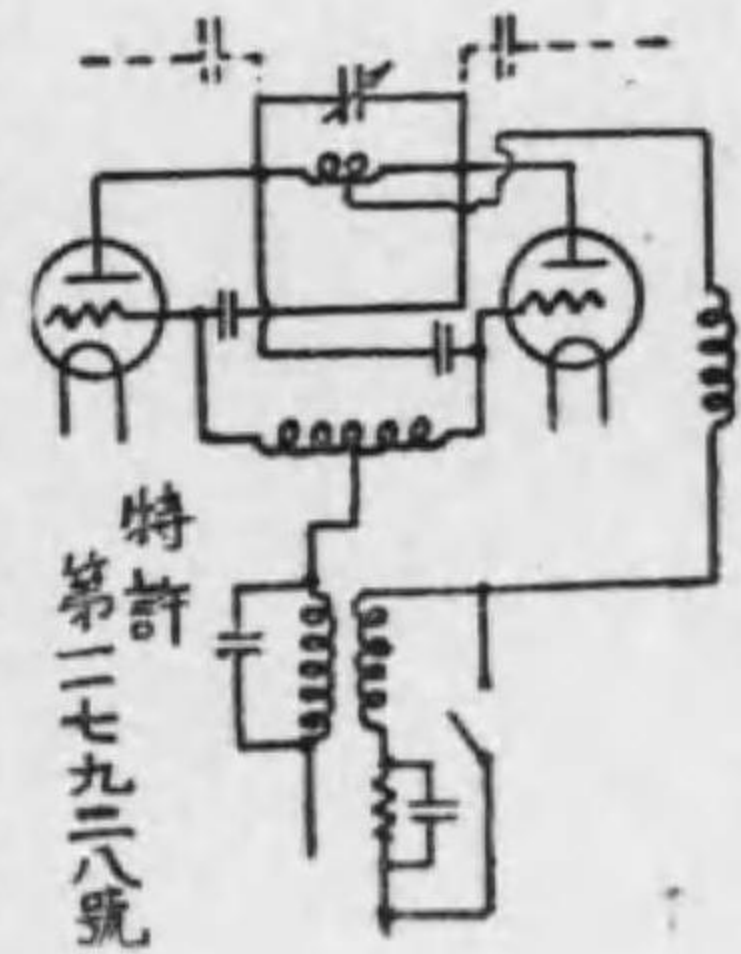
高速度秘密通信方式

特許 許 第一七八四四號
許 可 昭和十一年十月十九日
特許權者、發明者 大阪府北區中之島四ノ八
大阪帝大物理教室內
林 龍雄
振動建設時間或は振動減衰時間の異りたる複數個の發振器よりなる裝置及びその建設時間或は減衰時間の差異を検

出し得る受信裝置を用ふる通信方式に係るものなり。

超短波送信裝置

特許 許 第一七九二八號
許 可 昭和十一年十月二十一日
特許權者、發明者 米澤市七軒町三七二
大高 庄右衛門
二個の真空管のプレート間に直前に所要短波長に同調する一個の線輪及一個



の可變蓄電器よりなる共通の單一同調要素を接続するのみにて之と結合する結合要素を省略し、クエンチング電壓發生要素を介して前記線輪の中間點より直流電壓を加ふべくし、該同調要素の各端を夫々直流閉止用蓄電器を通し

て反對側の真空管のグリッドに接続し前記同調要素を直流的に同電位に保持しつゝ、超短波長送受信を可能ならしめんとするものなり。

マグネトロン發振管變調方式

特許 許 第一七九四六號
許 可 昭和十一年十月二十六日
發明者 東京市品川區東大崎二ノ二九一
日本無線電氣株式會社內

同所 同所 中島 茂
同所 同所 岡田 高
同所 同所 三上 二郎
同所 同所 日本無線電氣株式會社
對稱的に發振せる分割陽極マグネトロンに於て反對位相電壓により變調せらるゝ場合豫め各陽極片或は各陽極片群に夫々適當なる正及負偏倚陽極電壓を加へて制御變調せしむべくしたることを特徴とするものなり。

高周波發振プッシュプル變調裝置



特許 第一一七九五二號
 許 可 昭和十一年十月二十六日
 發明者 獨國ベルリン市
 ハンス・エー・ホルマン

特許 第一一八〇七二號
 許 可 昭和十一年十月三十日
 發明者 米國マサチューセッツ州
 フランク・エム・クラーク
 ジョン・エツナ・コニーグ

特許 第一一八〇七二號
 許 可 昭和十一年十月三十日
 發明者 米國マサチューセッツ州
 フランク・エム・クラーク
 ジョン・エツナ・コニーグ

調整装置は該陰極線の方向に對して直角なる平面内の一方に磁界を起生する装置と該磁界の強度を調整する装置と該平面内に於ける磁界の方向を調整する装置とを具備する陰極線装置に係る。

**選擇性フエーチン
 グ防止方式**

特許 第一一八〇五五號
 許 可 昭和十一年十月三十日
 發明者 東京市大森區田園調布二ノ七〇七
 難波 捷吉
 發明者 東京市大森區上池上町一六七
 河野 廣輝
 發明者 東京市大森區上池上町一二一九
 關 壯夫
 特許權者 逓信大臣

同
 特許權者 東京市麹町區有樂町一ノ一〇
 株式會社之田製作所
 キヤパシター、整流器、避雷器等として使用せらるゝ、電觸性電器に關し含水晶電線質即ち室溫に於て夫々固體たる二種又は二種以上の物質の共融體より成り室溫に於て液狀又は半固體狀なる電觸質を使用することを特徴とするのなり。

十一月

多量送受信方式

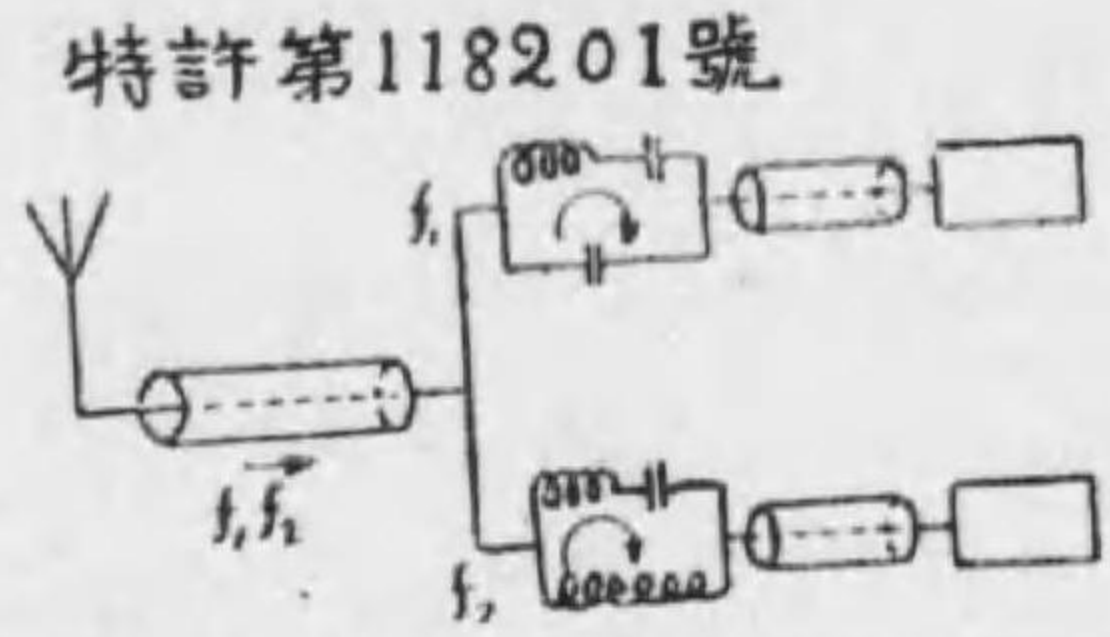
特許 第一一八二〇一號
 許 可 昭和十一年十一月十七日
 發明者 東京市甲斐區水川町二七
 加藤安太郎

陰極線装置

特許 第二二七六一號
 許 可 昭和十一年十月二十六日
 發明者 北米合衆國研育州スケネクタデー郡
 スケネクタデー市ベーカーアペーニ
 ユニ二九八
 ハンス・ビ・キユエンニイ
 特許權者 川崎市堀川町七二
 東京電氣株式會社

送信側波帯域を周波数の大小により數個の區分に分ち夫々の區分を代表する周波数の電波を無線送信中に發射し、受信側に於ては各個の代表周波數電波の蒙るフエーチングの程度に應じ各側波帯區分の受信増幅度を夫々別個に調整すること

特許權者 東京市麹町區大手町一ノ七
 日本無線電氣株式會社



特許第118201號
 儲電線を異る周波數の數に應じて分岐し各分路に夫々所定の周波數に對しては直列同調により略無限大のアドミッタンスを呈し、他周波數に對しては並列同調により略々零アドミッタンスを呈する回路を挿入したることを特徴とするなり

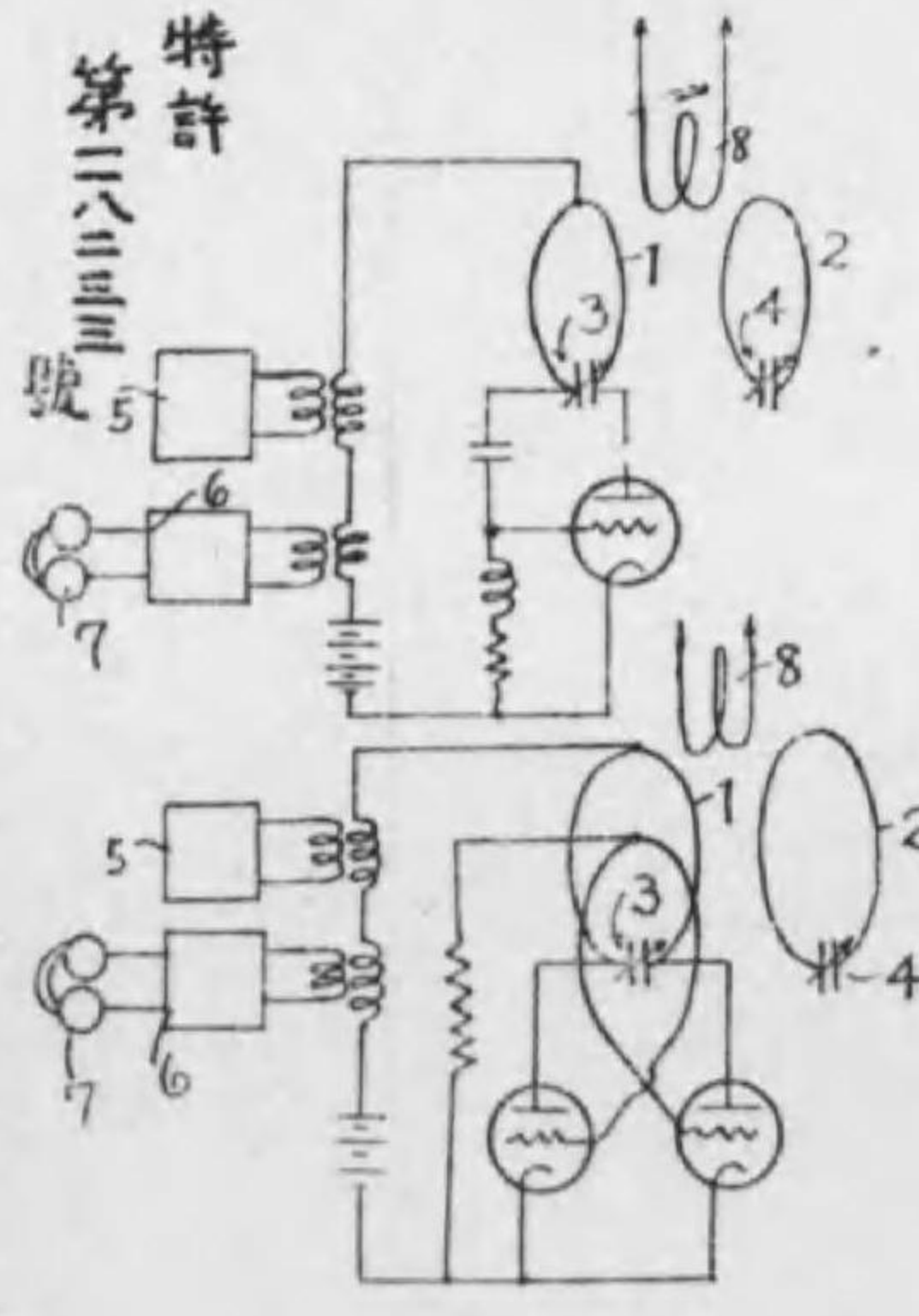
無線受信方式

特許 第一一八二〇二號
 許 可 昭和十一年十一月十二日
 發明者 埼玉縣入間郡福岡村一七五一、日本無線電氣株式會社出張所内
 關 英男
 特許權者 東京市麹町區大手町一ノ二

日本無線電氣株式會社

水晶發振子又は磁歪發振子等に依り安定化せられたる第一局部發振器の基本波及び其の高調波と入來電波との差周波數の振動電流の可變周波の濾波器又は共振回路を通じて可變周波の第二變換器に加ふることによりて廣範圍の入來電波を受信得べくせることを特徴とする。

**無雜音超再生高周
 波受信方式**



特許 第一一八二三三號
 許 可 昭和十一年十一月十六日

切なる手段に依りて超再生受信機に於ける特有の雜音を消去するにあり。

一の所要飛行區間に於て航空機を嚮導する送信装置

特許 第一八三三三號
許 可 昭和十一年十一月二十日
發明者 獨國ベルリン市

ミハエル・ロツク

特許權者 同
テレフンケン・ゲージルシャフト
飛行線が垂直幅射装置の多數を以て占められたることを特徴とするものに關す。

可變蓄電器

特許 第一八三四九號
許 可 昭和十一年十一月二十四日
發明者 米國ニューヨーク州

マウイン・アール・ジョンソン
特許權者 川崎市堀川町七二

東宮電氣株式會社

固定子板と該固定子板に協動する廻轉子板と溫度變動時に靜電容量を變動せしむる補償用要素とを具備し該補償用

要素はバイメタル金屬板より成り該固定子板若しくは廻轉子板の何れかに直接若しくは間接的に保持せしめて他の對應板と協動する如くに配置せられたるを特徴とする可變蓄電器に關す。

ブラウン管及其類

似装置

特許 第一八三五三號
許 可 昭和十一年十一月二十四日
發明者 東京市大森區山王一ノ八五四

淺尾莊一郎
發明者 東京市大森區入新井町六ノ四九五

守屋義廣

特許權者 川崎市堀川町七二

東宮電氣株式會社

硝子容器壁の内面に塗布せらるる螢光物質層に其光線吸収性を増加せしむる資料を含有せしめて陰極線の投射によつて生ずる光點の周圍に於ける光環の發生を防止し得べくせるブラウン管及其の類似装置に係る。

ブラウン管及其類

似装置

特許 第一八三五四號
許 可 昭和十一年十一月二十四日
發明者 東京市大森區山王一ノ八五四

淺尾莊一郎

發明者 東京市大森區入新井町六ノ四九五

守屋義廣

特許權者 川崎市堀川町七二

東宮電氣株式會社

硝子容器の螢光物質膜を被着すべき壁面の緻細なる凹凸を形成せしめたることを特徴とす。

十二月

ラチオ用ダイヤル

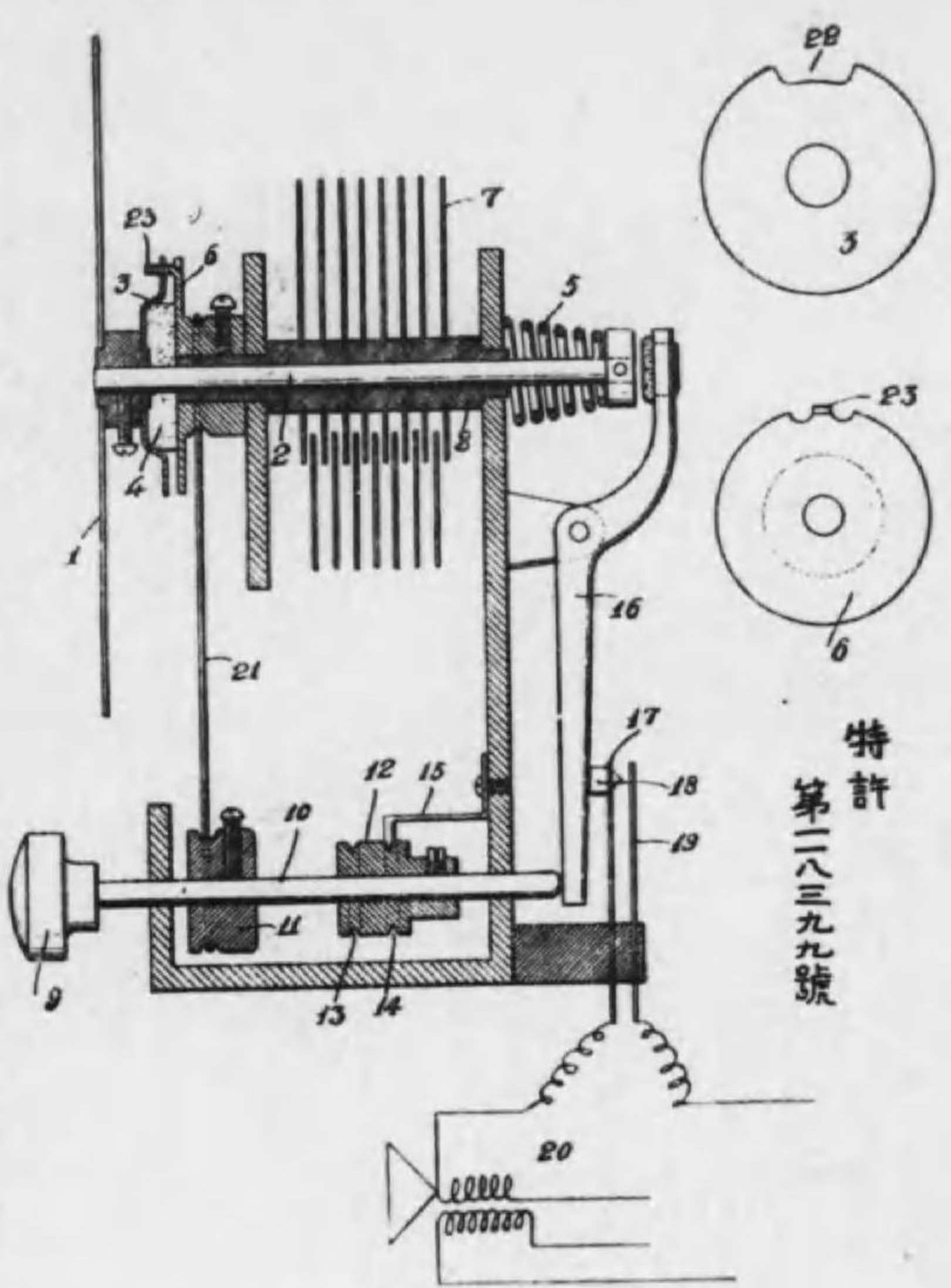
特許 第一八三九九號
許 可 昭和十一年十二月八日
發明者 東京市淀橋區戸塚町四ノ七四三

須子信一

特許權者 川崎市久根町一二五

株式會社日本蓄音器會

受信回路を遮斷し置きたるとき可變蓄電器の可動板と標識とを同時に回轉し



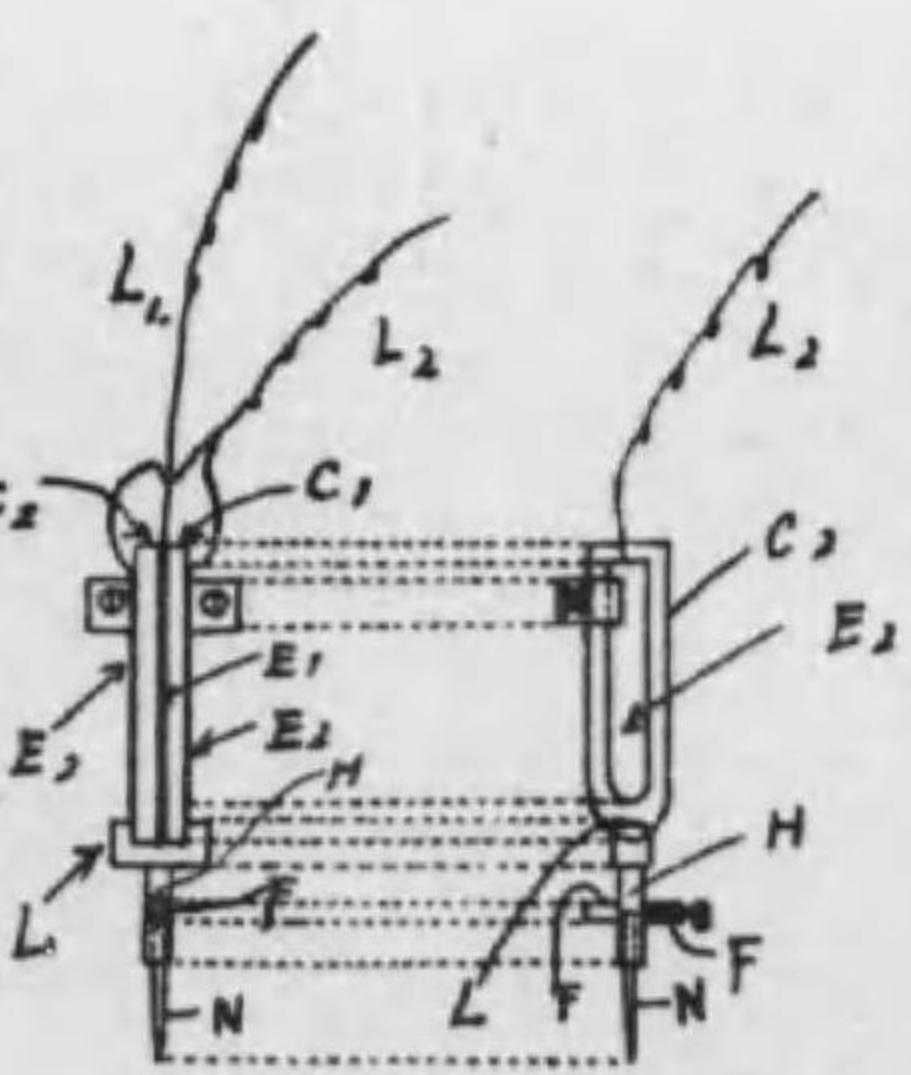
特許 第一八三九九號

回路を形成したるとき可動板のみ或範圍内廻動したる如くなしたるものなり

重合結晶發電素子型ビツクアツプ

特許 第一八四〇二號

許 可 昭和十一年十二月八日
特許權者 發明者 東京市澁谷區千駄合一ノ五
六二 安藤 博
重合板狀發電結晶體の形狀を振動を加ふべき尖の部分に逐次細まれる如きものと且つ電極としては夫自體の彈性が結晶體の彈性に比し無視したる程度



特許 第一八四〇二號
テレビジョン畫像分解装置

特許 第一八五二三號
許 可 昭和十一年十二月十六日
發明者 東京市豊島區丸の内二ノ二丸ビル四
四六 伊藤 虎雄
特許權者 東京市大森區大森四ノ二二七一
無線機産業株式會社
二個の直線狀の鏡を互に直角に對向せしめ此の夫々の面に平行せる中心軸を

のものを用ひたるものなり。

原点として各線状反射面が弧を描きて適當に振動する如くし該反射面の一方へ畫像を投射し其の反射を他方の面へ受け之を又反射せしめて光電管に投入し電氣波として送像し又は受像せんとするテレビジョン畫像分解方法に係る

受信装置に對する

人力接續方式

特許 第一八五八八號
 許可 昭和十一年十二月二十二日
 發明者 獨逸國伯林エス・ダブルユー・十一
 ハレツセスウィフエル十二、十三
 カール・ウィルヘルム

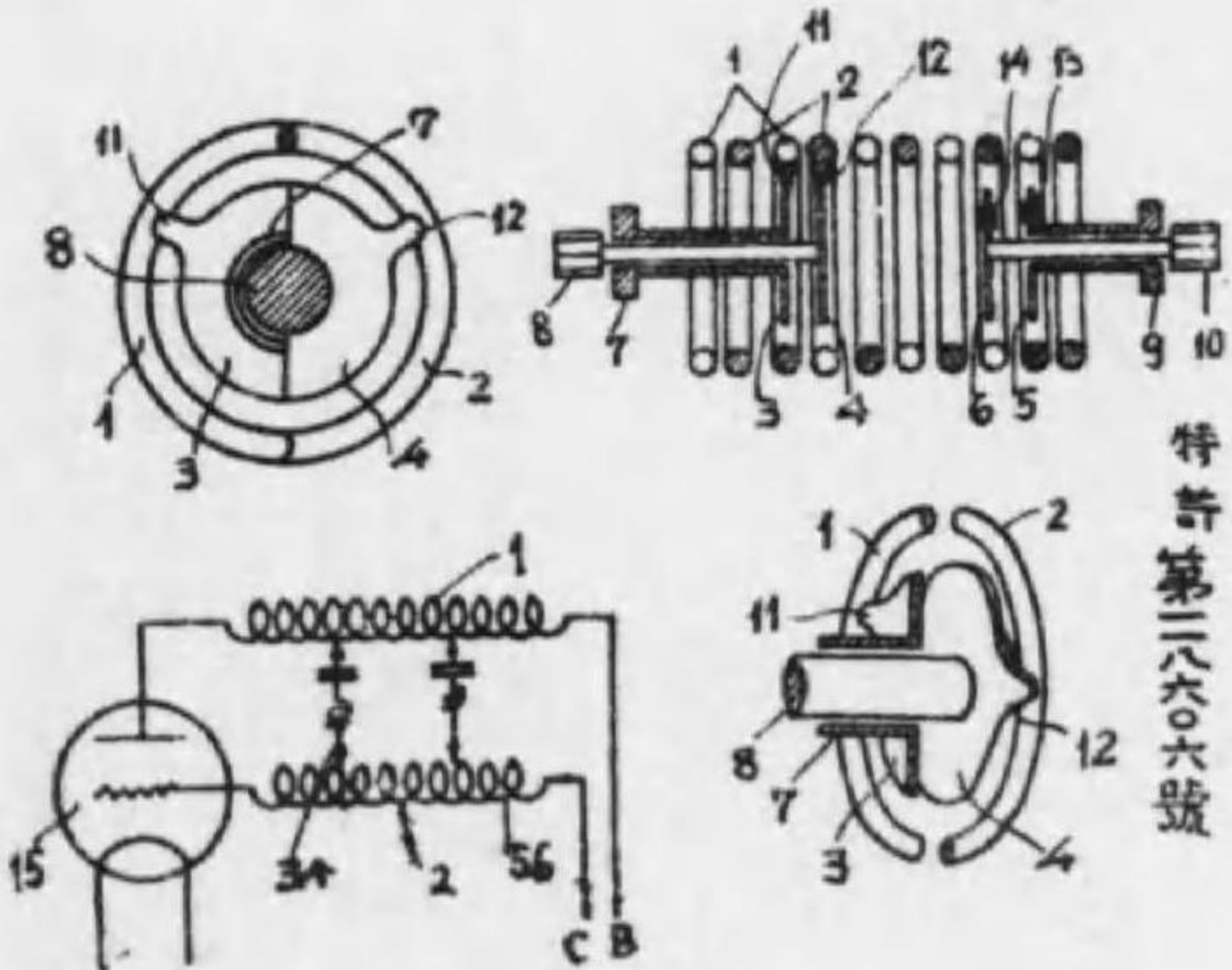
特許權者 同
 テレフンケン・ゲゼルシャフト
 エール・ドライトローゼレグラ
 ウィー・ミット・ベンツレンクテ
 ル・ハフツング

阻止回路が附加線輪と結合線輪との間に接續せられたることを特徴とする附加線輪及阻止回路を有する受信装置に對する人力接續方式にかゝる。

超短波用線輪

特許 第一二八六〇六號
 許可 昭和十一年七月二十三日
 特許權者 發明者 米澤市七軒町三七一
 大高 庄石 門

超短波特に波長短かきものに對し電氣的定數を容易迅速に調節し最良の共振



状態を得べくせる線輪に關するものにして、互に絶縁せる並行導線を線輪に巻装し該並行導線を任意の點に於て適當なるインピーダンス要素により短絡することにより任意波長に共振せしむべくせることを特徴とする超短波用線輪なり。

高周波流通導體の

遮蔽装置

特許 第一二八六四一號
 許可 昭和十一年十一月二十二日
 特許權者 發明者 瑞國テューリッヒ州キル
 ヒベルグ
 エミール・フリーベル

半導電物を以て非反射性となしたることを特徴とするものなり。

實用新案之部

(自昭和十一年一月至昭和十二年十二月)

一月

真空管用「ベリス」

の脚金具

實用新案 第三六號
 公告 昭和十一年一月六日
 東京市品川区大井南河川町一七〇〇
 出願人、考案者 川口・登

真空管のベースの底部に密着植設すべき嵌着部上面を閉鎖する頂面板を有しその下部に近く鏑を設け中央に溝孔を作りたる筒狀體に挿出して形成したるものなり。

空眞管及其類似装置

實用新案 第四七號

公告 昭和十一年八月六日
 川崎市堺田新町六四八
 考案者 吉田 隆太郎

出願人 川崎市堀川町七二
 東京電氣株式會社

金屬管狀態の一部を壓潰して扁平部となしたる電極支持體の該扁平部を電極部分に装着してなるものなり。

擴聲器連接用可變

抵抗器

實用新案 第一二八號
 公告 昭和十一年一月七日
 東京市澁谷町千駄ヶ谷町二ノ四六〇
 考案者、出願人 増田 敏雄

器管に管を貫通し之に把手を有する廻轉軸を挿通し器管に捲着したる線輪より抽出したる端子を孔を通して接極子

に接續し該接極子に相對して接極子を設け之等の各接極子に擴聲機の線輪より抽出したる端子を夫々連結し可變抵抗の接極子の各抵抗及其の緩和と擴聲機の線輪の接極子の各抵抗及其緩和とを等しからしめ廻轉軸の先端に具へたる接極彈片の一端を接極子に他端を接極子の他の一組に接離し得べからしめたる擴聲機連接用可變抵抗器なり。

短電波發振に於ける

波長可變裝置

實用新案 第二七六號
 公告 昭和十一年一月十一日
 札幌市十二條西二〇ノ五二七
 出願人、考案者 笹田 助三郎

渦狀に捲きたる線輪を對立せしめて其

の中心を軸上に定着し該線輪上に極着せられ外部空線の短絡装置を附設せしめたる刷子を可摺動的に装着したるものなり。

ピツクアップ ム支持装置

實用新案 第三四七號
公 告 昭和十一年一月六日
大阪府北河内郡門真村
松下電器製作所内

出願人、考案者 竹中 哲哉
大阪府此花區大開町一ノ七三
松下幸之助

ヘッド及上下旋廻軸をアームに該アームの中心線と直角に各々装着し該上下旋廻軸を水平旋廻軸を有する支持固定部の適所に該水平旋廻軸と直角なる如く装着して該アームの中心線を水平旋廻軸より偏位せしめたるものなり。

蓄電器

實用新案 第四〇七號

公 告 昭和十一年一月十四日

大阪府東淀川區三津屋南通二ノ二四
日本コンデンサー製作所

出願人、考案者 松尾 正夫
複數個の蓄電器素體を並置して其外部に位置するもの、外側へ複數個の溝孔を穿設したる端板を接着せしめ兩極板の同一側に於て對向する溝孔へ夫々一個の縮緋の端部を差込み且つ折返し鉤接縮緋せしめて成るものなり。

高抵抗の導線固着部

部

實用新案 第四九六號
公 告 昭和十一年一月十六日
大阪府北河内郡門真村
松下電器製作所内

出願人、考案者 井上 勝利
大阪府此花區大開町一ノ七三
松下幸之助

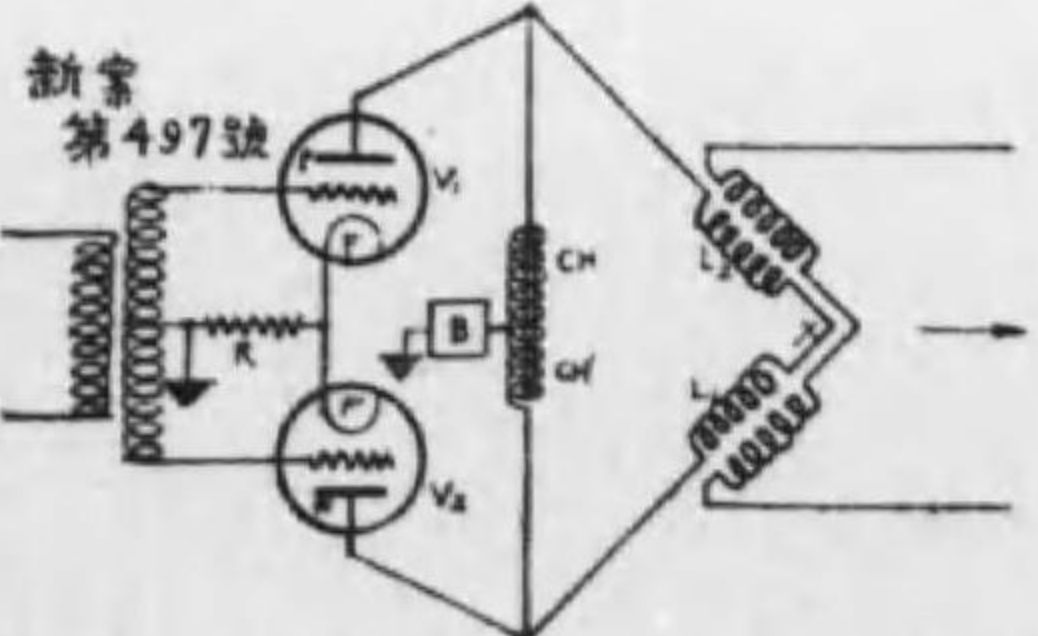
端部を擴大せしめたる導線をキヤツプ金具に挿通し半田にて鑲着せしめ該キヤツプ金具を抵抗體に固着すべくなし

たるものなり。

平衡型増幅装置

實用新案 第四九七號
公 告 昭和十一年一月十六日
東京市流石區千駄ヶ谷一ノ五六二

出願人、考案者 安藤 博
平衡型真空管増幅装置に關しプレート饋電回路と直列に寒流線輪を接続し該回路歸路に電圧用抵抗を挿入し且つブリツヂの平衡腕をなす交流出力回路を前記寒流線輪と並列關係に別箇に設



け之が對角線預點を電源に直接々續せざることを特徴とするものなり。

接地導體棒

實用新案 第六二七號
公 告 昭和十一年一月十八日
尾崎市神田北通六ノ一八二

出願人、考案者 綱澤 蘇平
同 市神田中通六ノ二〇六
竹内 俊平

銅管内に銅棒を嵌着し其の上下兩端は該銅管より大徑となしたる金屬製の打擲片と尖頭片とを固着したるものなり

指向性空中線装置

實用新案 第六六八號
公 告 昭和十一年一月二十一日
米國ニュージャージー州

出願人、考案者 ラルフ・キンボール・ボッター
東京市芝區三田四國町二
日本電氣株式會社

一系列の空中線の各自を數個の分路を通して數個の端部装置に接続し該接続中に於て各電流分の位相及振幅を適當に調整する装置を有し以て數方向に對し

同時に各別の指向通信を行はしめんとするにあり。

擴聲器

實用新案 第六六九號
公 告 昭和十一年一月二十一日
東京市澁谷區千駄ヶ谷一ノ五六二

出願人、考案者 安藤 博
「コーン」又は之に近き形状の振動板の可撓性周縁に接する外周に別箇の中心支持體を装着し之の一部を適當なる固定部分に定着したる擴聲器なり。

ピツクアップ

實用新案 第六七七號
公 告 昭和十一年一月二十一日
大阪府豐野郡中豐島村服部四〇一

蹄型磁石の各極端に極片を接着せしめ該兩極片の對向平面にて形成せる狹隘なる空隙内に音針支持子の上端に固着せる電導片を挿入せしむべく該支持

子の横杆部を廻動自在に支承し音針の振動に伴ひ電導片が極片の前記平面に沿ひて振動すべくしたり。

電氣抵抗器の端子

實用新案 第六八三號
公 告 昭和十一年一月二十一日
東京市澁野川區上市里一四三

出願人、考案者 赤平 武雄
本郷區駒込下富士前町三
物理學研究所

抵抗體の外側に嵌合するに適當なる内徑を有せしめ且切目を附して可撓性ならしめたる内筒と内徑が軸方向に次第に擴大又は縮少し前記内筒の外側に嵌合し得べからしめたる外筒とよりなるものなり。

多極同時切開閉器

實用新案 第七〇二號

公 告 昭和十一年一月二十一日

大阪市住吉區田邊東ノ町五ノ三八

考案者

經澤徳太郎

大阪市住吉區西田邊町二五

考案者

小松金治

同

出願人

株式會社早川金屬工業研究所

絶縁板の兩端に直立壁を定着し該壁間に絶縁材製角棒を回動自在に架設し該棒の兩側に屈曲端子を並列對設し該棒には接續金屬片を交互に直角位置に貫挿定着し棒の外端には摘子を附して成るものなり。

電氣時計附受信機

實用新案 第七〇八號

公 告 昭和十一年一月二十一日

東京市杉並區高十寺七ノ九四八

出願人、考案者

二本柳 純

受信機内に裝設せる擴聲器の正面に電氣時計を裝備して正面より視得べからしめ該時計は受信機と同一電源に接續し其の背部は圓錐狀の傾斜壁にて遮蔽

して傾斜壁と擴聲器との間に極限せる音波通路を形成する配置なり。

可變抵抗器

實用新案 第七四九號

公 告 昭和十一年一月二十三日

大阪府北河内郡門真村

考案者

三浦 義明

松下電氣製作所内

出願人

松下幸之助

彈性接觸軟輪の押壓子を一端に固着せる押壓板に誘導溝並其の中間部に突出部を形成して之に螺旋彈簧機を嵌裝せしめ廻轉部に固着せしめたる廻動金具の支持部に前記押壓板の突出部を貫挿支持せしめてなるものなり。

押釦開閉器

實用新案 第八三九號

公 告 昭和十一年一月二十三日

大阪府北河内郡門真村舊四ノ一〇〇

考案者

宮下電機製作株式會社内

六、松下電氣製作所内

考案者

前田 茂

同 此花區大開町一ノ七三

出願人

松下幸之助

蓋體の透孔の内部孔縁に支持すべくせる支持板に端部に接觸子を形成せしめたる押釦軸を嵌挿し該押釦軸に固着せる押釦と支持板間に螺旋彈簧機を介在せる一體を透孔に装入せしめ金屬板を截斷して成り一端を折曲して接觸子に接觸すべく相對應する接觸片を形成せしめたる電路接續金具を蓋體の面部に固着せしめ該接續金具に依り支持板を支持せしめて成る押釦開閉器なり。

電子流に依る投像装置

實用新案 第一〇〇九號

公 告 昭和十一年一月二十九日

川崎市田邊新田一

出願人

宮下電機製作株式會社内

の長さに於て「コード」と共に又は「コード」の外周に軟銅細線又は之と同効の金屬線を被覆することにより實質的に彈力なく任意所望の形狀に賦形し得べくせる繫着部を設けたる受聽器の「コード」なり。

二月

挿込栓承

實用新案 第一二二三號

公 告 昭和十一年二月一日

大阪府北河内郡門真村門舊四ノ一〇〇六

考案者

前田 茂

松下電氣製作所内

出願人

松下幸之助

根部を折曲して挾持部を形成し、端部は更に折返して挿込栓の接觸部となしたる接觸金具の該挾持部を上面に挿込栓挿込栓挿込窓を穿設し、内部に中央隔柱を形成せしめたる主體の側壁に嵌

考案者

堀内 安

同

出願人

富士電機製造株式會社

氣密容器内に光電子放射の極大なる光の波長と發生する螢光の極大の波長を互に異にする光陰極と螢光板とが對立して收められその間に適當なる大いさの開口を有する遮光板が設けられたる電子「レンズ」を使用する電子流に依る投像装置の構造なり。

走査装置

實用新案 第一〇七八號

公 告 昭和十一年一月二十九日

東京市芝區三田四國町二

考案者

小林 正治

同

出願人

日本電氣株式會社

放射狀に配置せられたる數多の細隙を有する廻轉圓板と横方向に傾斜配置せられたる數多の並行細隙を有する無端運動帶條と光學系とより成る走査装置なり。

感光電極板

實用新案 第一〇八四號

公 告 昭和十一年一月三十日

東京市芝區三田四國町二

考案者

大澤 專一

日本電氣株式會社内

出願人

日本電氣株式會社

絶縁物又は絶縁被覆を施したる細き縦糸及横糸よりなる編組板の一面上の縦糸及横糸の露出部に互に絶縁して感光物質片を附着してなる感光電極板の構造なり。

受聽器の「コード」

實用新案 第一〇六六號

公 告 昭和十一年一月三十日

京都市上京區小山大野町六六

考案者、出願人

星野 行恒

「コード」に依り送話電流の受聽器に送給すべくしたる電氣受聽器に於て「コード」の本體より出たる部分適當

装し、該挾持部に形成せる螺合孔に締着螺桿を螺合して一體を側壁に固定せしめて成る挿込栓承の構造なり。

柱掛ラヂオ受信機

實用新案 第一三三五號

公 告 昭和十一年一月一日

大阪市南區日本橋筋三ノ六八

出願人 三尾 喜三郎

考案者 三尾 喜三郎

外箱の前面に擴聲機を取附けたる蓋板を螺着附となし、又背面に掛金物若くは穿孔を設けて柱又は鴨居等へ自由に掛外し得べくしたるものなり。

高聲電話装置

實用新案 第二二九一號

公 告 昭和十一年二月四日

東京市赤坂區青山町三ノ二一

出願人 古宇田 新平

考案者 古宇田 新平

高聲電話装置に於て擴聲機と『マイク ロフォン』を兼用せしめ、其の切換を

電鍵により行はして其の一方が送話回路に接続さるゝ時、他方の電鍵が受話回路に接続さるゝ如く支持する繼電器を夫々設け所要側の電鍵の切替は手動により行はしむることにより他方の電鍵に所屬する繼電器を介して該電鍵を自動的に切替へ得べく成したる装置なり。

ラヂオ用同調コイル可變装置

ル可變装置

實用新案 第二二九九號

公 告 昭和十一年二月四日

東京市荏原區中延町一〇九

出願人 榎折 喜三

考案者 榎折 喜三

偏心カムの廻動に伴ひ再生用線輪を適當に傾斜して結合度の變化を行はしむるものなり。

空中線支持柱

實用新案 第一四五四號

公 告 昭和十一年一月八日

東京市浦田區連沼町二六七

考案者 小林 巖多

出願人 小林 巖多

東京市京橋區木挽町六ノ二ノ一

岩瀬電氣工業株式會社

陶器又は磁器製の套管の兩端にアングル狀の取着環を嵌装して素材を形成し之れを順次柱狀に連着してなるものなり。

可變蓄電器

實用新案 第一四五八號

公 告 昭和十一年二月八日

東京市本所區向島押上町一五八

出願人 浦口 松五郎

考案者 浦口 松五郎

側板との兩端及下部に兩端を打開し且鈎を有する取附金具を夫々定着し、之に絶緣管を被冠して絶緣被膜を一體的に蜜着せる固定蓄電器を定着し、廻轉軸に駒を定着し該駒に絶緣被膜を一體的に蜜着せる可動蓄電板を取附け各側板間に間隔子を介し副蓄電氣用の『カバー』を固着したる可變蓄電器なり。

り。

ラヂオ受信機

實用新案 第一六三七號

公 告 昭和十一年一月十三日

東京市大森區馬込町三丁目五六五

出願人 柳原 勝治

考案者 柳原 勝治

交通兩電源の自動的切り換へ及充電回路の管制を行ふ自動繼電器を備ふる交流通流兩用『ラヂオ』受信機に於て受信回路真空管の『フィラメント』回路を供給する二個の並列回路の一方は電源變壓器を含む交流回路にして、交流源の作動時吸引閉合せらるべき自動繼電器の可動觸子接點及び、固定接觸子接點に接続し他の一方は低壓整流器に依り充電せられべき低壓電池を含む直流通流にして前記可動觸子の釋放時閉合せらるべき其の接點及び固定接觸子接點に接続し、受信回路真空管の『プレート』回路は一端可動接觸子接點に接続し他

端地氣を経て分岐し高壓整流真空管を経るものは、前記固定接觸子の接點に高壓電池を経るものは固定接觸子接點に夫々接続し、此の點の接點は可動接觸子の接點の吸引力及び釋放時に夫々之と閉合せらるべき、以て前記諸回路を一個の自動繼電器により自動的に管制して夫々交流電源及び電池より受信回路真空管回路への電流供給の轉換並に電池の充電を遂げしむると共に交流電源作動時に於ける受信回路真空管『フィラメント』への供給は低壓整流器及び低壓電池と無關係に前記電源變壓器に依りてなすべくせる組合せなり。

自動制得調整装置

實用新案 第一八一〇號

公 告 昭和十一年二月十八日

長野市東 九八番戸

出願人 西川 太七

考案者 西川 太七

東京市麹町區日比谷公園
社團法人日本放送協會

カソードを共通として四極管部分及び三極管部分を同一管内に封入してなる真空管を増幅管の出力側に關聯せしめ前記四極管部分のプレート回路及び三極管部分のグリッド回路に共通にグリッドバイアス抵抗を挿入し、三極管部分のプレート回路を増幅管のグリッド回路に共通にグリッドバイアス抵抗を接続してなるものなり。

コイン型ダイナミック、スピーカー

用振動板

實用新案 一八二六號

公 告 昭和十一年二月十八日

東京市品川區五反田九ノ一〇八

出願人 原崎 突作

考案者 原崎 突作

長き纖維を可及的の一方に揃へて抄造したる日本紙の三枚を交互に其の纖維の向ふ直角、若くは直角に近き向を成す様に糊着したる重合紙を以て『スピーカー』體を形成したる『コイン』型『ダイナミック、スピーカー』用振動

板なり。

無線用小型變壓器 及小型塞流捲線口 出線の導出装置

實用新案 第一九〇八號

公告 昭和十一年二月十九日

東京市蒲田區蒲田町二八司生堂方

考案者

同 下丸子町二六〇

出願人

東京無線電機株式会社

捲線終端と口出用可撓導線との間に段付薄金屬帶を捲棒の鏝に穿てる孔に貫通して介在せしめ、該薄金屬帶の階段部を孔に引掛るべくなしたる無線用小型變壓器及び小型塞流捲線に出線の導出装置なり。

小型變壓器

實用新案 第一九八八號

公告 昭和十一年二月二十日

東京市澁谷區澁谷町四〇

考案者、出願人

河津祐一

線輪捲棒の中央孔内に切込を設けたる

濱松市福澤町一一五ノ一

濱松高工電機研究室内

出願人

山本 彰

考案者

同 町 三六三

出願人

高柳健次郎

陰極線管に給電するエリミネーター電源端子間に高抵抗と、鋸齒状波形電壓發生管の短路用蓄電器とを直列に接続し、該抵抗の一部を蓄電器を以て橋絡して鋸齒状波形電壓發生管のグリッド偏倚電源要素を構成せしめて成る陰極線管偏向装置の構造。

真空管の構造

實用新案 第二〇五二號

公告 昭和十一年二月二十日

東京市品川區五反田一ノ四二九

考案者

品川電機株式会社内

同

前田久雄

同

萩田小一郎

同

木谷喜久次

出願人

品川電機株式会社

真空管のステムのツマミ以外の部分に陽極支柱を埋込みたる真空管なり。

鐵心板の中央片を挿入し、鐵心板の兩側なる各側片の間には夫々絶縁體の板を介入せしめて構成せる鐵心體を兩片内に嵌せしめて、鐵心體を保持せしめるやうなしたる小型變壓器の構造なり。

可聽變調高周波送信装置

實用新案 第二〇〇二號

公告 昭和十一年二月二十日

東京市淀橋區百人町二丁目一八三番

考案者

山田秀雄

出願人

東京市麹町區丸ノ内二丁目六番地一

考案者

沖電氣株式会社

發振(V)の格子漏洩抵抗(g)と直列に瓦斯放電管(N)(例へば「ネオンランプ」又は「サイラトロン」等)を接続し該瓦斯放電管に蓄電器(C2)を橋絡し、格子蓄電器(C1)及前記(g)(N)(C2)並に線輪(L)を含む格子回路に所謂弛張振動を發生せしめ、該弛張振動波數を可聽同波たらしむべく

ビツクアツプ

實用新案 第二〇〇〇號

公告 昭和十一年二月二十日

東京市澁谷區千駄谷一ノ五六二

考案者

安藤 博

再生素子の一體を支持する支持構材を彈性體を介して固定部分に取附せしめたるものなり。

抵抗減衰器

實用新案 第二三九〇號

公告 昭和十一年二月二十六日

東京市大森區山王一ノ二五五八

考案者

木和田慶次

出願人

東京市浦田區新宿町二八

可變對稱形抵抗減衰器の兩端又は一端に減衰値の僅少にして、且つ常に一定なる可變「インピーダンス」結線網を附加してなれる抵抗減衰器なり。

ラヂオ用開閉器

實用新案 第二三八九號

公告 昭和十一年二月二十七日

大取市東淀川區今里北通三ノ一四

考案者

大取電機株式会社内

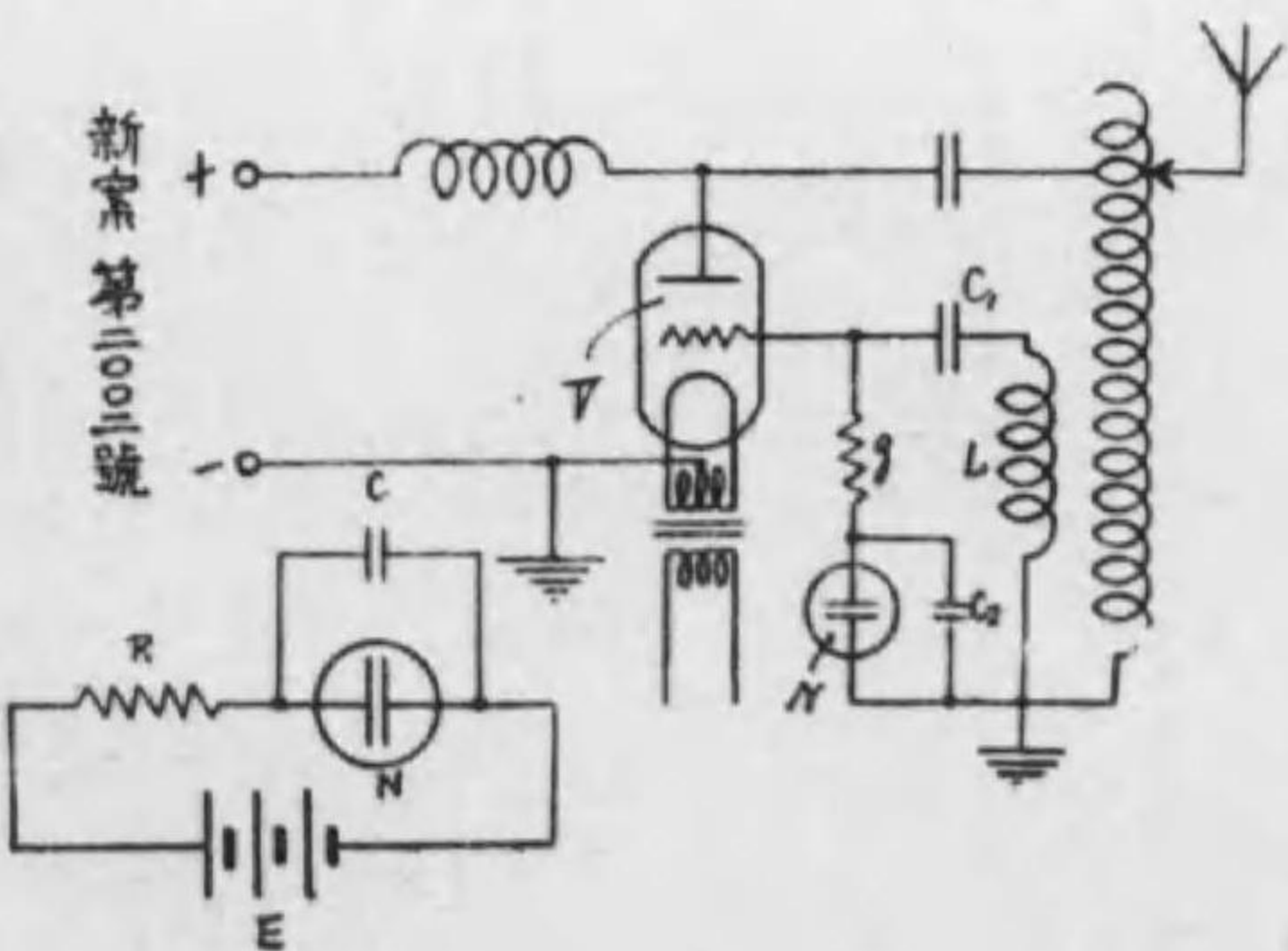
同

松浦 代作

出願人

大取電機株式会社

なし、瓦斯放電管(N)の同期的放電により發振器をして該周期に従ひ發振並に停止を行はしむべくせる可聽變調高周波送信装置の組合せなり。



陰極線管偏向装置

實用新案 第二〇〇三號

公告 昭和十一年二月二十日

實用新案 第二三〇一號

公告 昭和十一年二月二十六日

東京市麻布區新廣町一ノ二二

考案者、出願人

七尾 菊良

絶縁輪板の上面に複数の固定接觸片の中央部を放射狀に固定し、該板の中央通孔に廻動圓板を遊嵌し、該圓板の中央に把手取附孔を又周邊部に複数の弧狀孔を穿設し、之に可動接觸子を嵌入し該孔の裏面には、該可動接觸子を支持し之と摺接する環狀溝と、廻動板を絶縁板に支持せしむる爪とを備へたる共同觸片を取付けて成るラヂオ用開閉器の構造なり。

變壓器接續表示装置

實用新案 第二三八九號

公告 昭和十一年二月二十七日

大取市東淀川區今里北通三ノ一四

考案者

大取電機株式会社内

同

松浦 代作

出願人

大取電機株式会社

變壓器銘板に變壓器内部の捲線接続を表示せしむる欄を設け、該欄内に挿入孔を設け一個の表示挿入振子を挿入し置き現實の内部捲線接続状態を外部に表示せしむべくせる變壓器接続表示の構造なり。

ピツクアップへ

ツド

實用新案 第二五三三號

公 告 昭和十一年二月二十九日

大阪府東區南本町五ノ一

出願人 考案者

辻慶次郎

絶縁資料よりなる凹所及び溝を設けたる筐を相重合螺着し溝内には十字型移動具を挿入すると共に、凹所内には兩面に金屬箔を貼着したるロツセル鹽又は水晶板より成る薄き振動版を彈性に富む挾持板を介して筐によりて挾持緊締せしめ、振動版の先端には十字型移動具の一端に設けられたる溝に嵌合し各金屬箔にはリード線を接続せしめてなるものなり。

ラヂオ用真空管ソケット

實用新案 第二六九二號

公 告 昭和十一年三月三日

東京府原區中延三六二

出願人 考案者

山田三良

取付版に穿孔せる透孔の兩内端に頂邊を有する突起を相對して突成し金具の中央部の幅を狭小に又其兩端を幅廣に形成し之を字形に折曲して真空管脚受部を菱形に形成し其菱形部の上方を透孔に挿入し其挿入部間に突起を介入せしめ前記金具の一侧を長く他側を短く折曲して該金具を各外方に傾斜し且浮動状態に取付版に装着したるものなり

光電管を用ひたる

ピツクアップ

實用新案 第二七〇四號

公 告 昭和十一年三月四日

石巻市石巻裏町九二

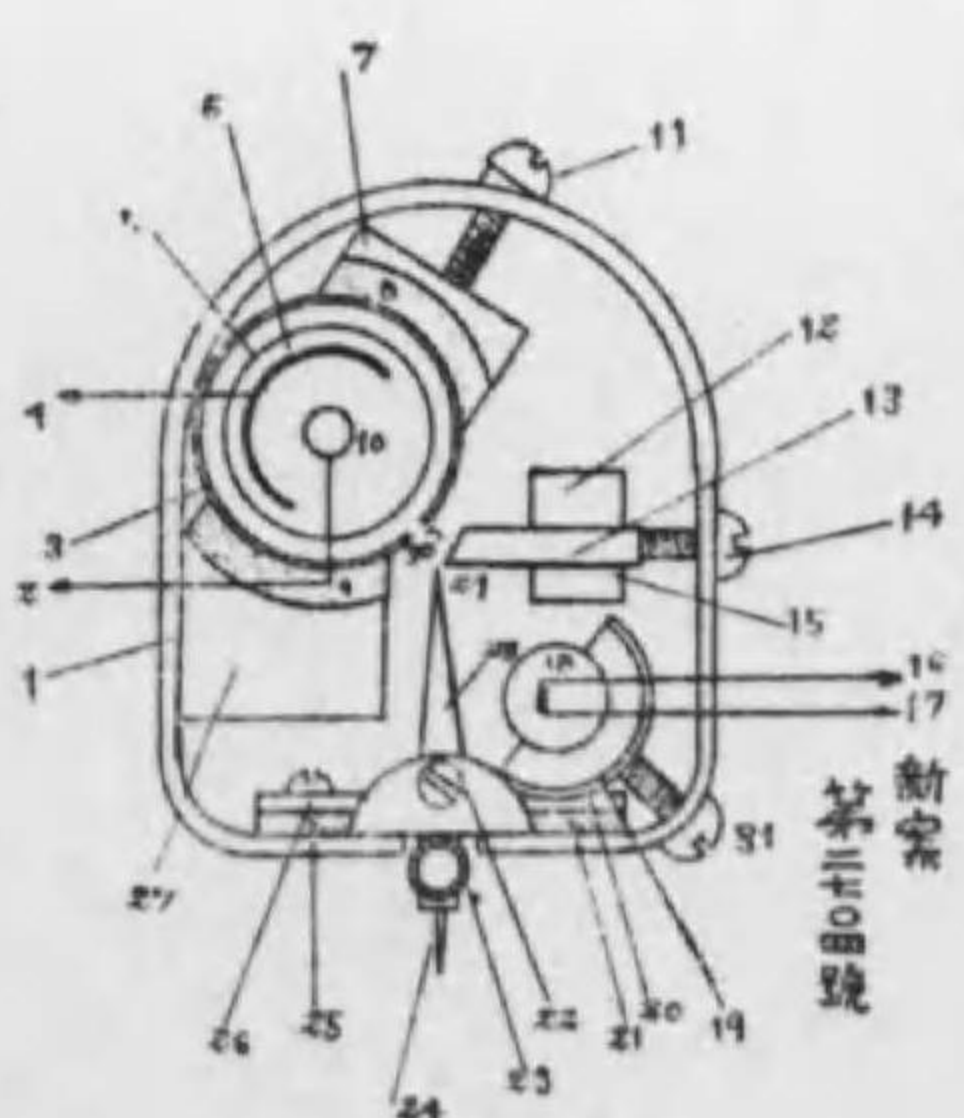
考案者

西條芳麻

出願人 同

合名會社北上無線電機商會

外圍器中に光電子管及光源を相對して設置し而して其の光線通路中間に固定片と下部に音針を螺子により装着すべくなし支點にて支承さるゝ可動片とを以て構成せらるゝ光辨を設け音針の振動に従ひて該光辨の光線間隙を制御すべくなしたる光電子管を用ひたり。



ブリツヂメガー兼導體抵抗測定裝置

實用新案 第二七九三號

公 告 昭和十一年三月五日

東京府多摩郡白金町五ノ五

考案者

前田清一

出願人 考案者

ブリツヂメガーに於て一端を零點とし他端に向つて目盛せる絶縁抵抗測定用目盛の外に中央部を零點として之より左右に目盛りたる導體抵抗測定用目盛を有する目盛を設け指針の前記目盛の零點間を指示回動する角度と同一角度を保持して電壓線輪を他の電壓線輪に對して其の同一軸上に装着し該線輪を夫々鐵心の溝の中央に持ち來す時指針をして夫々の目盛の零點上に平衡せしむべくしてなるものなり。

限時開閉器

實用新案 第二八三三號

公 告 昭和十一年三月五日

東京府品川區大崎本町三ノ六〇六

考案者 出願人

原口太助

緩回轉回盤に装着の爪と係合突起との動作を槓杆及驅動杆に傳へてラヂエツトを回轉せしめ該ラヂエツト固着の突起により斷結器を開閉せしむべくなしたる同形の限時開閉器二個を夫々背合せに組合せ兩回盤を一個の調整軸にて締着せしめ兩回盤及取付爪の變位と斷結器とにより極端時間の限時を可能ならしめたる構造なり。

磁氣記録應用秘密

通話裝置

實用新案 第二八四九號

公 告 昭和十一年三月五日

東京府麻布區廣町二七

考案者 出願人

高岸榮次郎

一定速度をもつて廻轉する磁性廻轉體の軸に嵌入する軸を有する腕の兩端に吹込器及び再生器を相互磁氣誘導係數が最少なる如くの軸に對して夫々適當なる傾斜角度を有する位置に固定し該

腕を磁性廻轉體の回轉數と軸又は正しく奇數倍關係にある振動數を以つて振動せしむべくしたる磁氣記録應用秘密通話裝置なり。

ラヂオセツト

實用新案 第二九三二號

公 告 昭和十一年三月七日

大阪府北河内郡門真村門真舊四番千六番地、松下電器製作所内

考案者

中村康一

出願人

大阪市此花區大開町一ノ七三

ラヂオ受信機の一體を收藏すべきキヤビネットの底面に該受信裝置に設備せられたるパイロツトランプを直接取附すべく指頭挿入孔を形成せしめたるものなり。

電氣蓄音機

實用新案 第三〇九二號

公 告 昭和十一年三月十日

東京府王子區上十條二四三三

考案者

土田和平

豊町區宮土見町一ノ一〇

出願人 株式会社坂本製作所
ビツクアツブコイルと直列にインダクタンス線輪を別個の位置に設け該インダクタンス線輪にコイルに於けると反對の起電力を生ぜしむべくしたるものなり。

乾電池の端子接続

金具

實用新案 第三三三三號
公告 昭和十一年三月十二日
出願人、考案者 久保田雄三
東京市芝罘宮本町八
乾電池の側面に下向に屈曲せる舌状端子を設け該舌状端子に接続せしむべき端子部には壁板に舌片を取付け該舌片の上に更に弾力性を有する舌片を重ね合せてこの舌片の下端を前記舌片に固着せしめかくして該舌片との間隙部に前記乾電池の舌状端子を挿入接続せしめたるものなり。

携帯用高周波受

信機

實用新案 第三三五八號
公告 昭和十一年三月十四日
出願人、考案者 株式会社 大阪電機工業所
大阪市東淀川区本庄川崎町四ノ一
株式会社 大阪電機工業所内
平松彦平

受信装置を収納せる匣の外周壁に沿ひ凹陥部を設けて之れにアンテナ線と糸條とを並列に適當數巻回してループアンテナを構成し該アンテナ上に絶對塗料を塗布被覆したる前記内匣を外匣内に收容して成るものなり。

蓄電器

實用新案 第三四七九號
公告 昭和十一年三月十七日
出願人、考案者、出願人 松尾正夫
日本コンデンサー製作所内
大阪市淀川区三津屋南通り二ノ一四
上下の端板に夫々端子を装着せしめたる外管内に蓄電器本體を收容せしめたるものなり。

本體の兩端に夫々接觸板及凸字形の彈性板を順次積重し上記彈性板を前記外管の下の端子に彈撥接觸せしめたる蓄電器の構造なり。

ラヂオ用變壓器又は塞流線輪等の電氣線輪

實用新案 第三四八〇號
公告 昭和十一年三月十七日
出願人、考案者 伊藤義雄
大阪府北河内郡門真町大字門真番四ノ一〇〇六松下電機製作所内
大阪府花田町一ノ七三

捲棒體に線輪を捲装し之に外裝體を施し該外裝體並捲棒體を線輪より長からしめて形成せらるゝ空間部分をビツチ其の他の充填固化材料に依り封塞せしめて成るラヂオ用變壓器又は空流線輪等の電氣線輪の構造なり。

ダイヤル微動廻轉

裝置

實用新案 第三四八八號
公告 昭和十一年三月十七日
出願人、考案者 井上時藏
東京市大森區大森四ノ二三六四

把手軸に装着せる環狀盤の周縁と箱筒の前面に曲折形成せる輪縁との間に摩擦廻動ローラーを介在齧合せしめ其ローラー軸を箱筒内に突入せしめ其内端に前記ローラーより大徑なる摩擦廻動ローラーを摺着しローラー間には軸が貫通する回盤を介在せしめ該内部ローラーを固定連結杆を具ふる輪環の内周縁に係合せしめ箱筒に固着せる後盤には作動軸を装着し且つ前記連結杆が貫通する弧狀溝を穿設してなるものなり。

せる傳動子を固着し且つ該傳動子の根部に支版を定着し之を電磁線輪、固定鐵心を有する版に嵌合し該支版を臺版に架載し傳動子の鳩目とコロンとを連絡せしむべくしたる擴聲器なり。

吹着「マイクロフオン」

實用新案 第三五七五號
公告 昭和十一年三月十九日
出願人、考案者、出願人 田邊令吉
東京市豊町區三番町六番地ノ二三
吹着片内の空所の底部にマイクロフオンを取付け、該空所を外氣と連通せしめ吹着片の吹着脚中に吹着空所を設けたる吹着マイクロフオンなり。

擴聲機

實用新案 第三四九四號
公告 昭和十一年三月十七日
出願人、考案者、出願人 村上得三
大阪市西區西長町二ノ一二

可動鐵心の左右に先端を鳩目にて重合取附板上に捲棒を突設し且つ突杆を突

自動開閉器

實用新案 第三六四〇號
公告 昭和十一年三月二十日
出願人、考案者、出願人 島保
大阪市住吉區上住吉町一六八
擴聲コイルを支持する外管の一部に「」狀の彈支版の下端を固着し該彈支版の先端部にて擴聲コイルの先端部に取付けたる連針杆の先端部に近き部分を支持せしめ連針杆の先端部にマグネットコ

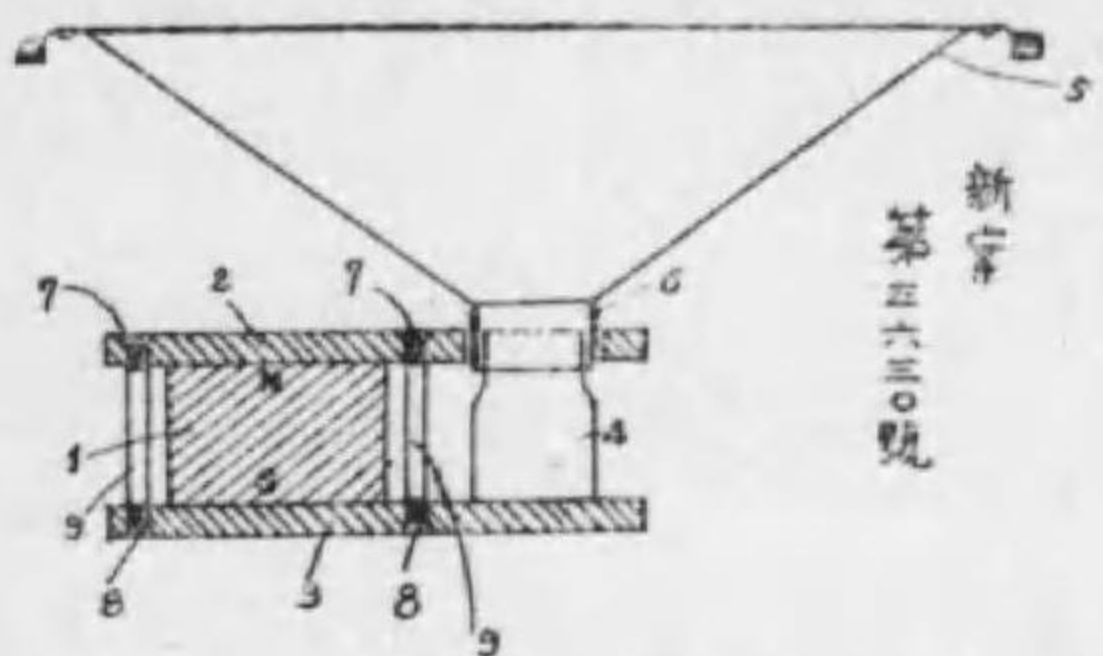
「ラヂオ」擴聲器

設し該杆に押壓子を帽冠し該押壓子下に押壓子を係止せしめ前記押壓子の先端下に「く」の字形動板の一端と板の一端とを位置せしめ板に閉閉子を關聯せしめ該閉閉子軸に撥條を捲装し、該撥條の一端を閉閉子に他端を心臟形係片に係止し該心臟形係片の一端を閉閉子の軸部に設けたる弧狀部に係止し、板に接觸子を設け「く」の字形作動板に廻轉止子送爪片とを關聯し、該送爪片を主齒輪の齒間に突入せしめたる自動開閉器の構造なり。

イルの中孔に位置せしめたる感應板の上部を固着せしめてなる「ラヂオ」擴聲器なり。

永久磁石可動線輪 高聲機

實用新案 第三六三〇號
公 告 昭和十一年三月二十日
東京市澁谷區千駄ヶ谷一ノ五六二
考察者、出願人 安 藤 博



心磁極體を形成せしめ他の端板に設ける

たる外側磁極穴に空隙を隔て、相對向せしめ該空隙に振動膜に連る可動線輪を介在せしめたる構造なり。

交通兩用受信装置

實用新案 第三六七三號
公 告 昭和十一年三月二十日
東京市大森區新井宿六ノ四三二
考察者 大 岡 茂
出願人 富田繁太郎

電源變壓器及プレート電源用整流器を含む受信機と電池及フイラメント電源用整流器を含む電池容器の二部分に分ち前者の底面に接觸子承及切替閉器の作動子を配列し後者の上面に上記接觸子承並に作動子の各々と夫々係合する接觸子と突出子を配列したるものなり。

ピツクアップ其他 類以用途用磁極片

實用新案 第三六九六號

て一定の間隙を形成し該磁極片を磁石の兩端に固定せしめてある可動鐵片型擴聲機に於ける磁極片の構造なり。

可動線輪型高聲器

實用新案 第三八六一號
公 告 昭和十一年三月二十六日
大阪府淀川區豐島通二ノ一
考察者、出願人 吉田亮三

先端にコイルを定着したる振動板をフレームに装着せしめ該フレームには取付具を螺針を以つて螺着し取付具には正面に鐵板を裏面に鐵心を有する鐵板を夫々螺着し取付具の四方には永久磁石を磁着せしめ鐵心の先端を「コイル」内に臨ましめてなる構造なり。

空中線負荷線輪保 持裝置

實用新案 第三九六八號
公 告 昭和十一年三月二十八日
東京市品川區五反田一ノ四二九
品川電機株式會社

公 告 昭和十一年三月二十四日
東京市澁谷區千駄ヶ谷一ノ五六二
出願人、考察者 安 藤 博
磁極片に切入部を設け該切入部にダンパーを挿入し該切入部に於て該ダンパーの他端を壓ふる金具を軸方向に移動調整し得べく磁極片に密着したる構造なり。

無指向性マイクロ フォン

實用新案 第三七四八號
公 告 昭和十一年三月二十四日
東京市澁谷區千駄ヶ谷一ノ五六二
考察者、出願人 安 藤 博

マイクロフォンの素子の音波に感應する面を水平に支持する適當なる容器と其の上部に前記素子容器と音波收受間隙を置きて設けたる蓋との組合を特徴とする無指向性マイクロフォンなり。

振動板保護裝置を 具へたる受話器

考察者 前田久雄
同 望月富助
出願人 品川電機株式會社
空中線支持用絶縁物の周圍に導線を捲回してなるものなり。

ラヂオ受信機用電 壓源變壓器の一次 線切換裝置

實用新案 第四〇八六號
公 告 昭和十一年三月三十日
東京市芝區高輪北町二
考察者 菊地久吉
出願人 荻工業株式會社

ラヂオ受信装置を取付く可きシャツシの背面に端子を設け該端子を夫々變壓器の一次側の例へば一〇〇ボルト及九〇ボルトの變壓比の個所に接続し前記端子に接觸せしむ可き回動接觸子の一端をシャツシーに軸着し該接觸部を可熔片を経て前記變壓器回路を構成す可き電源の他の一線に接続せしめかく

實用新案 第三七五二號
公 告 昭和十一年三月二十四日
東京市麻布區富十町五十一

考察者 宮崎喜三郎
出願人 芝區西麩寺町五三 津守英五郎

永久磁石に對する雄螺旋を進退自在に保ちて調整し之を緊着後更に封止材を施すことにより以後使用者が之を操作變更すること能はざらしめ雄螺旋及彈性材に仍る調節操作に備へて振動板に對し極片の衝觸するを防止すべくなしたる構造なり。

可動鐵片型擴聲機 に於ける磁極片

實用新案 第三八二八號
公 告 昭和十一年三月二十六日
大阪府北河内郡門真舊四ノ一〇〇六
松下電機製作所
考察者 橋本博吉
出願人 大阪市北花區大開町一ノ七三 松下幸之助
磁極片の上面に非磁性金屬板を固着し

してシャツシーを収納せる外函の背面には前記回動接觸子の他端に取付けたる把手を外部に出示し且自由に回動し得るやう弧形溝を設けたるものなり。

ラヂオ時計

實用新案 第四二〇七號

公 告 昭和十一年三月三十一日

東京市茂川區日暮里町五ノ八二〇

出願人、考案者 鬼崎 興一

東京市荒川區南千住町三ノ二五

出願人、考案者 中尾寛次郎

五に彈壓接觸せる二個の接片の間に適宜透孔を開穿せるテープを通過せしめ時計長針軸の回轉により移送するラヂオ時計の構造なり。

ラヂオ用微動ダイヤル

アル

實用新案 第四二二八號

公 告 昭和十一年三月三十一日

東京市本所區向島押上二五八

出願人、考案者 渡邊金次郎

回轉軸に目盛板を有する螺筒を緊挿し該螺筒に連結せる支筒に透孔を穿設し該透孔に轉球を嵌挿し該轉球を挾定すべく同と彈簧とを支筒の外周に緊挿し該匣と彈簧とを連結し其内方に纖維質物を挿入したるものなり。

發振裝置

實用新案 第四三二二號

公 告 昭和十一年三月三十一日

東京市品川區南品川六ノ一五〇一

出願人、考案者 下村 尚信

川崎市堀川町七二

東京電氣株式會社

發振用真空管と該真空管の制御電極回路に接続せるビエゾ電氣的結晶片と陽極及制御電極間に挿入せる反結合用蓄電器と該制御電極回路内にビエゾ電氣的結晶片と直列に接続せられ電流の増加によつて急激に抵抗値の増加を來すが如き抵抗體よりなるビエゾ電氣的結晶片保護裝置との組合よりなるものなり。

ピエゾ電氣抵抗裝置

實用新案 第四三三三號

公 告 昭和十一年三月三十一日

美國ニューヨーク州

考案者 ラルフ・ボウソ

同 ニューヨーク

出願人 スタンダード・エレクトリック

ピエゾ電氣結晶片と壓力により變化する抵抗とを該結晶片の形狀の變化により抵抗に加はる壓力に變化を生ずる如く機械的聯結裝置を以て聯結したるものなり。

アース用クランプ

實用新案 第四三三五號

公 告 昭和十一年三月三十一日

東京市荏原町小山町一九五

考案者、出願人 山田 三良

半弧狀のクランプ體の上端下顎に突起を設けクランプ體の上端に裝設せる螺子杆に緊縮板を螺挿し該緊縮板の端線

を突起に係合せしめ前記螺子杆とクランプ體の内方とにアース具を緊持すべく構造したるアース用クランプの構造也

四月

橋絡型全波整流裝置

裝置

實用新案 第四三〇三號

公 告 昭和十一年四月二日

東京市赤坂區一ノ木町五九

考案者 三田 繁

川崎市堀川町七二

東京電氣株式會社

整流用變壓器二次捲線の中點と該中點に對稱的なる數個の中間電位點とに夫々タップを附し一個の出力端子と該捲線の各端との間及第二の出力端子と前記の各對稱中間タップとの間に夫々整流管を接続し且該捲線の中點より第三の出力端子を取出したる橋絡型全波整流裝置なり。

外冷式真空管

實用新案 第四四九五號

公 告 昭和十一年四月六日

東京市大森區馬込町二ノ九百十八

出願人、考案者 久野 拓次

川崎市堀川町七二

東京電氣株式會社

陽極筒と硝子壁とを以て構成せられたる氣密容器内に該陽極筒と同軸的に陰極制御電極等が配置せられ、該陽極筒は内部電極に對向せる筒狀主作動部と内部電極用道線に對向して主作動部より大なる直徑を有する筒狀延長部とより成るものなり。

ラヂオ受信機

實用新案 第四五八九號

公 告 昭和十一年四月七日

東京市大森區馬込町三ノ五六五

出願人、考案者 柳 原 勝 治

東京市豊岡區丸ノ内一ノ一八

合資會社日本トレンジング商會

交流流兩用のラヂオ受信機に於て檢波

用真空管として傍熱型及直熱型の二個を並列に設け又は並列に設けたる傍熱型陰極及直熱型陰極を具有する一個の真空管を用ひて此等のもののファイラメント回路が交流兩電源の轉換時に轉換せられべくせる組合せなり。

端子接續箱

實用新案 第四六五九號

公 告 昭和十一年四月九日

茨城縣日立町 日立製作所内

考案者 菅野 英 太郎

東京市豊岡區丸ノ内二ノ二〇一

株式會社日立製作所

隔壁にて區別されたる多數の端子接續室を有する箱の上面に絶縁蓋を被着し該蓋の表面には前記接續室と一致する位置に記號を附したるものなり。

携帯用ラヂオ受信機

信機

實用新案 第四七六一號

公 告 昭和十一年四月十一日

東京市世田谷區上馬町一ノ五九八
谷内 二郎

東京 麹町區丸ノ内三ノ二
三和電機株式会社

出願人
セツトを收藏せる外函體の外周の中央部を挟し其兩側に凹陥部を設け該凹陥部にルーブアンテナコイルを纏捲收容し其外面を絶縁體にて被蓋し上記中央部に提手を取付けて成るものなり。

ピツクアップ用磁極シュー

實用新案 第四七六號

公 告 昭和十一年四月十一日

東京市品川區東大崎二ノ二九一
日本無線電信電話株式会社

考察者

同 所 岸 信 一

出願人

日本無線電信電話株式会社
一邊に於て對極間に空隙を有せしめたる一個の打抜き口形板を空隙を上部としてコ形に折曲し其底面にアマチユア1を挿入すべき穴と該板下面に該穴を横斷して針押への螺入管を包擁すべき

半圓形長溝を穿設して成るものなり。

電氣抵抗器

實用新案 第五二四號

公 告 昭和十一年四月十八日

東京市目黒區下目黒二ノ一七五

考察者、出願人

栗原保之

絶縁質の二個の匣を抱合せ之を螺子杆にて緊縮し匣の底部に金屬條片を埋設し其表面に圓形座を設け該圓形座に抵抗體を設置し該金屬條片の一端にコイドーの一端を關聯せしめ之に螺子杆にて匣に定着し且前記匣に突設せる突子に撥條を捲装し之の先端に定着せる金屬板を匣内に位置せしめ匣に回轉軸を設け該回轉軸の先端に摺動子を定着し該摺動子をして金屬板に適宜に於ける強度に壓接せしむべく構成し金屬條片の他端に接續金具を形成し之に匣の外部より導線を接續すべく成したる電氣抵抗器の構造なり。

微動ダイヤル附可

變蓄電器

實用新案 第五二五號

公 告 昭和十一年四月十八日

東京市本所區向島押上町一五八

考察者、出願人

瀧口喜助

取付板の中央部に回轉軸を具備せしめ前記取付板の側方に於て回轉軸に可動蓄電板を固定し該可動蓄電板と固定蓄電板とにて蓄電器を構成し前記取付板の片側に於て回轉軸に扇形板を固定し且指針の二點を夫々各別に緩く支持せしめ回轉軸に目盛を裝置せる廻轉板を固定したる微動「ダイヤル」附可變蓄電器なり。

搬送波制御回路を有する平衡變調裝置

實用新案 第五二三號

公 告 昭和十一年四月十八日

東京市大森區上池上町四四

考察者

千葉 勳

東京市芝區西願寺町五三

出願人

明昭電機株式会社

同一電子流を以て作用する三極五極結合管、或は之に類する真空管二個を以て平衡變調器を構成したる上、其陽極回路には側波出力變壓器を介して側波濾波器を結合すると共に其第三又は、第五格子等の回路には搬送波出力變壓器を介して搬送波濾波器位相加減器減衰器等を結合して成るものなり。

受信機同調音調整

表示裝置

實用新案 第五二二五號

公 告 昭和十一年四月十八日

東京市杉並區方南町四五二

出願人、考察者

山口兵衛門

同調用及び音調整用の兩可變蓄電器を手動調整するものに於て一方の蓄電器の手動軸をして、他方可變蓄電器の表示板の中心を貫通せしめ、該表示板に腕を設け該腕を側方に設けたる可變蓄電器の調整軸に設けたる腕との間の長

さを變更し得べき連杆により連結して以て可變蓄電器と該蓄電器所屬の表示板とを略等角宛回轉せしむる如く構成し、且兩表示の徑を異ならしめて小徑の表示板を上位に位置せしめて其の一部を大徑の表示板の上位に露出せしむべく構成せるものなり。

眞空管支持裝置

實用新案 第五二〇九號

公 告 昭和十一年四月二十日

東京市大森區大森二ノ四二二

考察者

加賀左金吾

出願人

山中電機株式会社

該環金と一體に形成せる數個の突出片により前記圓孔裏面なる絶縁板を綴縮したるものなり。

ブラウン管支持裝置

置

實用新案 第五四七五號

公 告 昭和十一年四月二十四日

東京市渋谷區千駄谷五六二

出願人、考察者

博

ブラウン管根部を振動緩承口にて任意固定支持體に裝着し、該ブラウン管の根部と底部との中間の管部を振動緩衡物を介する數多の點に於て適當なる固定部に支持したるものなり。

ブラウン管支持裝置

置

實用新案 第五四七六號

公 告 昭和十一年四月二十四日

東京市渋谷區千駄谷五六二

出願人、考察者

安藤 博

ブラウン管の周圍に接着する環狀支持具と該支持具を適當なる電磁又は靜電遮蔽固定部に懸装する數多の點と懸装手段として振動緩衡體を用ひたることを具備するものなり。

エリミネーター用

増幅裝置

實用新案 第五四七八號

公 告 昭和十一年四月二十四日

東京市杉並區方南町五二六

考案者

高木末夫

出願人

加藤貞藏

出力管加熱用端子の中性點に抵抗並にパイパス用蓄電器を接続しこの一端を接地せる自勵バイパス装置に於て前記抵抗に至る前より別個の抵抗を分岐しこれを出力變壓器の中性點に接続せしめたるものなり。

「ラヂオ」受信機

實用新案 第五五七八號

公 告 昭和十一年四月二十五日

大阪市住吉區西田邊町二五

株式會社早川金屬工業研究所内

考案者

笹尾三郎

出願人

岡本勝治

可變蓄電器該蓄電器調節裝置及び指示裝置をシャシーに對し護膜其他振動吸取性材及撥條を介して螺針により或程度加動的なる如く取付けたるものなり

絶縁輪

實用新案 第五七四六號

公 告 昭和十一年四月三十日

樺太名好郡名好豐加番外地

出願人、考案者

飯田定雄

外國に齒車型突起溝を有する硫化ゴム製のものなり。

「ラヂオ」用目盛支

持裝置

實用新案 第五七五四號

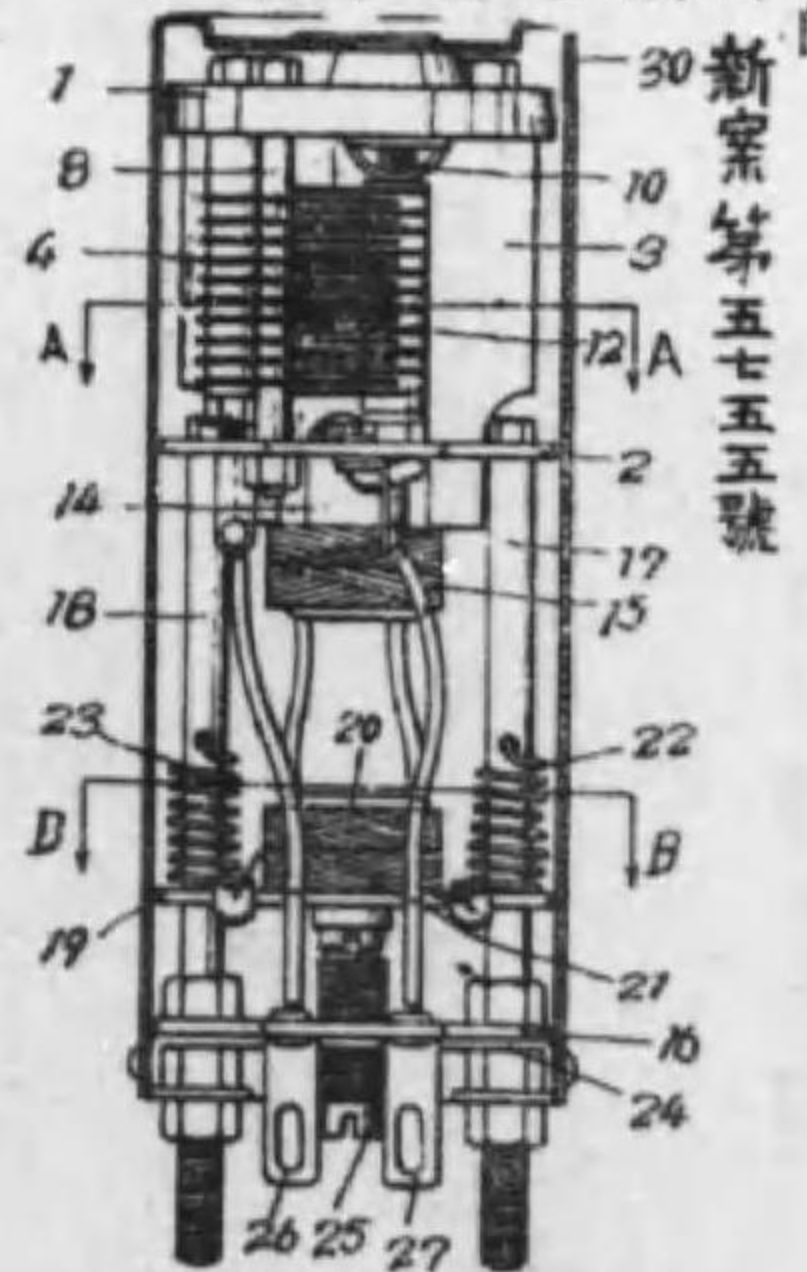
公 告 昭和十一年四月三十日

東京市本所區向島押上一五八

出願人、考案者

渡邊金次郎

パネル板に穿設せる透孔に銀を緊挿し該銀内に硝子板と銀とを挿入し銀内に目盛板を挿入し、該銀に支片を設け該支片に筒を固定し該筒に一端に針と他端に溝車とを固定し、溝車に懸架せるベルトを蓄電器の回転軸に設けたる溝車に懸架したるものなり。



線輪を固定すべき二個の版を固定せる二本の杆に夫々撥條を巻装し、該撥條を摺動版に壓接し該摺動版に突子を固定し。該突子に線輪を巻装し版に螺挿せる螺子杆を突子に接觸せしめ版に突子を設け之に線輪を巻装したる構造なり。

高周波用變成器

實用新案 第五七五五號

公 告 昭和十一年四月三十日

東京市世田谷區玉川瀬田六三〇

出願人、考案者

徳永 勳

出力管加熱用端子の中性點に抵抗並にパイパス用蓄電器を接続しこの一端を接地せる自勵バイパス装置に於て前記抵抗に至る前より別個の抵抗を分岐しこれを出力變壓器の中性點に接続せしめたるものなり。

高周波變成器

實用新案 第五五八六號

公 告 昭和十一年四月三十日

東京市世田谷區玉川瀬田六三〇

出願人、考案者

徳永 勳

版間に隔版を設け、該隔版の兩側交互位置に二個の蓄電器の固定蓄電板を取附杆にて取付け且廻轉軸を装設し該廻轉軸に可動蓄電板を固装し前記固定蓄電板及廻轉軸に線輪の兩端を接続したるものなり。

五月

妨害波電波除去装置

置

實用新案 五八四三號

公 告 昭和十一年五月二日

東京市世田谷町一ノ九五五

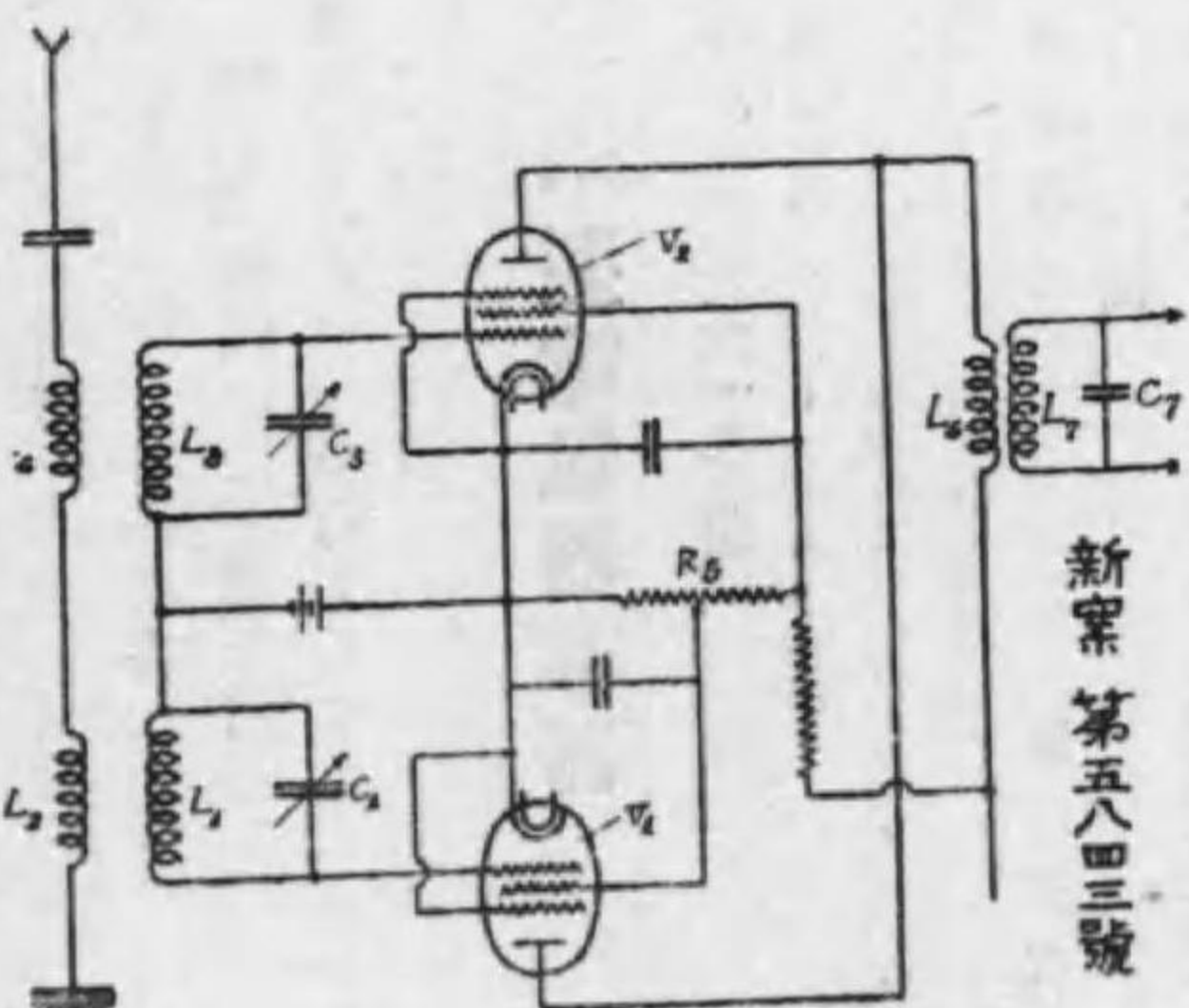
考案者

秋葉安司

考案者

東京市在原區中延町三九三坪田方

柳 利雄



新案 第五八四三號

出願人 東京市芝區西廳寺町五十三 津守英五郎
並列共振回路により妨害波を略々同調を保ちつゝ然もその位相を調節自在に導入せしめて之を増幅管の格子に接続し、且所要回路に對しては並列同調回路により同調せしめて之を増幅管の格子に導き兩真空管及増幅管の板回路を並列に接続するとともに其の遮蔽格子

を抵抗により調節自在に結合せしめて成るものなり。

真空管の電極位置保持用絶縁板の支持裝置

實用新案 第五八四四號

公 告 昭和十一年五月

東京市荒川區三河島町五ノ二四六

出願人、考案者

安田 一郎

支持桿を嵌挿すべき絶縁板の透孔へ鍔縁を有し管體に切込み舌状片を設けたる筒状止め金具を嵌挿し該舌状片を折掩し鍔縁とを以て絶縁板を挾持せしめてなるものなり。

「ラヂオ」受信機再生過度防止裝置

實用新案 第五八八二號

公 告 昭和十一年一月十日

長野市南千才町七〇番目

實用新案考案者

井原 廣治

檢波真空管の陰極兩回路と陰極側回路

間に蓄電器を介して常規再生線輪を設け之と並列に勵磁方向反對なる逆再生線輪を蓄電器を介して挿入し、該蓄電器及蓄電器を同時に變化し得べく連結してなるものなり。

携帯用「ラヂオ」受信機併用電氣蓄音機

實用新案 第五九三〇號
公告 昭和十一年五月四日

出願人、考案者 岡田清一
東京市神田區大和町六四

木材其他の硬質板にて長方形の機箱及び蓋箱を可及的狭少に形成し上方に開口を有する箱狀の背面を臺板の一端に鑲着し、更に機箱の兩側内面に凹部を穿設し背面板の兩側外面に伸縮自在の止釘を裝置し機箱の正面板の表面に若干の圓形の透孔を穿設し該透孔内に調節針の先端を正面板の厚さと等しき高さにて突出せしめ調節針の先端は三角形狀に尖らし、下端は弧狀を形成せしめ蓋箱の上板の中央部に缺切溝を穿設し該缺切溝内に把手を装着し機箱と蓋箱とは着脱自在の鎖番によりて連結し機箱の側面には止環を釘着し蓋箱の側面には止環受を釘着して成るものなり。

小型電氣器容器

實用新案 第六一九五號
公告 昭和十一年五月九日

出願人、考案者 原 愛次郎
東京市麹町區富士町一ノ一〇ノ一
株式會社坂本製作所内

表面に酸化被膜を形成せる「アルミニウム」板を以て周縁を有する函狀體を造り該函狀體を二個集合し其の内部に電氣器を直接收容せしめ上記周縁に嵌合せられ、且つ表面に酸化被膜を形成せる「アルミニウム」製の字形保持枠を以て上記集合せる二個の函狀體を保持し尙該保持枠を底板に固定せる小型電氣器容器の構造なり。

硝子材を用ふる高抵抗器

實用新案 第六一九六號
公告 昭和十一年五月九日

出願人、考案者、後藤 謙太郎
東京市本郷區駒込富士町三三五

硝子細棒を螺旋狀となすか、又は波狀に曲屈密集せしめたる後特に之を同筒狀となし其の表面全部に互りて抵抗物質白金被膜等の加工を施したるものを高抵抗體となし更に之を緊確に支持し得べき寸法並に加工を有する硝子内管を以て其の圓筒形内空を適宜に嵌通せしめたる構造を特徴とする高抵抗器なり。

ピエゾ電氣振動裝置

實用新案 第六三〇〇號
公告 昭和十一年五月十二日

出願人、考案者 黒井 久
東京市世田谷區世田谷二ノ一九九六

以てホイストストン、ブリツチの各邊を構成せしめ前記ブリツチに於て熱電子管のグリッドと之の對角位置にある點との間に抵抗を接続し他方の兩對角端と熱電子管のカソードとの間に夫々電壓源を接続したるものなり。

バーニア、ダイヤル

實用新案 第六五六八號

公告 昭和十一年五月十六日

出願人、考案者 山口 兵左衛門
東京市杉並區方南町四五二

摩擦輪を有する軸を承軸兼用のダイヤル保持部に遊挿し該保持脚に數個の中介輪等を設けて此等を摩擦輪に外接せしめ蓄電器の可動極板の軸の鏢狀金物の中心に軸の先端を嵌入せしめて軸と共軸的となし、鏢狀金物に還狀及ダイヤルを装着して板の内周に中軸を内接せしめてなるものなり。

音量調節裝置

實用新案 第六八二四號

光電流增幅裝置

實用新案 第六三八七號
公告 昭和十一年五月十三日

出願人、考案者 藤原 義夫
東京市麹町區丸ノ内一ノ二〇ノ一
株式會社日立製作所内

光電管及其の導線の相互間の漂游靜電容量と三極若は夫以上の電極を有する熱電子管のプレート、グリッド間と抵抗及靜電容量等のインピーダンスとを

出願人、考案者 沼倉 秀穂
王子區上十條一―一

同 同 三浦 喜三郎
ピエゾ電氣振動子を収むべき絶縁製枠の片側に固定せられたる下部電極板と反對側に設けられたる彈條片に弛く結合せられたる上部電極板とよりなり上部電極板に加はる壓力を彈條片を支持するその兩端の螺子及ナットによりて調整しピエゾ電氣振動子に加はる壓力を加減し得べくなせるものなり。

實用新案 第六七三六號

公告 昭和十一年五月二十日

出願人、考案者 黒井 久
大阪府北河内郡門真町眞備四番千六番地松下電機製作所内

スクリーングリッドを有する可變增幅率增幅管を使用せる高周波增幅裝置とスクリーングリッドを有する四極以上の多極真空管を備へ再生回路を附設せる檢波裝置とを結合して成る受信裝置に於て該可變增幅高周波增幅管のグリッド偏倚電壓を調整すべくアースせるスクリーンングリッドを有する可變抵抗と該高周波增幅管のスクリーングリッド電壓供給用として電源に並列結合せる分壓抵抗の一部として使用し該分壓抵抗の中途より抵抗を介して多極檢波真空管のスクリーングリッド電壓を供給すべきものなり。

珪瑯抵抗器

公 告 昭和十一年五月二十一日

東京市豊谷區向山町七九

考案者、出願人 孤崎 武夫

珐瑯抵抗器にあつて外筐の低部に耐熱にして絶縁材料の絶縁保護板を敷き、其の上に抵抗線を耐熱にして絶縁材料の捲棒に捲付し端子を鳩目にて抵抗線に締付たる抵抗素体を重ね其上より珐瑯釉薬を溶解流入し外筐の一部を切缺折曲げ取付片としたる構造なり。

「ラヂオ」時計

實用新案 第六八二九號

公 告 昭和十一年五月二十一日

東京市荒川区尾久町二二五六

考案者、出願人 富田 次郎

函状筐の一部に圓孔を穿設し該圓孔に擦硝子を以て形成したる電氣時計の文字版を嵌入し内部に電燈を取付け電氣スタンド兼用せしめるラヂオ時計なり

高周波受信機

實用新案 第六八三〇號

公 告 昭和十一年五月二十一日

東京市四谷區谷町一ノ八

考案者 上原 利雄

東京市芝區三田四國町一ノ一號

出願人 原口 兼貞

アンテナコイルの同調コイルに近接して之と容量的に聯結せるコイルを配設し該コイルを真空球のグリッドに接続したるものなり。

ピックアップ

實用新案 第六八三九號

公 告 昭和十一年五月二十一日

大阪府住吉區田邊東之町五ノ三八

考案者 經澤 徳太郎

同 住吉區西田邊町二五

出願人 早川 徳次

ピックアップアーム支持臺内に加減抵抗器を偏心的に固定し該器の廻轉軸に嵌着せる摘子の一部を支持臺の側壁に設くる横孔より外部に突出せしめたるものなり。

携帯用受信機の電

源部

實用新案 第七一九二號

公 告 昭和十一年五月二十七日

東京市牛込區市ヶ谷中町五七

考案者 島津 忠彦

出願人 龜町區丸ノ内三ノ二

三和電機株式会社

コンデンサーを有する濾波装置に於て其のB十回線及B一回線間を短路放電せしむべく抵抗を設け之を電源切替スイッチにより接離自在ならしめたるものなり。

「タツプ」切換装置

實用新案 第七三六九號

公 告 昭和十一年五月二十九日

東京市品川區品川町三ノ七九二

考案者 安田 達太郎

同 東大崎二ノ二七六

出願人 株式会社町間電社

一圓上の羅列せらるゝ固定接觸子と其の圓心に於て相對し各アームを有する驅動被動兩廻轉軸と夫々リンクを介して叙上の各「アーム」に連結せらるゝ複数の可動接觸子と其の兩アーム間に樞着連結せられて、當該兩アームの向

きを常に正反對ならしむる連杆と前記の可動接觸子と相對的に進退せしむると共に次順の相對固定接觸子に轉向せしむる間歇回轉體とを具備するタツプ切換装置なり。

ピックアップ

實用新案 第七四七〇號

公 告 昭和十一年五月三十日

大阪府北河内郡眞門村松下電機製作所内

考案者 竹中 啓哉

出願人 大阪市此花區大開町一ノ七三

松下 幸之助

ピックアップコイルをポテンシヨメーターに結合せしむべくなしたるピックアップに於て該ポテンシヨメーターの全抵抗値を加減し得る如くピックアップコイルをポテンシヨメーターに結合せしめて成るものなり。

「ラヂオ」用「ダイ

アル」

實用新案 第七四六一號

公 告 昭和十一年五月三十日

大阪府住吉區田邊本町七ノ十九

考案者 經澤 徳太郎

同 西田邊町二五

出願人 株式会社草川金屬工業研究所

半透明ダイアル板を有するダイアル指針軸の内端ボスに透明板よりなる摩擦

回盤を定着し調節摘子軸内端に定着せる摩擦板に摩擦係合せしだるものなり

「ラヂオ」部分品取

付装置

實用新案 第七四六二號

公 告 昭和十一年五月三十日

東京市大森區大森三ノ五五

出願人、考案者 宮田 喜之助

承臺を有する金屬器枠上にメタリコン吹着配電盤を取付け各部分品を承臺上に装置しその上面に突起せしめたる各

端子を配電板内に穿ちたる透孔より貫通突出せしめナット止め等によりメタ

リコン配線に連結せしめたるものなり

六 月

「ラヂオ」用筒状蓄

電器

實用新案 第七五四〇號

公 告 昭和十一年六月二日

大阪府北河内郡眞門村四ノ一〇〇六

考案者 中尾 晋二郎

同 松下電機製作所内

出願人 大阪市此花區大開町一ノ七三

松下 幸之助

側縁部を横方向に切込み端子片を形成し之を直角方向に折曲げ突出せしめたる容量箔と絶縁紙とを重ねて之を兩端に導出線を固着せる蕊體に捲廻し該端子を該導出線に捲着して更に捲着部にU型固着金具を嵌装壓着して蠟着せしめたる一體を外筒に装入し封口並蠟揚を施して成るラヂオ用筒状蓄電器なり。

「ラヂオ」用自動開閉器

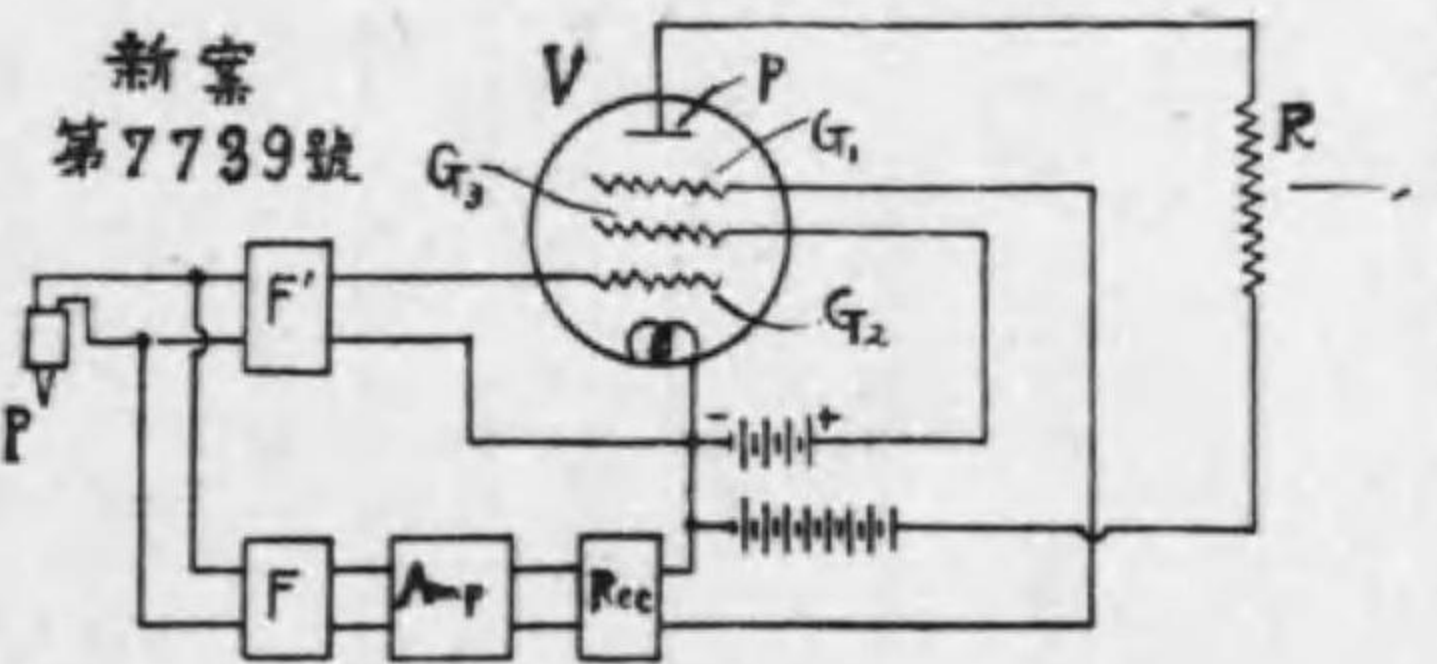
實用新案 第七五五七號
 公告 昭和十一年六月二日
 東京市世田谷ヶ區上馬町一ノ五九八
 考察者 谷内二郎

出願人 三和電機株式会社
 電源の端子を負荷の端子に接続し電源の他の一方の端子は互に並列に接続せる二個の電磁開閉器を経て負荷の一方の端子に接続し廻轉體に接觸子を固定し之と接觸すべき二個の接觸子の一方を負荷の端子に他方を上記開閉器を動作する電磁線輪を経て電源の端子に接続し廻轉體に突子を設ず上記開閉器の開閉杆と共に廻動し得る腕と係合して該開閉器を遮断し得べからしめ開閉器の電磁線輪には繼電器回路より電流を供給すべくしたるものなり。

高忠實度低周波擴

大装置

實用新案 第七七三九號
 公告 昭和十一年六月四日
 東京市澁谷區千駄ヶ谷一ノ五六二
 出願人、考察者 安藤博



低周波入力回路に接続されたる整流器該整流出力を加へらるゝ一箇の放電装置内のグリッド該放電装置内の他のグリッドに接続されたる低周波入力回路、前記兩グリッド間に介在する正電位のグリッド及出力を取出す陽極とを具有するものなり。

高周波装置

實用新案 第七八二三號
 公告 昭和十一年六月六日
 米國コンネクテカッツ州
 考察者 リューウイス・エツチ・ヴァン・ピリヤード
 出願人 東京電氣株式会社
 川崎市堀川町七十二

特定の波長を以て作動するに適したる複數個の装置單位と該各單位を選択的に高周波置本體に接続する開閉器とを具備し且つ該各單位は之と該開閉器との間の電氣的接觸子により該開閉器に機械的に支持せらるゝことを特長とするものなり。

可變蓄電器

實用新案 第七九〇六號
 公告 昭和十一年六月九日
 東京市澁谷區豊澤町四〇
 考察者 河津祐一
 出願人 同 株式會社河津無線研究所

可動極板用軸の一端に二枚の血狀彈性

板を低面に於て互に接觸せしめ該二枚の血狀彈性板により構成せられたる溝部に傳導輪の一端なる圓弧部の内側なる尖銳部を嵌合せしめ傳導輪の他端を固定端子と電氣的に接続せしめたる可變蓄電器なり。

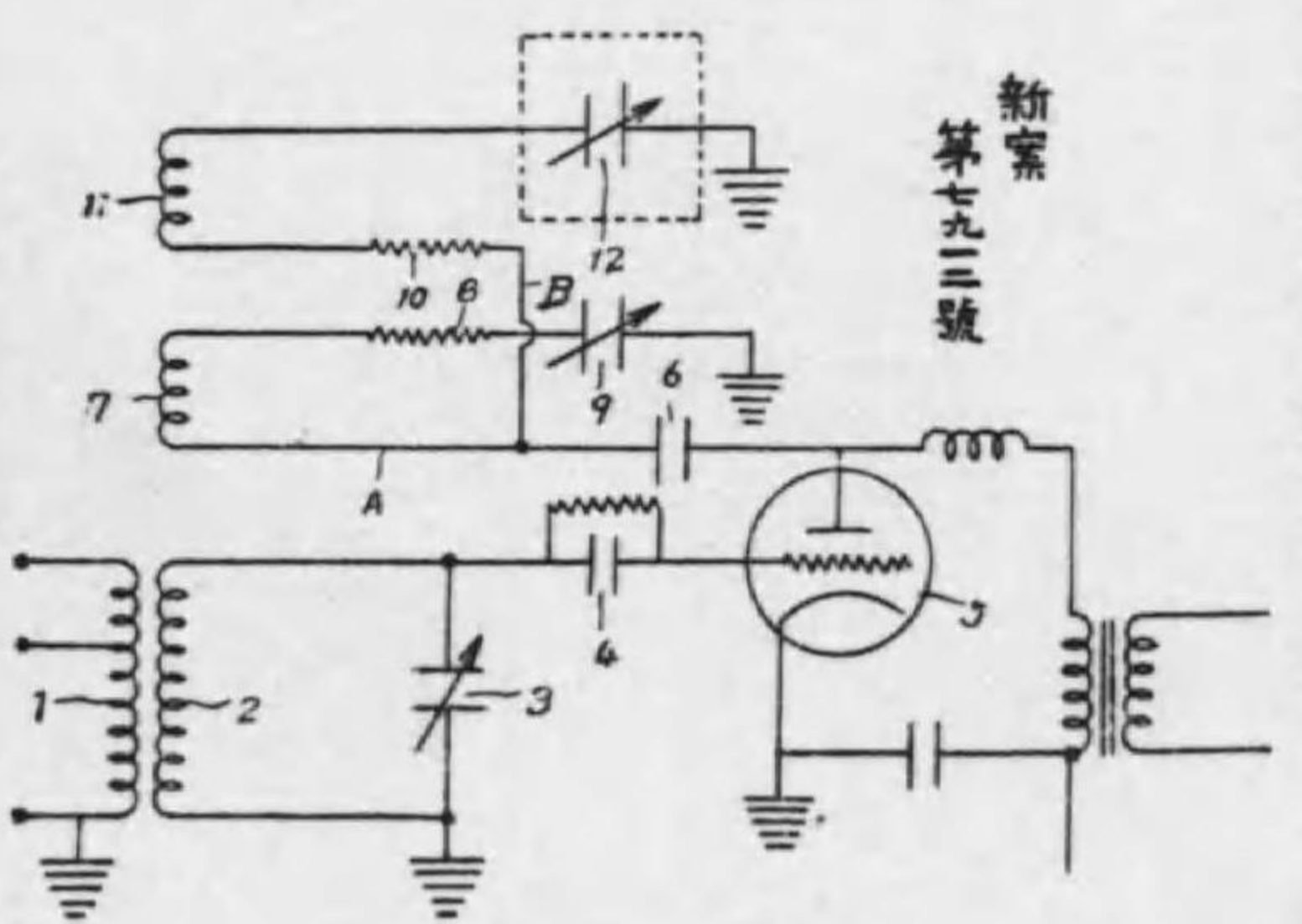
ポータブルセット

實用新案 第七九二二號
 公告 昭和十一年六月九日
 大阪府中河内郡伊藤町菱屋四二七三
 出願人、考察者 木村一二郎
 提手を有するケースの一部をなす閉閉蓋に蓄音機用電氣モーター及びビツクアップ挿着用管柱及びビツクアップ支持片を設け廻轉軸に着脱自在のレコード支持片を附設しケース内に發聲器ラヂオ受信兼擴大装置を設けて成るものなり。

無妨害受信装置

實用新案 第七九二二號
 公告 昭和十一年六月九日
 東京市神田區鍛冶町三ノ六ノ一

出願人、考察者 大西立二
 外筐内可變コンデンサーを設け該コンデンサーの容量加減器を外筐に穿設せる透孔に臨ましめたるものなり。



再生式受信装置の空中線線輪

實用新案 第八〇〇六號
 公告 昭和十一年六月十日
 大阪府北河内郡門真村門通番四ノ千六、松下電器製作所
 考察者 古田保信
 出願人 松下幸之助
 再生線輪を具備せる高周波受信回路に於て蓄電器と適當なるインピーダンスを有する第一一次線輪に比較的高インピーダンスを有する第二一次線輪を並列に接続せしめ之等第一第二一次線輪を二次線輪に電氣的に結合せしめたるものなり。

實用新案 第八〇〇七號
 公告 昭和十一年六月十日
 大阪府西成區旭北通り四ノ十八
 考察者 飯田孝三
 出願人 高田電池株式会社
 大阪市東淀川區野中北通三ノ一〇
 低壓蓄電池及高壓蓄電池に對して此等蓄電池が完全充電状態に於て平衡する

「ラヂオ」受信機

繼電器を夫々並列に連結し該電器の共通軸材上の接觸板を挟み整流器の接觸點及整流管の接觸點を對設して成るものなり。

真空管電極支持器

實用新案 第八〇〇八號

公 告 昭和十一年六月十日

東京市品川區五反田一ノ四二九

品川電機株式會社

考察者

前田 久雄

同 同市 同町

萩田 小一郎

出願人

品川電機株式會社

真空管電極支柱の端部に放射狀止め金具を設置せしめて成れるものなり。

ラヂオ部分品容器

實用新案 第八〇九五號

公 告 昭和十一年六月十一日

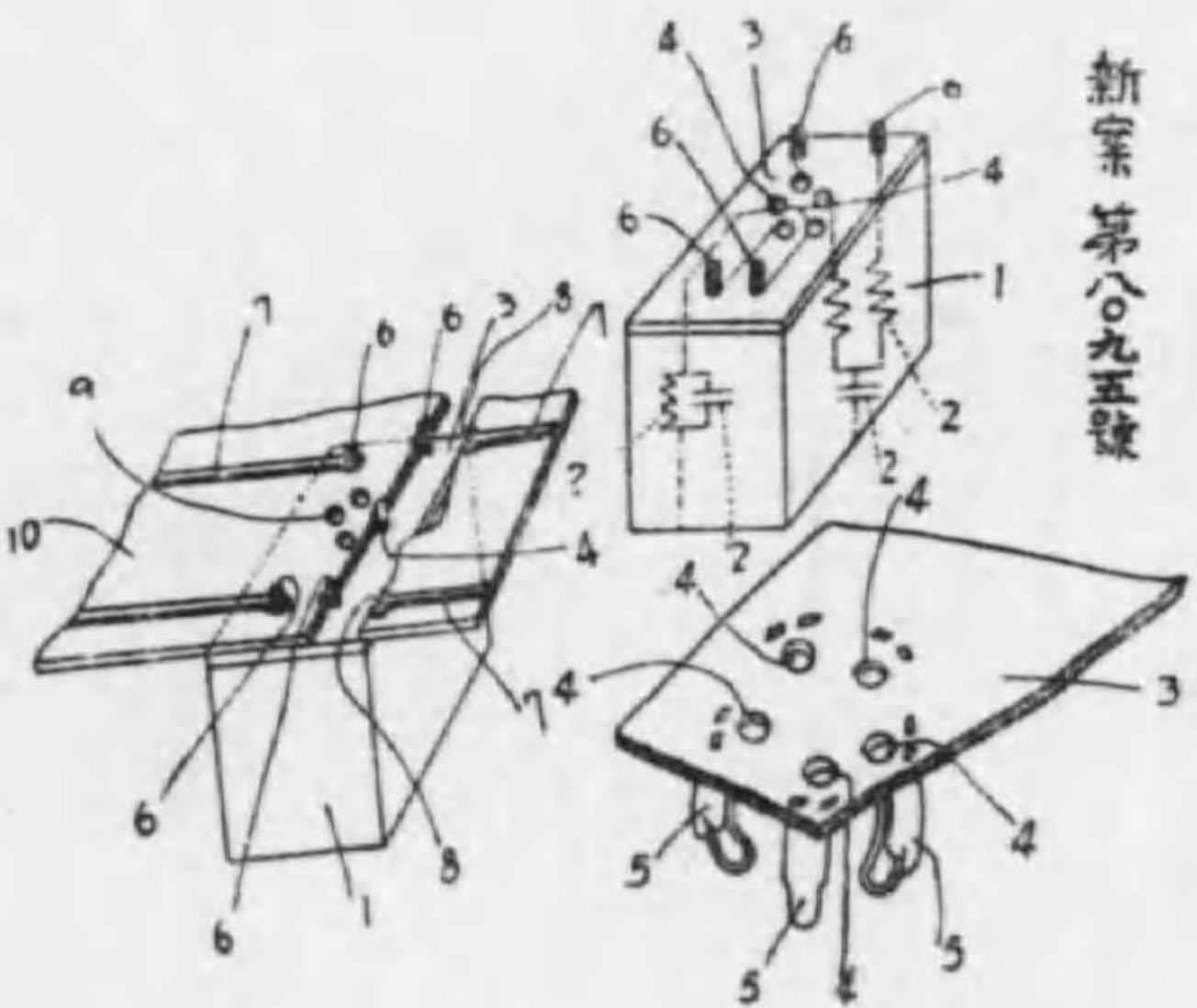
東京市大森區大森三ノ五五

出願人、考察者 宮田喜之助

兩内に一個乃至數個の受信用部分品を収用し函臺をなす絶縁板へ真空管脚金

具を嵌挿せしむる透孔を穿ち該透孔より嵌挿せる脚金具と接觸すべき接觸金具を絶縁板背面へ取付け各部分品相互間及部分品と接觸金具との接觸を兩内

新案 第八〇九五號



にて行ひ兩外の部分品との接続用端子螺子を絶縁板表面へ突出せしめてなるものなり。

ラヂオ用配線盤

實用新案 第八〇九六號

公 告 昭和十一年六月十一日

東京市本郷區坂下町三六

出願人、考察者

山下 義雄

厚紙又は之と類似の可撓絶縁板に真空管、變壓器又は抵抗器の如きラヂオ用品を通過せしむるに必要な通孔又は切缺等を設け其餘地に必要な配線を縫着して成るものなり。

擴聲機の振動板調節裝置

節裝置

實用新案 第八四五八號

公 告 昭和十一年六月十八日

東京市本郷區駒込町三三六

考察者、出願人

高橋 彌太郎

同 同市 同町

近藤 一郎

出願人

東京市神田區神保町二ノ一

同 同市 同町 佐藤 辰一

振動板の一端の兩面に軟質性ゴムを當て更に撥條にて挾持すべく摘みを有す

る螺桿を嵌挿し此螺を結合して成る擴聲機の振動板調節裝置なり。

ネオン燈による絶縁抵抗試験器

緣抵抗試験器

實用新案 第八六一九號

公 告 昭和十一年六月二十日

大阪市西淀川區塚本町二一八

出願人、考察者 鶴崎 茂

ブリツチ接続の比例邊抵抗間にネオン燈に適當なる電壓を加ふるため設けられたる摺動子とそれ等よりそれぞれ安定抵抗を通して後記の切換閉器の共通點に接続せられたるネオン燈等よりなるものなり。

真空管

實用新案 第八六三三號

公 告 昭和十一年六月二十日

東京市中野區上高田一ノ八〇

考察者 山下 登

同 同市 同町

田德 太郎

川崎市南幸町一ノ三二
川崎市堀川町七一

出願人 東京電氣株式會社
電極精體を内部に封入せる真空硝球の内壁面の全部又は一部を粗造ならしめ該粗造面に「ゲッター」材料の沈着層を形我せしめたるものなり。

電子放射用電極

實用新案 第八六二四號

公 告 昭和十一年六月二十日

東京市芝區二本榎町二

出願人、考察者 鈴木 元松

加熱纖維上に密接して細き金屬線を螺旋狀に捲回し更に之を螺施體となし其内部には電子放射性酸化物を固着充填し其外部表面には薄く酸化物を被着せしめて成るものなり。

多極真空管

實用新案 第八六二五號

公 告 昭和十一年六月二十日

英國倫敦市ダブリュー・シー・ニ・オールドウキッチ・コンノートハウス

考察者 ポール・シニウエリン
亞米利加合衆國紐約市ブロードストリート六七

出願人 インターナショナル・スタンダード・エレクトリック・コーポレーション

制御格子は陰極を包圍し冷却翼を備へ遮蔽格子は楕圓形又は扁手管狀にして制御格子と冷却翼とを包圍し冷却翼は遮蔽格子の主軸線上に位置し陰極は遮蔽格子の對稱軸より離れ陽極は遮蔽格子と同様に楕圓形又は扁手管狀にして該遮蔽格子を包圍し遮蔽格子に取付けたる金屬製端部帽により制御電極を陽極より遮蔽する如くなされるものなり

電波々長指示筒

實用新案 第八六二六號

公 告 昭和十一年六月二十日

東京府北多摩郡野村町多見成城三〇

出願人、考察者 植村 泰三

中空圓筒形の指示筒を縦に置き其の中心軸をベベルギアにて横軸に連結し横軸の端部に連桿を取付け連桿の他端部をスピッチ軸に連結せしめ其の軸に

圓筒形の外面に諸種の突起を設けたるスキッチ端子を固着せしめ又指導糸の一部を指示板に併立懸垂せしめ之に指示片を固着し指示片の先端を常に硝子板の裏面を摺動せしむべくしたるものなり。

ラヂオ自動聴取

装置

實用新案 第八七〇二號

公 告 昭和十一年六月二十三日

大阪市港區北本幡町三ノ六七

考案者、出願人

早戸圓次郎

時計針軸の外周に放送時間に従ひ適宜の長さで分割せる多數の弧狀初體を夫々絶縁して圓形に配列し、其の外周に凹入部を放射狀に多數配列したるスウィッチ板を設け各凹入部の一端を緩止し且つ他端に摘子を設けたる切換片を止着し自由端の側に接點を設け日曜祭日及夜間の重複時間に相當する切換片には別に接點を増設し平日晝間接點日曜祭日用接點、及夜間用接點を夫々

相連結し更に晝夜切換閉器及日曜祭日用切換閉器を設け時計針を弧狀導體に接せしめ時計針及各接點をラヂオ電源回路中に接続して成るラヂオ自動聴取装置の構造なり。

音針支持装置

實用新案 第八七三〇號

公 告 昭和十一年六月二十三日

東京市芝區田村町一ノ三ノ三

竹内ビル内

出願人、考案者

中原竹夫

震動杆の支持腕の一方より針の挿入孔に向け透孔を穿ち該透孔に撥條の一端に固着せるピンを嵌入すると共に撥條の背面に對峙し該撥條を挿入すべく挺子の軸を器枠に支持せしめたるものなり。

複合真空管

實用新案 第八九〇〇號

公 告 昭和十一年六月二十五日

東京市蒲田區原町二九一仲田春吉方

考案者

三島一郎

東京市芝區中門前二ノ一
出願人 神奈川電氣株式會社
一對の陽極グリッド及織條を備へ電源に對し該織條を並列に接続せしめ得べき端子を設けたるものなり。

光電管

實用新案 第九二七〇號

公 告 昭和十一年六月三十日

東京市芝區三田四國町二

考案者

日本電氣株式會社内

同

小林正次

同

宮崎清俊

同

所

考案者

日本電氣株式會社

同

輪狀金屬帶よりなるアノードを具ふる光電管なり。

七月

携帯用ラヂオ受信

機の乾電池容器

實用新案 第九三五五號

公 告 昭和十一年七月二日

東京市芝區宮本町八
出願人、考案者 久保田雄三
ズック、ゴム、革等にて作れるバンドの外周に多數併設せしめたる收納部に夫々乾電池を收納し各乾電池を夫々電氣的に接続せしめかくして適當電壓の個所より適宜導線を出し之を受信機に接続せしむべきプラグに接続せしめたるものなり。

漏洩變壓器

實用新案 第九五二五號

公 告 昭和十一年七月四日

東京市大森區池上洗足町一八四

考案者

渡邊方

出願人

川崎市堀川町七二

合志一夫

東京電氣株式會社

鐵心上に磁氣分路を隔て、一次線輪と二個を重ねて捲回せる二次線輪とを配置してなる漏洩變壓器なり。

ポータブル、ラヂ

オ、セツト

實用新案 第九五三五號
公 告 昭和十一年七月四日
東京市王子區豊島町七九三
出願人、考案者 河合演次郎
東京市牛込區早稲田鶴巻町三三七
出願人 鈴木興平
匣體に取付けたる蓄電器の回轉軸を匣體外に突出せしめ之に摘子にて手提革を該軸が自由に廻轉し得る如く取付けたるものなり。

ラヂオ用微動ダイヤル

實用新案 第九五三六號

公 告 昭和十一年七月四日

神戸市灘區深田町二ノ四七

考案者

小田忠徳

出願人

大阪市東區川區元今里北通三ノ一四

大阪變壓器株式會社
取付板に定着せる支持筒内に貫嵌せる操作軸に設けたる銜と之れに緩嵌せる座金との間に螺旋撥條の押壓により廻轉回盤を挾接せしむべくしたるラヂオダイヤルに於て取付板に穿ちたる孔

に銜を有する支持筒の後部を嵌挿し其先端を擴大して該取付板にかしめ止めし支持筒の前部周縁に軸方向の切條を設けて彈性を附與して操作軸を挾壓すべくなし該軸の環狀溝に彈性環を嵌設して該軸を前後に摺動し得ざらしむべくしたるものなり。

遠方操作式断路器

鎖錠装置

實用新案 第九七九九號

公 告 昭和十一年七月九日

茨城縣多賀郡日立町大字宮田五〇〇

考案者

株式會社日立製作所日立工場内

同

鶴沼辰晴

同

茨城縣之吉

東京市豊島區丸の内一ノ二〇一
出願人 株式會社日立製作所
附勢せる時断路器の手働操作把手の銷錠を釋放せしむる銷錠電磁石の回路に遮斷器と連動し開閉相反する補助接觸部及表示灯手働閉器を挿入したる

事の特徴とする遠方操作式断路銷錠装置の構造なり。

多孔リボン状織條

實用新案 第九八〇六號
公 告 昭和十一年七月九日
東京市豊島區新富町一ノ六ノ四
出願人 考案者 望月兼太郎
リボン状織條に多數の孔を穿ち其の孔の内側周邊に凹起部を設けたるものなり。

可聴變調高周波送

信装置

實用新案 第九八八一號
公 告 昭和十一年七月十一日
東京市豊島區百人町二ノ一八三
考案者 山田秀雄
出願人 東京市豊島區丸ノ内一ノ六ノ一 沖電氣株式会社
發振真空管の格子漏洩抵抗に直列に制御真空管を接続し該制御真空管の格子及織條間に格子偏倚電壓並に所要の可

聴周波正弦電壓を與ふべき回路配置を具備せしめたるものなり。

真空管用ソケット

實用新案 第九九八二號
公 告 昭和十一年七月十一日
東京市品川區東大崎町二ノ二九一
日本無線電氣電話株式會社内
考案者 同 所 小杉繁造
出願人 日本無線電氣電話株式會社
ソケット主體の孔と蓋盤と圓座盤とよりなる匣内に真空管脚承金物及彈條を藏せしめ該脚承金物の兩肩を一方はソケット主體の溝により他は彈條の頂部により架持せしめ且つ該彈條をして脚承金物の自由端を脊後より押壓すべくしてなる脚受け装置を具へたるものなり。

交直兩用受信装置

實用新案 第一〇二六七號
公 告 昭和十一年七月十五日
東京市品川區五反田一ノ四二九
品川電機株式會社
考案者 前田久雄
出願人 東京市品川區五反田一ノ四二九 品川電機株式會社
傍熱管の交流加熱電源の一端をアース又は陰極に接続し他端に片切スキッチを設けたる傍熱及直熱型の二種の真空管を用ふるものなり。

ピツクアップ

實用新案 第一〇四四〇號
公 告 昭和十一年七月十八日
東京市豊島區千駄谷一ノ五六二
出願人、考案者 安藤 博
針挿入部分及結晶體聯結部を輕金屬を以て作り且つ後者を以て結晶體板の端部のみに接着せしめたるピエゾピツクアップなり。

「ラチオ」用豫選調

整装置

實用新案 第一〇三四四號
公 告 昭和十一年七月十七日
東京市豊島區池袋三ノ一五六一
出願人、考案者 横田 元
主軸に腕を固着し此先端にレバー・ローラー、スプリングを設置し別に主軸上に回轉する齒車の一部に設けたる山の頂上にある凹みに前記ローラーが嵌入し得可くなし齒車を廻轉するピニオンの軸に摩擦板を設けたものなり。

脱出を防止せる眞

空管の脚

實用新案 第一〇六一四號
公 告 昭和十一年七月二十二日
東京市中野區沼袋町二七七
沼袋アパート内
出願人、考案者 三輪 宏
眞空管の脚の側面の一部に弧狀に凹部を穿ち之を彈性帶の一部を彎曲せるソケットに挿し込み保持する様に爲したるものなり。

放電装置用「グリツ

ド」電極

實用新案 第一〇六一五號
公 告 昭和十一年七月二十二日
神戸市兵庫區賣下町二二七
熊谷俊太郎
考案者 兵庫縣武庫郡魚崎町横屋字内田二三 山本 謙 造
考案者 神戸市林田區和田山通り一ノ五 株式會社 川西機械製作所
出願人

断面(字形をなし且兩側端部に所定間隔を以て多數の凹部を設けたる電氣良導性金屬薄板を背立せしめ之に該凹部に嵌入する如くグリツドコイルを巻回したるものなり。

マジックスピー

カー

實用新案 第一〇七九四號
公 告 昭和十一年七月二十四日
東京市王子區赤羽町二ノ五六〇
津賀根 國治郎
考案者、出願人 東京市品川區上大崎一ノ七二 淺野方 梅原 三郎
同 東京市豊島區駒込三ノ三八八 齋藤 一 聲
同 同 齋藤 一 聲
ダイナミックスピーカーに於ける振動板にコーンを兼ねたるテーブルを裝備し、該テーブルに人形と移動子とを具備せしめてなる装置なり。

電氣蓄音機に於る

配線装置枠

實用新案 第一〇七九五號
 昭和一十一年七月二十四日
 東京市淀橋區戸塚町四ノ七四三

出願人 須子信一
 株式会社日本蓄音器商會
 川崎市久根崎百二十五

「ベークライト」製
 「ラヂオ」受信機筐

實用新案 第一〇七九六號
 昭和一十一年七月二十四日
 東京市大森區大森三ノ五五
 出願人、考案者 宮内喜之助
 機筐を兩部に分割し兩部分の接合部を
 跨ぎ兩部分の前板へ擴聲器の周縁を螺
 子着し擴聲器を以て兩部分を一體に固
 定せしめてなるものなり。

「ラヂオ」自動開閉

装置

實用新案 第一〇七九七號
 昭和一十一年七月二十四日
 東京市目黒區上目黒五ノ二四七三

出願人 谷内二郎
 三和電氣株式會社
 豊町區丸ノ内三ノ二

放送電波により動作する電磁閉閉器と
 上記閉閉器を一定時限を以て開閉する
 装置と放送中受信器に電流を供給中放
 送停止すれば時限的に該電流を遮斷す
 る装置とよりなるものなり。

「ラヂオ」部分品の
 配線装置

實用新案 第一〇七九八號
 昭和一十一年七月二十四日
 東京市大森區大森三ノ五五
 出願人、考案者 宮内喜之助
 兩内に一個乃至數個の部分品を收容し
 函蓋へ眞空管用ソケットを取付け該ソ
 ケットの接觸金具と各部分品の接続を

兩内にて行ひ他の兩内の部分品及兩外
 の部分品との接続用端子螺子を兩底の
 絶縁板より突出せしめ機臺の内面へ装
 置したる配電盤の配線を貫通して電氣
 的に接続しナット止め固定をしたるも
 のなり。

再生式受信装置

實用新案 第一〇九六四號
 昭和一十一年七月二十八日
 大阪府北河内郡門真村内眞舊四ノ千
 六松下電機製作所
 考案者 黒井 久
 大坂此花大開町一ノ七三

出願人 松下幸之助
 正規再生線輪と再生調整用蓄電器と抵
 抗とを直列に有する再生回路を備へ該
 正規再生線輪と之と勵磁方向正又は單
 なる補償線輪と蓋電器とを直列に接続
 し該補償線輪と蓄電器との兩端を抵抗
 の端子間に接続せしめたるものなり。

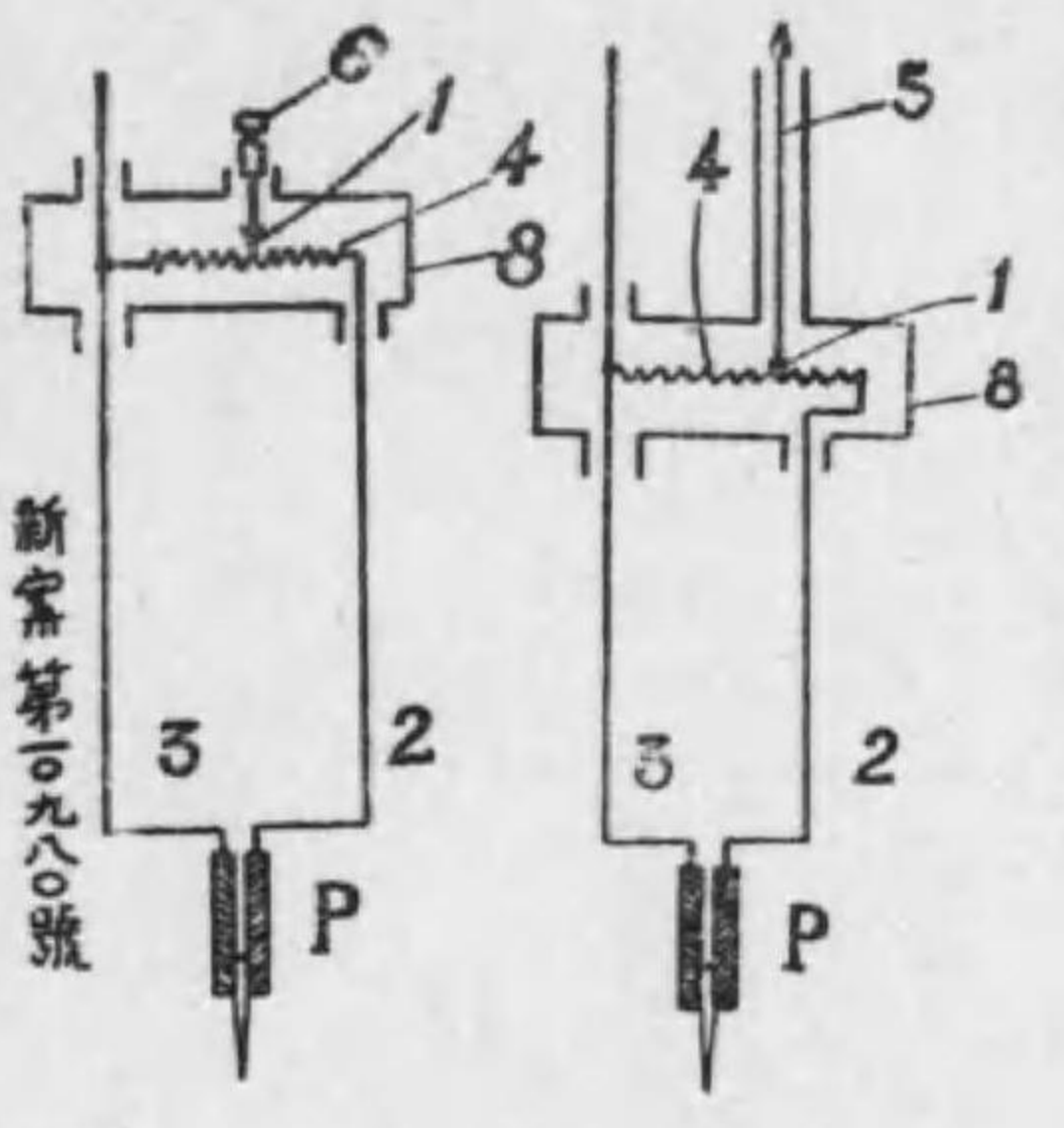
眞空管

實用新案 第一〇九六五號

公 告 昭和一十一年七月二十八日
 東京市上野區上十條町一七勝村醫方

出願人、考案者 昭田秀吉
 眞空管のプレート支柱の頂部へコ状止
 金及横棒を熔着し其間へ整距離用絶縁
 體を介在挾持せしめたるものなり。

ピエゾ、ピツクア
 ツプ作動装置



新案第一〇九八〇號
 東京市澁谷區千駄谷一ノ五六二

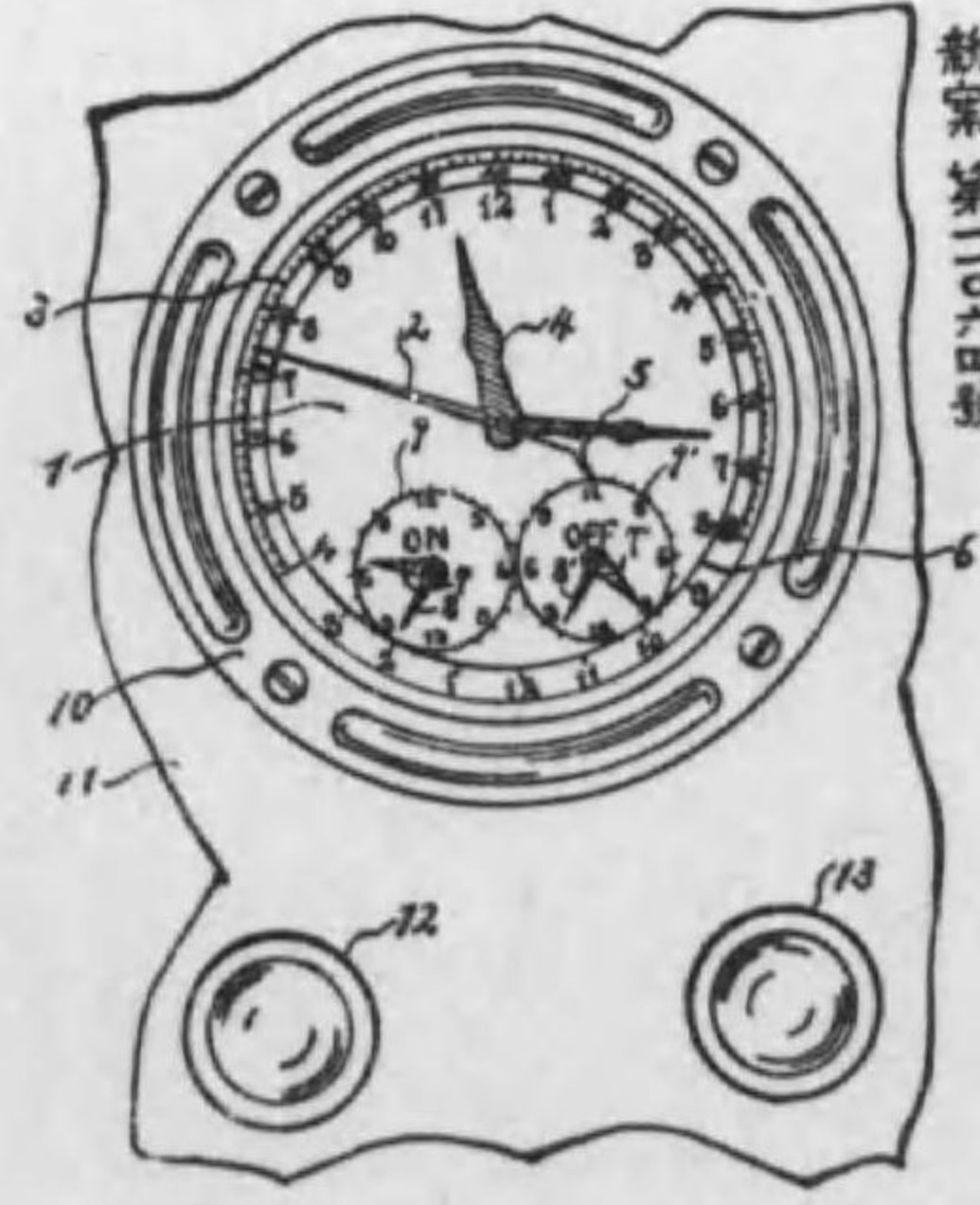
出願人、考案者 安藤 博
 遮蔽されたるポテンシヨメーターの入
 力側を薄き多數の壓電氣結晶體素子の
 組合せを有するピエゾ、ピツクアツプ
 と組合せ其の間の接続用導線の外部に
 遮蔽を施さざるを特徴とするものなり

自動開閉器

實用新案 第一〇九五五號
 昭和一十一年七月二十九日
 東京市品川區五反田一ノ二六三
 考案者、出願人 西澤弘祐

可動接觸子の柄杓を其の根部より突没
 せる突出片に於て軸に樞着し該突出片
 の頭部を彈片の突點に係らしめ軸に柄
 杓の上面に擺動片を樞着し該擺動片の
 一側にバイメタルの自由端に係らしめ
 他側に器體との間に彈條を張り擺動の
 中間に孔點を形成せしめて成る自動開
 閉器なり。

時限開閉器表示部
 兼用「ラヂオ」ダイ



新案第一〇六四號

實用新案 第一〇六四號
 昭和一十一年七月二十九日
 東京市澁谷區櫻ヶ丘一四
 出願人、考案者 梅田隆郎
 同調用ダイヤルの表示部を利用して時
 限開閉部の示針表示をなさしむべく構
 成せしめたるものなり。

アル



眞空管の陰極

實用新案 第一一三三三號
 公告 昭和十一年八月四日
 東京市大森區大森三ノ五五
 出願人、考案者 宮田繁太郎
 細き酸化物被覆纖維を集合し其の兩端部を結束し中央部をアンカーにて支持せしめ單一纖維なる如くしたるものなり。

ビエゾ電氣素子

實用新案 第一一四二九號
 公告 昭和十一年八月五日
 東京市蕨谷區千駄谷一ノ五六一
 出願人、考案者 安藤 博
 易化學反應性板狀ビエゾ電氣素子を之が化學反應を阻止すべき適宜物質を浸潤せしめたる薄膜を以て包みてなるものなり。

壓電氣「ピツクアツ

管の排氣端をベース底部に埋込みたる金屬圓筒内に挿入して熔着せしめてなるものなり。

磁氣應用遲延裝置

實用新案 第一一六九二號
 公告 昭和十一年八月十二日
 東京市麻布區靈南町二七
 考案者、出願人 高岸榮次郎
 廻轉圓板の周圍に薄銅片若くは銅針が夫等が圓板の軸を隔て、丁度反對の位置に於て互に略又は正しく直交する如く装着せられ銅針に對し信號波を電磁的に記録する記録器と圓板の軸を隔て、之に反對の位置に装着せられ電磁誘導作用により該記録波を再生すべき再生器と該磁化記録を抹消せしむる抹消器とを具備して成る磁氣應用遲延裝置なり。

熱電子管加熱指示裝置

實用新案 第一一六九三號

「ラヂオ」受信機と音聲擴大との切換裝置

實用新案 第一一四三〇號
 公告 昭和十一年八月五日
 東京市蕨谷區千駄谷一ノ五六二
 出願人、考案者 安藤 博
 結晶體板を容器内に挿入し該容器に取付けられたる一端に針其他の可動體を挿入する振動體を其の旋廻軸の軸方向の延長部を以て前記壓電氣結晶體に聯結せるものなり。

「ラヂオ」受信機と音聲擴大との切換裝置

實用新案 第一一五二三號
 公告 昭和十一年八月六日
 東京市大森區北千束五八九
 考案者 内田 報
 東京市麴町區内幸町一ノ三ノ一
 株式会社七歌無線電氣商會
 出願人
 ヘテロダイン・ラヂオ受信機と音聲周波回路とを、切換閉閉器に依り共通の

「ピツクアツ」用接極子

實用新案 第一一五二〇號
 公告 昭和十一年八月六日
 東京市石川區南品川五ノ二六五
 出願人、考案者 齋藤 常次
 接極子體に該接極子を吊支すべき吊支線體を複數個植立したるものなり。

眞空管

實用新案 第一一六〇三號
 公告 昭和十一年八月八日
 東京市品川區大井南品川一七〇〇
 出願人、考案者 川田 澄澄
 硝子球の底部へ突出せしめたる排氣硝

公告 昭和十一年八月十一日
 東京市麻布區靈南町二七
 出願人、考案者 高岸榮次郎
 熱電子管の陰極と同時に加熱開始せられ該管の所要準備加熱一時間の終りに於て所定の溫度に達し且該管の陽極用電源回路の閉成と同時に加熱停止せらるべく電源回路に持續せられたる被加熱體と該被加熱體の溫度に對して應動する指示器とより成るものなり。

「スーパ一」ヘテロダイン」式受信裝置

實用新案 第一一七八八號
 公告 昭和十一年八月十二日
 東京市蕨谷區千駄谷三ノ五四九
 考案者 千葉 勳
 東京市芝區西應寺町五一
 出願人 東洋無線電氣信託株式會社
 中間周波濾波回路として通過帶域幅とインピーダンスを常に一定なる如く設計せる一定の容量と可變誘導量よりなる結合したるものなり。

發振制御裝置

實用新案 第一一八六五號
 公告 昭和十一年八月十三日
 東京市品川區五反田町一ノ四二一九
 品川電機株式會社

考案者 前田久雄
同 望月富時

出願人 品川電機株式会社

發振管の陽極又は遮蔽格子の電源と發振制御管の陽極電源は共通の抵抗を通じて供給すべくさせる發振制御回路に於て發振制御管に五極以上の多極管を用ひ發振制御時に於て遮蔽格子電壓を陽極電壓より高電位に保ち更に上記による陽極よりの二次電子放射を防止するため陽極と遮蔽格子間に設けられたる抑制格子を陰極と同電位又は負電位となしたる發振制御装置の組合せなり

無電用巻芯

實用新案 第一八六六號
公 告 昭和十一年八月十三日

東京市澁川區西ヶ原町一三四七
考案者 澤田英男

芝區宮本町八

出願人 久保田雄三

線巻部を有する巻芯の側に角形又は楕圓形等の凹窪部を設け之と合致すべ

き突出部を他側に設けたるものなり。

微動可變裝置

實用新案 第二〇五〇號
公 告 昭和十一年八月十五日

大阪市西淀川區通江北三ノ二〇
考案者、出願人 宮下晋彦

可動板を定着すべき廻動軸の前半部に筒孔を設け其の周圍に數個の中間傳導球を嵌入すべき數個の圓軸を穿ち後端部に載頭圓錐形の傾斜軸面を形成せる把軸を前記中間傳導球が像斜軸面と接觸すべく撥條を介して筒孔内に嵌挿し廻動軸を器體の前部に周圍に軸承輪座を設けて穿ちたる筒孔に貫通し該輪座の内周面に球を接觸せしめ且該輪座の前面に隆起輪縁を有する押壓板を定着して成れる微動可變器なり。

可變蓄電器

實用新案 第二三三三號
公 告 昭和十一年八月二十日

東京市神田區鍛冶町三ノ六ノ一
考案者、出願人 大西立二

ち該透窓の下方に上端開放せる有底小箱を取付け其の底に真空管を挿着すべくソケットを設けて成るものなり。

「ラヂオ」受信機

實用新案 第二三三四號
公 告 昭和十一年八月二十日

東京市大森區大森三ノ五五
出願人、考案者 宮田喜之助

容器の外面へ真空管用ソケットを装置し内部に必要な部分品を收容し其等の端子を容器の外部へ出し斯る容器を機臺へ並置し端子を以て隣接容器内の部分品を連結して組立たるものなり。

「ラヂオ」受信機

實用新案 第二三三五號
公 告 昭和十一年八月二十二日

東京市大森區大森三ノ五五
出願人、考案者 宮田喜之助

機匣に固着したる擴聲器の周圍へ部分品を容納したる容器を支持板へ圓形に配列して装置し容器より外部へ突出せしめたる各部分品の端子を配電盤の接

側面に支承せしめたる廻轉軸の外周に凹凸を形成し之に可動蓄電板を有する軸筒を夫々定着し前記側面に絶縁板を定着し、該絶縁板に固定蓄電板を固定せる角形筒の各一端を定着し該角形筒の他端を絶縁板にて連結したる可變蓄電器なり。

高聲器

實用新案 第二三三八號
公 告 昭和十一年八月二十日

東京市品川區五反田五ノ一〇八
考案者、出願人 原崎突作

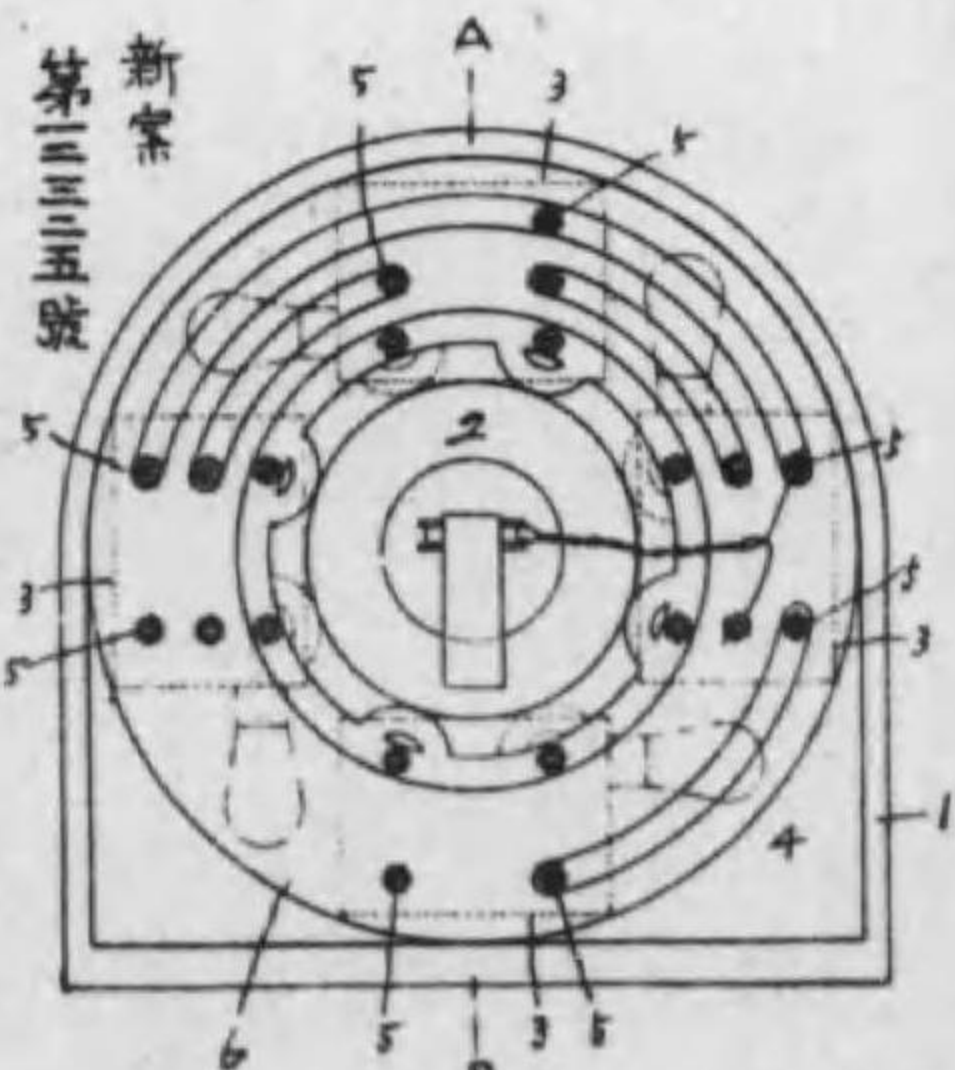
可動線輪形高聲器に於て、周圍をコーンのフレームに定着し中央に可動線輪を取付けたる圓盤に同心圓の波形を形成して成る構造なり。

負性饋還型增幅裝置

實用新案 第二三三〇號
公 告 昭和十一年八月二十日

米國ニュージャージー州
考案者 ハロルド・ステフェン・ブラック
同國同市

續透孔へ嵌挿連結し容器相互間の配線を行ひ容器の外面へ真空管用ソケットを装置したるものなり。



增幅裝置

實用新案 第二三三六號
公 告 昭和十一年八月二十二日

高岡市元町一番地
出願人、考案者 上野亨

瓦斯封入放電管の陽極端子を真空管の熱陰極端子に接続し該瓦斯封入放電管の陰極端子を直流電源の陰極端子に接続し該瓦斯封入放電管の陰陽兩端子に

出願人 スタンダード・エレクトリック
最初の二段はタンデムに結合せる増幅の大なる遮蔽格子真空管を含み第三段は高能率と低ハイモニック・レベルと大負荷容量とを有し、更にプレート及コプラナー格子間に位置し遮蔽電極として働く第三格子を有するコプラナー格子真空管を使用しコプラナー格子真空管の出力側より第一段の遮蔽真空管の入力回路に對する負性饋還回路を有するものなり。

携帯用「ラヂオ」兼

電氣蓄音機

實用新案 第二三三三號
公 告 昭和十一年八月二十一日

東京市品川區五反田五ノ四八
老案者 原崎七郎

出願人 同 原崎突作

外箱の上板に其の下方に備ふるモータの直上方よりも外周方へ適度に離れたる位置を採りて適宜數個の透窓を穿

並列に可調分壓抵抗器の固定端子を接続し該分壓抵抗器の可調端子を入力結合変壓器の二次線輪を介し該真空管の制御格子に接続したるものなり。

音響再生装置

實用新案 第二三三〇號

公 告 昭和十一年八月二十二日

大阪市西成區花園町二七

考案者、出願人 笠木 了 一

大阪市南區末吉橋通二ノ一

出願人 中西保次郎

真空管のカソードとアノードの中間へ固定設孔筒管と可動設孔筒管を夫々の通孔を對向せしめて同心的に對立装設し、可動設孔筒管を著音器の音針又は他の音聲に應動する機體に接続し且つ真空管の管壁に穿設せる透孔を通し彈性板に依り透孔の周壁に接合せしめたる振動杆に連結して成る音響再生装置なり。

真空管端子用クリ

ツプ

實用新案 第二二五〇號

公 告 昭和十一年八月二十八日

東京市大森區新井宿七ノ二〇

考案者、出願人 株式會社三陽製作所

赤星 雄 三

同 所

株式會社三陽製作所

同 所

同 所

同 所

同 所

同 所

九月

ポータブル・ラヂオ・セット

實用新案 第二二五九六號

公 告 昭和十一年九月一日

東京市王子區豊島町七九三

出願人、考案者 河合寅次郎

東京市牛込區早稲田橋町三三七

同、同 鈴木 興 平

同、同

匣體の周面の一部に凹溝を構成し其面に平行條溝を列刻し之等の條溝に底沿ひ「アンテナ」線條を巻回したる上に底面に同様な平行條溝を刻める絶縁板を埋設し擴聲器振動板の背面に相當するに於て蓋に透孔を穿ち之に喇叭を装置して成れるものなり。

「ラヂオ」受信機

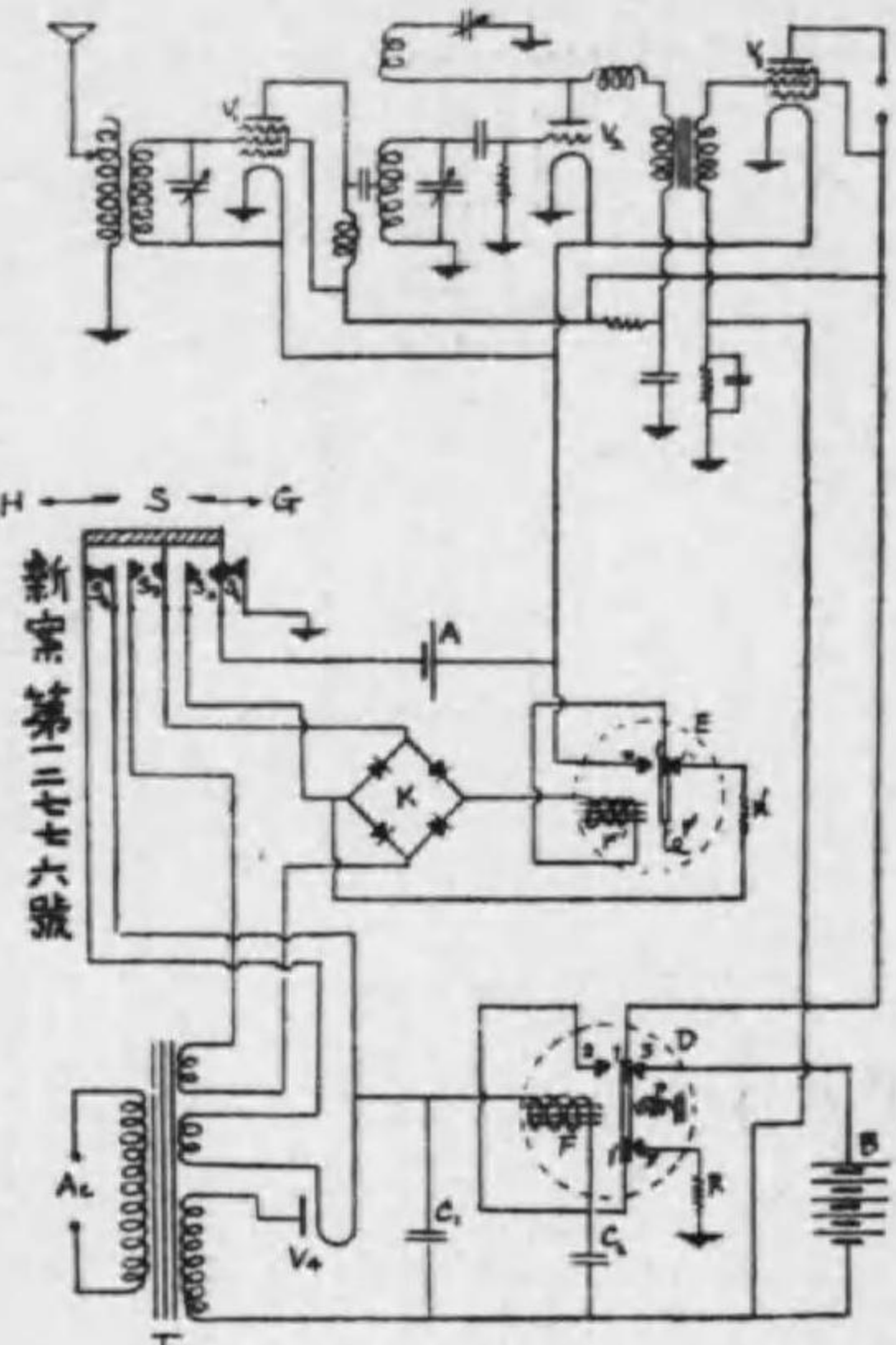
實用新案 第二二七七六號

公 告 昭和十一年九月五日

佐賀市五町六十七

出願人、考案者 小野 實 市

フィルタ用低周波チョークの磁力にて作用する自動繼電器の接點を低周波チョーク整流用真空管を経て電源變壓器に接続し他方の接點を電池に接続し可動接點子との閉合により夫々交流電源或は電池よりの電流を受信用真空管のプレート回路に供給すべく接續變換すべからしめ別に連動開閉器を設け該開閉器は之を右方に轉じたる時整流用真空管の點火電流路及蓄電池より受信用真空管への點火電流回路を完結せしなり。



め之を左方に轉じたる時上記二回路を開くと共に蓄電池に對する整流器の充電回路を完結せしめ尙該充電回路中には逆流防止繼電器を介在せしめたるものなり。

「ラヂオ」受信機

實用新案 第二二七七七號

公 告 昭和十一年九月五日

東京市大森區馬込町東三ノ五六五

考案者、出願人 柳 原 勝 治

東京市麹町區丸ノ内二ノ一八

出願人 合資會社日本トレンジング商會
交直兩電源の自動的切り換へ及交流電回路の管制を行ふ繼電器を備ふるラヂオ受信機に於て變壓器及高壓整流管を受信用真空管のフィラメント回路及プレート回路に夫々接續し低壓整流器を轉換開閉器を介し前記繼電器の電磁線輪に接續したるものなり。

擴聲器

實用新案 第二二八六一號

公 告 昭和十一年九月八日

大阪市住吉町田邊本町七ノ一九

考案者、出願人 經澤 徳 太郎

大阪市住吉區西出邊町二五

株式會社早川金屬工業研究所

出願人 磁極の中心位置下方に支持定着さる、鋼製彈板の外側面には純鐵製振動板、

内側面にはコイルの中心金具より來る連結杆を蠟着せしむべき金屬板を接合し之等三枚の金屬板を一體的に堅く結合せしめ該板とコイル中心金具とを金屬細杆にて蠟着連結してなれる擴聲機なり。

立型押釦杆「スチ」

實用新案 第二二九九三號

公 告 昭和十一年九月一日

大阪市東區南久寶町四ノ四三

考案者、出願人 早川 道 雄

副版を設けたる主版の副版に突起を設けたると共に透孔を穿ちて螺管を螺有し該螺管内には先端に突片を有する押釦杆を嵌挿せしめ突起には突片を有する移動具を螺着し移動具には絶縁貨料よりなる動桿の一端を緩着し移動杆の先端は主版に嵌挿し主版には絶縁版を介して撥條性に富む接片を螺着し接片の先端は移動杆の適所に緩着せしめて成る立型押釦杆「スチ」の構造な

可動鐵片型擴聲機

實用新案 第一三〇三八號
 公 告 昭和十一年九月十二日
 大阪府北河内郡門真村門真番四ノ一
 〇〇六

出願人 中尾哲次郎

大阪市此花區大開町一ノ七三

可動鐵片の上端を磁極片の下面に對し、適度の間隔を有せしめ、壯着せる可動鐵片型擴聲機に於て、該可動鐵片の根部を略筒體に構成せる取付枠體の下部に定着し、該取付枠體の上邊部に音聲電流可動部を密閉する如く電線線輪の支持枠を取付けて成れる擴聲機なり。

眞空管の電極指示

構體

實用新案 第一三〇四六號
 公 告 昭和十一年九月十二日
 大阪府豐能郡豐中町大字機塚一五一
 横昌信太郎

大阪府以波川區浦江北三ノ二十一ノ一
 日本石英工業株式會社

出願人 日本石英工業株式會社
 外方に端子金具を又内方に結合金具を設けたる封着金具と電極導入管に熔着し、上設結合金具によりて電極支持金具を結合せしめたるものなり。

可動線輪型受信機

實用新案 第一三三三八號
 公 告 昭和十一年九月十五日
 京都市上京區大將軍川端町一

出願人 井口博

京都市中京區河原町通 條下ルノ

同 船入町三七八 株式會社船津製作所

一端の圓柱狀磁極を他端の環狀磁極の中央に位置せしめ、夫等磁極間を水磁性物質にて固定し、圓柱狀磁極の中央に孔を穿設し、之に螺子を螺合せしめたる構造なり。

携帯用「エリミネ

「タ」受信機

實用新案 第一三四〇七號
 公 告 昭和十一年九月二十日
 東京市世田ヶ谷區上馬町一ノ四三五

出願人、考案者 鳥羽清

手廻又は足踏式五〇又は六〇「サイクル」交流發電機を自藏裝置し、轉換器の切換により一般電燈電源と切換に使用し得るものなり。

發振器接續變更

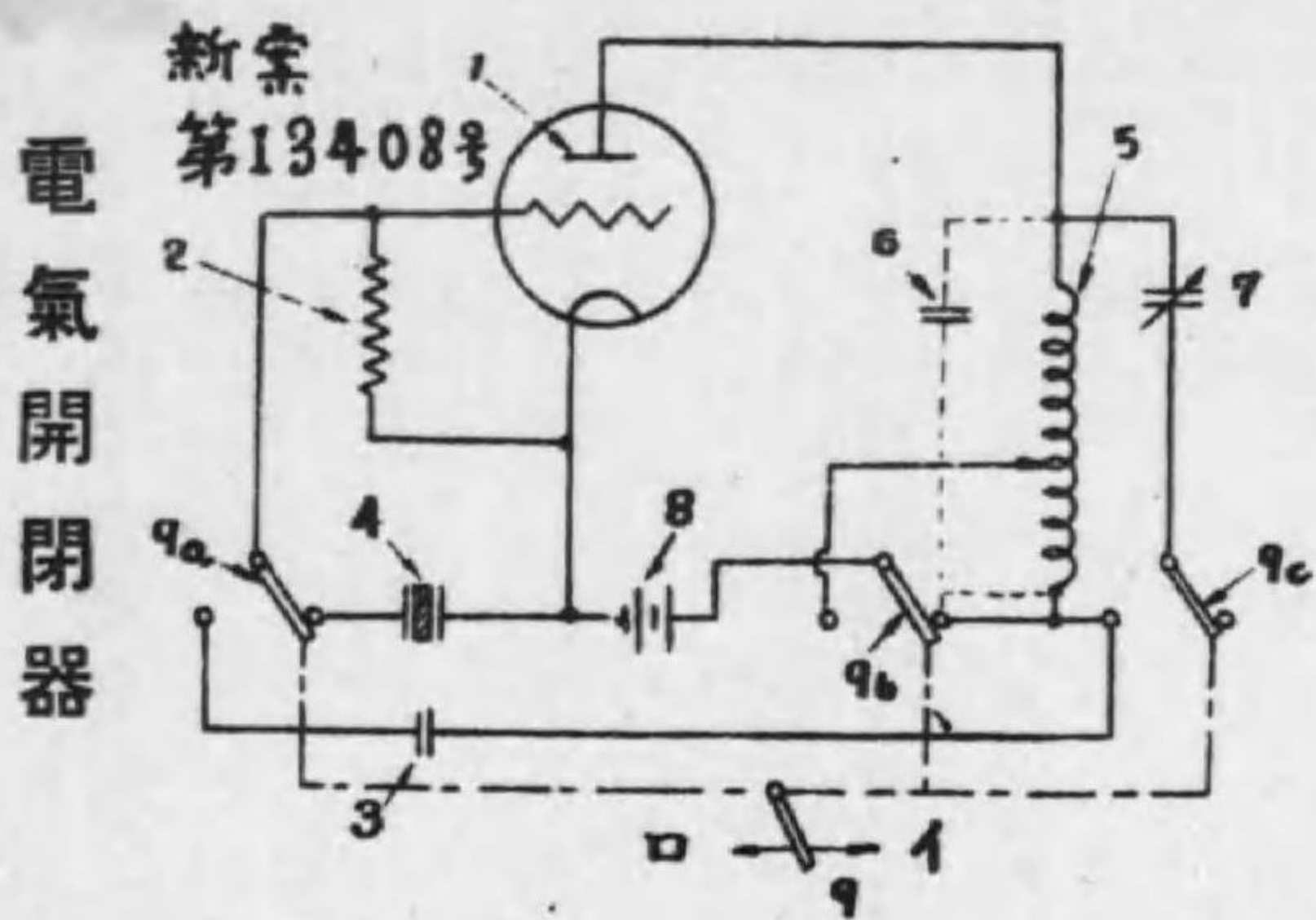
裝置

實用新案 第一三四〇八號
 公 告 昭和十一年九月二十日
 東京市澁谷區永住町二二

出願人、考案者 森 憲二

發振眞空管、グリッドリーク、發振回路線輪、發振回路蓄電器、プレート電線と發振水晶片或はグリッド蓄電器、發振回路附加蓄電器とを夫々接續して

なる水晶發振回路と自動發振回路とを三極轉換器を以て發振水晶片の一端とグリッド蓄電器の一端とを、線輪の一端と同線の間適當點とを、等の如く夫々切替轉換し得べくしたるものなり。



電氣開閉器

實用新案 第一三四九六號
 公 告 昭和十一年九月二十六日
 東京市世田ヶ谷區玉川瀬田町六三〇

出願人、考案者、德 永 勳

絶矩狀態の絶縁板の上端右側と下端左側とに直角に穿設せる透孔に「J」字形に折曲せる接觸金具を設けたる突起を挿入折曲して兩者を連結し、該接觸金具の各長手方向を内側に位置せしめて向合はせ且上下に夫々斜設し、該接觸金具の長手方向の扁平部に角形の廻轉板を廻轉自在に裝設し、該廻轉板に兩側に條片狀の接觸部を有する接觸片を定着したる電氣開閉器の構造なり。

眞空管

實用新案 第一三四九八號
 公 告 昭和十一年九月二十六日
 東京市京橋區月島西川岸通三ノ七

出願人、考案者 山本 滿雄

東京市在野區中延四〇七 水野 次郎

東京市大森區大森三ノ五五 宮田 繁太郎

脊合せに配置したる複數のプレートと

各プレート内に倦回せる複數のグリッドを設け、兩電極を連結して一組のプレート及グリッドに形成し、各グリッド内に裝置せるフィラメントを波形に屈折し、下端は鞏軸壓潰部は固植せる又狀支持桿へ上端はプレートに支へたる支持桿のアンカーへ夫々懸架し、又狀支持桿を連結して兩フィラメントを並列結合せしめて成るものなり。

眞空管陰極

實用新案 第一三四九九號
 公 告 昭和十一年九月二十六日
 東京市品川區五反田一ノ四二九

出願人、考案者 前田 久雄

品川電機株式會社

同市 同町 萩田 小一郎

品川電機株式會社
 平行線狀の電子放射有効面をプレート及びグリッドに對して、平行ならしめたる眞空管陰極の構造なり。

周邊付振動板

實用新案 第一三三六號
 公告 昭和十年九月十三日
 登錄 昭和十一年十月九日

東京市澁谷区千駄谷二ノ五六二
 實用新案權者 考案者 安藤 博

正弦波形に屈曲せられたる柔軟なる材質の周邊をコーン等適宜形状の接動板に附装し該振動板はフェノール・レジンを以て硬化せる紙より成るものなり

ラヂオ自動聴取器

實用新案 第一三六七號
 公告 昭和十一年九月三十日

東京市下谷區上野塚木町二

考案者 出願人 野村 顯

導體及接條附牽引金を取付けたる電板を設けたる絶緣性板を眼醒時計縮バンドを設くる容器内に取付け内部に縦溝を設けたる眼醒時計警鈴螺絲締用絶緣性キャップにキャップ取付引金を該取付引金と半引金とを掛合せて眼醒時計に取附けたる自動聴取器なり。

十月

ブラウン管裝備匣の構造

の構造

實用新案 第一三七五九號

公告 昭和十一年十月一日

東京市品川區五反田一ノ四二九

品川電機株式會社内

考案者 前田 久雄

同 長谷川 利雄

同 所

出願人 品川電機株式會社

ブラウン管裝備匣のブラウン管受像面前方に受像面とは若干の距離を保たせて透明物質若くは金網を装置し且つブラウン管受像面と保護體との間に遮光装置を取付けたるものなり。

無漏洩磁束インダクタンス線輪

クタンス線輪

實用新案 第一三七六〇號

公告 昭和十一年十月八日

米國ニューヨーク州

考案者 エド・ワルド、エー・リーチ

出願人 川崎市堀川町七十二

東京電氣株式會社

インダクタンス線輪に對し誘導結合關係に配置せられて回轉自在に裝備せられたる閉回路導體と溫度の變化に應じて該導體を該軸の回りに回轉せしむる装置とを具備してなるものなり。

公告 昭和十一年十月一日

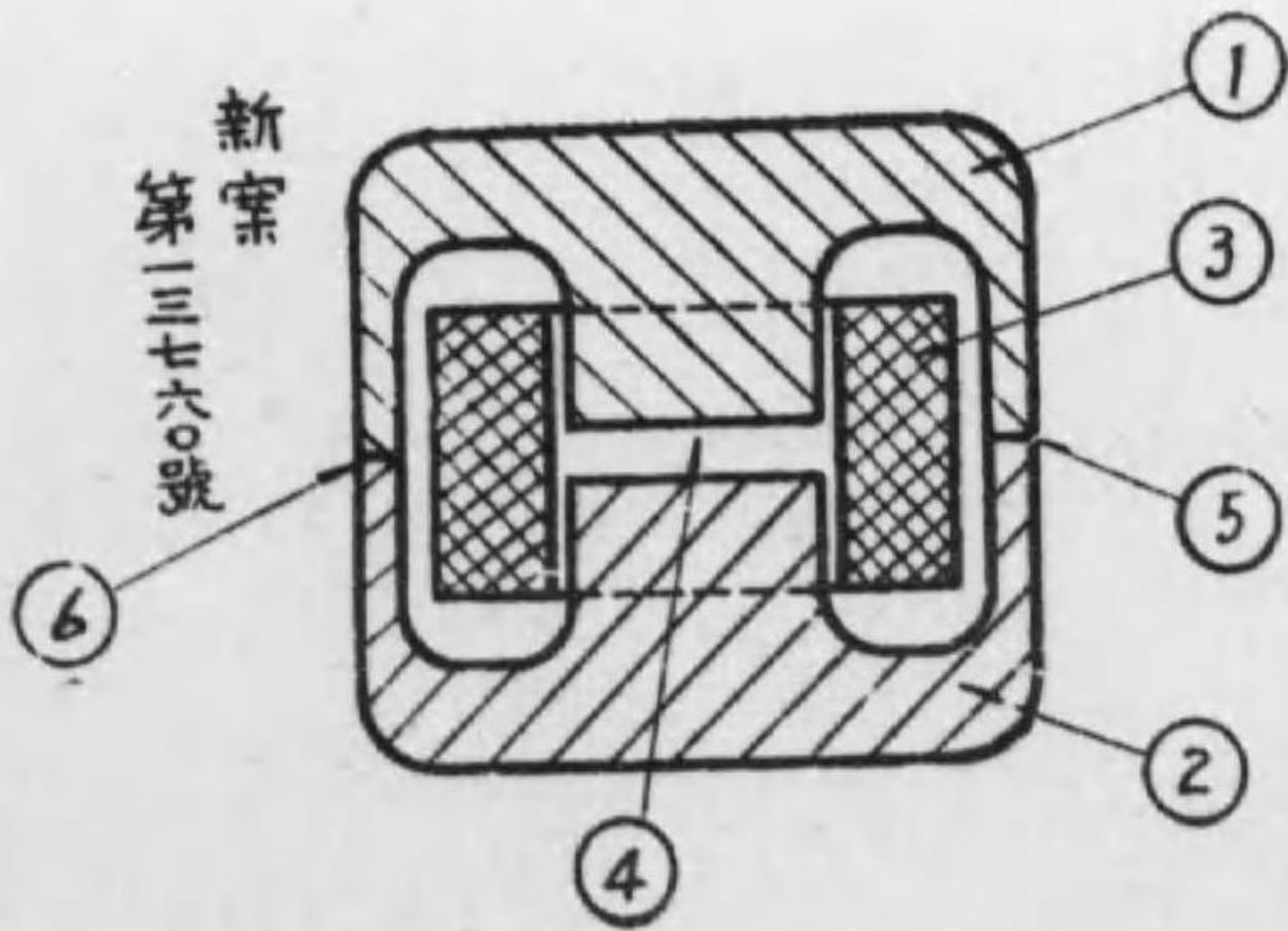
東京市澁谷區八幡通三ノ一五

同濟會アパート二二號一ノ一六

考案者 藤木 久男

出願人 瀧田 大臣

竪狀鐵心を抱合したるインダクタンス線輪に於て線輪に包まるゝ中央の鐵心



にのみ空隙を有せしめ線輪の外部にある空隙を甚だ小となせるものなり。

空氣乾電池

實用新案 第三九五〇號

公告 昭和十一年十月六日

東京市板橋區志村西臺町三九七

考案者 山口 徳治

出願人 日本橋區室町二ノ八

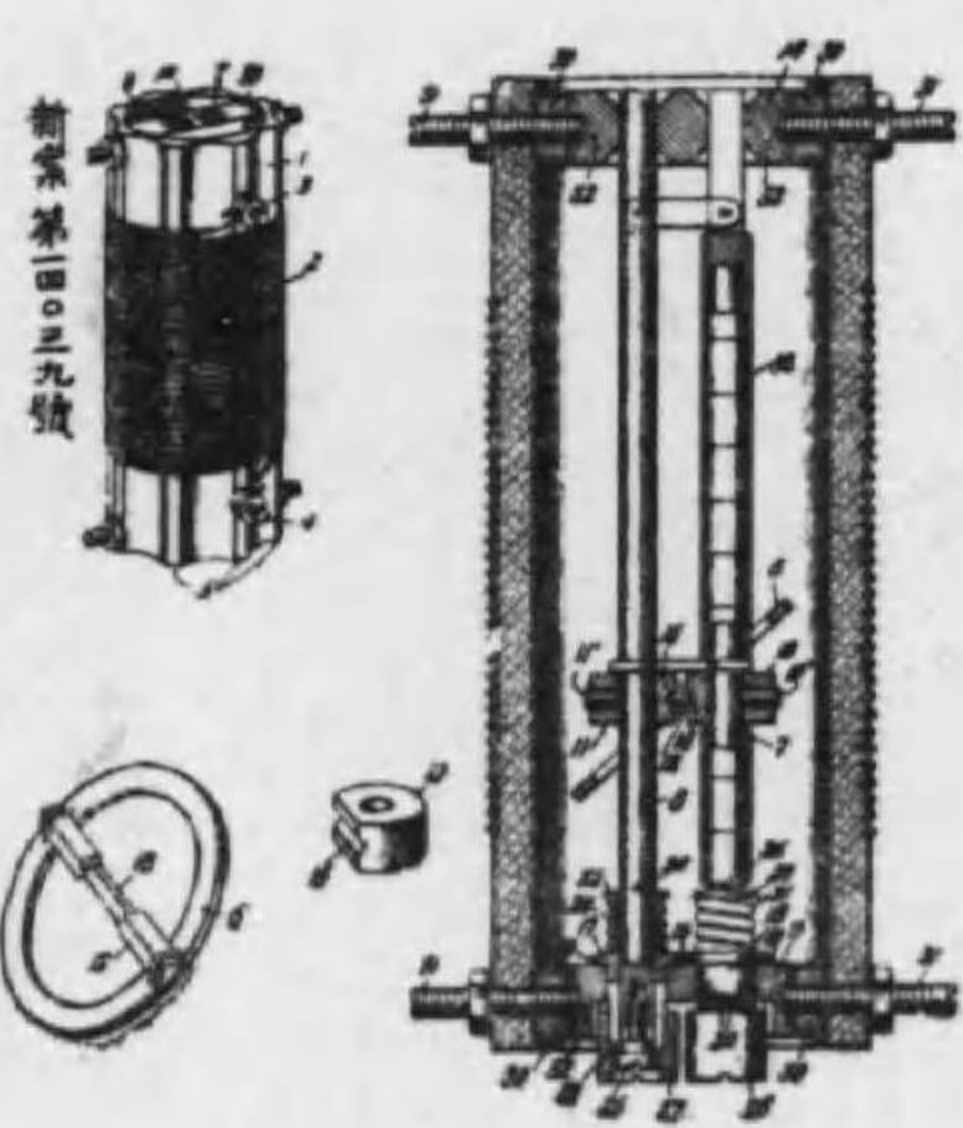
古河電氣工業株式會社

陽極黑色混合物の上部に防水性の厚紙を捲付け此の防水性厚紙の内側に於て陽極黑色混合物上に厚紙を設け其上に厚紙を乗せて空氣室を形成せしめ空氣室と外氣とを連通する空氣孔を残して厚紙上をコムパウンドを以て封塞し糊狀電解液の上部をコムパウンドを以て封塞せる構造なり。

インダクタンス線輪のインダクタンスの變化補償裝置

の變化補償裝置

實用新案 第一四〇三九號



ラヂオ用抵抗體

實用新案 第一四一一二號

公告 昭和十一年十月十日

東京市下谷區御徒町一ノ二五

考案者、出願人 水野 武

數本の糸束上に熱をかけざる絹織物を捲回しこの上に細き抵抗線を捲回したる『ラヂオ』用抵抗體なり。

半固定式加減蓄電器

電器

實用新案 第一四〇三五號

公告 昭和十一年十月十四日

東京市麻布區新廣町一ノ二二

考案者、出願人 七尾 菊良

臺板に方向凸部を構成し側縁に夫々端子用切缺を設け該凸部に方形固定極板を嵌入し其上に絶緣板を介して弧狀に彎曲せる可動極板を重合し各極板の側方に凸設したる端子を夫々前記切缺に嵌合し臺板下面より加減螺子を貫挿し可動極板上面にて該極板に設けたる凸子と『ナット』に設けたる係合部とにより回動せざる如く締結して成る半固定式加減蓄電器なり。

受話器

實用新案 第一四三〇七號
公 告 昭和十一年十月十四日

東京市品川區南品川町五ノ二六五
出願人、考案者 齋藤 常次

磁石の一極に装着され一方磁極を構成せる振動鐵板の振動部に磁石の他の一極を爲す磁極片を對設し該極片を上記振動板に遠近自在に調節し得べく之を磁石に螺裝し該磁極の極部の周圍に上記振動鐵板に充分接近して振動板と同性極なる制御輪用狀態を配備したる構造なり。

ラヂオ受信機を利用せる高聲電話装置

實用新案 第一四三〇八號
公 告 昭和十一年十月十四日

東京市赤坂區青山町三ノ二一
考案者、出願人 古宇田新平

ラヂオ受信機所屬のスピーカーと増幅装置との間にキーを挿入すると共にマ

イク兼用スピーカーを接続せる母線に増幅装置と連絡すべきキーを設け別にマイクروفオン及びビツクアツプの導線とアンテナ側とを増幅装置に設けたるキーに依り前記キーに依り母線の接続し得べくなしたるラヂオ受信機を利用せる高聲電話装置の構造なり。

ラヂオ受信機

實用新案 第一四四八六號
公 告 昭和十一年十一月十九日

神戸市灘區篠原北町二ノ六九二ノ一
考案者 三浦 規矩三郎

大阪府東淀川區元今里北道三ノ一四
出願人 大阪電器株式會社

外筐内に定着せるシャシーの内部部に包装可熔片を装着し之に對向すべく外筐の底板に孔を穿設してなるものなり

可變蓄電器

實用新案 第一四五七號
公 告 昭和十一年十月二十日

東京市神田區鍛冶町三ノ六ノ一
考案者、出願人 大西 立二

東京市本所區向島區押上町一五八
瀧口 松五郎
同
固定蓄電管を裝設せる側面に螺管の一端を定着し該螺管の他端一部に係止部を設け該螺管に廻轉自在に支承せしめたる可動蓄電管の廻轉軸に螺子杆の先端を螺着し該螺子杆の螺頭を管端に壓接して調節せられたる管の漫りに廻轉するを阻止すべく該管に係止片を形成したる蓄電器なり。

陰極線管波形觀察裝置

實用新案 第一四五六九號
公 告 昭和十一年十月二十日

濱松市廣澤町二五ノ一
濱松高工專電研究室内

山下 彰
濱松高等工業學校校長

特殊の波形觀察用陰極線管と電壓發生裝置とを適切に組合せ螢光板上の波形の比較觀察を一層容易ならしめんとするものなり。

音叉發振器

實用新案 第一四五七二號
公 告 昭和十一年十月二十日

東京市芝區三田四國町二
日本電氣株式會社内

考案者 小林 正次
同 林 卓

出願人 日本電氣株式會社

出力饋還回路に整流器を具へたる真空管使用の音叉發振器なり。

携帯用ラヂオ差兼電氣蓄音機

實用新案 第一四七五四號
公 告 昭和十一年十月二十四日

東京市品川區五反田五ノ百八
考案者 原 崎 七郎

同市 同町 原 崎 葵 作

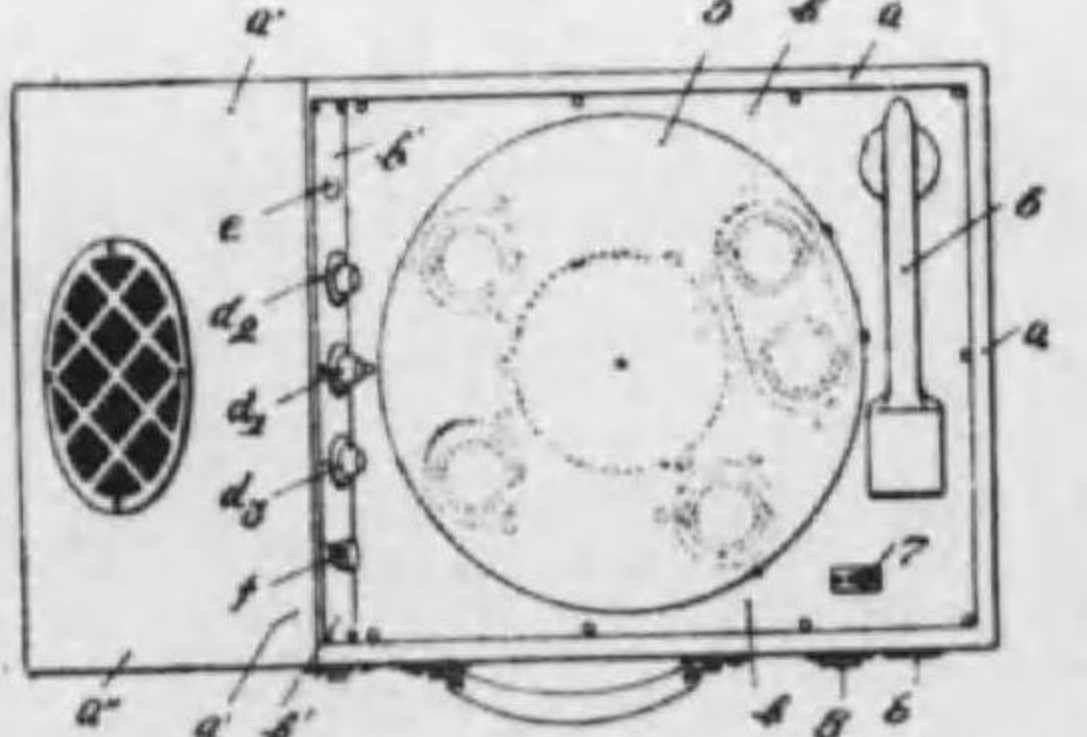
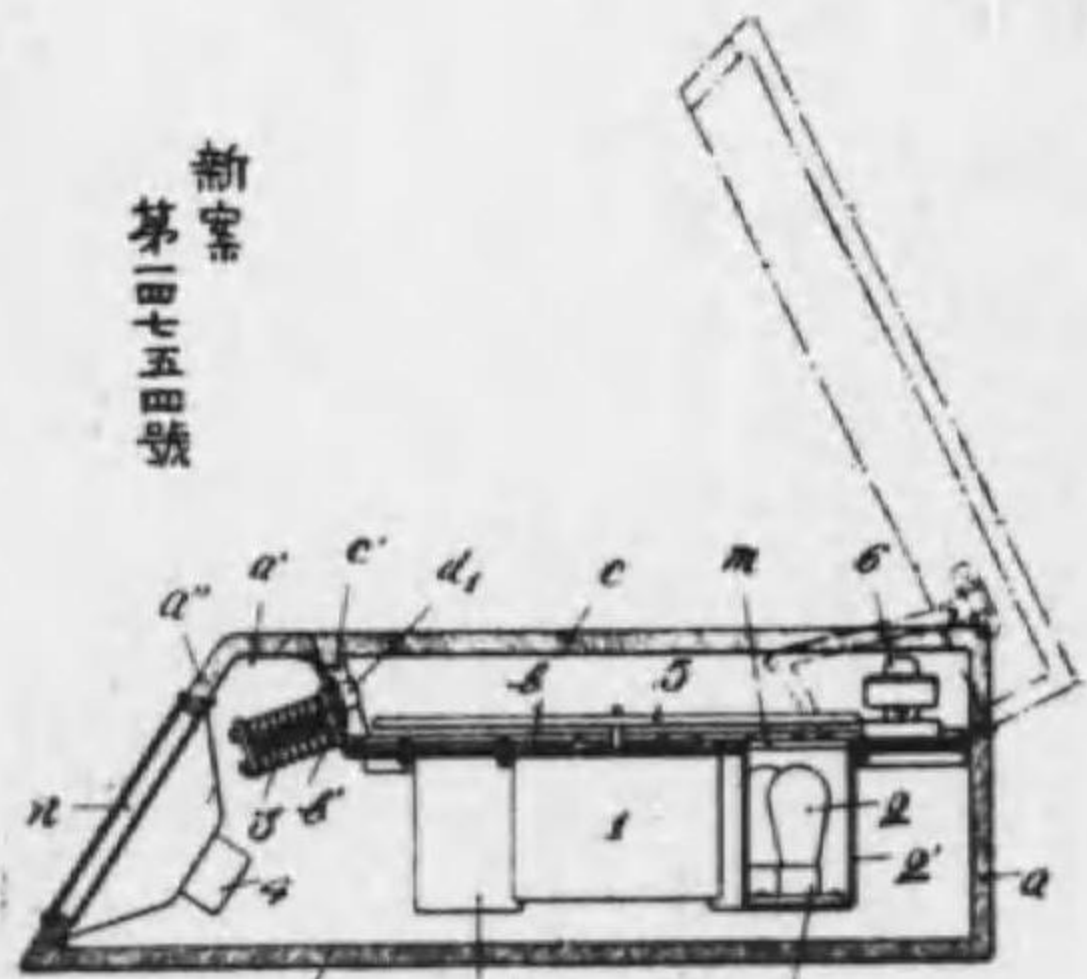
外箱の上板に其の下方に備ふるモータの直上方よりも外國方へ適度に離れたる位置を採りて適宜數個の透窓を穿

ラヂオ受信機

實用新案 第一四七五五號
公 告 昭和十一年十月二十四日

東京市大森區大森三ノ五五
出願人、考案者 宮田 壽之助

ち該透窓下方に上端開放せる有底小箱を取付け其の底に真空管を挿着すべきソケットを設けて成るものなり。



てソケットの接金觸具へ接続し斯る容器を機臺へ並置し接続用ソケットへ接続コードの兩端を差込み容器内の部分品相互間を連続して組立てたるものなり。

ラヂオ受信機

實用新案 第一四七五八號
公 告 昭和十一年十月二十四日

東京市大森區大森三ノ五五
出願人、考案者 宮田 壽之助

容器の外面へ真空用ソケットを裝置し

内部に必要な部分品を收容し其等の各端子を容器の外へ取附けたる接続用クリップ金具及前記真空管用ソケットの接続片へ連結し、斯る容器を機臺へ並置し接続用クリップ金具へ接続コードの両端を差込み挾持せしめ各容器内の部分品相互間を連結して組立てゝなるものなり。

ラヂオ用配線盤

實用新案 第一四七五七號
公告 昭和十一年十月二十四日
東京市本郷區坂下町三六

出願人、考案者 山下 義雄
方形鳩目の一邊を上方に延長して接続片を形成せしめ之を平板に固着し該鳩目内に挿入し接続片と挿合すべき接続片を有する電氣器を備へたるものなり

十一月

可動線輪型擴聲機

實用新案 第一五二〇六號
公告 昭和十一年十一月五日

東京市品川區上大崎四ノ三内松岡内 岡原 勝

考案者 東京市品川區丸ノ内一ノ六ノ一 油電氣株式會社
出願人 高音部、低音部を再生すべき可動線輪を有する擴聲機に於てエキスポーネンシャル型被再生高音部の音響嚮導孔の中央磁極内に形成せしめ低音部を司掌すべきエキスポーネンシャル型コーンの端面をして該嚮導の上部端面と細一致せしめ低音再生用コーンをして高音音響の嚮導體として協働せしむべく構成せることを特徴とする可動線輪型擴聲機なり。

電氣開閉器

實用新案 第一五三七六號
公告 昭和十一年十一月十日
尼ヶ崎市神田北通り九三五〇

考案者 磯谷 三郎
出願人 大阪市西淀川區浦江北三ノ二〇ノ一 日本電子工業株式會社
圓周上の一點を切りて舌片を起し之に對向する他端に略直角に屹立する屈曲

部を設けたる鏢狀彈片を一定角度を距て、舌片間に嵌合し屈曲部の頂面に壓着し得べき數個の突起を設けたる鏢とを上下重ね合せて管内に收め且つ上記彈片及鏢の一方を回動軸に附隨して回市せしむべく装置したる開閉器の構造なり。

油膜式可變蓄電器

實用新案 第一五五八四號
公告 昭和十一年十一月十三日
東京市澁谷區常盤松一〇一

考案者、出願人 長野 元博
適當の電氣絶縁膜を生成又は生成せざる極板と該極板間に必要に應じ介在せしむる電氣絶縁板と可動極板の外周に沿ひ裝備せる環狀絶縁物と廻轉軸の一端に設けたる貯油部によりてなる油膜式可變蓄電器の構造なり。

自動發振器の結合

巻線裝置

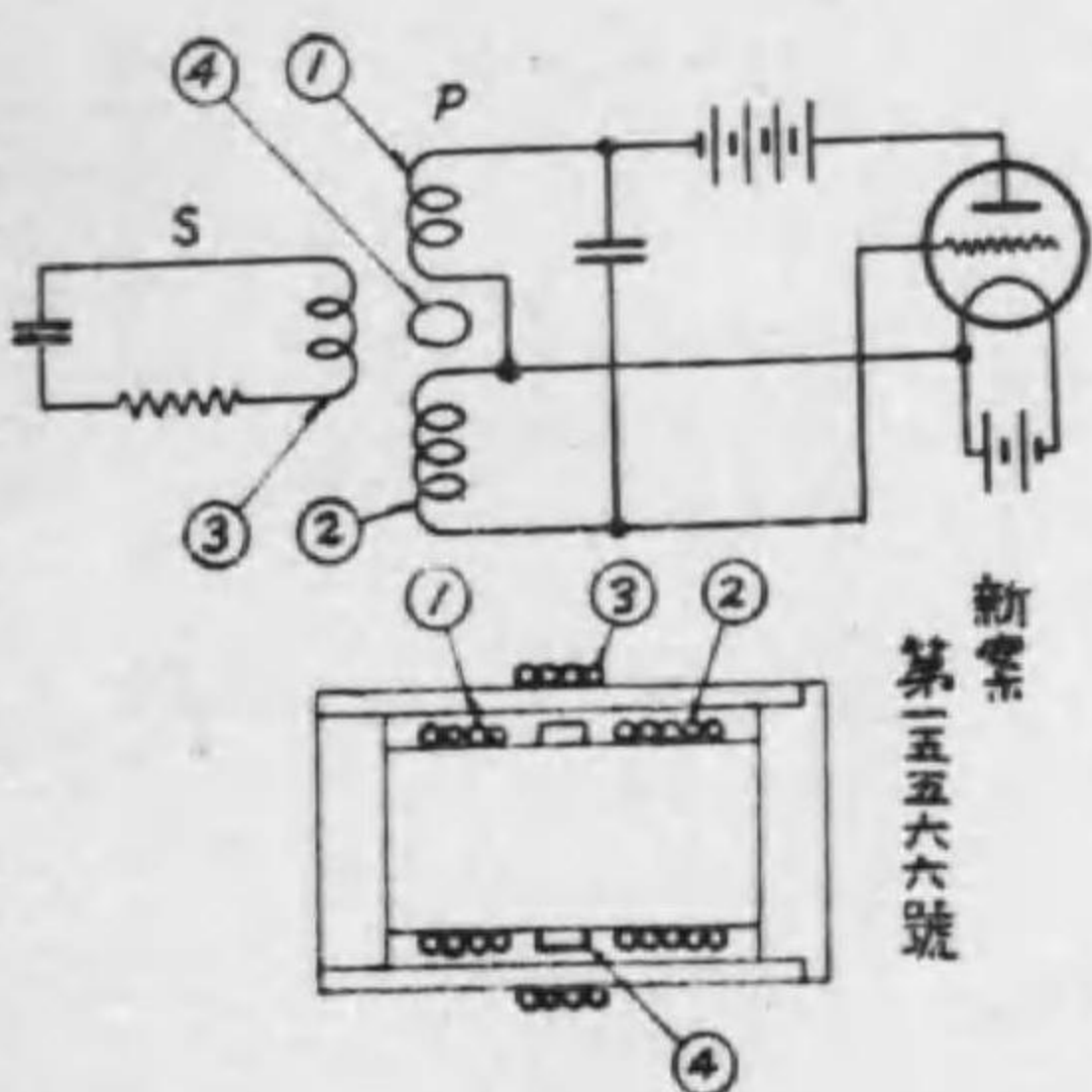
實用新案 第一五五六六號

公告 昭和十一年十一月十三日

東京市大森區新井宿七ノ二〇
株式會社三陽社製業所内

考案者 桑名 太郎
同所

出願人 株式會社三陽社製業所
自動發振器の一次巻線及格子巻線に別ち此等を同一ボビン上に分屬して巻回し兩者の間のボビン上に短絡巻線を固着せしめ此等巻線の外側、或は内側に負荷回路の結合巻線を巻回したるものなり。



新案 第一五五六六號

接地用地中導電裝置

置

實用新案 第一五六四三號

公告 昭和十一年十一月十四日

東京市芝區田村町二ノ二二

考案者、出願人 太田 和夫
斷面梯形のルーヒング管内に導線を中心としてコンパウンド層を注入充填せしめ之を斷面梯形の木桶内に密納してなる接地用地中導電裝置なり。

カーボン、マイク

ロフオン

實用新案 第一五六五三號

公告 昭和十一年十一月十四日

大阪府北河内郡眞村町眞舊四ノ一

考案者 三浦 義明
出願人 大阪府此花區大開町一ノ七三 松下幸之助
炭素粒を充填すべき炭素室を有する前部主體と内部に變壓器室を形成し該室

内に變壓器を收蔵せしめたる後部主體と、前面に音響窓を形成せる蓋板とを一體に組立せしめたるカーボンマイクロフオンの構造なり。

磁歪現象を利用する

「マイクロフオン」

實用新案 第一五五四號

公告 昭和十一年十一月十四日

東京市小石川區高田豐川町三七

考案者 川原田 政太郎
出願人 株式會社安宅商會
磁歪現象の異なる一種の金屬針と接合し其の一端を矩形磁石の一端に結合し他極端に對向する自由端を隔膜の振動部と結合し此接合金屬針に推かれたる線輪を増幅裝置に接續すべくしたる磁歪現象を利用するマイクロフオンの構造なり。

端子函の絶縁座

實用新案 第一五八五號

公告 昭和十一年十一月十四日

出願人 東京市目黒區自由ヶ丘八十四

考案者、出願人 岡 運平

截頭圓錐形の截頭面と端面との透孔を穿ちたる端子函の絶縁座に於て端面の周縁は特に尖鋭部と成したる構造なり

擴聲機

實用新案 第一五九九八號

公告 昭和十一年十一月三十一日

出願人 大阪府住吉町田邊本町七ノ一九

考案者 輕澤徳太郎

大阪府住吉町西田邊町二五

株式会社吉野川金屬工業研究所

振動板に定着せる細線の脚端を支持枠板の中央位置に定着し該枠板折曲兩側縁上下端に設くる突出片をコ字形磁極片の兩端縁により挾持せしめ該振動板の下部を振動連達板に連結して成れる擴聲機なり。

携帯用送信機

實用新案 第一六〇一號

公告 昭和十一年十一月二十一日

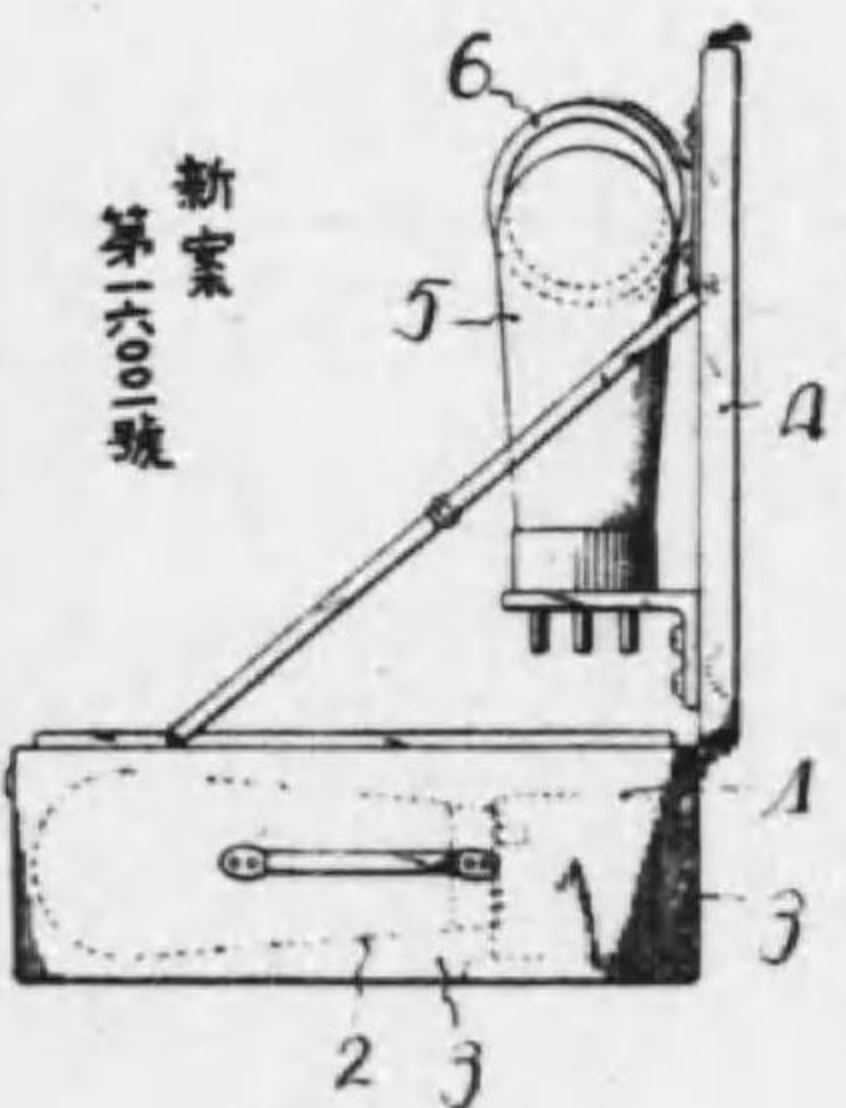
出願人 東京市芝區仲門前町一ノ九

考案者 佐藤長助

東京市芝區宮本町八

久保田雄三

内部に電源變壓器及整流管其他を装着せる器函を設け該器函の蓋板に發振管及線輪を装着したるものなり。



壓電氣發振器

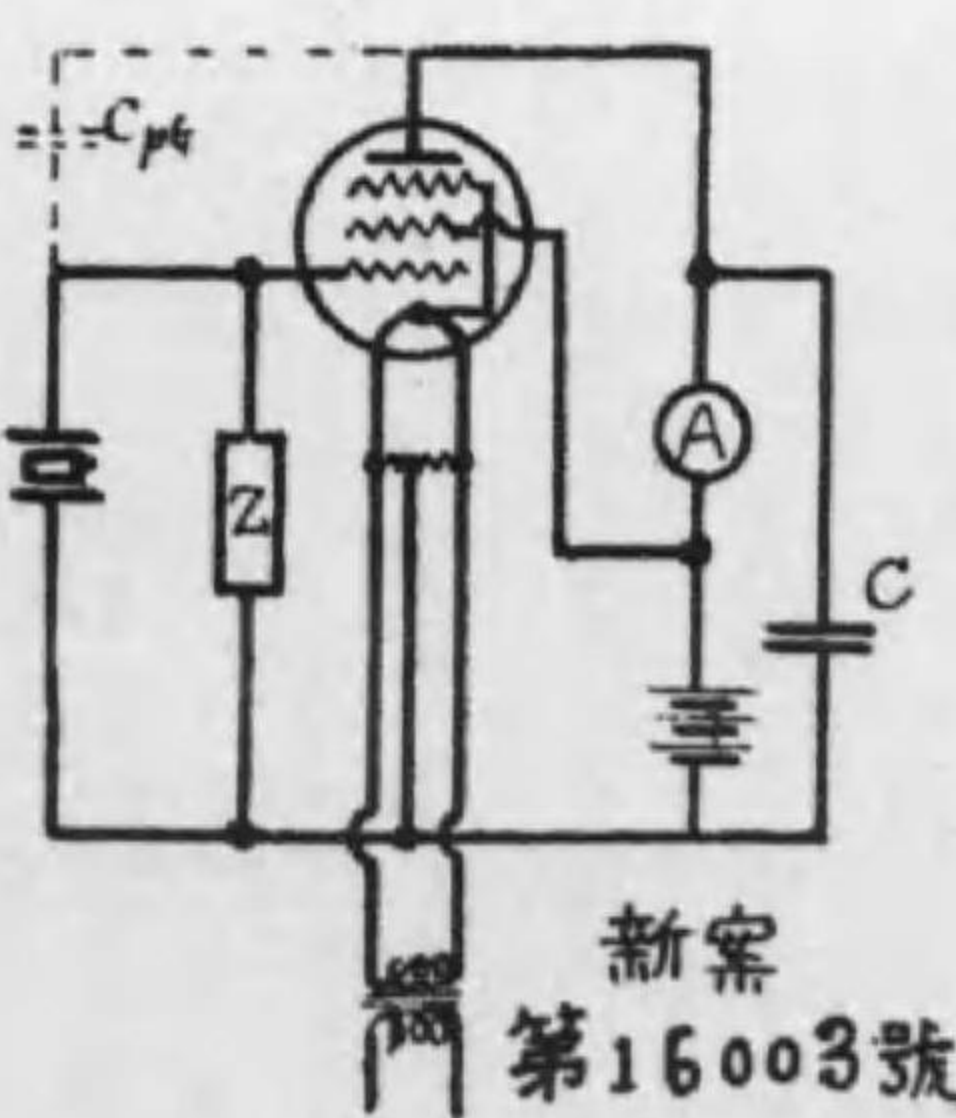
實用新案 第一六〇三號

公告 昭和十一年十一月二十一日

「ラヂオ」受機機

實用新案 第一六〇二號

公告 昭和十一年十一月二十一日



ビエゾ電氣振動子を用ふる壓電氣發振器に於て該ビエゾ電氣振動子に對する同調部分を特に設けずして成る無調整壓電氣發振器なり。

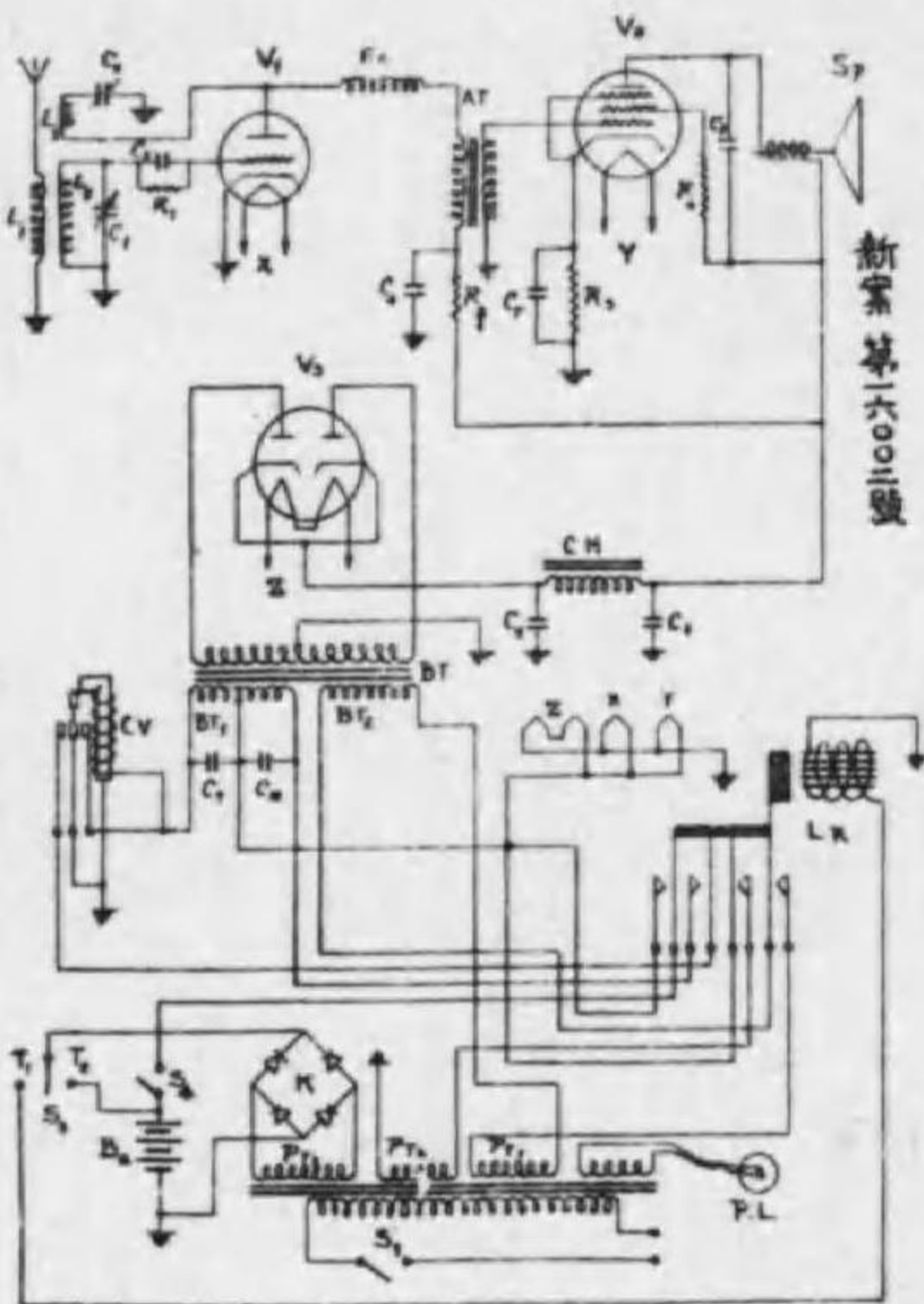
東京市大森區馬込四ノ二七七六
明昭電機研究所内

考案者 依田 博

同 大石 嗣一

芝區西懸寺町五三

出願人 明昭電機株式會社内



管のファイラメント回路に接続し前記低壓電池を含む二回路と二個の交流電源變壓器を夫々に含む二回路とを轉檢閉器又は自動檢電器に依りて轉檢すべくせるものなり。

「エリミネーター」

用増幅裝置

實用新案 第一六〇五號

公告 昭和十一年十一月二十一日

出願人 東京市杉並區方南町五二六

考案者 高木 未夫

同 町四七三

加藤 貞藏

停熱型出力管の陽極に直列に寒流線輪を接続し該回路の歸路にバイアス裝置を挿入し前記出力管に直流阻止蓄電器及出力變成器よりなる出力回路を並列關係に接続し且プラス端子に接続する濾波器用寒流線輪の兩端に夫々濾波蓄電器を接続せしめたるものに於てダイ

「マグネトロン」管

實用新案 第一六〇四號

公告 昭和十一年十一月二十一日

出願人 獨逸國柏林市、エス、ダブリュー、

十一、ハレツセス、ウイフェル、十

二、十三

考案者 ウイルヘルム・エベルハルト・

同 同 市 キューレ

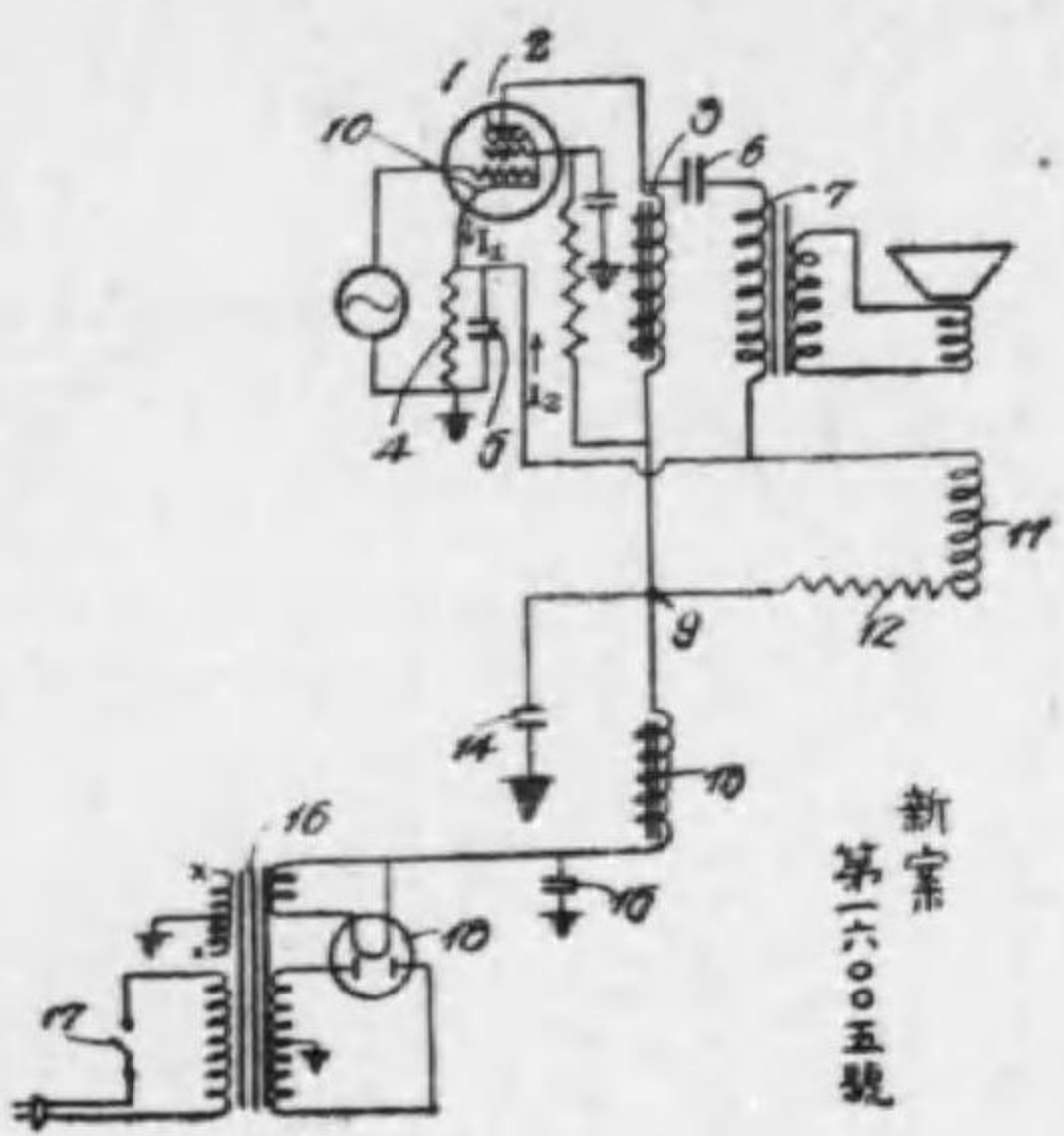
同 同 市

フエリックス・ヘルリッゲル

同 同 市

フリッツ・ヒュルステル

ナミツクのフィルドコイルを抵抗及バイアス装置の抵抗と直列接続となし且フィルドコイル抵抗及びバイアス抵抗を整流管の出力端子に並列接続となしたるものなり。



酸化銅整流器

實用新案 第一六一七九號
公 告 昭和十一年十一月二十六日
東京市目黒區中根町一七九二
考案者 益子史郎
東京市麴町區丸ノ内二ノ一八

出願人 合資會社日本トレンジンヂヤ商會
整流銅板、間隔子、放熱板と適當の順序に重合したる一聯の整流素子を螺桿にて締結すべくせる酸化銅整流器に於て前記螺桿の頭部及整流素子締結用のナットを何れも丸形又は圓錐形となし且つ此等にドライバの承溝又は承孔を具へざる構造なり

「ラヂオ」受信機

實用新案 第一六一八七號
公 告 昭和十一年十一月二十六日
神戸市賣金區上筒井通七ノ三二
香屋敷

出願人、考案者 長谷川繁春
筒形に巻回せしめたる主たる受信用巻線の巻枠内に受信に必要な器具全部を收藏整備せしめ該主巻線に再生用巻線の巻枠を外嵌せしめ該巻枠には螺孔を有する金具を固定し器體外兩内上下の受に嵌着せしめたる軸杆の螺糸部を前記金具の螺孔に螺合せしめてなるものなり。

高周波受信機匣

實用新案 第一六一八八號
公 告 昭和十一年十一月二十六日
東京市荏原區中延町三六二

出願人、考案者 小田三良
内部に受信部を装置せる匣の前方裝飾板に透孔を穿設し該透孔には摘子を回転自在に装設し該摘子と他の装置とにベルトを懸架したるものなり。

「テレビジョン」方式に於て附加的の文字又は畫面を現出せしむる装置

實用新案 第一六一八四號
公 告 昭和十一年十一月二十八日
横浜市臨港町三六三
考案者、出願人 高柳健次郎
テレビジョン送像器の送像畫面上に目的の主畫像の他に附加的の文字マーク又は其の他の畫像を投寫装置を設けて成る構造なり。

十二月

「テレビジョン」送信装置

實用新案 第一六五五五號
公 告 昭和十一年十二月三日
東京市澁谷區十軒ヶ谷一ノ五六二
考案者、出願人 安藤 博

對像を固定し光點により該對像を走査せしめ該對像よりの反射光線を其の前面に置きたるセレニウム、セルに作用せしむるが如きテレビジョン送信装置に於て光線の電流變換装置として光電管(池)を用ひ、且つ特に複數の光電管(池)を對像の前面に散在配置したる組合を特徴とするテレビジョン送信装置の構造なり。

可變蓄電器

實用新案 第一六六二七號
公 告 昭和十一年十二月五日
大阪市住吉區西田邊町二五

株式會社早川金屬工業研究所
考案者 小松金治

出願人 株式會社早川金屬研究所
棧板間に固定蓄電器、回轉蓄電器を絶縁薄板を介して交互に並列挿入せる蓄電板に於て前記回轉蓄電板の回轉軸の被支持部の其一側に於て該部全長に沿ひ切目を入れて割り擴げ強いて軸承部に適當摩擦力を生ぜしむべく嵌挿して成る蓄電器なり。

騒音分離「マイク」フォン

實用新案 第一六八二三號
公 告 昭和十一年十二月九日

大政市東區藤澤町一ノ一
考案者、出願人 加藤 亨
電流振動板の外側面に輪座にて扶持せられた板面に數個の氣孔を穿ちたる匣内制御振動板を匣蓋により挾着し兩振動板間に氣室を形成せしめ匣内制御振動板の外側面中央に匣内制御護座を

接着し之に一端を接着し他端を匣蓋外に導きたる制動ゴム管の他端に匣外制動ゴム座を接着し其の外側に匣外制御振動板を重合し之等の中心を貫き細桿により匣内制御振動板に螺着し且つ匣蓋の外側面に取附けたる三脚形枠金により匣外制御護座を支持し尚匣蓋と匣内制御振動板との向隙に反射止線を填充して成れる騒音分離マイクフォンなり。

コイン型擴聲機

實用新案 第一六八二四號
公 告 昭和十一年十二月九日
東京市芝區白金志田町一七

考案者、出願人 柴山宇一
振動板を取付べき取付枠の根部にマグネットを挿通して周圍に少許りの間隙を存すべき方形環を設け該方形環の周壁に螺孔を穿設して螺嵌して固定すべく成したるコイン型擴聲機なり。

時計利用ラヂオ

スキツチ

實用新案 第一七〇八一號
 公 告 昭和十一年十二月十五日
 東京市小石川區新町一三
 森谷 翁 一郎
 考案者、出願人
 環状の透明板の上面に二條の金屬線を定着し一定間隔に區分せる多數の進退片を挿板にて押へ其の内縁を彎曲し外縁を折曲し線の上面に進退すべくなし更に線に接觸子を接觸せしめ其上部を螺子にて短針先端に装着すべき小管に定着してなる時計利用ラヂオスキツチなり。

電信用音響器

實用新案 第一七〇八四號
 公 告 昭和十一年十二月十五日
 仙臺市片手町七五金屬材料研究所内
 本多光太郎
 考案者
 同 仁 科 存
 同 海老原敏夫

出願人 金屬材料研究所長
 電信用音響器即ち直接音響器に於て其磁性心を弱磁場に於て大なる導磁率を有する高移導磁率合金を以つて構成し其の寸法比即ち磁路の平均長さ
 $(L+1)$ 對幅又は直徑の比を二五乃至一〇〇に選定して成る電信用音響器の構造なり。

時限式自動電氣開閉器

實用新案 第一七二七三號
 公 告 昭和十一年十二月十七日
 大阪府住吉區阿部野筋四ノ二八
 青木 茂
 考案者、出願人
 目盛部を具ふる處の外被を嵌合せる容器體內に公知の時計機構を装着せしめ該時計機構の廻轉主軸の上部に取付けたる摘子の指針部は目盛部上を滑走せしめ得べくし廻轉主杆の突子は栓に樞着せるV型の動接續子の突子と係合自在となし該V型可動接續子は其の缺切部に突子を嵌合せしめ且つ其の端子部

は夫々栓に樞着せらるゝ接觸子の端子部と接續自在となし電線はV型可動接續子に又他の電線は接觸子に夫々連結して成る時限式自動電氣開閉器なり。

ラヂオ・セツト用の容器

實用新案 第一七二七六號
 公 告 昭和十一年十二月十七日
 大阪府北區東野田町一ノ二六〇五
 中村 茂治
 出願人、考案者
 陶磁器製の主管の角縁部に木製或ひは金屬製の補強骨を装着してなるものなり。

無妨害檢波管附屬匣

實用新案 第一七二七七號
 公 告 昭和十一年十二月十七日
 東京市品川區五反田一ノ四一九
 品 電機株式會社
 考案者 前田 久雄
 同市 同町

考案者 長谷川利雄
 同市 同町
 出願人 品川電機株式會社
 無妨害檢波管の口金の周圍に中空圓筒を設け該圓筒の内部に無妨害受信回路を構成するに要する部分品を收容し金屬片に依りて眞空管に接續され取外し自在なるべくせるものなり。

ラヂオ受信機に於けるチャック取付装置

實用新案 第一七二七八號
 公 告 昭和十一年十二月十七日
 大阪府住吉區西田邊町二五
 早川金屬工業株式會社内
 佐々木 寛
 考案者
 同市 同町
 出願人 早川金屬工業株式會社
 豪盤に窓孔を設け該窓孔の部分にチャック取付孔及孔部小孔を有する絶縁性取付板を當て窓孔の側面に設くる突片を小該孔に嵌挿折曲し取付板の他端部は端部取付孔と豪盤に設くる透孔とを

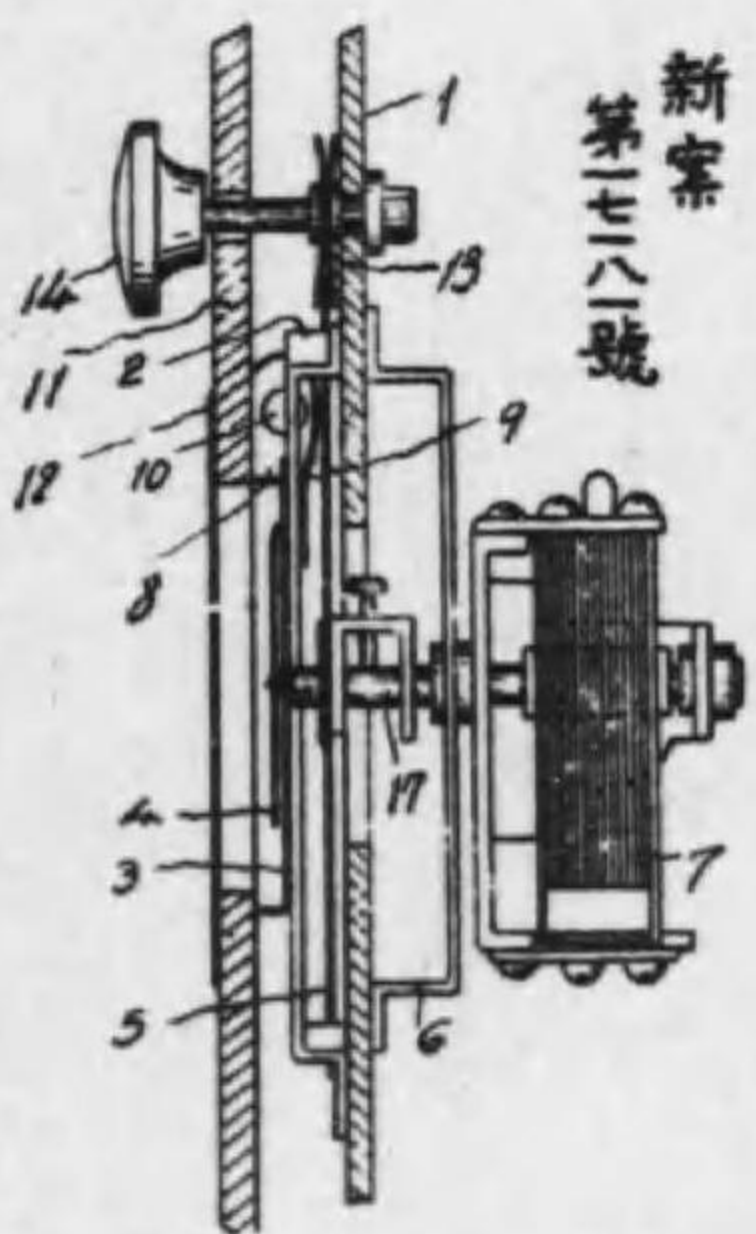
重ねチャック自體により締着し各中間孔にはチャックを夫々定着して成るものなり。

ラヂオ受信機に於けるダイヤル

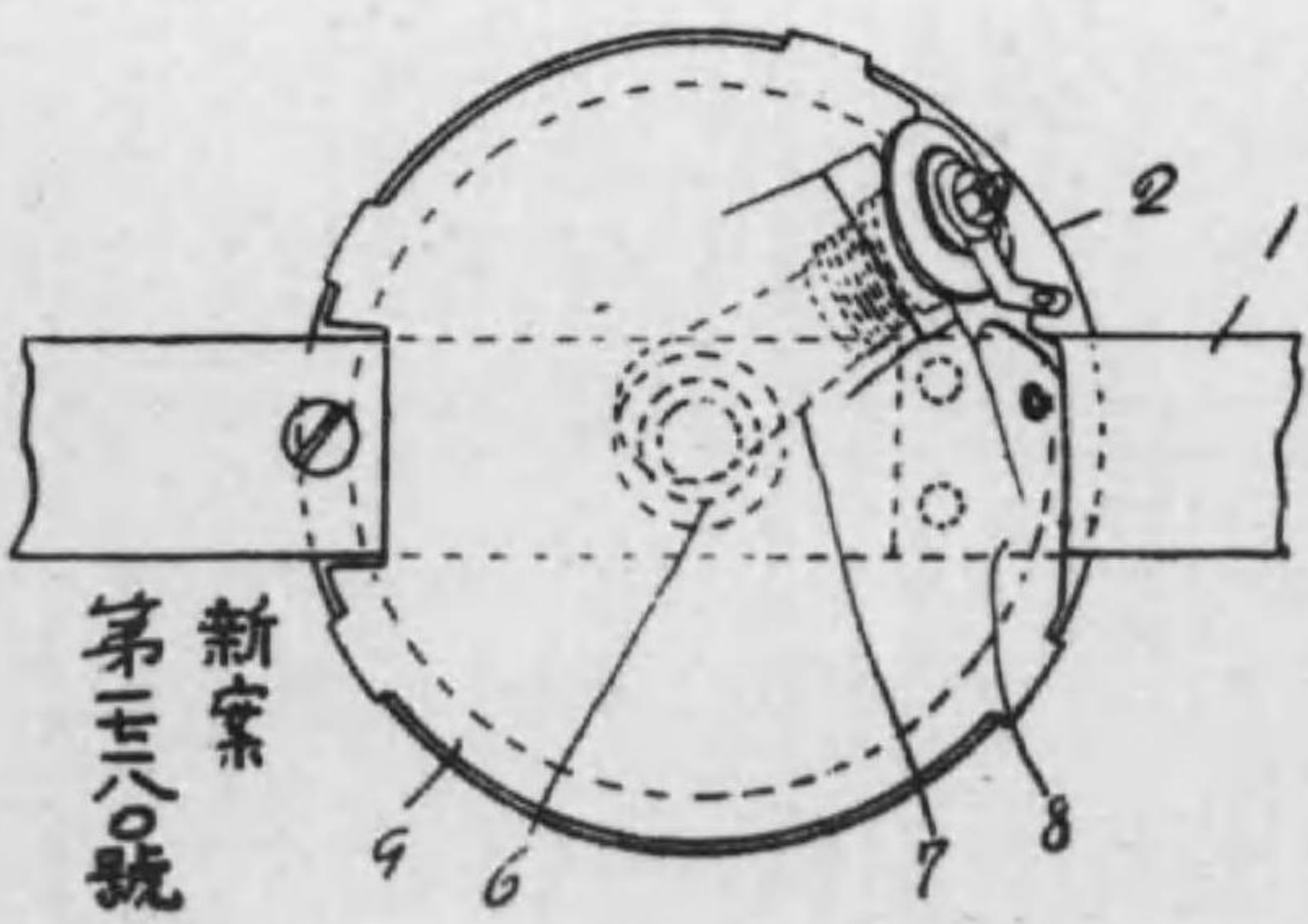
實用新案 第一七二八一號
 公 告 昭和十一年十二月十七日
 大阪府住吉區西田邊町二五
 早川金屬工業株式會社内
 經澤 徳太郎
 考案者
 同 所
 出願人 早川金屬工業株式會社
 金屬薄板製匣型ダイヤルの側壁の一部を切缺き該切缺孔の外方にパイロット

ランプを位置の調節可能なる如く取付け其上面より背面に反射板を設けて成るラヂオ受信機に於けるダイヤルより成るなり。

ラヂオ受信に於ける



新案 第一七二八二號



新案 第一七二八〇號

置くダイヤル照明装置

實用新案 第一七二八〇號
公 告 昭和十一年十二月十七日

大阪市住吉區西田邊町二五
早川金屬工業株式會社内
考案者 早川金屬工業株式會社 經理 徳太郎

出願人 同 所 早川金屬工業株式會社
半透明ダイヤル板の背面に設くるパイロットランプ及該ランプ取付具ダイヤル取付枠等を被覆して紙金屬薄板等の内面に白色塗料を施したる反射板を定着せしめて成るものなり。

ラヂオ受信機に於ける直流摺動式ダイヤル

實用新案 第一七二八二號
公 告 昭和十一年十二月十七日

大阪市住吉區西田邊町二五
早川金屬工業株式會社内
考案者 同 所 幸太郎

出願人 同 所 早川金屬工業株式會社
固定板の正面一部に設くる窓孔に目盛盤を定着し該盤裏面に添ひパイロットランプを有する摺動盤を摺動自在に挿設し可變蓄音器の回轉軸と共に回轉すべくせる回轉桿と前記摺動板とを連結桿を以て連結して成るものなり。

豆開閉器

實用新案 第一七三六〇號
公 告 昭和十一年十二月二十二日

東京市品川區大井町濱川町一〇〇七
考案者、出願人 川口 造 登

絶縁體より成る開閉器函に設けたる四つ齒の鋸齒車狀を呈する中央凹陥部に逆の開閉器を挿入し左右の淺き凹陥部と導線導入溝へ導線を附し突起を有する觸指を嵌合し鏢を有する不電導質の摘子の一端に刻設せる切込部を以つて開閉器の中央部を銜持せしめ透孔に摘子を挿通し小孔を夫々觸指の突起と係合せしめ絶縁板を開閉器函に掩着し更に螺筒に摘子を挿通し螺筒に固定

せる前板を以つて絶縁板を掩ひ該前板に延設せる爪を絶縁板及開閉器函上下の外面に設けたる溝に係合し爪先を折曲して開閉器背面を抱持せしめ螺筒に裝備せる雌螺子により開閉器を適宜の個所に締着すべくしたる豆開閉器の構造なり。

電氣開閉器

實用新案 第一七四五一號
公 告 昭和十一年十二月二十四日

東京市大森區北千束町五九二
考案者、出願人 神 保 達

固定板の後部に把手を軸にて軸着し之に依り板の前方に軸止せる回動板を回動せしむべくせる電氣開閉器に於て該固定板の後部にコ狀の助動板を兩側に於て軸着し且其の背を把手の側面に係合せしめ更に該助動板の兩側を又狀となして其の上片に依り前記回動板の後部上面を壓し下片に依り後部下面を上壓すべく構成せる電氣開閉器の構造なり。

參考篇 出願心得 特許局發表

實用新案登録出願心得

一 實用新案の意義

實用新案とは物品の形状、構造又は組合はせに係る實用ある新規の型にして工業に利用することを得るものを謂ふ

- (一) 形状の實用新案 物品の形状に係る型とは例へば鉛筆の軸體を角又は扁平の形状となし轉び易きを防ぎ又は巻煙草入を彎曲せしめ以て衣囊に入るに便ならしめる類なり
- (二) 構造の實用新案 物品の構造に係る型とは例へば鉛筆の軸の一端に「消しゴム」を嵌込たるもの又は小刀を折疊となし柄と鞘とを兼ねしむる等實用上便利なる構造を謂ふ
- (三) 組合はせの實用新案 物品の組合はせの型とは例へば鉛筆軸の一端に着脱自在に「消しゴム」の短き鞘を嵌めたるもの即ち鉛筆と「消しゴム」との組合はせ又「マッチ」軸と側面に薬を塗りたる「マッチ」箱との組合はせの類を謂ふ

二 工業的發明と實用新案との區別

(一) 實用新案は單に物品の形狀、構造又は組合はせに係る新規の型にして使用上便利なるを以て工業的發明の如く必ずしも其の効果を問はず故に例へば鉛筆を創めて工夫したるときは未だ人類の智識に存在せざる特殊の效果ある物品を創造せるものにして工業的發明なり然れども既に鉛筆が存在するときに使用上の便利を慮り其の軸を多角形に作り又は扁平に作るが如きは實用新案の問題となるものとす

(二) 方法は各種の製造法の如き工業的發明となる場合あるも實用新案となることなし
(三) 實用新案は物品の形體的考案に限られ物の成分の如きは問ふ所に非ず故に例へば合金又は「セルロイド」の如きは工業的發明となる場合あるも實用新案となること無し

三 實用新案と意匠との區別 實用新案とは前にも述べたる如く専ら實用の點に重きを置くものにして其の體裁は問ふ所に非ず之に反して意匠は其の物品の外觀を美麗と爲し又は趣味を感じしむる如き考案なり從て一は實用的にして他は美的又は趣味的なるの差あり例へば杖又は洋傘の柄に就きて云へば其の柄を携帶に便とし又は懸くることを容易ならしむる考案は實用新案となり其の柄を龍の首又は狗の頭等の形と爲す場合は意匠なり

四 登録を受くることを得る實用新案 登録を受くることを得る實用新案は左の要件を具ふることを要す

(一) 物品の形體即ち形狀 構造又は組合はせに係る實用ある型の考案たること
(二) 型が新規なること 新規とは次の何れにも當らざるものを謂ふ

(イ) 登録出願前帝國內に於て公然知られ又は公然用ゐられたるもの若は之に類似するもの
(ロ) 登録出願前帝國內に頒布せられたる刊行物に容易に實施することを得べき程度に於て記載せられたるもの又は之に類似するもの

但し左の場合に於ては實用新案は新規なるものと看做さる
實用新案の登録を受くるの權利を有する者が政府の開設し、道府縣若は之に協すべきものの開設し若は政府の認可を得て開設する博覽會又は工業所有權保護同盟條約國の版圖内に開設する官設若は官許の萬國博覽會に出品の爲其の者の實用新案を前記(イ)(ロ)の二に該當するに至らしめたる場合に於て其の開會の日より六ヶ月以内に其の者が實用新案登録の出願を爲したるとき

五 登録を受くることを得ざる實用新案

(イ) 菊花御紋章と同一又は類似の形狀を有するもの
(ロ) 秩序若は風俗を紊り又は衛生を害する虞あるもの

六 登録を受くることを得る人

- (一) 考案者
- (二) 相続人
- (三) 譲受人

但し被用者(法人の役員及公務員を含む、以下同じ)が勤務に關して爲したる考案に付登録を受くるの權利を使用者(法人及職務を執行せしむる者を含む)が其の考案前の契約(勤務規定を含む、以下同じ)により譲受けて出願する場合に其の考案が性質上使用者の業務範圍に屬し考案を爲すに至りたる行爲が被用者の任務に屬することを必要とす

七 出願の手續 實用新案の登録を受けむとするには、一實用新案毎に願書、圖面及説明書を各正副二通作り特許局に差出すべし
特許局に願書其の他の書類を差出すには直接持参し又は配達證明若は普通の書留郵便を以てするを得策とす

(一) 願書 願書は左の例に倣ひて認め正本には五圓に相當する収入印紙(収入印紙には消印せざることを)を貼附すべし
(願書の用紙は特許局に於て之を交付せず)

文 例 (用紙美濃版)

収入印紙 紙五圓	實用新案登録願
一 實用新案ノ名稱	
一 考案者ノ氏名、住所(又ハ居所)	(出願人カ考案者ナルトキハ記載スルコトヲ要セズ)

私(私共)儀別紙圖ニ記載スル物品ニ付實用新案登録相受度此段願候也

國籍(外國人ナルトキ)

住所(又ハ居所)

年月日

出願人

氏

名印

(法人ナルトキハ法人ノ
名稱ヲ記シ其ノ側ニ代
表者記名捺印スルコト)

特許局長官

氏

名殿

添附書類目録

一何々 何通
一何々 何通

同時に數箇の願書を差出す場合には實用新案登録願(イ)實用新案登録願(ロ)等の如く符號を附することを必要とす斯くすれば願書番號の通知を受けたる場合出願人に於て何れの願書の番號なるやを容易に知ることを得べし

(二) 考案者と出願人と異なる場合 此の場合には一般に願書に考案者の氏名、住所を記載すべし

(イ) 考案者の相續人が出願する場合 此の場合には前記の外戸籍謄本又は遺言證書等登録を受くるの権利の承繼を證する書面を添附すべし

(ロ) 使用者の出願の場合 被用者(法人の役員及公務員を含む。以下同じ)が勤務に關し爲したる考案に付登録を受くるの権利を使用者(法人及職務を執行せしむる者を含む、以下同じ)が考案前の契約(勤務規程を含む、以下同じ)に依り譲受け其の登録を出願する場合には其の考案が勤務に關し爲されたるものにして性質上使用者の業務範圍に屬し且其の考案を爲すに至りたる行爲が被用者の任務に屬するものなること及其の契約又は勤務規程を證する書面を差出すべし

(ハ) 其の他他人の考案に付登録を受くるの権利の譲受人が出願する場合 此の場合には實用新案の名稱を正確に記載し其の考案に付「登録を受くるの権利」を承繼したることを證する書面を添附すべし

(ニ) 法人が出願する場合 前記(ロ)(ハ)の場合に於て出願人が法人なるときは別に代表者資格證明書(登記簿謄本又は抄本)を差出すべし

尙考案者が出願人たる法人の代表者なるときは其の承繼に付ては法人に於て特別代理人を選任して譲受行爲を代理せしむるか又は此等の譲受行爲に付同意若は承認の權限ある者(例へば合名會社若は合資會社に在りては全社員、株式會社若は株式合資會社に在りては監査役)の同意書若は承認書を此等の者の資格證明書(登録簿謄本又は抄本)と共に差出すべし

(三) 共同出願の場合

(イ) 考案者と共同して出願する場合 此の場合に於ては別に登録を受くるの権利の一部を承繼したることを證する書面を添附すべし

(ロ) 代表者を定めたる場合 代表者を定めるときは其の旨を届出で(願書に其の旨を表示すれば足る)且其の事實を證する書面を差出すべし、若し特に代表者を定めるときは各人互に代表するものと認めらる

(ハ) 権利に付定めある場合 共同出願人の権利に付持分の定め若は不分割の定めあるとき實用新案權の持分移轉に付豫め同意あるとき、又は實用新案の實施に付特別の定めあるときは願書に其の旨を記載し其の事實を證する書面を添附すべし

(四) 代理人に依る出願の場合 實用新案登録出願を爲す場合に於て出願人自ら之を爲すと代理人に依りて之を爲すとは出願人の隨意なるも代理人に依る場合には其の代理權を證する書面(委任狀、戸籍謄本又は登記簿謄本の類)を添附すべし

帝國內に住所をも居所をも有せざる者が實用新案登録出願を爲す場合には帝國內に住所又は居所を有する代理人に依ることを要す但し關東州は此の限に在らず

(五) 圖面 圖面は左の標準に依りて作るべし

(イ) 圖面は擘水引美濃紙若しくは羊濃級大の復寫紙(トレーシング、ペーパー)又は復寫布(トレーシング、クロス)

を用ひ右半面は餘白とし左半面のみ認め凡そ其の上部に二・七「センチメートル」下部に二・一「センチメートル」左に〇・六「センチメートル」右に五・五「センチメートル」を餘し縦二二・八「センチメートル」横一三・六「センチメートル」以内の面に製圖法に則り濃墨にて鮮明に之を記載すべし但し特に細密を要するものは縦又は横の長さを二倍と爲すことを得

(ロ) 圖面の副本は圖面の寫眞又は青色寫眞を用ふることを得

(ハ) 圖面は繪具又は墨を以て着色することを得ず

(ニ) 截斷面を現すには平行線を濃墨を以て斜に引くべし其の截斷面中部分を異にするものは各方向を異にしたる斜線を用ふべし

(ホ) 凸凹の部分に明瞭ならしむる爲圖面に陰を施す必要ある場合には線を用ひ濃墨にて鮮明に畫くべし陰影は成るべく施すべからず若し其の必要ある場合には線を用ひ濃墨にて畫くべし

(ヘ) 圖面は頁の關係なく圖毎に第一圖第三圖等の番號を附すべし

(ト) 圖面には簿號のみを記載し各部の名稱又は説明語を記載すべからず

(チ) 各圖に於ける同一部分には同一符號を附すべし

(リ) 圖面の符號は成る可く123等の「アラビヤ」數字を用ふべし

(ヌ) 番號及符號は濃墨にて明瞭に之を記すべし

(ル) 符號を直に圖に施すこと能はざる時は其部分より少しく離して之を記し他線と判然區別し得べき線を以て其の部分と符號とを接続すべし陰を施したる上又は斷面を示すべき平行線の上には符號を記すべからず己むを得ざる

ときは其の部分に限り陰又は平行線を施さずして符號を記すべし

(オ) 圖面の各葉には出願人記名捺印すべし

以上の如く調製したる圖面は之を二つ折となさずして其を圖面を記載せざる右方の一端のみを願書及説明書等と紙摺にて綴り合はせて全紙を通じて一連の枚數を記入すべし

(六) 説明書 説明書は登録を受けむとする實用新案の内容を明にし其の作り方は美濃版の用紙を二つ折にして十二行二十四字詰に左の順序に従ひて認め末尾に記名捺印すべし

(イ) 實用新案の名稱

實用新案の名稱は其の實用新案の内容を簡明に表示するものなることを要す例へば「精米機出口の調整蓋」とすべきを單に「精米機」と記載し「金庫の錠」とすべきを單に「金庫」と記載するが如きは不適當なり其の他假裝語(例へば「ビツクリ箱」「汗知らず」等の如き)考案者若くは出願人の氏名(例へば何某式の如き)を冠したるもの「實用新案」なる文字の如きは用ふべからず

(ロ) 圖面の略

各圖に付其れが何を示す圖面なるやを簡略に記すべし

(ハ) 實用新案の性質、作用及効果の要領

此の項には實用新案が如何なる必要に係りて生じたるものなるや及其の特徴、作用を簡明に記載し且實用新案の直接の効果を記載すべし

(ニ) 考案相互の關係

此の項は他の特許發明又は登録實用新案を實施するに非ざれば實施すること能はざる實用新案の出願を爲す場合に限り必要にして兩者考案の關係を明にする爲其の實施の態様を記載することを要す尙其の實施上必要なる特許發明又登録實用新案の特許番號、登録番號又は出願番號を記載すべし

(ホ) 登録請求の範圍

登録請求の範圍は實用新案の何れの點に付登録を請求するやを記載するものにして後に實用新案法に依つて保護せらるべき權利の範圍と爲るものなるが故に明確に認むるを肝要とす従つて此の項には實用新案の構成に缺くべからざる事項のみを一項に明記するを要し二以上の別考案を記載するを許さず

登録請求の範圍には實用新案が物品の形狀、構造又は組合はせの孰れに係るかを明記すべし

八 出願中の注意

(一) (イ) 願書番號及實用新案の名稱の記載 特許局に於て實用新案登録願書を受理した時は之に願書番號を附して出願人又は其の代理人に通知す爾後出願中の事件に付書類、雛形又は見本を差出すときは之に其の願書番號(昭和何年何

願第何號)及實用新案の名稱を記載すべし

(ロ) 印鑑 出願中の事件に付差出すべき書類に押捺する印章は必ず出願の際使用したるものを使用すべく又改印せむとするときは印鑑證明書を添附したる改印届を差出すべし

(二) 雛形又は見本

(イ) 特許局は審査上必要あるときは考案品の雛形又は見本の差出を命ずるが故に雛形又は見本は出願の際に差出すを要せず

(ロ) 雛形又は見本は堅牢なる材料を用ひなるべく三〇・三センチメートル立法以内にて之を作るを原則とす

(ハ) 還附請求及受取手續 特許局に差出したる雛形又は見本等の還附を受けむとする者は其の差出の際豫め其の旨申出づべし前記の申出を爲したる者は特許局より還付の通知を受けたる日より三十日以内に其の受取の手續を爲すべし差出人が還附の申出又は受取の手續を爲さざるときは特許局は適宜に処分すべし

(三) 書類、雛形又は見本の訂正、補充及改造

(イ) 特許局の通知に依る場合 出願に付期間を定めて特許局より補充又は訂正等の通知を受けたるときは其の期間内に相當書類等を差出し若し期間延長の許可を受くべし然らざるときは出願を無効と無さることあるべきを以て特に注意することを要す但し右期間延長請求書には一圓に相當する収入印紙を貼附することを要す(収入印紙には消印せざること)

(ロ) 任意に差出人より爲す場合 特許局に差出したる書類、雛形又は見本は審査中又は審判中に限り考案の要旨を變更せざる程度に於て差出人之を訂正、補充又は改造することを得但し説明書に記載したる事項の範圍内に於て登録請求の範圍を増減變更するは其の要旨を變更するものと認めらるゝことなし

出願公告の決定後は登録異議申立に因り審査官の命令ある場合の外之を訂正、補充又は改造することを得ず

(四) 住所變更の届出 出願人住所を變更したるときは一出願毎に新舊住所を正確に記載したる出願人の住所變更届(府縣郡市町村大字小字番地詳記のこと)を差出すべし

(五) 圖面の調製の申請 實用新案に關し圖面の調製方を申請せむとする者は申請の際雛形、見本又は下圖及使用方法を認めたる書面を差出すべし但し特許局に差出したる雛形見本又は下圖にて調製することを得る場合は更に差出すに及ば

ず此場合には一枚に付一圓以上 十圓以下にて特許局の定むる料金を納付することを要す

(六) 名義變更の届出 出願中相續開始したるとき又は権利の譲渡ありたるとき其他出願人の名義變更を要するときは承繼人は證明書を添附し名義變更届(三圓に相當する収入印紙を貼附すること)を差出すべし(収入印紙には消印せざること)若し届出人の權利に付持分又は不分割其他の定ある場合には届書に其の旨を記載し且其事實を證する書面を添附すべし

(七) 特許出願又は意匠登録出願を實用新案登録出願に變更する手續 特許出願又は意匠登録出願は出願中及特許又は登録すべからずとの最初に査定の送達を受けたる日より三十日以内に之を實用新案登録出願に變更することを得此の場合には新なる實用新案登録出願を爲し(五圓に相當する収入印紙を貼附すべし)願書に其の出願を變更する旨を記載すべし(収入印紙に消印せざること)但し實用新案登録出願に添附すべき圖面が特許出願又は意匠登録出願の際差出したる圖面を變更するを要せざるものなるときは願書に其の旨を記載し別に圖面を差出すことを要せず右出願變更の場合は實用新案登録出願又は意匠登録出願の時に爲したるものと看做さる

(八) 意匠登録出願に變更する手續 實用新案登録出願は出願中及登録すべからずとの最初の査定の送達を受けたる日より三十日以内に之な意匠登録出願に變更することを得(意匠登録出願心得書参照)

右出願變更の場合には意匠登録出願は實用新案登録出願の時に爲したるものと看做さる

(九) 拒絶理由の提示に對する意見書の提出 審査官は出願を拒絶すべきものと認めたるときは出願人に對し其の拒絶の理由を通知すべきを以て出願人之に意見あるときは其の指定期間内に意見書を提出することを得尙必要あるときは證據を提出すべし

(十) 差出書類の着否の照會 特許局に差出したる願書、訂正書其他の書類物件の着否に付照會せむとする場合に於ては願書番號を明かにして伺出づべく若し願書番號不明なるときは書類、物件の稱別(實用新案登録願なりや其他の出願なりや及願書、訂正書及其他如何なる書類なりやの別)差出の年月日及代理人あらば其の氏名を明にし尙當該書類を書留郵便を以て差出したるときは其の受領證又は其の寫を添へて伺出づべし

九

出願公告 審査官が實用新案登録出願を拒絶すべき理由を發見せざるときは實用新案の要旨を實用新案公報に掲載して公告す(但し出願公告の決定ある迄は右決定の日より六箇月以内の公告猶豫の請求を爲すことを得其の請求書には二

て發明が前記各號の一に當るに至りたるとき同人が六ヶ月以内に特許出願を爲したるとき

(乙) 特許を受けるの權利を有する者が政府、道、府縣若は之に準ずべきものの開設する博覽會又は政府の認可を得て開設する博覽會又は工業所有權保護同盟條約國の版圖内に開設する官設若は官許の萬國博覽會に出品の爲め其の發明を前記各號の一に當るに至らしめたる場合に於て其の開會の日より六ヶ月以内に同人が特許出願を爲したるとき

(二) 最先に出願せられたる發明

(イ) 同一發明に付二人以上の出願者ある場合 同一發明に付二人以上の出願者ある場合に於ては最先に出願したる者の發明に限り特許せらる、同日に二人以上の出願者ある場合に於ては出願者の協議に依りて特許せられ若し協議調はざるときは何人にも特許せられず

(ロ) 出願日

(甲) 直接特許局に願書を持参したる場合には特許局に於て受領したる日

(乙) 郵便に依り差出したる場合には消印記號に記載したる日又は郵便物受領證に依りて證明せられたる日但し消印記號なきもの又は其の不明なるものにして郵便物受領證に依りて其の差出日を證すること能はざるときは特許局に於て受領したる日

三 特許せらるべき發明

(一) 飲食物又は嗜好物

(二) 醫藥又は其の調合法

(三) 化學方法に依り製造すべき物質

但し(一)乃至(三)は物の發明として特許せられざるに止り其製造方法(醫藥の調合法を除く)の發明は特許せらる

(四) 秩序若は風俗を紊り又は衛生を害するの虞あるもの

四 出願の手續

特許を出願するには一發明毎に願書、明細書及必要あらば圖面を各正副二通作り特許局に差出すべし但し二以上の發明が利用上牽連して一發明を爲す場合に於ては一件として出願するを妨げず

特許局に願書其の他書類を差出すには直接持参し又は配達證明若は普通の書留郵便を以てするを得策とす

(一) 願書 願書は左の例に倣ひて認め正本には金拾圓に相當する収入印紙(収入印紙には消印せざること) 附すべし
(願書用紙は特許局に於て交付せず)
文 例 (洋紙美濃版)

収入印紙拾圓

特許願

一發明ノ名稱

一發明者の氏名住所(又ハ居所) (出願人が發明者ナルトキ) (ハ記載スルコトヲ要セス)

私(私共) 儀別紙明細書ニ記載スル發明ニ付特許相受度此段相願候也

國籍 (外國人ナルトキ)

住所 (又ハ居所)

年 月 日 出 願 人 氏

特許局長官 氏 名 殿

添附書類目

一何々何通
一何々何通

法人ナルトキハ法ハノ
名稱ヲ記シ共ノ側ニ代
表者記名捺印スルコト

同時に數箇の願書を差出す場合は特許願(イ)特許願(ロ)等の如く符號を附することを必要とす斯くすれば特許局より願書番號の通知を受けたる場合出願人に於て何れの願書の番號なるを容易に知ることを得べし
(二) 發明者と出願人と異なる場合 此の場合一般に願書に的明者の氏名、住所を記載すべし

(イ) 發明者の相続人が出願する場合 此の場合には前記願書の外戸籍謄本又は遺言證書等特許を受けるの権利の承継を證する書面を添附すべし

(ロ) 使用者の出願の場合 被用者(法人の役員及公務員を含む、以下同じ)が勤務に關し爲したる發明たる付特許を受けるの権利を使用者(法人及職務を執行せしむる者を含む、以下同じ)が其の發明前の契約(勤務規程を含む、以下同じ)に依り讓受けて特許を出願する場合には其の發明が性質上使用者の業務範圍に屬し且其の發明を爲すに至りたる行爲が被用者の任務に屬するものなること及其の契約は勤務規程を證する書面を添附すべし

(ハ) 其他人の發明に付特許を受けるの権利の讓受人が出願する場合 此の場合には發明の名稱を正確に記載し其の發明に付「特許を受けるの権利」を承継したることを證する書面を添附すべし

(ニ) 法人が出願する場合 前記(ロ)(ハ)の場合に於て出願人が法人なるときは別に代表者資格證明書(登録簿謄本又は抄本)を添附すべし

尙發明者が出願人たる法人の代表者なるときは其の承継に付ては法人に於て特別代理人を選任して讓受行爲を代理せしむるか又は此等の讓受行爲に付同意若は承認の權限ある者(例へば合名會社若は合資會社に在りては全社員、株式會社若は株式合資會社に在りては監査役)の同意書若は承認書を此等の者の資格證明書(登録簿謄本又は抄本)と共に差出すべし

(三) 共同出願の場合

(イ) 發明者と共同して出願する場合 此場合に於ては別に其の權利を共有するの事實を證する書面を添附すべし

(ロ) 代表者を定めたる場合 代表者を定めたるときは其の旨を届出で(願書に其の旨を表示すれば足る)且其の事實を證する書面を差出すべし、若し特に代表者を定めざる時は各人互に代表するものと認めらる

(ハ) 權利に付定めある場合 共同出願人の權利に付特定の定若は不分割の定あるとき特許權の持分移轉に付豫め同意あるとき又は特許發明の實施に付特別の定あるときは願書に其旨を記載し且其事實を證する書面を添附すべし

(四) 代理人に依る出願の場合 特許出願を爲す場合に於て出願人自ら之を爲すと代理人に依りて之を爲すと出願人の隨意なるも代理人に依る場合にはその代理權を證する書面(委任狀、戸籍謄本又は登記簿謄本の類)を添附すべし 帝國内に住所をも居所をも有せざるものが特許出願を爲す場合には帝國内に住所又は居所を有する代理人に依ることを要す

(五) 明細書 明細書は美濃版の用紙を二つ折にして十二行二十四字詰に左の順序に従ひ認め末尾に記名捺印すべし

(イ) 發明の名稱 發明の名稱はその發明の内容を簡明に表示するものたるべし例へば「内燃機關の着火栓」とすべきを單に「内燃機關」と記載し、「無線電信發信裝置の改良」とすべきを單に「無線電信裝置」と記載し又は「動植物の脂肪より石油を製造する方法」とすべきを單に「石油を製造する方法」と記載するが如きは何れも不適當なり其他假裝語(例は「ビツクリ箱」「汗知らず」等の文字)發明者若は出願人の「氏名」(例は何某式の文字)及「特許」の文字の附加の如きは用ふべからず

(ロ) 發明の性質及目的の要領

此の項には發明の特徴及直接の効果を簡明に記載すべし

(ハ) 圖面の略解

各圖面に付其れが何を示す圖面なるやを簡略に記載すべし

但し方法の發明の如き圖面に現はすことを得ざる發明に付ては其の必要なし

(ニ) 發明の詳細なる説明

此の項には發明の構成、作用、効果及實施の態様を記載すべし

(ホ) 發明相互の關係本項は次の場合を除くの外記載するを要せず

(1) 追加の特許出願に在りては其の原發明の改良又は擴張の態様を記載し尙原發明の特許番號、願書番號又は願書の符號を認むべし

(2) 他の特許發明又は登録實用新案を實施するに非ざれば實施すること能はざる發明の特許出願に在りては其の實施の態様を記載し他の特許發明又は登録實用新案の特許番號又は登録番號をも併せ認むべし

(3) 牽連して利用上一發明を爲すものと認めらるる二以上の發明の特許出願に在りては各發明の牽連せる態様を記載すべし

(ヘ) 特許請求の範圍 特許請求の範圍は發明の如何なる部分に付特許を請求するかを記載すべきものにして後に特許法の依りて保護せらるべき權利の範圍決定の基準たるものなれば明確に認むるを肝要とす

特許請求の範圍には發明の構成に缺くべからざる事項のみを一項に記載すべし但し別項を以て發明實施の態様を記載

するを妨げざれども右別項は附記たるべきものなるを以て其の旨を明示するを要す
二の以上發明が牽連して利用上一發明を爲すものの特許出願に在りては特許請求の範圍は權利を要求する各發明毎に
前記の通り認むべし

特許請求の範圍には發明の効果、作用を記載すべからず

(六) 圖面 圖面は左の標準に據りて作るべし

(イ) 圖面は禁水引美濃紙若は美濃紙大の覆寫紙(トレーシング、ペーパー)又は覆寫布(トレーシング、クロス)を用ひ右半面は餘白とし左半面のみ認め凡そ其の上部に二、六「センチメートル」下部に二・二「センチメートル」左に〇、六「センチメートル」右に五、五「センチメートル」を餘し縦二二、八「センチメートル」横一三、六「センチメートル」以内の面に製圖法に則り濃墨にて鮮明に之を記載すべし特に細密を要するものは縦又は横の長さを二倍に爲すことを得

(ロ) 圖面の原本は圖面の寫眞又は青寫眞を用ふることを得

(ハ) 圖面は繪具又は墨を以て着色することを得ず

(ニ) 截断面を現はすに平行線を濃墨を以て斜に引くべしその截断面中部分を異にするものは各方向を異にしたる斜線を用ふべし

(ホ) 凹凸の部分の明瞭ならしむる爲圖面に陰を施す必要あるときは線を用ひ濃墨にて鮮明に畫くべし陰影は成るべく施すべからず若しその必要ある場合には線を用ひ濃墨にて畫くべし

(ヘ) 圖面は頁に關係なく圖毎に第一圖第二圖等の番條を附すべし

(ト) 圖面には符號のみを記載し各部の名稱又は説明語を記載すべからず

(チ) 各圖に於ける同一部分には同一符號を附すべし

(リ) 圖面の符號は成る可く123等の「アラビア」數字を用ふべし

(ヌ) 番號及符號は濃墨にて明瞭に之を記すべし

(ル) 符號を直に圖に施すこと能はざるときは其の部分より少しく離して之を記し他線と判然區別し得べき線を以て其の部分と符號とを接続すべし陰を施したる上又は断面を示すべき平行線の上には符號を記すべからず已むを得ざるときは

其の部分に限り陰又は平行線を施さずして符號を記すべし

(オ) 圖面の各葉には出願人記名捺印すべし

以上の如く調製したる圖面は之を二つ折となさずして其の圖面を記載せざる右方の一端のみを願書明細書等と共に紙摺にて綴合はせ全紙敷を通して一連の枚数を記入すべし

明細書圖面は其の記載に依りて當業者が容易に其の發明の効果を実現し得る様認むるを要す從て若し明細書及圖面に發明の實施に必要な事項を故意に記載せず又は其の實施を不能若くは困難ならしむる爲故意に不必要の事項を記載したる場合には假令特許せられたることあるも後日無効と爲さるる虞あり

(七) 用語 願書、明細書其の他の書類には可成内閣告示に係る資源に關する標準用語を使用すべし

五 出願中の注意

(一) (イ) 願書番號及發明の名稱の記載 特許局に於て特許願書を受理したる時は之に願書番號を附して出願人又は其の代理人に通知す、爾後出願中の事件に付書類、雛形又は見本を差出すときは必ず之に其の願書番號(昭和何年何願第何號)及發明の名稱を記載すべし

(ロ) 印鑑 出願中の事件に付差出すべき書類に押捺する印章は必ず出願の際使用したるものを使用すべく又改印せむとするときは印鑑證明書を添附したる改印届を差出すべし

(二) 形又は見本

(イ) 特許局は審査上必要あるときは發明品の雛形又は見本の差出を命ず故に雛形又は見本は出願の際に差出すことを要せず

(ロ) 雛形又は見本は堅牢なる材料を用ひなるべく三〇・三「センチメートル」立方以内に於て之を作るべし

(ハ) 還附請求及受取手續 特許局に差出したる雛形又は見本等の還附を受けむとする者はその差出の際豫めその旨申出づべし前記の申出をなしたる者は特許局より還附の通知を受けたる日より三〇日以内にその受取の手續を爲すべし
差出人還附の申出又は受取の手續を爲さざるときは特許局は適宜に處分すべし

(ニ) 書類、雛形又は見本等の訂正、補充及改造

(イ) 特許局の通知に依る場合 出願に付期間を定めて特許局より補充又は訂正等の通知を受けたるときはその期間内

に相當書類等を差出し若は期間延長の許可を受くべし然らざる時は出願を無効と爲さるることあるべきを以て特に注意することを要す但し右期間延長請求書には金一圓に相當する収入印紙を貼附するを要す（収入印紙には消印せざることを）

(ロ) 差出入より爲す場合 特許局に差出したる書類、雛形又は見本は審査中又は審判中に限り發明の要旨を變更せざる程度に於て差出入之を訂正補充又は收造することを得但し獨立の特許出願を追加の特許出願に變更し又は追加の特許出願を獨立の特許出願に變更し若は明細書に記載したる事項の範圍内に於て特許請求の範圍を増減變更するは其の要旨を變更するものと認めらるることなし

出願公告の決定後は特許異議申立に因り審査官の命令ある場合の外之を訂正、補充又は改造することを不得す

(四) 住所變更の届出 出願人住所を變更したるときは一出願毎に新舊住所を正確に記載したる出願人の住所變更届（府縣市町村大字小字番地詳記のこと）を差出すべし

(五) 圖面調製の申請 特許に關して圖面の調製方を申請せむとする者は申請の際に雛形、見本又は下圖を差出すことを要す但し特許局は既に差出したる雛形、見本又は下圖にて調製することを更なる場合には更に差出すに及ばず此場合には一枚に付一圓以上三十圓以上に於て特許局の定むる料金を納付すべし

(六) 名義變更の届出 出願中相續開始したるとき又は権利の讓渡ありたるとき其他出願人の名義變更を要するときは承繼人は證明書（戸籍謄本若は抄本又は讓渡證書）を添附し名義變更届（特許出願には金五圓、加追の特許出願には金三圓に相當する収入印紙を添附すること）を差出すべし（収入印紙には消印せざることを）若し届出人の権利に付持分又は不分割其他の定ある場合には届書に其旨を記載し且其の事實を證する書面を添附すべし尙名義變更届に添附すべき讓渡證書、契約書等には發明の名稱及願書番號を記載し且其の發明に付讓渡人より「特許を受くるの権利」を讓渡する旨を明記すべし

(七) 特許出願と追加の特許出願との變更 特許出願は追加の特許出願に變更することを得又追加の特許出願は獨立の特許出願に變更することを得此の場合には出願變更の届出を爲すべし但し追加の特許出願を獨立の特許出願に變更する場合に於ては五圓に相當する収入印紙を届書に貼附し追納することを要す
前記の場合には後の出願は最初の出願の時に爲しるものと看做さる

(八) 實用新案登録出願に變更 特許出願は出願中及特許すべからずとの最初の査定を送達を受けた日より三十日以内は之を實用新案登録出願に變更することを得、此の場合には新なる實用新案登録出願を爲し（五圓に相當する収入印紙を貼附すべし）願書に其の特許願の願書番號を明示しその出願を變更する旨記載すべし（収入印紙には消印せざることを）但し實用新案登録出願に添附すべき圖面が特許出願に付差出したる圖面を變更することを要せざるものなる時は願書にその旨を記載し別に圖面を差出すことを要せず

右出願變更の場合には實用新案登録出願は特許出願の時に爲したるものと看做さる

(九) 一特許出願を二以上の特許出願と爲すこと 二以上の發明を包含する特許出願は出願中に之を二以上の出願と爲すことを得但し此場合には既に出願中の特許願をその一の發明の出願に訂正すると同時に他の各發明に付きては新なる特許出願を爲すことを要す前記の場合に於ては各出願は最初の出願の時に於て爲したるものと看做さる

(十) 拒絶理由の提示に對する意見書の提出 審査官は出願を拒絶すべきものと認めたる時は出願人に對しその拒絶の理由を通知すべきを以て出願人之に意見あるときはその指定期間内に意見書を提出することを得尙必要あるときは證據を提出すべし

拒絶理由中に引用したる刑行物の内容に付調査の必要ある場合に於ては特許局に對し當該書類又は圖面の謄本の交付方を申請することを得べくその手数料に付ては申請を俟て特許局より之を通知すべし

尙特許局發行の公報及明細書は特許局陳列館、道府縣廳、市役所、商工會議所、府縣商品陳列所、圖書館等に備付けあるを以て適宜取調ぶべし

(十一) 差出書類の着否の照會 特許局に差出したる願書、訂正書其の他の書類物件の着否に付照會せむとする場合に於ては願書番號を明かにして伺出づべく若し願書番號不明なるときは書類、物件の種類（特許願なりや其の他の出願なりや及願書、訂正書其の如何なる書類なりやの別）差出の年月日及代理人あらばその氏名を明にし尙當該書類を書留郵便を以て差出したるときはその受領證又はその寫を添へて伺出づべし

六 追加の特許

出願人又は特許権者は其の發明の改良又は擴張に係る新規の發明を獨立の特許出願として出願するに代へて追加の特許出願として出願することを不得

追加の特許権は原特許権に附隨するものにして追加の特許権の存許期間は原特許権の殘續期間に限らるれども其の特許料

金は獨立の特許に比し著しく輕減せらるゝ利益あり
追加の特許を出願するには一發明毎に願書、明細書及必要の圖面を各正副二通作り特許局に差出すべし願書は左の例に倣ひて認め正本には五圓に相當する収入印紙を貼附すべし（収入印紙は消印せざることを要す）
文 例（用紙美濃版）

収入印紙五圓	追加特許願
一發明の名稱	
一原發明の特許番號（圖書番號又は符號）	
一發明者の氏名、住所（又ハ居所）（出願人が發明者ナルトキハ記載スルコトヲ要セズ）	
私（私共）儀別紙明細書に記載する發明に付特許相受度此段相願候也	
年 月 日	住 所（又ハ居所） 國 籍（外國人ナルトキ）
特許局長官 氏 名 殿	出 願 人 氏 名 印 <small>（法人ナルトキハ法人ノ名稱ヲ記シ其ノ側ニ代表者ノ姓名ヲ記シ其ノ側ニ代表者ノ姓名ヲ記スルコトヲ要ス）</small>
添附書類目錄	
一何々 何通	
一何々 何通	

注意 原發明の特許出願後住所を變更したるときは先づ原特許願書に付住所變更の手續をなしたる後追加の特許出願をなすべし

七 出願公告 審査官が特許出願を拒絶すべき理由を發見せざるときは出願公告を爲すべき旨を決定し其の公告決定の謄本を出願人に送付し且發明の要旨を特許公報に掲載して公告す（但し出願公告の決定ある迄は右決定の日より六箇月以内の公告猶豫の請求を爲すことを得其の請求書には三圓に相當する収入印紙を貼附し猶豫期間を記載することを要す）出願公告の日より出願書類の正本及附屬物件は特許局に於て出願書類の副本及附屬物件は大阪市に於て公衆の閱覽に供せらる右出願公告ありたるときは其の發明が特許せらるることに異議ある者は何人と雖出願公告の日より二箇月以内に於て特許異議の申立を爲すことを得（特許異議の申立書には五圓に相當する収入印紙を貼附すべし）（収入印紙には消印せざることを要す）

特許異議の申立ありたるときは審査官は其の副本を出願人に送達し答辯書の提出を命ずべきを以て出願人は特許異議の申立に反對の意見あらば其の指定期間内に意見並其の理由を詳説したる答辯書を差出すべし審査官は答辯書提出の指定期間及特許異議申立期間經過後に於て特許すべきや否やを査定するものとす

前記出願の公告ありたるときは其の出願に係る發明に付ては出願公告の日より特許權の効力を生じたるものと看做さる

八 特許の査定ありたる場合

(一) 出願人の爲すべき事 出願に對し特許すとの査定ありたるときは其の査定の確定したる日より三十日以内（此期間は更に三十日以内の延長を請求することを得）に特許料第一年乃至第三年分として三十圓（追加の特許の出願に在りては全期間分として此際一時に三十圓）に相當する収入印紙（収入印紙には消印せざることを要す）を納附書に貼附して差出すべし若し此の手續を怠るときは出願を無効と爲さるる虞あり

第四年以後の特許料は前年に之を納付することを要す

(二) 特許權の存続期間 特許權の存続期間は出願公告の日より（出願公告なきものに付ては特許の日より）十五年なり但し重要な發明の特許權者にして正當の事由に依り其の特許權存続期間内に其の發明より生ずべき相當の利益を得ること能はざりし場合に於ては其存続期間の延長を出願することを得此の場合に於ては審査の結果三年以上十年以下之を延長せらるるものとす

(三) 特許料 特許料は左の如し

- 一 第一年乃至第三年 毎年 十圓
 - 二 第四年及第五年 毎年 十五圓
 - 三 第六年乃至第九年 毎年 二十五圓
 - 四 第十年乃至第十二年 毎年 三十五圓
 - 五 第十三年乃至第十五年 毎年 五十圓
- 第十四年以後の特許料は其納付期限を経過したる後と雖六箇月を限り追納することを得、但し二倍の料金を納付することを要す

特許権存続期間延長の登録を受くる者又は其の特許證主は特許料として毎年左の金額を納付すべし

- 一 第一年乃至第三年 毎年 百圓
- 二 第四年乃至第六年 毎年 百五十圓
- 三 第七年乃至第十年 毎年 二百圓

追加の特許権の登録を受くる者は其の登録を受くる時特許料として每件一時に三十圓を納付すべし特許権存続期間延長の場合に於て追加の特許権あるときは其の登録を受くる時特許料として每件一時に六十圓を納付すべし

九 拒絶査定ありたる場合 拒絶査定を受けたる者不服あるときは其の査定の送達を受けたる日より三十日以内に抗告を請求することを得尙此の場合に實用新案登録願に変更することを得べきは前述せり(出願中の注意(八)参照) 抗告審判の審決を受けたる者不服ある時は其の審決が法令に違反したることを理由とする場合に限り審決の送達を受けたる日より三十日以内に大審院に訴することを得

製造販売品目



理研真空工業株式會社

各種送信用真空管
各種受信用真空管
特殊真空管
一般照明用電球

本社 東京市日本橋區吳服橋二丁目一番地
電話日本橋(24)二八五・代表三二八番
出張所 大阪市南區末吉橋通二ノ三日簡ビル
電話 船場一三八九番
工場 千葉縣茂原・千葉縣大多喜・東京大森

無線特許年鑑

昭和十二年六月五日印刷
昭和十二年六月十日發行

第二回無線特許年鑑

定價金貳圓

東京市芝區琴平町二番地

編輯兼 發行者 宮原仙一郎

東京市芝區南佐久間町一ノ一

印刷者 山田孝雄

印刷所 東京曙新聞社

製 復 許 不

東京市芝區琴平町二番地

發行所 無線タイムス社

振替東京八〇一五六番

電話芝(43)二二八一番

KMK

AUDIO-TRANS



高級各種變壓器

營業課目

無線電信電話通信機械附屬品及E部分品
電氣機械器具及E材料並ニ電氣計器

(御申越次第型録呈上)

陸海軍諸官廳御指定
株式會社 **河津無線研究所**

本社及第一工場・東京市渋谷区豊澤町三七番地
電話高輪(4)2557・5766番 振替口座東京83131番
第二工場・東京市渋谷区豊澤町四〇番地

無線電信電話
強力放聲裝置

海軍陸軍通信機道 御用
拓務文部各省放送協會

Y.E.C.

東京大森二丁目 **山中電機株式會社**

出張所 東京 大阪 福岡 名古屋 廣島 札幌 金澤 京都 奉天 新京 大連

型録進呈

METRA

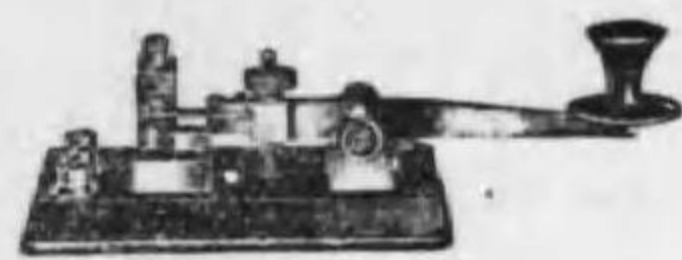
R-136. A&C

PAT. No. 166467

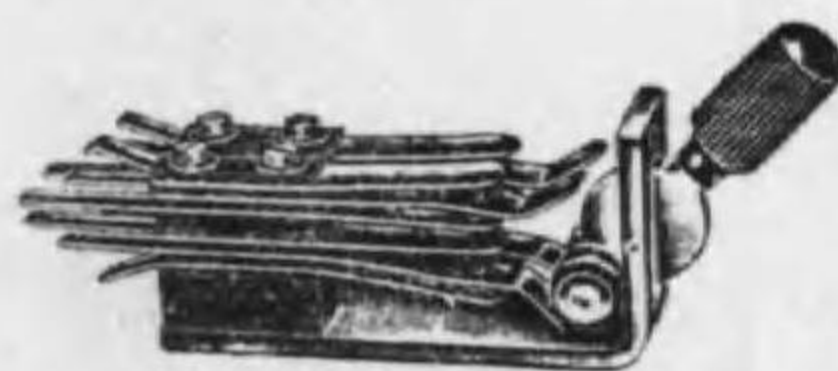


メトラ ユニバーサルコントロール

MA-K6 電機

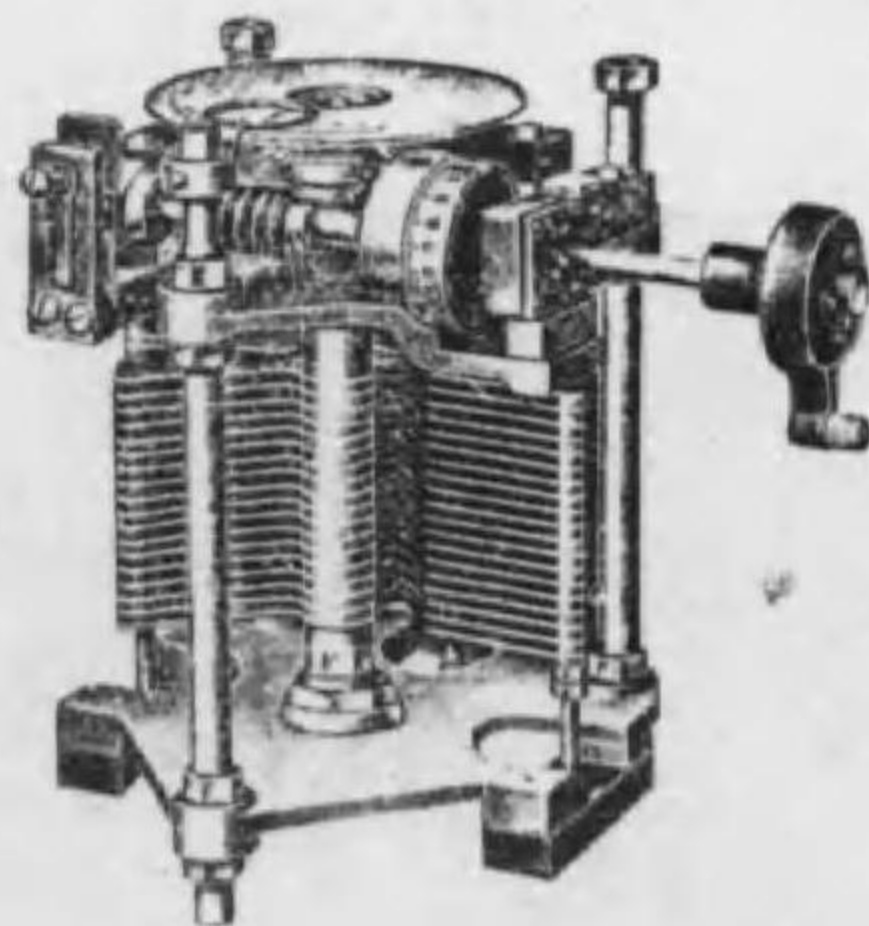


MA-K51 磁接點



MA-V972

精密級可變音電器



MA-S250

フザー



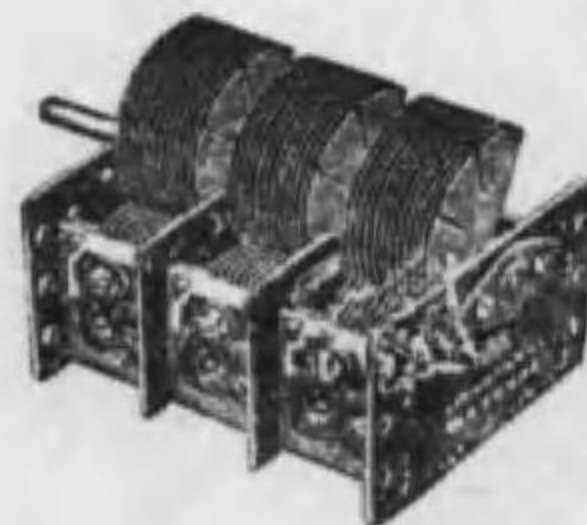
MA-D512



MA-D510

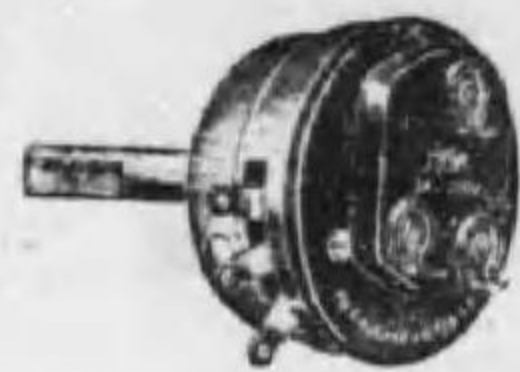


VC-945 小型三連



R-176. B&D

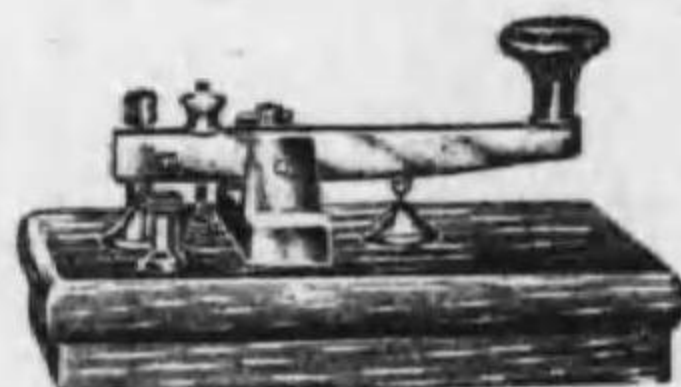
PAT. No. 156467
163241



スリッパ付

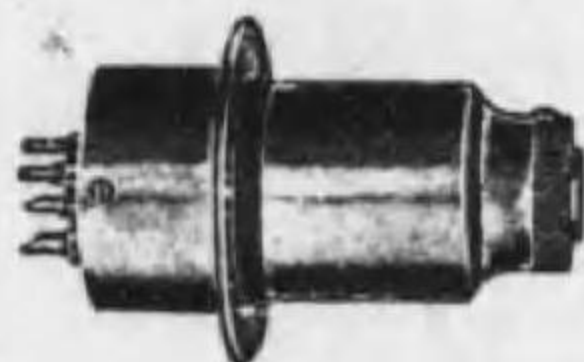
MA-K7

新音電機



MA-J661

ODK コード コンネクター



VC-930 大型三連



ODK

諸官省御用 株式会社 大島電機工業所 (型御入用の方は送料郵券六銭送付せられたし)
東京市品川区西大崎一丁目三六番電話高輪(44)〇六二六・二三四六番 振替東京三二四九七番

ラーヂ Large 真空管



品質・優秀! 音質・明澄!
偉大なる其の能率!!
是非御愛用願ひます

製品種目

UX26B	UY27B	UY47	UY56
UT287	UX32	UX12A	UY24B
UY47B	UZ57	UZ58	UX109
UY38	KX12B	UY35	KX80
UZ2A5	UX30	UX34	UY27A
UX45	KX80B	UT2A7	UX31

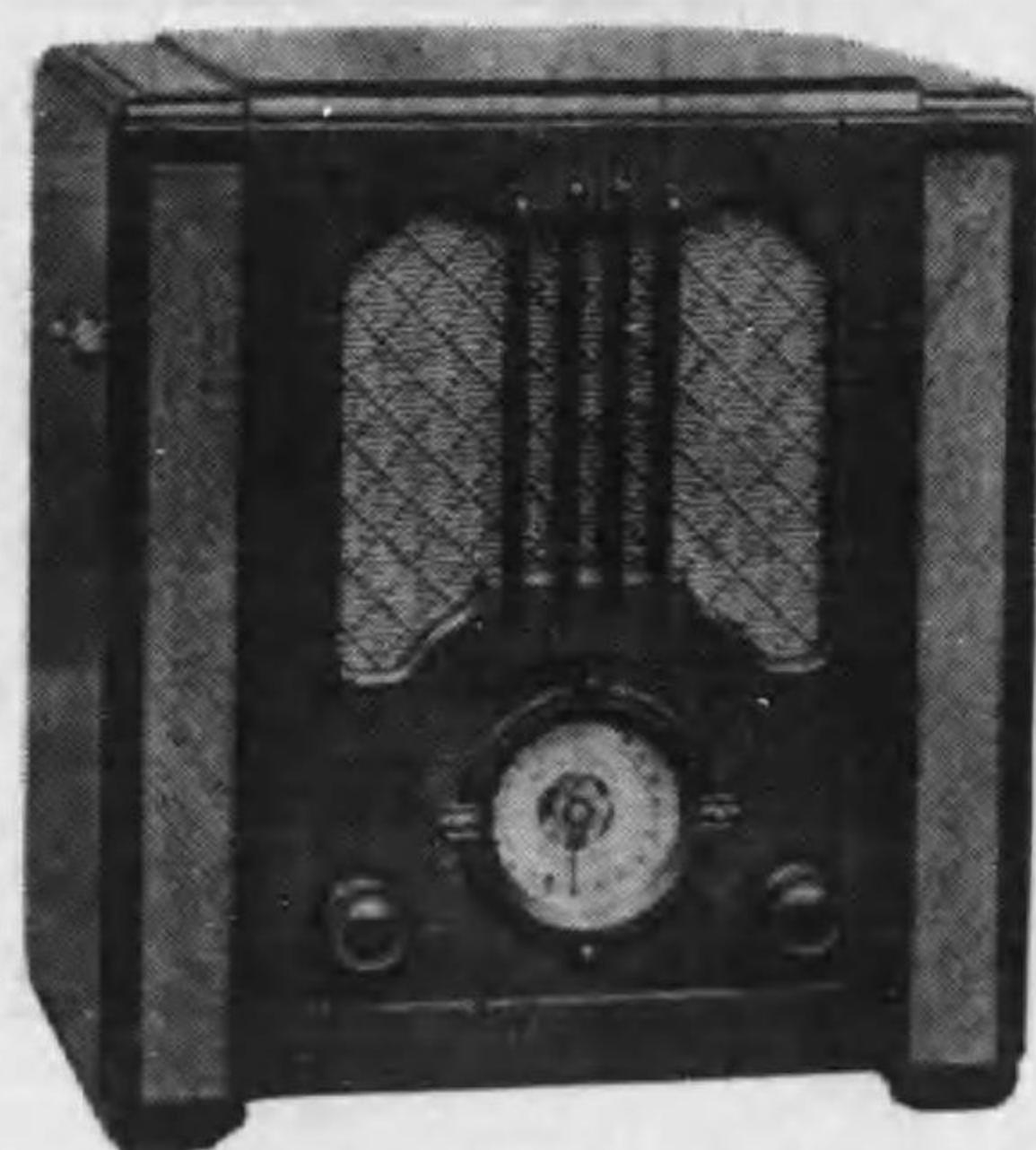


(製作元)
合資会社 松島電機製作所
東京・目黒・下目黒2-262 電話高輪(44)4452番



エルゴー高級受信機

SR100



明朗優美
價格以上の實質なり

近時盛に提唱されつゝある
明聽運動の先驅は
エルゴー高級受信機

使用球エレバム真空管
27-12-26-12B

四球ミゼットブレンダイヤル付
正價二十五圓

製造發賣元

木村電機合資會社

營業所 大阪市南區順慶町通三丁目四九
電話船場二五一九番

工場 大阪市旭區生江町七丁目一三四
電話堀川二四四五番

國產の最高權威

◇◇在庫豊富◇◇

★……ダイナミック——フレーム！

★……十二吋 十吋 八吋 六吋半 其他各種

部分品一式

★……マグネチック用超ミゼット用

九吋 八吋 七吋 六吋 五吋 新型各種

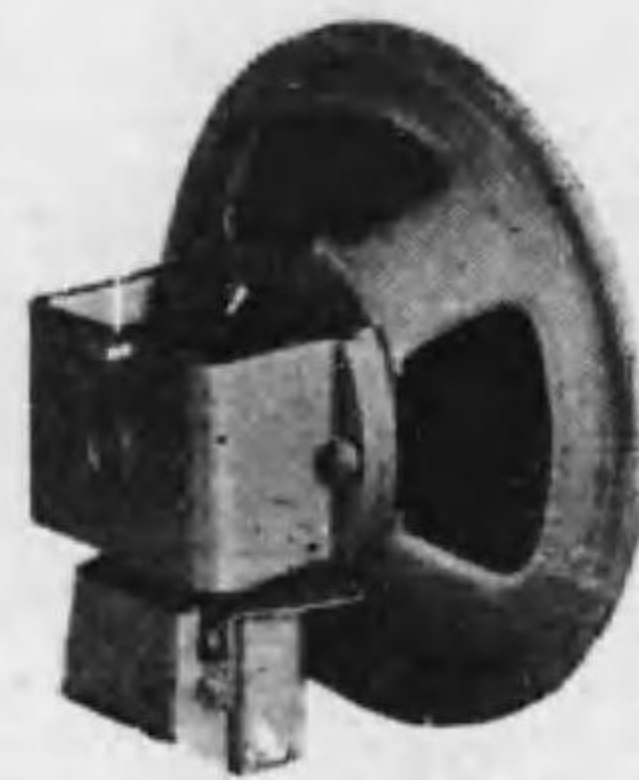
★……マグネチックコイルボビン。同煉ボビン等

各種擴聲機部分品専門製作大卸

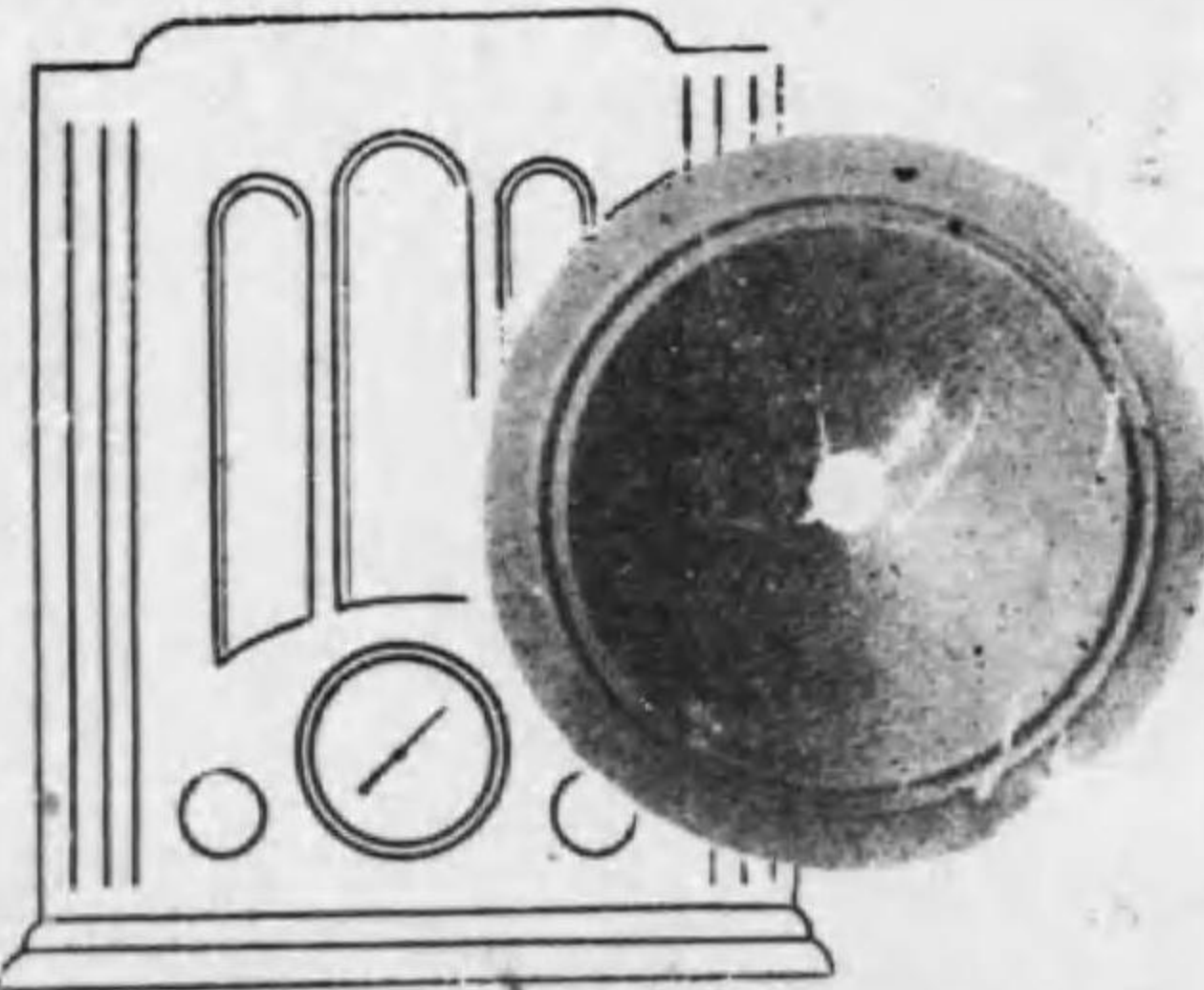
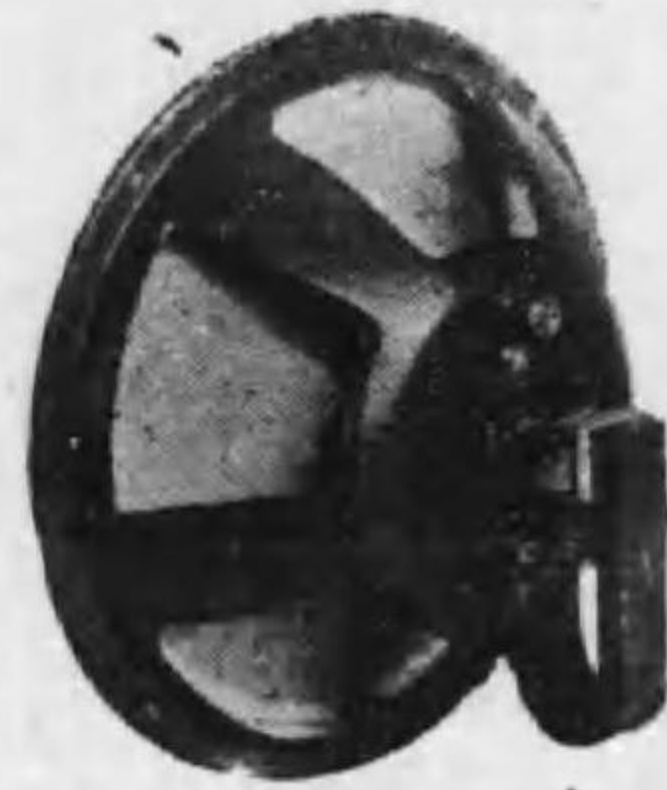
永野金屬製作所

製造發賣元

大阪市天王寺區南日東町六五
電話一〇七九〇番
振替口座大阪一〇七九〇番



DYNAMIC SPEAKER
AND
MAGNETIC SPEAKER
USE
CON PAPER



各種擴聲機振動紙
拔物押物特種製紙工場

弊廠の特殊コーンペーパーは
化學と技術に依つて生れ
高音と低音は申すに及ばず振幅に對し
ても充分自由に振動するコーンペーパー
が出来て居ります

優良なるスピーカに
原音から生れたるコーン紙を
(各種各時あり御照介を乞ふ)

新谷印刷紙器工廠

大阪市浪速區櫻川二丁目一〇九四

電話櫻川四八六六番

振替口座 大阪一〇二三三番

安藤研究所

創立大正六年

當研究所
の發明考
案を實施
せられた
る業者

東京電氣株式會社	日本電氣株式會社	松下無線株式會社	株式會社川西機械製作所	其他代表的 一流業者多數	日本無線通信株式會社
----------	----------	----------	-------------	-----------------	------------

當研究所は電氣通信に關する本邦人最大最高の發明權保持者にして其の權威は幾多の
現今無線通信の基礎をなせる研究發明を通じて明證せられ又既に多くの「テストケ
ス」を経て定評ある所なり
當研究所の發明に付實施希望の向は御相談に應ず

我國ラヂオの生みの親

日本放送協會發起設立者



大正十二年米國シカゴ市ニ於テ開催サレタル萬國ラヂオ博覽會ニ本邦ヲ代表シ出品サレタル多極真空管ト擴聲機

Wire

目 種 品 製

・足立コードが斯界に誇る。
優秀ワイヤー



キヤフタイヤー各種
 シールテッドワイヤー
 トーキー用ワイヤー
 映寫機用エンドレスベルト
 マイクロフォンコード
 ADSフッシュバックワイヤー
 ADSヴァーニッシュワイヤー
 高級増幅機配線
 シールドビックアップコード
 超可換紐線
 光電管用ワイヤー各種
 コンデンサー用リード

足立電紐製作所

東京市荏原區中延町一三八四 電話荏原三二九一番

イ-ストロン

2VOLT 双三極管
UZ-19



1VOLT 經濟球
UY-111B



最新式デザイン!

驚異的性能!

絶對他の追隨を許さぬ

極東真空管製作所

東京市蒲田區道塚町二二三番地
電話蒲田三三二八番

NAG

各種ラチオ部品一式
小型電熱器
特殊無線用部分品設計製作

徳永電器研究所

東京市品川區西大崎一ノ二八三
電話高輪(四)七五四六番

協信商會

透明ベーク、エンクローズ、フューズ並に
電光サイン製作販賣

東京市日本橋區通り三ノ三
電話日本橋七二二六番
振替東京八九九四三番

營業科目

有線無線電信電話用
 ベーパーコンデンサー
 エーヤーコンデンサー
 マイカーコンデンサー
 オイルコンデンサー

株式帝國コンデナー製作所

本社 東京市蒲田區北品川五ノ四五三
工場 東京市蒲田區北品川五ノ四五二
電話高輪(四)三三九〇番

許錦生コロイド蓄電池發賣元

合資 日本トレイディング商會

本社 東京市丸ノ内昭和ビル三二四
電話丸ノ内(23)四九九二
出張所 大阪市南區東區町二九
電話東五一八六

“MOH”
PHOTO TUBE

一流キーメーカーは
モット光電管のみ
を使用す



無線枢機産業株式會社
日本ブラウン管研究所
東京・品川・電話・高輪・4722

斯界の王座!!

B.H.Aのスナツプ スイッチ



遞信省

型式承認



#150

〒六-0.350

#100

〒六-0.351

スナツプの好調 完全なる絶縁
多年の経験と熟練せる技術と相俟つて
斯界に冠たり

高級ラヂオ用部分品と
無線機器の御用は
是非共!

澁川金属製作所

東京本所向島押上町
電話 墨田 一四二二

金属製品なれば何品を問はず
御用命に應じます
尙御指命に依り考案製作も致
します

14・5

517



東京電氣研究所

東京電氣株式會社 東京電氣無線株式會社

マツダランプ、マツダ寫眞電球各種、マツダ真空管、マツダ材料及積算電力計、マツダ照明器具、マツダ配線器具、マツダ時間計、マツダツダ時間スイッチ、マツダ照度計、マツダコンチットチューブ、マツダ光電管、マツダブラウン管、醫療用器械類

移動用、船舶用、航空機用無線機、固定用放送用大型無線機、テレヴィジョン装置、搬送式電信電話装置、高周波測定装置、擴聲装置、ヴェロシテイ・マイクロフォン、送信用真空管各種、特殊受信用真空管、高周波用絶縁體（テレットクス、タイデンタイト）其他無録用部分品

安立電氣株式會社

船舶用無線電信電話機
有線電信電話機及附屬品
船舶用無線方向探知機
電氣計器及電氣測定器
船舶用無線自動警急受信機
蓄電器及無線用變壓器
電氣諸工事設計監督請負

遞信省
鐵道省
海軍省
陸軍省
農林省
其他官廳

指定工場

本社及工場 東京市麻布區富士見町參拾九番地
電話三田(45)自二一三一三一至二一三五番
神戸營業所 神戸市神戶區榮町六丁目二一番屋敷
電話元町一七八五番一八六〇番

代理店所在地
橫濱・橫須賀・名古屋・大阪・舞鶴・吳
廣島・門司・佐世保・仙臺・小樽・京城・臺北
豐原・大連・奉天・新京・哈爾濱

終